

基本情報

科目名	文学
時間割コード	1000010201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義で日本文学においては、日本近代文学の巨匠夏目漱石が切り開いた近代小説の世界とは何か、彼の文学の人生についてアプローチし彼の心を理解する。中国文学から受けた影響、そして西洋文学から受けた影響を学ぶことで漱石についての理解を深める。
履修上の注意事項	夏目漱石の作品を読んでいくが講義の時間だけでは限りがあるので、予習、復讐など積極して頂ければよりスムーズに講義が進むことができる。
評価方法	授業内に課す小レポート(40点)+学期末試験(もしくは学期末レポート)(60点)
テキスト	『夏目漱石 東洋と西洋の狭間で』 高 継芬著 梓書院 及び講義時プリント配布。
参考文献	課題図書は授業時に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス明治時代の日本文学について説明する。		
2	夏目漱石という人物について、人生歴、交友、側面からアプローチする。		
3	『草枕』を始め、『虞美人草』『三四郎』『門』等の作品から文学観の変化をとらえる。		
4	熊本小温泉を舞台にした『草枕』の背景について初期の文学観について学ぶ。		
5	『草枕』を読みながら作者の西欧文化に対する考えを理解する。		
6	夏目漱石のイギリス留学について説明する。		
7	『永日小品』を読みながら夏目漱石がイギリスに対する印象を理解する。		
8	『永日小品』の「下宿」を解読する。		
9	『永日小品』の「印象」を解読する。		
10	『永日小品』の「昔」を解読する。		
11	『永日小品』の「過去の匂い」を解読する。		
12	『永日小品』の「暖かい夢」を解読する。		
13	夏目漱石の作品を読みながら中国文学から受けた影響を理解する。		
14	『草枕』を読みながら作者の東洋文学に対する考えを理解する。		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	夏目漱石の作品を学んだ総まとめ。（高）		

基本情報

科目名	心理学
時間割コード	1000020201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	山住 賢司
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、心の働き・仕組みを科学的に探究していく学問である心理学の基礎について学んでゆく。 人の心の基本的な仕組みと機能、発達段階における心理的課題、日常生活と心の健康との関係、心理学理論を基礎とするアセスメントの方法と支援、等について理解することを目的とする。 本講義を通じて受講者は、心理学の基本知識について自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 テキストは毎回必ず持参すること。 理解度を確認するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	「最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座2 心理学と心理的支援」 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編） 中央法規 2021
参考文献	「心理学概論[第2版]」 岡市廣成・鈴木直人（監修） ナカニシヤ出版 2014
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：「心理学」について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
2	心理学の歴史と方法について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
3	心の生物学的基礎の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	感情・動機づけ・欲求の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
5	感覚と知覚の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
6	学習・行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
7	認知：記憶・注意・言語・思考の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
8	知能・パーソナリティの心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
9	社会のなかでの心理：自己概念・対人認知・集団の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
10	心の発達の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
11	心の健康：ストレス理論と対処行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
12	心理アセスメントの理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	心理療法と介入技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
14	心理的支援の基本的技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
15	まとめ：振り返り・心理学と対人援助職との交点	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

基本情報

科目名	教育学
時間割コード	1000030201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、教育というひとが育ちゆくうえでかかすことのできないいとなみについての基礎的なことがらについて学ぶとともに、この社会においてひとが育ち生きていくということがどのようなことであるのかという問いについて考察をおこなっていくことを目的とします。授業では、ひとの生涯にわたる生のありようや育ちおよびそれと教育とのかかわりについて学んでいきます。そのため、この授業では、以下のことを目標とします。 (1) 教育の基礎的なことがらについて理解し、説明することができる。 (2) ひとの生涯にわたる発達や育ちについて理解し、説明することができる。 (3) ひとが育ちゆくうえでの教育の意義や役割について理解し、説明することができる。
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	授業後の小レポート(30%)および学期末試験(70%)の総合成績で評価する。基礎的なことがらへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。 なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します(各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間)。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 授業全体の概要をしめす。		
2	ひとの生涯にわたる育ちと教育		
3	赤ちゃんはどこまで人間か		
4	ことばの発達と教育		
5	子どもにとって遊びとはなにか		
6	保育・幼児教育をめぐる現代の課題		
7	社会性の発達と教育		
8	10歳の壁とはなにか		
9	学校とはなにか		
10	青年期の課題と教育		
11	社会における教育の諸相		
12	職業・労働と教育		
13	老いることと学ぶこと		
14	発達と喪失		
15	授業のまとめと現代教育の諸問題		

基本情報

科目名	哲学
時間割コード	1000050201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	田畑 博敏
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
田畑 博敏

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目「哲学」は、古代ギリシャに始まり、中世・近代のヨーロッパを通じて発達し、現代では世界中の多くの国で研究され学ばれている科目です。日本では、自然科学と同様に、明治時代にヨーロッパから輸入され、現在、多くの大学で教えられています。哲学の特徴は、常に物事の根源にさかのぼって、探究することです。探究の対象は森羅万象、探究手段は理性とことばによる論証です。本講義では、先行の哲学者の考えを参考にして、徹底的に考え抜き、自分なりの意見を表現できる力を養うこと、を目標にします。
履修上の注意事項	講義終了後、本講義で「コミュニケーション・カード」と名づける小ペーパーを提出してもらいます。これには、予習の結果（重要と思われた3つのキーワードを書く）、講義を受けての感想、講義で学んだこと、講義についての注文など、を書いてください。
評価方法	コミュニケーション・カードの提出により「意欲的な受講態度」を評価し（20%）、中間レポートで「基本的理解」の度合いを評価し 30%、最終レポートで「総合的理解と独自の思考力」を確認する（50%）、というやり方で、総合的・全体的に評価します。
テキスト	倉田剛「現代存在論講義：ファンダメンタルズ」新曜社（2017年）¥2200+税
参考文献	講義の進行に応じて、適宜、指示します。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	哲学とは何か、何が存在するのか、存在論を概観する：教科書序文および第一講義・第1.1-1.2節		
2	存在のあり方、性質と関係、物とプロセス、部分と集まり：教科書第一講義・第1.3-1.4節		
3	種と普遍者、可能的対象と虚構的对象：教科書第一講義・第1.5-1.6節		
4	存在論の諸区分、領域的VS形式的、応用的VS理論的：教科書第一講義・第2.1-2.1節		
5	形式的存在論VS形式化された存在論、存在論の道具としての論理学：教科書第一講義・第2.3-2.4節		
6	メタ存在論、道具としての論理学（続）：教科書第一講義・第2.5節および「まとめ」、プリント		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	世界についてどう語るか、思考とひよ間、存在への関わり：教科書第二講義・第1.1-1.2節		
8	パラフレーズ、修正的Vs 解釈的：教科書第二講義・第1.3節		
9	すぐれた理論の条件、単純性と説明力：教科書第二講義・第2.1-2.2節		
10	非クワイン的メタ存在論：教科書第二講義・第2.3-3.1節		
11	非クワイン的メタ存在論（続）：教科書第二講義・第3.2-3.3節および「まとめ」		
12	存在者をどのように分類するか？ カテゴリーと形式的因子：教科書第三講義・第1.1-1.2節		
13	4 カテゴリー存在論における形式的関係：教科書第三講義・第2.1-2.2節および「まとめ」		
14	ものが性質を持つということ：教科書第四講義・第1.1-1.3節		
15	実在論の擁護：教科書第四講義・第2.1-2.3節		

基本情報

科目名	法学
時間割コード	1000060201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	今日の社会で要求される法感覚、さらに私たちが日常生活を送る上で必要な法知識を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 社会生活における法の作用および役割、民法の財産法および家族法の基本的な考え方、医療・福祉サービス利用者の権利とその救済方法、成年後見制度および日常生活自立支援事業、医療・福祉職の専門性と法的責任
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 野崎和義監修『社会福祉六法』2020年、ミネルヴァ書房。
参考文献	各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（適宜）について調べ、作成・提出する（2時間）。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	法と日常生活 講義計画の紹介、何をどこまで学ぶか、法というものの考え方		
2	家庭生活と法（1） 親族の範囲・効果		
3	家庭生活と法（2） 婚姻・離婚とその効果		
4	家庭生活と法（3） 相続の一般原則、法定相続と遺言相続、相続をめぐる諸問題		
5	消費生活と人権（1） 悪質商法の法的問題点、物権と債権の基本的異同		
6	消費生活と人権（2） クレジット取引の仕組み、契約の拘束力・相対性		
7	刑事手続きと人権（1） 法的責任、犯罪と刑罰、刑務所と前科		
8	刑事手続きと人権（2） 不法行為責任と刑事責任の異同、行政上の処分の独自性		
9	医療・福祉サービスに関わる法（成年後見制度と日常生活自立支援事業、行政行為と行政争訟）		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（適宜）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	医療・福祉専門職の根拠法（医療・福祉職の専門性および資格、社会福祉各法の適用対象者）		
11	医療・福祉職の連携（看護・介護事故、看護と介護の関係、職務の専門性と就業問題）		
12	病院・施設の設置基準と法律問題（医療・福祉サービスの公共性、設置基準の法的拘束力）		
13	障害者の雇用・就労支援（障害者雇用促進法、法定雇用率、勤労の権利と義務）		
14	ふたたび人権を考える（雇用対策と差別の禁止、労働市場における公正、人権の普遍性）		
15	医療・福祉職と法（高齢社会における課題と役割分担、行為準則としての法）		

基本情報

科目名	日本国憲法
時間割コード	1000070201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	医療・福祉さらには教育の実践にあたって必要な憲法感覚を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 日本国憲法の基本原理、基本的人権の意義および機能、基本的人権を保障するための仕組み（国および地方公共団体の組織・権能・財政）、行政情報へのアクセス（情報公開）、行政の役割と法治国家原理（行政行為、行政手続き、行政不服審査・行政訴訟）
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	・定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	・野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 ・野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	・各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	取引社会と医療・福祉の権利（取引社会のルール、契約原理の修正、国家と個人）		
2	日本国憲法の考え方（人権規定の私人間効力、裁判例の分析、人権という思想）		
3	日本国憲法の構成（三つの基本原理、基本的人権のカatalog、人権保障の仕組み、特別条項）		
4	基本的人権と公共の福祉、基本的人権の主体（内在的制約と外在的制約、外国人・法人の人権）		
5	プライバシーの権利と個人情報の保護、情報公開制度（行政情報へのアクセス）		
6	自己決定権の尊重と医療・介護（インフォームドコンセント、身体拘束の禁止）		
7	自由権（とくに人身の自由、少年の刑事手続き、資格制限と社会復帰）		
8	法の下での平等と合理的差別（男女共同参画、セクハラと雇用機会均等法）		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	家族生活における平等（介護と扶養、介護保険制度導入の背景）		
10	社会権の思想（平等権から社会権へ、生活保護法の基本原理と裁判例）		
11	高齢社会における社会保障（社会保障の法体系、高齢者と住居、看護・福祉の労働）		
12	その他の基本権 参政権、受益権（施設入所高齢者・障害者の参政権保障、国家賠償請求権）		
13	国家の機構（三権の抑制と均衡、裁判所の仕組み）		
14	財政、地方自治（財政の基本原則、自治体の行政権・立法権、行政争訟）		
15	医療・福祉と日本国憲法（民主主義と少数者の人権、統治機構の役割）		

基本情報

科目名	社会学
時間割コード	1000080201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	安藤 学
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
安藤 学

詳細情報

授業の目的・到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養する」ために、社会理論による現代社会の捉え方について、生活の理解について、人と社会の関係について、社会問題について学び、それらを分析し解決する能力を修得することができる。
履修上の注意事項	ノートを毎回きちんと取る。 授業前にその単元を一度読み自分なりにまとめておき、授業後は教科書とノートを照らし合わせて復習をしておくこと
評価方法	定期試験 80%、授業への取り組む姿勢 20%
テキスト	『社会学入門』秋元他3名 有斐閣新書
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	社会学の歴史と対象	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
2	社会システム	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
3	組織と集団	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
4	人口	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
5	グローバル化	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
6	社会変動・社会変動の概念	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
7	地域	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
8	環境・気候変動	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
9	社会的格差・社会政策と社会問題	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
10	差別と偏見	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
11	災害と復興	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
12	家族とジェンダー	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
13	健康・労働	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	世代	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
15	自己と他者・社会化・相互行為	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	

基本情報

科目名	社会学
時間割コード	1000090201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	安藤 学
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
安藤 学

詳細情報

授業の目的・到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養する」ための科目として位置付ける。、社会学を基礎に、社会学の具体的な理論と研究について、私たちの日常生活の中からテーマを設定して学習することができ、また社会福祉士養成や精神福祉士養成に求められる社会学的事項についても修得することができる。
履修上の注意事項	授業前にテキストを読み自分でまとめてから授業に臨む、授業後は自分のまとめと授業内容を比較して復習をする。
評価方法	レポート試験80%、授業への取り組み20%
テキスト	『社会学入門』秋元他3名 有斐閣新書
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
事前学修：毎回授業内容について調べておく(2時間) 事後学修：毎回授業で学修したことを復習する(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	現代社会とは		
2	国民の生活と意識の変化について		
3	科学技術の展開について		
4	現代社会と科学技術について		
5	情報化社会と国民生活について		
6	現代社会における専門職について		
7	家族の構造と形態について		
8	家族の機能について		
9	家族の変化について		
10	家族と地域社会について		
11	都市化と地域社会について		
12	過疎化と地域社会について		
13	地域社会の社会集団・組織について		
14	現代社会における社会問題について		
15	社会学の総まとめ		

基本情報

科目名	コミュニケーション論
時間割コード	0221100501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	佐藤 嘉倫
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
佐藤 嘉倫

詳細情報

授業の目的・到達目標	コミュニケーションについての基礎的な概念やモデルについて学ぶとともに、言語・非言語などのコミュニケーション手段、様々な状況におけるコミュニケーション行動や人間関係の特徴などについて主に心理学の立場から考え理解を深める。また対人援助場面における人間関係の特徴について学び、理解できるようになる。
履修上の注意事項	・毎回講義前に参考文献や配布資料をもとに事前学習を行って下さい。(2時間) ・毎回講義後の振り返りを各自行うようにして下さい。(2時間)
評価方法	授業態度60%、レポート40%
テキスト	なし(講義中に資料を配付)
参考文献	講義中にその都度紹介
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回講義前に参考文献や配布資料をもとに事前学習を行って下さい。(2時間) ・毎回講義後の振り返りを各自行うようにして下さい。(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	コミュニケーション論とは		
2	対人コミュニケーションの特徴		
3	コミュニケーションの障害		
4	対人交流パターンの分析(自らのコミュニケーションのあり方を見つめる)		
5	コミュニケーションの様々な形1(インターネット)		
6	コミュニケーションの様々な形2(SNS等電話)		
7	コミュニケーションの様々な形3(マス・コミ)		
8	援助技術としてのコミュニケーション		
9	援助技術としてのコミュニケーション2		
10	ストレスとコミュニケーション		
11	人間関係とコミュニケーション		
12	コミュニケーション・スキル1(言語的コミュニケーションの活用)		
13	コミュニケーション・スキル2(非言語的コミュニケーションの活用)		
14	自己分析		
15	まとめ		

基本情報

科目名	カウンセリング論（カウンセリング論）
時間割コード	0221101601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	忽那 かずみ
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
忽那 かずみ

詳細情報

授業の目的・到達目標	他者援助において基本となる代表的なカウンセリング理論を理解し、それぞれのカウンセリングの実践における本質的な考え方や方法上の相違点を理解することができる。また、それぞれのカウンセリング理論および密接に関係する心理検査の学修やワークを通じて自己理解を深めることができる。
履修上の注意事項	第1回目の講義にて出席に関する重要な説明をします。テキストで事前学習して下さい。講義時間内に心理検査の実施をします。毎回振り返りを行い、理解を深めてください。講義では実際のケースを取り上げたり、具体例を話すことがあります。また、演習・グループワークの中で個人的な話が出されることもありますので、個人情報への扱いには細心の注意を払い、絶対に口外してはいけません。演習・グループワークでは、他の人の意見を否定・批判をしない、違う意見も尊重する、発言は最後まで聴く、そして全員が発言することをルールとします。
評価方法	定期試験50%、演習（ディスカッション、グループワーク、授業態度等を含む）20%、振り返りシート（レポートを含む）30%
テキスト	山蔦圭介著、宮城まり子監修『基礎から学ぶ カウンセリングの理論』、産業能率大学出版部
参考文献	必要の都度、指示します。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	米国にて臨床心理学者としての勤務経験、日本では臨床心理士、公認心理師として病院、学校、私設（開業）などでの勤務経験あり。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーションと序論		
2	カウンセリングの基礎		
3	カウンセリングの実際		
4	精神分析療法の理論と実際		
5	来談者中心療法の理論と実際		
6	行動療法の理論と実際		
7	論理療法の理論と実際		
8	認知療法の理論と実際		
9	認知行動療法の理論と実際		
10	ゲシュタルト療法の理論と実際		
11	交流分析療法の理論と実際		
12	交流分析療法の理論と実際		
13	箱庭療法とコラージュ療法（切り抜いてもよい雑誌2～3冊、はさみ、のりを持参すること）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	日本の心理療法の理論と実際		
15	カウンセリングと心理検査、カウンセリングと精神疾患		

基本情報

科目名	体育
時間割コード	1000120201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	末松 大喜
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
末松 大喜

詳細情報

授業の目的・到達目標	心身の健全な発達の促進、運動やスポーツに内在する楽しみや技能、健康、体力の保持・向上・増進のための運動処方などを総合的・実践的に自ら把握できるようになる。
履修上の注意事項	演習授業は体育着で行うこと。
評価方法	演習レポート30%、自主的学習態度10%、課題レポート20%、体育レポート作成40%による総合評価
テキスト	使用しない
参考文献	使用しない
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動行動と身体とのかかわりを説明できる 2. 運動しないと身体へどのような影響が考えられるか説明できる 3. 身体組成から見た運動行動の大切さについて説明できる 4. 無酸素運動について説明できる 5. 有酸素運動について説明できる 6. 筋肉の種類から見た運動の適正について説明できる 7. 運動の強度と運動時間について説明できる 8. 運動とエネルギー供給の関係について説明できる 9. 運動の種類と循環器の関係について説明できる 10. メタボリック理解とその対策について説明できる 11. 運動と栄養・休養との関係について説明できる 12. 運動によって引き起こされる運動障害について説明できる 13. トレーニングの種類とその効果について説明できる 14. 運動を行うに時に注意すべき事項について説明できる 15. 健康維持のための運動について説明できる

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			

授業計画

1. 運動行動と身体とのかかわりを説明できる
2. 運動しないと身体へどのような影響が考えられるか説明できる
3. 身体組成から見た運動行動の大切さについて説明できる
4. 無酸素運動について説明できる
5. 有酸素運動について説明できる
6. 筋肉の種類から見た運動の適正について説明できる
7. 運動の強度と運動時間について説明できる
8. 運動とエネルギー供給の関係について説明できる
9. 運動の種類と循環器の関係について説明できる
10. メタボリック理解とその対策について説明できる
11. 運動と栄養・休養との関係について説明できる
12. 運動によって引き起こされる運動障害について説明できる
13. トレーニングの種類とその効果について説明できる
14. 運動を行うに時に注意すべき事項について説明できる
15. 健康維持のための運動について説明できる

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15			

基本情報

科目名	体育
時間割コード	1000120202
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	本田 沙織
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
本田 沙織

詳細情報

授業の目的・到達目標	心身の健全な発達の促進、運動やスポーツに内在する楽しみや技能、健康、体力の保持・向上・増進のための運動処方などを、総合的・実践的に「生涯スポーツ」として、スポーツや身体運動を定期的に行う習慣を身に付けさせ、自ら把握できるようになる。
履修上の注意事項	現代社会における「スポーツ・身体運動」の役割が、いかに重要で大切かを理解し、積極的に楽しく実技科目（身体運動や各種スポーツ種目）に参加して、その必要性を実感していただきたい。実技授業は、運動のできる体育服・運動靴を着用し参加すること、普段着での参加は認めない。体育服は、クラブサークルのユニホームや高校時使用のもので構いません。運動靴は、外履き用と体育館シューズを準備してください。
評価方法	2 / 3 以上の出席者に対して ・ 自主的学習態度及び出席状況 80% ・ 課題レポートや運動技能等 20% 総合評価します。
テキスト	使用しない
参考文献	使用しない
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	本田沙織：フィリピンにて体育教員、熊本学園大学にて非常勤講師として実務経験

授業計画

授業計画
1. 運動行動と身体とのかかわりを説明できる 2. 運動しないと身体へどのような影響が考えられるか説明できる 3. 身体組成から見た運動行動の大切さについて説明できる 4. 無酸素運動について説明できる 5. 有酸素運動について説明できる 6. 筋肉の種類から見た運動の適正について説明できる 7. 運動の強度と運動時間について説明できる 8. 運動とエネルギー供給の関係について説明できる 9. 運動の種類と循環器の関係について説明できる 10. メタボリック理解とその対策について説明できる 11. 運動と栄養・休養との関係について説明できる 12. 運動によって引き起こされる運動障害について説明できる 13. トレーニングの種類とその効果について説明できる 14. 運動を行うに時に注意すべき事項について説明できる 15. 健康維持のための運動について説明できる

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	比較文化論
時間割コード	1000130201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、アジア諸国の文化・社会・価値観・人々の考え方を、具体的な事例に基づいて日本と比較し、異文化理解を図ると共に、人間と文化の総合的な関係を理解する。
履修上の注意事項	授業前に資料（プリント）などを読み、キーワードについて調べてくること。 授業後に復習しておくこと。
評価方法	レポート80%、発表20%で評価する。
テキスト	毎回、資料（プリント）などを用意し、配布する。
参考文献	授業の中で、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション。中国あるいは東南アジアの文化について（安藤・高）		
2	日韓文化の遠近1（金）		
3	日韓文化の遠近2（金）		
4	日韓文化の遠近3（金）		
5	医療と福祉・日本と韓国（金）		
6	障害者福祉の基本・国際比較（金）		
7	日中文化の違い1（高）		
8	日中文化の違い2（高）		
9	日中文化の違い3（高）		
10	中国人の人間愛について（高）		
11	中国人の結婚文化について（高）		
12	日本と中国の教育政策について（安藤・高）		
13	中国料理の由来について（高）		
14	中国茶の文化について（高）		
15	中国の孫子兵法と日本の太平洋戦争（安藤・高）		

基本情報

科目名	英語
時間割コード	1000140201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	角田 俊治
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
角田 俊治

詳細情報

授業の目的・到達目標	4年制の大卒者として最低限求められる英語力の養成を目的とし、英語による情報の受信と発信が可となることを目指す。テキストに加えてハンドアウトも相当量用いて、英語の読解、語彙力、ライティング力を包括した学習を行い、また一部に聞き取り練習も取り入れて、コミュニケーション能力の基礎を向上させる。更に、語学が教養・全人教育の一部であることから、英語圏の国々の社会・歴史・文化への関心と知識を深める。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の展開計画は一部変更することがあります。 ・講義では取り扱わないユニットについても記憶すべき語彙等については適宜説明します。 ・講義は総て予習がなされていることを前提として行います。 ・辞書は必携です。
評価方法	試験 70%、発表 20%、平常点（受講の積極性等）10%。
テキスト	大塚生子（他）編著 In Science Curiosity （株）金星堂
参考文献	随時プリント配布
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
4年制の大卒者として最低限求められる英語力の養成を目的とし、英語による情報の受信と発信が可となることを目指す。テキストに加えてハンドアウトも相当量用いて、英語の読解、語彙力、ライティング力を包括した学習を行い、また一部に聞き取り練習も取り入れて、コミュニケーション能力の基礎を向上させる。更に、語学が教養・全人教育の一部であることから、英語圏の国々の社会・歴史・文化への関心と知識を深める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、語学教育の意義、英語の特徴等の説明。	教科書の "Contents" の表題から、各表題のページを見てタイトルの意味を把握しておく。90分	
2	Unit 1: 内容理解・CD聞き取り・教科書の設問演習・比較構文解説	Unit 1 の英文の単語を調べ、概要を把握しておく。90分	
3	Unit 1 設問演習、ハンドアウト(英作文等) 演習	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理。90分	
4	Unit 3: 内容理解、CD聞き取り、教科書の設問演習。基本5文型解説。	Unit 3 の英文の単語を調べ、概要を把握しておく。90分	
5	Unit 3 に関わる設問演習、ハンドアウト(英作文等) 演習。	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理。90分	
6	Unit 4 : Unit 3: 内容理解、CD聞き取り、教科書の設問演習。疑問詞節の用法解説。	Unit 4 の英文の単語を調べ、概要を把握しておく。90分	
7	Unit 4 に関わる設問演習、ハンドアウト(英作文等) 演習。	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理。90分	

授業計画

4年制の大卒者として最低限求められる英語力の養成を目的とし、英語による情報の受信と発信が可となることを目指す。テキストに加えてハンドアウトも相当量用いて、英語の読解、語彙力、ライティング力を包括した学習を行い、また一部に聞き取り練習も取り入れて、コミュニケーション能力の基礎を向上させる。更に、語学が教養・全人教育の一部であることから、英語圏の国々の社会・歴史・文化への関心と知識を深める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	Unit 5: 内容理解、CD聴き取り、教科書の設問演習・現在完了解説。	Unit 5 の英文の単語を調べ、概要を把握しておく。90分	
9	Unit 5 に関わる設問演習、ハンドアウト(英作文等)演習。	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理。90分	
10	Unit 8: 内容理解、CD聞き取り、教科書の設問演習・不定詞の解説	Unit 8 の英文の単語を調べ、概要を把握しておく。90分	
11	Unit 8 に関わる設問演習、ハンドアウト(英作文等)演習。	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理。90分	
12	Unit 9 内容理解、CD聞き取り、教科書の設問演習・関係代名詞解説	Unit 9 の英文の単語を調べ、概要を把握しておく。90分	
13	Unit 9 に関わる設問演習、ハンドアウト(英作文等)解説。	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理。90分	
14	Unit 10: 内容理解、CD聴き取り。(テキストよりも程度の高い英語原文)・購読	Unit 10 の英文の単語を調べ、概要を把握しておく。90分	
15	14回目に続けて、テキストよりも程度の高い英文の演習。及び、これまでの講義の補足・総括。	ハンドアウトの設問の準備と整理。及び総括 90分	

基本情報

科目名	英語
時間割コード	1000150201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	角田 俊治
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
角田 俊治

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p><本シラバスの内容は前年度と変わらないが、講義中に取り扱う設問は同一ではない。> ねらい：主として情報発信能力の向上を目指す。可能な限りの基本的な英語による、福祉や医療に関わるベシ ックなライティングができるようにする。併せて英語圏の国々の社会や文化への関心を深める。 到達目標：基礎的な英語による作文力を身につけ、福祉や医療に関わる一定の情報発信ができる。 。高水準の語 学力を必要とせずとも、それなりの英文が読める。</p>
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の展開計画は進捗の状況に応じて一部変更することがあります。（その際は連絡します） ・総て、講義は予習が行われていることを前提として行います。 ・辞書は必携。 <p><本シラバスの内容は前年度のものと同じで、講義中に取り扱う設問は同一ではない。></p>
評価方法	試験 70% . 発表 20 % . その他（受講の積極性等）10%.
テキスト	教員自作プリント <プリント中の設問は前年度のものと同じではない。>
参考文献	随時配布
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、英語学習の意義説明等	基本5文型などの文法事項や基本語彙などを確認しておく。90分	
2	ごく簡単な英語を利用したの、自己紹介等のライティング演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する90分	
3	ライティングのための基本5文型の説明等	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する90分	
4	3を応用したの基本的なライティング演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する90分	
5	福祉や医療に関わる初歩的なライティング演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する90分	
6	5よりも幾分か専門性の高い福祉や医療に関わる英語表現を演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する90分	
7	リーディング：一流作家の書いた平易な英文の短編小説を原文で読む	英文プリントの単語を調べ自分なりに大意を把握しておく。90分	
8	リーディング：7に同じ。この短編小説のモチーフについて考える	英文プリントの単語を調べ自分なりに大意を把握しておく。90分	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
9	リーディング：福祉・医療等に関わる、やや程度の高い英文を原文で読む	英文プリントの単語を調べ自分なりに大意を把握しておく。90分	
10	リーディング：9に同じ。高度な英語力を必要とせずに英語の原文を読む練習	英文プリントの単語を調べ自分なりに大意を把握しておく。90分	
11	福祉、医療、科学一般に関わる、使用頻度の高い動詞(15個前後)について解説、演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する 90分	
12	1 1 に関わる基本的なライティング演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する 90分	
13	1 1、1 2 に関わる幾分高度なライティング演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する 90分	
14	1 3 に続き、福祉や医療に関わる幾分高度なライティング演習	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する 90分	
15	1 4 までの講義の補足と総括	プリントの英作文問題について事前に自分なりの答えを用意して事後に確認する 90分	

基本情報

科目名	英会話
時間割コード	1000160201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	PatrickIjimaWashburn
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
PatrickIjimaWashburn

詳細情報

授業の目的・到達目標	Class goals are, 1. to improve each student's hearing and pronunciation abilities of spoken English; 2, to improve each student's personal confidence and abilities in both everyday and professional situations; and 3. to give each student a variety of tools they can continue to use for language and other studies
履修上の注意事項	ノート2冊。1つ目：なんでも良い。 2つ目：A5 ルーズリーフ方眼5mm、50枚入り、バインダー、インデックス。 シャープペン。 色ペン4色以上(SARASAなど。蛍光ペン4色以上。 英和和英辞典(アプリでもOK)。
評価方法	Class participation 参加 16%; Short conversations オリジナル会話 x 4 36%; Notebook check ノートチェック x 4 24%; Final conversation 会話テスト24%
テキスト	Interchange Level 1A Student's Book with Online Self-Study (英語) ペーパーバック – スチューデント・エディション, 2017/7/6 出版社: Cambridge University Press; 第5版 (2017/7/6) マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)第3版 (Basic Grammar in Use) (英語) ペーパーバック – スチューデント・エディション, 2016/10/1 出版社: Cambridge University Press; 第3版 (2016/10/1)
参考文献	特になし
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	医療関係の実務経験はなし

授業計画

授業計画
授業の目的・到達目標 Class goals are, 1. to improve each student's hearing and pronunciation abilities of spoken English; 2, to improve each student's personal confidence and abilities in both everyday and professional situations; and 3. to give each student a variety of tools they can continue to use for language and other studies

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス、挨拶	IC Unit 1 [1, 3, 5] M Units 1, 2, 24, p. 238-239;	IC = インターチェンジ 教科書 M = マーフィーのケンブリッジ文法 Unit = チャプター
2	自己紹介文	IC Unit [6, 7, 8, 9] M Units 61, 62, 82, 83	
3	バイト・学校	IC Unit 2 [1, 2, 3, 4, 5] M Units 46, 47, 48	

授業計画

授業の目的・到達目標

Class goals are,

1. to improve each student's hearing and pronunciation abilities of spoken English;
2. to improve each student's personal confidence and abilities in both everyday and professional situations; and
3. to give each student a variety of tools they can continue to use for language and other studies

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
4	待ち合わせ	IC Unit 2 [7, 9] M Units 104, 105, 106	オリジナル会 1 話作成 * ノートチェック
5	買い物、比較	IC Unit 3 [1, 2, 3] M Units 75, 76, 77, 78	会話テスト
6	意見交換	IC Unit 3 [8, 9, 10] M Units 88, 89	
7	趣味、メディア	IC Unit 4 [1, 2, 3, 4] M Units 6, 7, 60	
8	誘い	IC Unit 4 [6, 8, 9] M Units 35, 73, 104	オリジナル会話 2 作成 * ノートチェック
9	家族、数え方 1	IC Unit 5 [1, 3, 5, 9, 10] M Units 52, 72, 82, 84	会話テスト
10	運動、数え方 2	IC Unit 6 [2, 3, 4, 10, 11] M Units 49, 85, 95	オリジナル会話 3 作成
11	休みの過ごし方	IC Unit 7 [1, 2, 3] M Units 10, 11, 12	会話テスト * ノートチェック
12	旅行	IC Unit 7 [5, 9, 10] M Units 25, 26, p. 236~237	
13	お店、街	IC Unit 8 [1, 2, 3, 5] M Units 50, 110	
14	近所、家	IC Unit 8 [7, 8, 9] M Units 68, 69	ファイナル会話作成 * ファイナルノートチェック
15	まとめ		まとめテスト

基本情報

科目名	英会話
時間割コード	1000170201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	後藤 隆昭
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
後藤 隆昭

詳細情報

授業の目的・到達目標	Through your active participation and effort, 1. you can be confident in expressing yourself, 2. you can improve your language study habits, and 3. you can explore English through readings and original conversation practice.
履修上の注意事項	A paper or an electronic dictionary is needed. The schedule and contents are subject to change.
評価方法	Learning attitude 15%, Short conversation 30%, Report 25%, Final conversation 30%
テキスト	Interchange 2 (Fifth edition) Students Book (ISBN 9781316620342)
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
On the basis of the school regulation, students are required to dedicate two hours each to review and prepare for the class.

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	Introduction & Unit 1: Good memories		
2	Unit 1: Good memories		
3	Unit 2: Life in the city		
4	Unit 3: Making changes		
5	Unit 4: Have you ever tried it?		
6	Unit 5: Hit the road!		
7	Unit 6: Sure! I'll do it.		
8	Unit 7: What do you use this for?		
9	Unit 8: Time to celebrate!		
10	Unit 9: Only time will tell.		
11	Unit 10: I like working with people.		
12	Unit 11: It's really worth seeing!		
13	Unit 12: It's a long story.		
14	Unit 13: That's entertainment!		
15	Unit 14: Now I get it!		

基本情報

科目名	中国語会話
時間割コード	1000180201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義のねらいは、受講者が半期の学習期間において、あいさつや自己紹介などの基本的な表現を取得し、基礎的な日常会話ができる。
履修上の注意事項	予習と復習を必ずすること。 受講の際は、辞典を必ず持参すること。
評価方法	小テスト 20% レポート 20% 試験 60%
テキスト	教科書：『LOVE 上海－初級中国語－』朝日出版社 辞典：相原茂『はじめての中国語学習辞典』朝日出版社最新版
参考文献	適宜紹介
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	前期の学習内容を復習		
2	自分について中国語で表現してみよう		
3	家族について中国語で表現してみよう		
4	日常生活について中国語で表現してみよう 上海料理を食べる		
5	日常生活について中国語で表現してみよう お腹がいっぱいです		
6	にちじょう生活について中国語で表現してみよう 外灘の夜景		
7	日常生活について中国語で表現してみよう 上海語は面白い		
8	日常生活について中国語で表現してみよう ホテルの部屋から		
9	これまでの学習内容をふりかえって		
10	日常生活について中国語で表現してみよう どうしたの		
11	日常生活について中国語で表現してみよう 上海は魅力的		
12	日常生活について中国語で表現してみよう またあいましょう		
13	大学生のアルバイトを表現しよう		
14	留学について中国語を表現してみよう		
15	これまでの学習内容を確認		

基本情報

科目名	中国語会話
時間割コード	1000190201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名	
高 継芬	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義は、受講者が前期の中国語会話 をもとに、より豊かな中国語の表現力および会話を身につけることができる。
履修上の注意事項	予習と復習を必ずすること。 受講の際は、辞典を必ず持参すること。
評価方法	ききとりテスト 20% 小テスト 20% 試験 60%
テキスト	教科書： 『LOVE 上海 初級中国語』 朝日出版社 辞 典： 相原茂 『はじめての中国語学習辞典』朝日出版社 最新版
参考文献	適宜紹介
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	前期の学習内容を復習		
2	自分について中国語で表現してみよう		
3	家族について中国語で表現してみよう		
4	日常生活について中国語で表現してみよう 上海料理を食べる		
5	日常生活について中国語で表現してみよう おなががいっぱいです		
6	にちじょう生活について中国語で表現してみよう 外たんの夜景		
7	日常生活について中国語で表現してみよう 上海語はおもしろい		
8	日常生活について中国語で表現してみよう ホテルの夜景から		
9	これまでの学習内容をふりかえって		
10	日常生活について中国語で表現してみよう どうしたの		
11	日常生活について中国語で表現してみよう 上海は魅力的		
12	日常生活について中国語で表現してみよう またあいましょう		
13	大学生活について中国語で表現してみよう		
14	留学について中国語を表現してみよう		
15	これまでの学習内容を確認		

基本情報

科目名	韓国語会話
時間割コード	1000200201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	李 玄玉
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
李 玄玉

詳細情報

授業の目的・到達目標	「ハングル」という文字についての理解と日本語と韓国語との比較をしながら、韓国語の基礎文法を理解する。 また、韓国への観光・旅行などの場合、簡単な会話ができる。
履修上の注意事項	授業後には、繰り返し復習する。
評価方法	授業参加への態度及び発表 50点 授業中のミニテスト 50点
テキスト	やさしい韓国語（初級）。梁礼先・権点淑・曹恩美 著。朝日出版社
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	1. オリエンテーション		
2	2. 「ハングル」文字の関する歴史的背景、文字の構成、文字の書き順について		
3	3. 韓国語の特性についての日本語との比較説明及び子音・母音について		
4	4. 「パッチム」とパッチムの連音化		
5	5. 基本的な挨拶に関連する会話		
6	6. 自己紹介などの簡単な会話		
7	7. 小グループに分け、挨拶・自己紹介などを韓国語で行う（復習と練習）		
8	8. 韓国の文化に関する理解（ビデオ鑑賞）		
9	9. 韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 1		
10	10. 韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 2		
11	11. 韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 3		
12	12. 日本と韓国との文化の差について		
13	13. 日常生活での基本的な会話 1		
14	14. 日常生活での基本的な会話 2		
15	15. 日常生活での基本的な会話 3		

基本情報

科目名	韓国語会話
時間割コード	1000210201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	李 玄玉
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
李 玄玉

詳細情報

授業の目的・到達目標	韓国語会話 に続けて韓国の文化・歴史への理解・関心を深めながら、日常生活の中で、簡単な会話が応用できる。
履修上の注意事項	韓国語会話 を履修していない方も可能です。 授業後には繰り返し復習する。
評価方法	1. 授業への出席や授業参加への意欲・態度 50点 2. 授業中のミニテスト 50点
テキスト	資料を配布する。
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1.オリエンテーション		
2	2.「韓流ブーム」に関する日本の若者の見解について		
3	3.韓国語会話 の復習－挨拶・自己紹介など		
4	4.具体的な場面を想定した日常会話(1)		
5	5.具体的な場面を想定した日常会話(2)		
6	6.具体的な場面を想定した日常会話(3)		
7	7.日本・韓国の大学との違い、大学生交流の重要性及びその役割などについて		
8	8.日常場面で応用できる会話(1)		
9	9.日常場面で応用できる会話(2)		
10	10.日常場面で応用できる会話(3)		
11	11.韓国の映画鑑賞		
12	12.韓国語での日記・作文の練習(1)		
13	13.韓国語での日記・作文の練習(2)		
14	14.韓国の文化・医療・福祉の動向について		
15	15.韓国への留学・就職に関する情報や諸大学の紹介		

基本情報

科目名	ドイツ語
時間割コード	1000510201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	竹中 健
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名	
竹中 健	

詳細情報

授業の目的・到達目標	ドイツの文化を、ドイツ語学習を通じて学ぶことを本講義の目的とする。ドイツ語それ自体をも対象としながら、特定の言語構造のなかで思考をおこなうとき、言語が思考に影響をおよぼすという事実を知ることがをねらいとする。講義を通じて、学修者はドイツ語の言語としての構造的特性を理解できるようになる。
履修上の注意事項	独和辞典の購入と教室必携は、早い時期にすること。ドイツ語学習は、辞書の引き方それ自体が学習内容である。辞書による予習・復習を心掛けてください。
評価方法	講義内で合計10回のミニテストを実施し、それらを総合的に評価して最終評価とする。
テキスト	プリントを配布する。テキストは用いない。
参考文献	岡本和子『30日で話せるドイツ語会話』ナツメ社 橋本政義『あなただけのドイツ語家庭教師』国際語学社
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
毎回の事前学習と事後学習を通じて、ドイツ語を学ぶ楽しさを知る。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション	【事前学習】ドイツのことについて、知っていることを書き出してみよう。(2時間) 【事後学習】地上波テレビやBS放送のドイツ語関連のテレビ番組をチェックしてみよう(2時間)	
2	ドイツ語の文字と発音	【事前学習】ドイツ語関連のスマホアプリ(無料版)をいくつかダウンロードして遊んでみよう。(2時間) 【事後学習】You Tubeでドイツ語の歌を聴いてみよう(2時間)	
3	名詞の性と冠詞	【事前学習】大都市の大きな本屋さんに出かけてドイツ語の辞書を買って求めましょう。(2時間) 【事後学習】You Tubeでドイツ語の映画を見てみよう(2時間)	
4	数字	【事前学習】英語の綴りで1から100まで書き出してみよう(2時間) 【事後学習】ドイツ語で0から10まで覚えよう(2時間)	
5	動詞の現在形	【事前学習】ドイツ語で11から100まで覚えよう(2時間) 【事後学習】1本80円セールの特価で、ゲオのレンタルDVDや動画ダウンロードなどで、日本語字幕付きのドイツ語の映画を一本借りて見てみよう(2時間)	

授業計画

毎回の事前学習と事後学習を通じて、ドイツ語を学ぶ楽しさを知る。

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
6	冠詞と名詞の格変化	【事前学習】ドイツ語のテレビ番組をチェックして録画か視聴してみよう(2時間) 【事後学習】1本80円セールの特価品かゲオのレンタルDVDや動画ダウンロードなどで、日本語字幕付きのドイツ語の映画を一本借りて見てみよう(2時間)。	
7	疑問代名詞	【事前学習】小さめの単語用ノートを購入し、定冠詞付きで名詞を整理していこう(2時間) 【事後学習】単語ノートに動詞を不定形で整理していこう(2時間)	
8	人称代名詞	【事前学習】人称代名詞を覚えよう(2時間) 【事後学習】人称代名詞の格変化を覚えよう(2時間)	
9	不定冠詞類 (mein型)	【事前学習】定冠詞を覚えよう(2時間) 【事後学習】定冠詞の格変化を覚えよう(2時間)	
10	分離動詞 (1)	【事前学習】不定冠詞を覚えよう(2時間) 【事後学習】不定冠詞の格変化を覚えよう(2時間)	
11	疑問文	【事前学習】動詞を5個覚えよう(2時間) 【事後学習】動詞5個の人称変化を覚えよう(2時間)	
12	否定文	【事前学習】動詞を5個覚えよう(2時間) 【事後学習】動詞5個の人称変化を覚えよう(2時間)	
13	語順	【事前学習】ドイツ語の歌をダウンロードし、歌詞を書き出してみよう(2時間) 【事後学習】書き出した歌詞を暗記しよう(2時間)	
14	分離動詞 (2)	【事前学習】動詞5個を辞書で調べて読んでみよう(2時間) 【事後学習】動詞5個を単語ノートに不定形で書いて覚えよう(2時間)	
15	まとめ	【事前学習】スマホの地図ナビ機能にドイツ語版をダウンロードして使ってみよう(2時間) 【事後学習】大学の帰り道、ドイツ語版のスマホナビを聞いて、方角を表すドイツ語をマスターしよう(2時間)	

基本情報

科目名	ドイツ語
時間割コード	1000520201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	竹中 健
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
竹中 健

詳細情報

授業の目的・到達目標	ドイツの文化を、ドイツ語学習を通じて学ぶことを本講義の目的とする。ドイツ語圏の映画を見て、ドイツ語を部分的にでも聞き取れるようになることを目指す。戦争の歴史とナチス政権樹立のプロセスについても、映画を通じて考察を深める。
履修上の注意事項	独和辞典を引きまくるという態勢を築いて欲しい。 またYou TubeやBS放送でドイツ語圏の音楽番組やニュース番組を楽しむ習慣をもつとよい。 テレビ番組「旅するドイツ語」を録画して、絶えずドイツ語を耳で拾って生の言葉と文化に触れて欲しい。
評価方法	講義内で合計4回のミニレポートを実施し、それらを総合的に判断して最終評価とする。
テキスト	テキストはとくに指定しない。
参考文献	清水紀子著『すてきなドイツ語』白水社 岡本和子著『30日で話せるドイツ語会話』ナツメ社
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション：何を学ぶか？	【事前学習】気になっているドイツの文化や暮らしについて、自分が今知っていることを書き出してみよう（2時間） 【事後学習】講義を聞いて自分が興味を持ったことについて、少し調べてみよう（2時間）	
2	映画 "Die Bucherdiebin"を見る（前半）	【事前学習】ナチス政権について、自分が今知っていることを書き出してみよう（2時間） 【事後学習】ナチス政権について、少し調べてみよう（2時間）	
3	映画 "Die Bucherdiebin"を見る（後半）	【事前学習】映画を見て、理解できなかったところ、気になったことを書き出してみよう（2時間） 【事後学習】映画を見て、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください（2時間）	
4	映画を見て考え、議論する（1）どのような人たちがナチス政権に排除されたのか？	【事前学習】ナチス親衛隊の構成員はどのような人たちだったのかを調べてみよう（2時間） 【事後学習】日本の憲兵について、調べてみよう（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
5	映画「帰ってきたヒトラー」を見る (前半)	【事前学習】アドルフ・ヒトラーについて、自分が今知っていることを書き出してみよう (2時間) 【事後学習】映画を見て、わからなかったこと、不思議に思ったことがあれば、書き出してみよう (2時間)	
6	映画「帰ってきたヒトラー」を見る (後半)	【事前学習】アドルフ・ヒトラーは、どのような人たちに支持されたのかを調べてみよう (2時間) 【事後学習】映画を見て、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	
7	映画を見て考え議論する (2) どのような人たちがナチス政権を支持したのか?	【事前学習】アドルフ・ヒトラーの実際の演説をYouTubeなどでいくつか見てみよう (2時間) 【事後学習】ヒトラーは、なぜ多くの人に支持されたのかを論じてください (A4の用紙2枚程度) (2時間)	
8	映像「ヒトラーの演説」を見る (前半)	【事前学習】アドルフ・ヒトラーは、どのような人たちに支持されたのかを調べてみよう (2時間) 【事後学習】ドナルド・トランプ氏の演説を動画で見てみよう (2時間)	
9	映像「ヒトラーの演説」を見る (後半)	【事前学習】ドナルド・トランプ氏は、どのような人たちに支持されていたのかを調べてみよう (2時間) 【事後学習】映像を見て、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	
10	映像を見て考え議論する (3) なぜヒトラーは支持されたのか?	【事前学習】ドナルド・トランプ氏の演説を動画で見てみよう (2時間) 【事後学習】講義を聞いて、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	
11	映像を見て考え議論する (4) ネオナチズムとティーパーティー	【事前学習】ティー・パーティーについて調べてみよう (2時間) 【事後学習】ネオナチズムとティーパーティーの共通点、違いについて、調べたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	
12	ドイツ語の童話を読む	【事前学習】好きなグリム童話をひとつ日本語訳で読んでみてください (2時間) 【事後学習】その童話について、少し調べてみよう (2時間)	
13	ドイツ語の歌を聞く	【事前学習】あなたが好きなドイツ語の歌をひとつ、YouTubeやCDなどで聴いてみてください (2時間) 【事後学習】その歌詞を調べて書き出してみよう。できれば暗唱しよう。 (2時間)	
14	ドイツ語のパズルを解く	【事前学習】スマホに無料のドイツ語のゲームアプリを一つダウンロードして遊んでみましょう (2時間) 【事後学習】ゲームに出てきた単語を3つ、単語ノートに書きだして覚えましょう (2時間)	
15	まとめ	【事前学習】日本語字幕のついたドイツ語の映画をレンタルまたはダウンロードして鑑賞しよう (2時間) 【事後学習】映画を見て、思ったこと、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	

基本情報

科目名	統計学
時間割コード	0224201101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	森 信之
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(実践強化科)

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会調査やアンケートなどで得られたデータは、そのままでは役に立たない。データを客観的、論理的に分析することが必要になってくる。本講義では、確率論の基礎知識を踏まえた上で、データを分析する手法や手順、得られた結果の評価方法等を、なるべく多くの事例に関する演習を通して実践的に理解し、得られたデータから適切な分析手法を選択し、データ分析ができるようになることを目標とする。
履修上の注意事項	テキストはなく、配布プリントを配布するだけなので、事前の予習、事後の復習が要求される。特に、わからないことは、わからないまま済ませずに、遠慮なく質問に来るようにしてもらいたい。
評価方法	筆記試験の結果のみで判断する。再試験は行なう。
テキスト	テキストは用いず、適宜、プリント資料を配布する。
参考文献	講義中に、適宜、紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	質的データと度数分布表・ヒストグラム		
2	量的データと代表値,分散		
3	正規分布, t 分布, 2乗分布とその性質		
4	母平均・母分散・母比率の推定		
5	検定の考え方, 第1種・第2種の過誤		
6	母平均の検定, 対応のある2つの母平均の差の検定		
7	対応のない2つの母平均の差の検定		
8	ノンパラメトリック検定(順位和検定)		
9	ノンパラメトリック検定(符号検定)		
10	ノンパラメトリック検定(符号付き順位和検定)		
11	母比率の検定(対応のある場合, ない場合)		
12	適合度の検定		
13	独立性の検定, マクネマー検定		
14	相関関係と相関係数		
15	回帰分析		

基本情報

科目名	情報リテラシー
時間割コード	1000230201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	高校における「情報」の履修を踏まえ、大学生として、また社会にでてからも必要となっていく「情報活用力（情報リテラシー能力）」を高めていくことがねらいである。これにより、これからの高度情報化社会に対応した、身の回りのパソコンやネットワークなどの情報環境を、自ら積極的に、活用できるようになることを目指す。
履修上の注意事項	基本操作が充分理解できていない場合は、事前に予習をしておくこと。 また、講義中はゆっくりノートをしている時間はないので、復習する中で自分の理解を確かめながら、手順や注意事項をメモするように。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断する。配点は、レポート30%、試験70%。再試験は行なう。
テキスト	「2021年度版 情報倫理ハンドブック」noa出版
参考文献	講義中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	情報教育システムの利用について（森），教務システムLiveCampusの説明（教務課）		
2	E-mailの利活用（森）		
3	Wordの基本操作 日本語入力，段落設定，段組み等（森）		
4	Wordの基本操作 罫線，図の挿入等（森）		
5	Wordの基本操作 図形描画，曲線とフリーフォーム（森）		
6	文献検索（福本/図書館），インターネットの利活用（森）		
7	情報モラル，情報セキュリティについて（森）		
8	Excelの基本操作 データ入力，表作成等（森）		
9	Excelの基本操作 グラフ作成（森）		
10	Excelの基本操作 コピーと移動，絶対参照と相対参照等（森）		
11	Excelによるデータ処理 様々な関数の利用（森）		
12	Excelによるデータ処理 並べ替え，フィルター等（森）		
13	Excelによるデータ処理 ピボットテーブル（森）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	Powerpointの基本操作 入力，テーマ等（森）		
15	Powerpointの基本操作 画面切り替え，アニメーション等（森）		

基本情報

科目名	環境科学
時間割コード	0221300701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	人類や個人を取り巻く自然、社会、生活の環境を知り、人間活動が環境そして人間自身に与える影響を理解する。また、自分が生きている現代の環境問題や自分の子孫が生きる時代の環境問題への対処や解決方法を考察する。
履修上の注意事項	読書やレポート提出を数回、求める。
評価方法	授業中の取り組み（50％）レポート提出（50％）
テキスト	特に指定しない。
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	環境科学オリエンテーション		
2	環境とは何か		
3	自然環境と人間		
4	地域の自然		
5	公害		
6	地球・生物圏・生態系		
7	水と生活環境		
8	都市環境と自然		
9	大気汚染		
10	人工化学物質と環境		
11	放射性物質		
12	循環型社会		
13	汚染者負担の原則		
14	今後の環境問題		
15	環境問題の解決策		

基本情報

科目名	ライフサイエンス
時間割コード	1000260201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	この講義では、数学と物理学の基礎を理解し、問題演習を通して「数学的思考」や「科学的思考」ができるようになることを目指します。 また、医療・福祉分野において必要となるであろう項目を取上げますが、その学修により、観察事実に基づく科学的思考、分析的思考を身に付けます。
履修上の注意事項	黒板に書かれたことをただ写すだけでなく、講義を聞いて、なぜそうなのかを考えながら、要点をまとめてノートするようにしてください。自分の頭で考えることなしに、物理学や科学的思考を理解することはできないからです。 また毎回、前の週の確認テストを行なうので、復習をして、特に授業中の演習問題は、もう一度解いてみて、その考え方のプロセスを学ぶように。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断します。配点は、レポート30%、試験70%と考えています。再試験は行ないます。
テキスト	テキストは使わず、必要に応じてプリントを配布します。
参考文献	講義中に、適宜、指示します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	質的データと度数分布表・ヒストグラム 数と演算		
2	算術平均，加重平均；幾何平均		
3	比・連比，比率（静的・動的）		
4	指数関数とその性質		
5	対数関数とその性質		
6	経験的確率と理論的確率		
7	2項分布とポアソン分布		
8	条件付き確率，期待値		
9	力とベクトル、力の合成・分解、作用反作用、力のつり合い		
10	力のモーメント、挺子(てこ)の原理、モーメントのつり合い		
11	身体の構造と挺子、重心と安定性		
12	速度、加速度、ニュートンの運動の法則		
13	重力と重力加速度、一様重力による運動		
14	等速円運動、単振動、波		
15	運動量と運動量保存則、はね返り係数		

基本情報

科目名	ライフサイエンス
時間割コード	1000270201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名	
檜枝 洋記	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、化学および生物学の基礎的な内容について学ぶ。専門科目（解剖学、生理学、生化学など）の理解に役立てる。
履修上の注意事項	高校で化学や生物学を履修していない学生には受講を強く勧める。
評価方法	中間試験 50%、単位修得試験 50%
テキスト	特になし。プリントを配布。
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	人体を構成する元素と原子	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
2	物質の質量とモル	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
3	水溶液の%濃度とモル濃度	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
4	浸透圧	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
5	酸と塩基	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
6	pHと緩衝液	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
7	有機化合物	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
8	中間試験	これまでの内容をしっかりと復習しておくこと	
9	生物の多様性と共通性	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
10	細胞の構造とはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
11	組織と器官	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
12	DNA・遺伝子・染色体	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
13	細胞分裂	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
14	生殖と発生	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
15	代謝と酵素	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	

基本情報

科目名	アカデミックスキルズ
時間割コード	1000280201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
安藤 学、野崎 和義、森 信之、檜枝 洋記、高 継芬、後藤 隆昭

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、自分の頭で考え、問題・課題を見つけて解決する能力、また、物事を論理的に、思考し、読み解き、伝える能力を養う。
履修上の注意事項	「教えてもらう」ではなく、「積極的に学びとる」気持ちを持って授業に臨んでください。
評価方法	課題レポート70%、発表30%。 課題レポート等に対して、授業の中で担当教員および履修生からコメントする。
テキスト	なし
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(檜枝)		
2	要するに言いたいことは何か(檜枝)		
3	言いたいことが伝わる表現か(檜枝)		
4	誤解していないか(檜枝)		
5	文章の構成(安藤)		
6	文章の展開(安藤)		
7	「話す」と「書く」の違い(高)		
8	伝える相手を意識する(高)		
9	表現の質を高める(後藤)		
10	読み書きの実践(後藤)		
11	論理的思考・表現の基礎(森)		
12	論理的に考える(森)		
13	発想を広げる(森)		
14	自由とは何か(野崎)		
15	自然科学と人文・社会科学(野崎)		

基本情報

科目名	臨床心理学
時間割コード	0222000101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	未定
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業は、現代の心理学の全体的な動向をコンセプトにした「心理学・臨床講義」というスタンスに立って、必要な基礎的な知識の習得を目指す。とかく従来の臨床心理学は単なる学派の羅列的理解が中心であることが多いが、この授業では、正常との連続変数及び心理学的援助対象のケアシステムの一部として、現代の代表的な心理病理現象をどのように診立て、また、援助を行う必要があるかについての基本知識の習得と心理的援助の勘所に焦点を当てながら理解を深めていく。
履修上の注意事項	シラバス内容について事前に学習し、事後はテキストおよびノートにより知識を深めておく。特に用語とその内容について、理解をしておくこと。
評価方法	期末試験100%で評価
テキスト	臨床心理学への招待[第2版] (2020) 野島一彦(編集) ミネルヴァ書房
参考文献	DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引(2014) 医学書院
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	臨床心理学とは何か		
2	面接と検査 アセスメント		
3	観察と行動 データ収集技法		
4	正常と異常 DSMを中心に		
5	乳幼児期の課題と問題		
6	児童期の課題と問題		
7	青年期の課題と問題		
8	老年期の課題と問題		
9	不適応と環境調整		
10	臨床心理学的援助法ー認知行動療法など		
11	臨床心理学的援助法ー遊戯療法など		
12	臨床心理学的援助法ー動作法など		
13	臨床心理学的援助法ーイメージ療法など		
14	家族療法		
15	医療・福祉領域の臨床心理学		

基本情報

科目名	看護学概論
時間割コード	1000290201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、上妻 尚子、赤峰 隆元

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護専門職としての自己の健康観、看護観を追及するために必要となる知識、概念を理解する。看護の対象および看護の提供、歴史・制度および将来の専門職の展望に関する知識から基礎的な看護学について理解する。保健・医療・福祉専門職者として相応しい高い知識と優れた技術を身につける必要性を知る。
履修上の注意事項	課題について考え、レポートを提出する。第1回目のオリエンテーション時に授業前・後の学習（各2時間）について説明をするので、具体的な学習方法を考え実践すること。課題レポートは授業前の事前学習（2時間）であり、講義期間中の小テストはそれまでの学習の復習を兼ねた事後学習（2時間）である。
評価方法	定期試験（筆記）：60%、学習態度・状況（小テスト、レポート提出、グループ活動の参加と発表）：40%
テキスト	『系統看護学講座 基礎看護学[1]』 茂野香おる 他（医学書院）
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	病院、施設における看護師、保健師、学校における養護教諭実務経験者である。

授業計画

授業計画
看護学概論は看護に関する幅広い知識を学ぶことで、保健医療福祉の専門職者としての自身の考えを明らかにすることを目指した学習である。ここでの学びは、今後の授業内容にもつながることである。また、専門職者として活動する上で、必要不可欠な知識の習得の場である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、看護学概論とは（柴田）	オリエンテーション時に事前・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。	
2	人間の欲求と健康、健康のとらえ方（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
3	国民の健康状態（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
4	看護の対象の理解（上妻）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
5	サービスとしての看護、看護サービス提供の場（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
6	災害時における看護（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
7	小テスト1、ナイチンゲールについて（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

授業計画

看護学概論は看護に関する幅広い知識を学ぶことで、保健医療福祉の専門職者としての自身の考えを明らかにすることを目指した学習である。ここでの学びは、今後の授業内容にもつながることである。また、専門職者として活動する上で、必要不可欠な知識の習得の場である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	医療安全と医療の質保証（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
9	看護職者の教育とキャリア開発、看護職者の養成制度の課題（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
10	看護における倫理（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
11	国際化と看護（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
12	看護とはなにか（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
13	小テスト2、看護の本質と実践について（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
14	職業としての看護・看護職者の養成制度と就業状況（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
15	グループワーク：医療職者における専門性、学習のまとめ（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

基本情報

科目名	社会福祉の原理と政策
時間割コード	1000300201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	村本 浄司
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
未定、村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 社会福祉の固有の視点である政策の実践の歴史、相互作用の変遷について説明できる。</p> <p>2. 社会福祉の思想と哲学及び理論の基本事項について説明できる。</p> <p>3. 現代の社会問題と社会構造の概要について説明できる。</p> <p>4. 福祉政策の基本的な視点や概念、理念について、説明できる。</p> <p>5. ニーズという言葉の意味や必要原則、貢献原則、資源の性質や種類について説明できる。</p>
履修上の注意事項	本講義は5名の教員によるオムニバスによって実施する。講義にあたっては、各先生の指示に従い、積極的に参加することを望む。
評価方法	定期試験60%、課題レポート40%で評価する。
テキスト	最新・社会福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編、中央法規、2021年
参考文献	適宜資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	研究員として障害者支援施設に勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、社会福祉の原理とは何かについて理解する(村本)	(事前)教科書P2-P5を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の原理についてノートにまとめる(2時間)。	
2	社会福祉の原理と様々な理論について理解する(村本)	(事前)教科書P6-P13を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の様々な理論についてノートにまとめる(2時間)。	
3	社会福祉の歴史を学ぶ意義と英国と米国における福祉の歴史的展開について理解する(村本)	(事前)教科書P16-P33を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)英国と米国の福祉の歴史についてノートにまとめる(2時間)。	
4	日本の社会福祉の歴史的天下について理解する(村本)	(事前)教科書P34-P45を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)日本における社会福祉の歩みについてノートにまとめる(2時間)。	
5	自由主義イデオロギーとフェミニズムについて理解する(増田)	(事前)教科書P48-P59を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)イデオロギー、自由主義、新自由主義についてノートにまとめる(2時間)。	
6	社会福祉の理論について理解する(増田)	(事前)教科書P60-P69を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の理論についてノートにまとめる(2時間)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	社会福祉の論点を把握し、公私関係、普遍主義と選別主義について理解する（増田）	（事前）教科書P70-P79を読み、わからない語句について調べておく。 （事後）様々な社会福祉論点について、ノートにまとめる（2時間）。	
8	社会福祉の対象とニーズについて理解する（増田）	（事前）教科書P80-P88を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会福祉における対象の捉え方についてノートにまとめる（2時間）。	
9	現代における社会問題について理解する（阿部）	（事前）教科書P90-P99を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）現代の様々な社会問題についてノートにまとめる（2時間）。	
10	社会問題が生じている構造的背景について理解する（阿部）	（事前）教科書P100-P108を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会問題の構造的背景について、ノートにまとめる（2時間）。	
11	福祉政策とニーズの概念について理解する（橋本）	（事前）教科書P110-118を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策とニーズについてノートにまとめる（2時間）。	
12	自由と平等、自由主義と新自由主義が福祉に与える影響について理解する（橋本）	（事前）教科書P119-P131を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）新自由主義が福祉政策に与える影響についてノートにまとめる（2時間）。	
13	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（ニーズの使われ方、ニーズとデマンド）（平川）	（事前）教科書P134-P143を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）ニーズとデマンドの関係についてノートにまとめる（2時間）。	
14	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（行政需要と行政ニーズ、ニーズの把握、ニーズの種類）（平川）	（事前）教科書P143 - P151を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）公正の原理としての必要原則についてノートにまとめる（2時間）。	
15	ニーズを充足するものとしての資源について理解する（村本）	（事前）教科書P152-163を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策における資源についてノートにまとめる（2時間）。	

基本情報

科目名	地域保健論
時間割コード	0222000401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 地域保健の位置づけやその構造を理解し、具体的な活動や医療制度について理解する。 2 地域保健が目指す新しい健康の概念や地域集団としての健康づくりへの取り組みの例に着目し、今後の地域医療の在り方について考えることができる。
履修上の注意事項	1 ペアによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。 2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加40%、課題提出20%、期末試験40%で評価する。 再試験は実施しない。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回、資料を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	地域保健とその構造		
2	保健・医療・福祉の組織と活動		
3	保健・医療・福祉の組織と活動		
4	医療計画と医療制度		
5	救急・災害医療		
6	救急・災害医療		
7	へき地医療		
8	在宅医療		
9	在宅医療		
10	地域と健康づくり		
11	地域と健康づくり		
12	チーム医療(保健・医療・福祉の連携)		
13	健康と環境		
14	健康と環境		
15	健康と環境		

基本情報

科目名	在宅療養支援チーム協働論
時間割コード	0222001601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	福本 久美子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名	
福本 久美子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保健医療福祉の対象者「在宅療養者」を、疾病や障害を抱えながら在宅生活を継続する生活者としてとらえることができる。 ・保健医療福祉職の対象者「在宅療養者」に対し、個別的・包括的な支援が提供できるよう、関係者や関係機関の連携や協働の在り方について理解することができる。 ・本科目は、学びの最終学年として、地域包括ケアシステムの構築のために、在宅療養支援チームの一員として協働の在り方を考え、その役割について具体的なイメージを抱くことができる。
履修上の注意事項	・本科目の履修によって、卒業後の実践イメージができるよう、予習復習を行い、講義に積極的に参加すること(90分以上)。
評価方法	レポート100%、 レポート提出先：Campas Square。フィードバックは質問者に対応。
テキスト	特になし。
参考文献	その都度、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	福本久美子：保健師・看護師としての実務経験 生野繁子：看護師としての実務経験 大池貴行：理学療法士としての実務経験 上田智之：看護師としての実務経験 田口太郎：鍼灸師としての実務経験 中川武子：看護師・保健師としての実務経験 田中康子：看護師としての実務経験 十時彩：歯科衛生士としての実務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	「在宅療養支援チーム協働論」の目的・展開方法について(福本)	関連事項の事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
2	「地域包括ケアシステム」の構築に対する住民の期待と専門職(生野)	関連事項の事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
3	在宅療養の対象者の人権について(野崎)	関連事項の事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
4	社会で起こっている出来ごと「在宅療養生活者の健康格差」(中川)	関連事項の事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
5	在宅療養を送る当事者からのメッセージ(福本：特別講師)	関連事項の事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	外部特別講師として、在宅療養を行っている当事者

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	在宅療養を送る当事者家族からのメッセージ（福本：特別講師）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	外部特別講師として、在宅療養を行っている当事者家族
7	在宅療養支援を行う各専門職とその協働（田中）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
8	在宅療養支援を行う専門職の役割「看護職」（上田）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
9	在宅療養支援を行う専門職の役割「福祉職」（橋本）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
10	在宅療養支援を行う専門職の役割「理学療法士」（大池）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
11	在宅療養支援を行う専門職の役割「鍼灸師」（田口）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
12	在宅療養支援を行う専門職の役割「歯科衛生士」（十時）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
13	在宅療養支援を行う専門職の役割「保健師」（未定）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
14	在宅療養支援を行う専門職の役割「医師」（福本：特別講師）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	外部特別講師として、地域包括ケアの提供リーダーとしての医師
15	まとめ：「地域包括支援システムにおける在宅療養支援チーム協働」の在り方について（福本、他）	14コマまでの振り返りと事前学習（2時間）、事後は全体を振り返り、自身の考えをまとめること（2時間）	

基本情報

科目名	行動療法論
時間割コード	0222000701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	李 玄玉
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名	
李 玄玉	

詳細情報

授業の目的・到達目標	行動療法の基礎理論や技法について理解する。 実際、現場で行動問題を示す子どもに対して、行動療法の理論や技法に基づいて具体的な支援の プログラムを作成することができる。
履修上の注意事項	
評価方法	授業態度及び発表 40点、 レポート10点、 テスト50点、 合計100点
テキスト	プリント資料を配布する。
参考文献	行動療法の理論と技術、 内山喜久雄、 日本文化科学社
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1.オリエンテーション		
2	2.行動療法について		
3	3.行動療法の特徴		
4	4.行動療法の動向および 認知行動療法について		
5	5.行動療法の知識の概要		
6	6.行動療法と他の心理療法 との相違点		
7	7.行動療法に必要な条件 に関する基礎知識	づけに	
8	8.行動療法の諸技法		
9	9.行動形成法の理論と 具体的事例		
10	10.トークンエコノミク 行動の改善	法と	
11	11.臨床の場面での行動 療法		
12	12.発達障害児の行動改善 における行動療法		
13	13.行動療法の具体的な 事例のビデオ鑑賞		
14	14.具体的な事例と行動 療法の適用		
15	15.具体的な事例と行動 療法の適用		

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	1000330201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	二科 安三
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
二科 安三

詳細情報

授業の目的・到達目標	人体各部の構造と機能を勉強する。本講義で中心となる臓器は消化器系、血液および循環器系、呼吸器系、泌尿器系であり、その周辺（たとえば神経系等）にも注意を払いつつ勉強する。適切な教科書を指定するので、その7割程度は理解して他人に解説できるようになること。
履修上の注意事項	教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）
評価方法	期末試験（100％）で判定する。
テキスト	解剖生理学（人体の構造と機能[1]）、坂井建雄、岡田隆夫 医学書院
参考文献	なし。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。（毎講義2時間ずつ）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	はじめに 解剖学・生理学		
2	栄養の消化と吸収1 口・咽頭・食道・胃の構造と機能		
3	栄養の消化と吸収2 小腸・大腸の構造と機能		
4	栄養の消化と吸収3 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能		
5	呼吸と血液の働き1 呼吸器の構造と呼吸運動呼吸と血液の働き		
6	呼吸と血液の働き2 ガス交換とガスの運搬		
7	呼吸と血液の働き3 呼吸運動の調節		
8	呼吸と血液の働き4 血液の組成と機能		
9	血液の循環とその調節1 心臓の構造、心臓の興奮とその伝播		
10	血液の循環とその調節2 心臓の収縮、心周期血液の循環と調節		
11	血液の循環とその調節3 血圧・血流量の調節		
12	血液の循環とその調節4 微小循環、リンパの循環		
13	体液の調節と尿の生成1 腎臓の構造、糸球体・尿管・傍糸球体装置		
14	体液の調節と尿の生成2 糸球体濾過、クリアランスと、排尿の機序		
15	体液の調節と尿の生成3 体液の調節		

基本情報

科目名	解剖生理学
時間割コード	1000340201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	二科 安三
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
二科 安三

詳細情報

授業の目的・到達目標	人体各部の構造と機能を勉強する。本講義で中心となるのは自律神経系、内分泌系、骨と筋肉、生殖器官系、生体防御免疫系である。適切な教科書を指定するので、その7割程度は理解して他人に解説できるようになること。
履修上の注意事項	教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。(毎講義2時間ずつ)
評価方法	期末試験(100%)で判定する。
テキスト	解剖生理学 と同じ教科書を使用する。 解剖生理学 人体の構造と機能 1、坂井建雄、岡田隆夫、医学書院
参考文献	なし。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
教科書に準拠して講義を進めるので、授業前・後に教科書をよく読んで予習と復習をして下さい。(毎講義2時間ずつ)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	神経系の構造と機能 神経系の構造、興奮の伝導と伝達		
2	自律神経による調節		
3	内分泌による調節 1 ホルモンの構造、視床下部、下垂体		
4	内分泌による調節 2 甲状腺、膵臓、副腎、甲状腺・副甲状腺		
5	内分泌による調節 3 ホルモン分泌の調節、ホルモンによる調節		
6	身体の支持と運動 1 骨と筋の構造		
7	身体の支持と運動 2 体幹、上肢、下肢、頭頸部の骨格と筋		
8	身体の支持と運動 3 筋の収縮		
9	情報の受容と処理 1 中枢神経の構造と機能		
10	情報の受容と処理 2 末梢神経の構造と機能		
11	情報の受容と処理 3 脳の高次機能、運動機能、感覚機能		
12	情報の受容と処理 4 特殊感覚の構造と機能		
13	身体機能の防御と適応 1 皮膚の構造と機能、生体の防御機構		
14	身体機能の防御と適応 2 体温とその調節		
15	生殖・発生と老化のしくみ		

基本情報

科目名	生活栄養学
時間割コード	1000360201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	未定
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	食べ物と健康という観点から、基礎栄養学、食物の消化・吸収、栄養素の特徴や役割、臨床栄養学の面から疾病と栄養の関連について理解し、自らが幅広い視野と知識を身につけ実践する事、特に食事や栄養に関する情報が急増している中、自身や人々の健康の維持増進に努めてもらう事が出来る。また、医療従事者として、様々な身体的状況にある人々に接する際に、自身が学んだ食・栄養面の知識を効果的に行う技法や体験を活かし、サポートする事で自らも健康的な食生活が実践できるようになる。
履修上の注意事項	履修の中で、各単元の理解を把握するために演習課題を出すので、授業前にテキストと配付資料、テキストの副読本としての「栄養学整理ノート」を読み事前に必ず予習して講義を受講すること
評価方法	期末試験（筆記）95% 学習態度5%（出席日数 私語が多く注意を受けたとき）
テキスト	「わかりやすい栄養学 第4版 -臨床・地域で役立つ食生活指導の実際-」ヌーヴェルヒロカワ
参考文献	わかりやすい栄養学（三共出版）基礎栄養学（第一出版）日本人の食事摂取基準（2015年版）七訂補日本食品成分表、国民衛生の動向30年版 糖尿病の食品交換表、腎臓病の食品交換表、応用栄養学（医歯薬出版）
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション 栄養の基本概念(栄養とは 健康と栄養評価 食行動と管理目標)		
2	食生活の課題(食と環境・食と健康・食文化)		
3	日本人の食事摂取基準		
4	栄養指導・保健指導(栄養指導の過程と栄養スクリーニング)		
5	食物と栄養(栄養素とその働き)(1) 炭水化物の種類、エネルギー		
6	食物と栄養(栄養素とその働き)(2) 脂質・たんぱく質		
7	食物と栄養(栄養素とその働き)(3) ビタミン・無機質		
8	食物の摂取と消化・吸収(食欲・消化の調節・栄養素の吸収)		
9	ライフステージと健康教育(妊娠・授乳期、乳幼児期)		
10	ライフステージと健康教育(学童期・思春期)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	ライフステージと健康教育（成人期・老年期）		
12	疾患別食事指導の実際（1）糖尿病、高血圧、脂質異常症		
13	疾患別食事指導の実際（2）虚血性心疾患 脳卒中等		
14	疾患別食事指導の実際（3）慢性腎臓病 摂食嚥下障害等		
15	経管栄養と中心静脈栄養（栄養療法 経腸・静脈栄養法・栄養管理におけるチームアプローチ）		

基本情報

科目名	感染症学
時間割コード	0222001101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
三森 龍之、徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	ヒトと共生する常在菌叢の働き, ヒトの健康を害する病原微生物・寄生虫の性質や感染機構を理解し, さらに代表的な感染症について, その感染経路, 症状, 予防・治療法に関する基礎知識を修得する。また, 生体防御機構, 各種感染症に有効な化学療法薬・消毒薬の病原体に対する作用とヒトへの影響について理解を深めるとともに, 耐性菌, 新興感染症・再興感染症の出現, 日和見感染症の増加等の医療分野における重要な課題について説明できるようになる。さらに, がん治療に用いる化学療法薬の種類と作用機序についても概説できるようになる。
履修上の注意事項	1) 毎回の準備学習として, 教科書を熟読する。『わかる! 身につく! 病原体・感染・免疫』(主に第1-6回に使用)、 『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学』-第2章, 3章, 4章- (第7-15回に使用) (約1時間) 2) 授業には指定教科書, ノート, プリントを持参する。講義内容を書留め, その日の内に復習する(約1時間)。 3) 講義プリントはファイルし, 専門用語を正確に覚え, その概念を正しく理解する。 4) 教科書・参考書・講義プリント等について理解できない箇所は, 教員に質問する。
評価方法	1) 「授業の目的・到達目標」に示した内容の達成度を評価するため, 学期末に筆記試験を行う。 配点: 第1~6回の講義 40%、第7~15回 60% 2) 小テスト結果のフィードバックとして, 授業内でポイントの解説を行う。
テキスト	1) 『わかる! 身につく! 病原体・感染・免疫 第3版』 藤本 編, 南山堂3,080円 2) 教員作成プリント 3) 『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学』 吉岡 他著, 医学書院 2,530円 (薬理学でも使用する)
参考文献	1) 『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進4 微生物学』 南嶋 他著, 医学書院 2) 『わかりやすい薬理学 第4版』 安原 他編, ヌーヴェルヒロカワ 3) 『コメディカルのための薬理学 第3版』 渡邊 他編, 朝倉書店
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	感染症学概論、常在菌叢とその働き (三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
2	病原微生物の分類と特性(構造、性質、病原性、感染機構)(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
3	細菌と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
4	真菌と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
5	ウイルスと感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
6	寄生虫・原虫と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
7	感染に対する生体防御機構(免疫系)、予防接種用薬(徳富)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	感染症に対する薬物（化学療法薬概論）、薬物動態（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	抗菌薬（抗生物質）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	抗菌薬（合成抗菌薬）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	抗結核薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	抗真菌薬、抗原虫薬、抗寄生虫薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	抗ウイルス薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	消毒薬・殺菌薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	抗がん薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	薬理学
時間割コード	0222001201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	薬物とは、恒常性（ホメオスタシス）の破綻による生体機能の異常（病態）を正常範囲に戻そうとする目的で、疾病の治療・予防・診断に用いられる化学物質である。日進月歩の薬物療法が、医療・保健・福祉の現場で適正かつ有効に行われているか判断できるよう、各種薬物を系統的に把握し理解する。基本的な薬理学の知識に基づく論理的思考力を駆使して、副作用の発現防止に寄与するための応用力を身につける。薬物療法の基礎知識を用い、論理的思考を展開できることを目標とする。
履修上の注意事項	1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること（1時間程度）。 2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること（1時間程度）。 3) 講義プリントはファイルし、薬理学授業時に、教科書、ノートと一緒に必ず持ってくる。こと。 4) 専門用語は正確に覚え、その概念を正しく理解すること。理解できない内容は講義の前後に質問すること。
評価方法	1) 学期末の本試験（100%：筆記試験）で評価する。 2) 「薬物療法の基礎知識を用い、論理的思考を展開できる」を評価基準とする。 3) 最終授業で、全体に対するフィードバックを行う。
テキスト	1) 『コメディカルのための薬理学 第3版』渡邊 他編，朝倉書店 4,070円（感染症学でも使用） 2) 教員作成プリント
参考文献	1) 『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学』吉岡 他著，医学書院 2) 『わかりやすい薬理学 第4版』安原 他編，ヌーヴェルヒロカワ 3) 『今日の治療薬2021』浦部他編，南江堂
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	薬理学総論（薬物療法、関係法規、薬物の作用点）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
2	薬理学総論（薬物相互作用）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
3	薬理学総論（薬物動態）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
4	薬理学総論（年齢・臓器障害等による薬物動態変化、剤形）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
5	末梢神経系作用薬（交感神経系作用薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
6	末梢神経系作用薬（副交感神経系作用薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
7	末梢神経系作用薬（筋弛緩薬、局所麻酔薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
8	循環器系作用薬（抗不整脈薬、心不全治療薬、狭心症治療薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	循環器系作用薬（高血圧治療薬、末梢血管作用薬、利尿薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
10	中枢神経系作用薬(全身麻酔薬、催眠薬、抗不安薬、抗精神病薬、抗うつ・躁薬)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
11	中枢神経系作用薬(抗てんかん薬、パーキンソン病治療薬、麻薬性鎮痛薬、中枢興奮薬)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
12	炎症・免疫疾患に対する薬物(抗炎症・抗アレルギー薬、免疫抑制薬、免疫増強薬)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
13	呼吸器系疾患に対する薬物(気管支喘息治療薬、COPD治療薬、鎮咳・去痰薬)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
14	消化器系疾患に対する薬物(消化性潰瘍治療薬,他), 泌尿器系疾患に対する薬物(排尿障害治療薬)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
15	代謝・内分泌系疾患に対する薬物(糖尿病治療薬、痛風治療薬、他)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	

基本情報

科目名	国際協力論
時間割コード	1000370201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	安藤 学
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
安藤 学、川原 英照、川原 光祐、久家 誠司

詳細情報

授業の目的・到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養する」ための科目として位置付ける。今日、貧困・教育・紛争・環境破壊・エイズ・食糧問題など地球規模の諸問題はますます深刻な状況にあります。このような問題は、私たち日本人にとっても遠い国の問題ではありません。私たちも国際社会の一員として世界の国々と協調連帯して国際協力を推進するための能力を修得することができる。
履修上の注意事項	オムニバスであるので、毎回の出席を心がける。事前に出され課題について調べて授業に臨むことと、授業後に授業前に出された課題と授業で学んだ内容について比較して復習をすること。
評価方法	レポート(80%コメントして返却します。) 授業への取り組み20%
テキスト	資料を準備する
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	川原英照 れんげ国際ボランティア会 会長 川原光祐 れんげ国際ボランティア会 常務理事 久家誠司 れんげ国際ボランティア会 事務局長

授業計画

授業計画
事前学修：毎回授業内容について調べておく(2時間) 事後学修：毎回授業で学修した内容について復習する(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	国際協力とは何か(安藤)		
2	政府開発援助(安藤)		
3	政府開発援助の事例(安藤)		
4	NGOによる民間協力(安藤)		
5	NGOによる民間協力の事例(安藤)		
6	技術協力の方法(川原光祐)		
7	技術協力の方法の事例(久家)		
8	参加型開発(久家)		
9	参加型開発の事例(久家)		
10	国際協力の理念(久家)		
11	国際協力の理念の事例(久家)		
12	国際協力の事例(民間)(久家)		
13	国際協力の事例(政府)(安藤)		
14	国際理解と支援活動(安藤)		
15	今後の国際協力のあり方(安藤)		

基本情報

科目名	危機管理と災害支援
時間割コード	1000380201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	安藤 学
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
安藤 学

詳細情報

授業の目的・到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養する」ための科目として位置付ける。日常生活の中においても、危険は常に存在する。もちろん日常生活だけではなく拡大して考えれば地球上にはいろんな危険が存在しており、それに対する危機管理が必要である。家庭内の危険から出発し国際紛争までいたる危機管理について学ぶ。そして、災害についての危機管理と災害発生後の支援のあり方について検討できる能力を修得することができる。
履修上の注意事項	授業前に出された課題を完成させて授業に臨み、授業後は授業前の課題と授業で学んだことを比較して復習をすること。
評価方法	レポート提出（80%コメントして返却します。）、授業への取り組み姿勢（20%）
テキスト	なし
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
事前学修：毎回事前に内容について調べておく(2時間) 事後学修：毎回授業で学修した内容を復習する(2時間)

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	危機管理論オリエンテーション		
2	危機管理とは何か		
3	危険とは何か		
4	家庭における危険と危機管理		
5	地域社会における危険と危機管理		
6	学校における危険と危機管理		
7	企業における危険と危機管理		
8	国家における危険と危機管理		
9	国家間のバランスと危機管理（安全保障）		
10	地方自治体の危機管理		
11	住民の避難行動		
12	災害支援の方法 1（災害発生時）		
13	災害支援の方法 2（自活生存）		
14	災害支援の方法 3（避難救助）		
15	危機管理についての総まとめ		

基本情報

科目名	発達心理学
時間割コード	1000040201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
水間 宗幸

詳細情報

授業の目的・到達目標	基本的な教養および対人専門職の基礎的位置づけとして発達心理を位置付け、これを学ぶことにより自己及び他者をひとつの人格として考えることができる。またそれぞれの発達段階の一般的特性を理解し、望ましい発達およびその支援を考えることができる。
履修上の注意事項	事前にテキストによる学習を行うこと。復習時にはキーワードを自分のことばで説明できるようにしておくこと。
評価方法	学んだことについて総合的な理解がどの程度できているか、レポートにて評価する(100%)。フィードバックについては希望者に対し個別でレポートのコメントを行う。
テキスト	『新・プリマーズ/保育/心理 発達心理学』 無藤隆・中坪史典・西山修編著 ミネルヴァ書房
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	専門職として発達心理学を学ぶ意義～ガイダンス		
2	発達心理学の基礎理解～発達理論、発達段階、発達課題、発達と学習の関係		
3	乳幼児期の発達の特徴～人・モノとの出会い		
4	愛着形成～親との関係性と子どもの行動		
5	認知発達～子どもの遊びと社会性の広がり		
6	ことばとコミュニケーションの発達		
7	自己と情動の発達～感情発達が行動に与える影響		
8	仲間関係とこころの理解		
9	道徳性と向社会的行動の発達～集団の中で学ぶもの		
10	児童期の発達の特徴～学校という環境と発達の関係		
11	学校のなかでの子ども～学びを支える指導の在り方		
12	発達の多様性の理解～発達のつまづきや多様化する社会の中の子どもの困り感		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	思春期・青年期の発達の特徴とアイデンティティの形成		
14	成人期から老年期の発達と課題		
15	発達と学び～生涯学習と生涯発達支援		

基本情報

科目名	生命倫理
時間割コード	1000240201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
柴田 恵子

詳細情報

授業の目的・到達目標	生命に関する倫理的諸問題について、人はどのように対処すべきだと考えられるかについて理解する。先端医療を始めとするバイオテクノロジーの発展がもたらす恩恵とそれにともない問われることになった生命の意味について、基本的概念とその問題点の学びから生命倫理学に関心を持ち、保健・医療・福祉の従事者としての考えを深められるようになる。
履修上の注意事項	レポート発表、グループワークを行うので積極的に授業に参加をすること。課題に対して自分の意見を準備しておくこと。第1回目のオリエンテーション時に授業前・後の学習について説明をするので、具体的な学習方法を考え実践すること。課題レポートは授業前の事前学習であり、講義期間中のテスト形式の振り返りはそれまでの学習の復習を兼ねた事後学習である。
評価方法	定期試験：60%、学習態度・状況（レポート提出、グループ活動の参加と発表）：40%
テキスト	随時、紹介する。
参考文献	『生命倫理学を学ぶ人のために』（加藤尚武・加茂直樹編）世界思想社
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	本学における担当者は病院における看護師、助産師、学校における養護教諭実務経験者である。

授業計画

授業計画
オリエンテーションにおいて事前学習・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。非常勤講師が担当する授業は、補講予定日に行われる予定である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、現代社会と生命倫理：生命の質（柴田）	オリエンテーションにおいて事前学習・事後学習について説明する。	
2	インフォームド・コンセント（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
3	尊厳死（川本）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
4	安楽死（川本）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
5	終末期ケア（川本）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
6	小児期の保健・医療と生命倫理（二宮）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	

授業計画

オリエンテーションにおいて事前学習・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。非常勤講師が担当する授業は、補講予定日に行われる予定である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	周産期医療と生命倫理（松本）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
8	医療資源の配分（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
9	パーソン論（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
10	パターナリズムと患者の権利（未定）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
11	自律とwell-being（未定）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
12	専門職の役割・責務（未定）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
13	ケアと生命倫理（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
14	倫理の源を考える：規範倫理学の時代（村田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
15	倫理の源を考える：応用倫理学の発展（村田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	

基本情報

科目名	社会福祉の原理と政策
時間割コード	1000530201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	未定
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 福祉政策の課題について理解する。 2 福祉政策の構成要素（福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を含む）について理解する。 3 社会福祉をめぐる日本及び諸外国の動向について理解する。 4 福祉政策と関連政策（教育政策、住宅政策、労働政策を含む）の関係について理解する。 5 相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。
履修上の注意事項	授業前にテキストを読み、キーワードについて調べてくること。 授業後に復習しておくこと。
評価方法	定期試験60%、レポート40%で評価する。
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編『現代社会と福祉』第4版（中央法規、2019年）。
参考文献	厚生労働省編『（平成31年版）厚生労働白書』（ぎょうせい、2019年）。 内閣府編『（平成31年版）障害者白書』（日経印刷、2019年）。『社会福祉六法』（最新版）。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、福祉政策の現代的課題		
2	福祉政策の課題と国際動向（社会的包摂、社会連帯、セーフティネット、その他）		
3	福祉政策の論点1（効率性と公平性、必要と資源、普遍主義と選別主義、自立と依存、ジェンダー）		
4	福祉政策の論点2（自己選択とパターナリズム、参加とエンパワーメント、福祉政策の視座）		
5	福祉政策における政府の役割		
6	福祉政策における市場の役割		
7	福祉政策における国民の役割		
8	福祉供給部門（政府部門、民間部門、ボランティア部門、インフォーマル部門、その他）		
9	福祉供給過程（公私関係、再分配、割当、行財政、計画、その他）		
10	福祉利用過程（スティグマ、情報の非対称性、受給資格とシティズンシップ、その他）		
11	福祉政策と教育政策、福祉政策と住宅政策など		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	福祉政策と労働政策、震災と福祉政策など		
13	福祉供給の政策過程と実施過程		
14	福祉政策の国際比較		
15	福祉政策の課題と展望		

基本情報

科目名	社会保障論
時間割コード	0223700201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	阿部 敦
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名	
阿部 敦	

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会保障論 では、指定教科書の中でも、特に概論的な部分に焦点をあてます。具体的には、「現代社会と社会保障」、「社会保障の概念や対象およびその理念」、「社会保障の財政」、「社会保険・社会扶助・民間保険の関係」などについて理解を深めます。こうした項目における学びを通じて、社会保障の今日的な重要性を自らの言葉で説明できるようになること - - -これが、本講義のねらいになります。
履修上の注意事項	(1)テキストを持参して受講することが求められます。 (2)可能な限り予習(30分程度)をして講義に臨み、講義後は、適宜、復習をしてください。 (3)受講生の理解度および社会保障論 とのつながりを考慮し、若干、講義内容を変更する可能性があります。
評価方法	レポート 75% 試験 25% なお、再試験は実施しません
テキスト	一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編)『7 社会保障』 (中央法規出版、2021年)
参考文献	特に指定はしませんが、新聞やニュースなどには目を通すようにしてください。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
基本的には指定教科書の内容に即して講義を行う。ただし、資格対策の側面を意識しつつも、大学教育として必要となる「脱資格教育的観点」からのプラスアルファ的な内容も、これを積極的に取り入れることとする。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	現代社会と社会保障(1) 人口動態の変化	[事前学習]教科書の該当箇所に目を通す。 [事後学修]レジュメを見直す。	
2	現代社会と社会保障(2) 経済環境の変化 労働環境の変化	[事前学習]教科書の該当箇所に目を通す。 [事後学修]レジュメを見直す。	
3	社会保障の概念と範囲 社会保障の役割と意義	[事前学習]教科書の該当箇所に目を通す。 [事後学修]レジュメを見直す。	
4	社会保障の理念 社会保障の対象	[事前学習]教科書の該当箇所に目を通す。 [事後学修]レジュメを見直す。	
5	社会保障制度の展開(1)	[事前学習]教科書の該当箇所に目を通す。 [事後学修]レジュメを見直す。	
6	社会保障制度の展開(2)	[事前学習]教科書の該当箇所に目を通す。 [事後学修]レジュメを見直す。	
7	社会保障制度の展開(3)	[事前学習]教科書の該当箇所に目を通す。 [事後学修]レジュメを見直す。	

授業計画

基本的には指定教科書の内容に即して講義を行う。ただし、資格対策の側面を意識しつつも、大学教育として必要となる「脱資格教育的観点」からのプラスアルファ的な内容も、これを積極的に取り入れることとする。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	社会保障の財政 社会保障給付費・内訳・動向	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
9	国民負担率 社会保障と経済	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
10	社会保険	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
11	社会扶助	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
12	社会保険と民間保険の現状 ここまでのまとめ	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
13	医療保険制度（ ） 医療保険制度の 沿革と概要、健康保険と共済制度	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
14	医療保険制度（ ） 国民健康保険制 度、後期高齢者医療制度	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
15	医療保険制度（ ） 国民医療費と医 療をめぐる最近の動向	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	

基本情報

科目名	社会保障論
時間割コード	0223700301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	阿部 敦
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名	
阿部 敦	

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会保障論 では、指定教科書の中でも、特に制度の部分に焦点をあてます。具体的には、「年金保険制度」、「介護保険制度」、「労働保険制度」、「社会福祉制度」、「民間保険制度」などについて理解を深めます。こうした項目における学びを通じて、社会保障の今日の重要性を自らの言葉で説明できるようになること - - これが、本講義のねらいになります。
履修上の注意事項	(1)テキストを持参して、受講するようにしてください (2)できる限り予習(30分程度)をして講義に臨み、講義後は、復習をしてください (3)受講生の理解度を考慮に入れ、若干、講義内容を変更する可能性があります
評価方法	レポート 75% 試験 25% なお、再試験は実施しません
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会(編)『新・社会福祉士養成講座12 社会保障』(中央法規出版、2020年)
参考文献	特に指定はしませんが、新聞やニュースには目を通すようにして下さい
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、社会保障の概念(社会保障論 の内容確認)	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
2	社会福祉制度() - - 制度の概要	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
3	社会福祉制度() - - 生活保護制度	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
4	社会福祉制度() - - 生活保護制度をめぐる近年の動向	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
5	社会福祉制度() - - 児童福祉と近年の動向	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
6	社会福祉制度() - - 障害者福祉と近年の動向	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
7	社会福祉制度() - - ひとり親家庭の支援と社会手当制度	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	労働保険制度（ ） - - 制度の概要と労働者災害補償保険、雇用保険	〔事前学習〕教科書の該当箇所に通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
9	労働保険制度（ ） - - 制度をめぐる近年の動向	〔事前学習〕教科書の該当箇所に通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
10	介護保険制度（ ） - - 制度設立の経緯と制度の概要	〔事前学習〕教科書の該当箇所に通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
11	介護保険制度（ ） - - 制度をめぐる近年の動向	〔事前学習〕教科書の該当箇所に通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
12	年金制度（ ） - - 年金保険制度の概要と国民保険	〔事前学習〕教科書の該当箇所に通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
13	年金制度（ ） - - 厚生年金保険と共済年金、および制度をめぐる近年の動向	〔事前学習〕教科書の該当箇所に通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
14	社会保障と民間保険	〔事前学習〕教科書の該当箇所に通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
15	諸外国における社会保障制度	〔事前学習〕教科書の該当箇所に通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	

基本情報

科目名	ソーシャルワーク論
時間割コード	1000540201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
増田 公香

詳細情報

授業の目的・到達目標	1.社会福祉士、精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。 2.ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成について理解する。 3.ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。
履修上の注意事項	毎回講義資料を配布するので、授業後は教科書の内容とともに復習し、理解しておくこと。 また、わからない用語については調べておくこと(120分) 事後には講義内容を配布資料やテキストをもとに復習し、必要に応じて講義内にて提示される課題に取り組むこと(120分)。
評価方法	試験80%、課題レポート20%により評価する。
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の基盤と専門職』中央法規(最新版)
参考文献	講義内にて適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	現代社会の特性から、地域生活における課題を理解できる。		
2	社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義について、各身分法の定義と役割から理解する。		
3	社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義について、法制度見直しの背景や義務から理解する。		
4	社会福祉士、精神保健福祉士の専門性を理解する。		
5	ソーシャルワークの概念を、国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)の定義から理解する。		
6	ソーシャルワークの構成要素を、知識、技術、価値の側面から理解する。		
7	ソーシャルワークの形成について、基礎確立期をもとに理解する。		
8	ソーシャルワークの形成について、展開期をもとに理解する。		
9	ソーシャルワークの形成について、統合化とジェネラリスト・ソーシャルワークから理解する。		
10	ソーシャルワークの実践について、理念と価値や判断から理解する。		
11	ソーシャルワークの理念として、人権尊重と社会正義、利用者本位、尊厳の保持から理解する。		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	ソーシャルワークにおける権利擁護の背景・定義・種類・システムを理解する。		
13	ソーシャルワークにおける権利擁護の意義と実践を理解する。		
14	自己決定と自立支援、エンパワーメントとストレングス視点を理解する。		
15	ノーマライゼーションや地域生活支援、ソーシャル・インクルージョンを理解する。		

基本情報

科目名	ソーシャルワーク論
時間割コード	1000550201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
増田 公香

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 社会福祉士の職域と求められる役割について理解する。</p> <p>2. ソーシャルワークに関わる専門職の概念と範囲について理解する。</p> <p>3. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と関連性について理解する。</p> <p>4. 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。</p>
履修上の注意事項	<p>事前に次回の講義内容に該当するテキスト部分を読んでおくこと。またわからない用語については調べておくこと(120分)</p> <p>事後には講義内容を配布資料やテキストをもとに復習し、必要に応じて講義内にて提示される課題に取り組むこと(120分)</p>
評価方法	定期試験及びレポート・平常点で総合評価する。詳細は授業内で提示する。
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編『相談援助の基盤と専門職』中央法規(最新版)
参考文献	講義内にて適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ソーシャルワーカーである社会福祉士の職域と役割		
2	ソーシャルワークに関わる専門職の概念と範囲		
3	社会福祉士の職域の変遷と拡大		
4	福祉行政等における専門職と民間の施設・組織における専門職		
5	ソーシャルワークにおける諸外国の動向		
6	ミクロ・めぞ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの意味と対象		
7	ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの介入と関連性		
8	ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの実際		
9	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容		
10	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容		
11	ジェネラリストの視点に基づく多機関による包括的支援体制		
12	ジェネラリスト視点に基づくソーシャルサポートネットワーク		
13	ジェネラリストの視点に基づく多職種連携及びチームアプローチの意義		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	ジェネラリストの視点に基づく機関・団体間の合意形成と相互関係		
15	ジェネラリストの視点に基づく利用者、家族の参画		

基本情報

科目名	基礎演習
時間割コード	1000560201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	阿部 敦
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
阿部 敦

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大学初年次において、高校までとは違った大学生活、学習環境等への適応性を高める。 ・「授業リテラシー」の獲得、コミュニケーション・スキルの習得等を目指す。 ・将来の専門職等への進路（キャリアプラン）について考えることができる。 ・PPTを使いこなすことができる。
履修上の注意事項	出席するだけでなく、授業の内容をもとに、予習・復習を行う。また、授業には積極的な態度で参加する。 なお、受講生の理解度および進捗状況などを鑑み、当初の演習内容を、一定程度、変更する可能性がある。
評価方法	課題レポート50%および発表等50%によって総合評価を行う。
テキスト	適宜、プリント資料等を配布する。
参考文献	担当教員から、授業中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
当該科目は、各担当者ごとにクラスを分けて講義を実施する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	本の検索について	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された資料を読んでおく ・自宅で検索の実演をする 	
3	論文の検索について	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された資料を読んでおく ・自宅で検索の実演をする 	
4	新聞の検索について	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された資料を読んでおく ・自宅で検索の実演をする 	
5	福祉・教育に関するテーマ（1）	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された資料を読んでおく ・レジュメを読み直しておく 	
6	福祉・教育に関するテーマ（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された資料を読んでおく ・レジュメを読み直しておく 	
7	福祉・教育に関するテーマ（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された資料を読んでおく ・レジュメを読み直しておく 	
8	学問領域の探索（学科教員研究室訪問等）		
9	学問領域の探索（学科教員研究室訪問等）		
10	研究室訪問の感想		
11	福祉・教育に関するテーマ（4）	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された資料を読んでおく ・レジュメを読み直しておく 	
12	PPTの発表（1）	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された資料を読んでおく ・PPT発表の感想を書く 	
13	PPTの発表（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された資料を読んでおく ・PPT発表の感想を書く 	

授業計画

当該科目は、各担当者ごとにクラスを分けて講義を実施する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	PPTの発表（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された資料を読んでおく ・PPT発表の感想を書く 	
15	全体指導：これまでの振り返りとキャリア形成について		

基本情報

科目名	基礎演習
時間割コード	1000560202
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	大学初年次において、高校までとは違った大学生活、学習環境等への適応性を高める。また、「授業リテラシー」の獲得、コミュニケーション・スキルの習得等を目指すとともに、将来の専門職等への進路（キャリアプラン）について考えることができる。
履修上の注意事項	出席するだけでなく、授業の内容をもとに、予習・復習を行う。また、授業には積極的な態度で参加する。 毎回課題を出すため事前に予習をしてくること（60分程度）。また復習をすること（60分程度）。 なお、受講生の理解度および進捗状況などを鑑み、当初の演習内容を、一定程度、変更する可能性がある。
評価方法	課題レポート50%および発表等50%によって総合評価を行う。
テキスト	適宜、プリント資料等を配布する。
参考文献	担当教員から、授業中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	研究員として障害者支援施設に勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	全体指導：オリエンテーション：大学授業履修にかかわるガイダンス		
2	環境適応 1 対人関係づくり		
3	環境適応 2 対人関係づくり		
4	環境適応 3 対人関係づくり		
5	学生生活の設計 1（図書館利用・文献検索）		
6	学生生活の設計 2		
7	学問領域の探索準備		
8	学問領域の探索（学科教員研究室訪問等）		
9	学問領域の探索（学科教員研究室訪問等）		
10	学問領域の探索報告		
11	文献の講読 1		
12	文献の講読 2		
13	学生生活の設計 3		
14	学生生活の設計 4		
15	全体指導：これまでの振り返りとキャリア形成について		

基本情報

科目名	基礎演習
時間割コード	1000560203
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>この授業では、教育（学）の理論的・実践的なテキストの読解・解釈をとおして、教育実践をおこなっていくための基礎的な知識・技能を得ることを目的とします。とくに、前期は、養護教諭にかんする理論的なテキストや実践記録を読むことをとおして、今日の学校教育がかかえる諸問題に、養護教諭がいかにかわり、解決への糸口をみいだすことができるのかを探求します。</p> <p>この授業では、以下のことを目標とします。</p> <p>(1) テキストの読解・解釈をおこない、その内容について理解し、説明することができる。</p> <p>(2) テキストの要約およびコメントを付した資料を作成し、発表をおこなうとともに、それにもとづいて他者と意見を交わすことができる。</p> <p>(3) テキストの読解・解釈をとおして得たことがらなどとおして、自分自身が取り組むべき課題をみいだすことができる。</p>
履修上の注意事項	初回の授業で、授業でとりあげるテキストの選定および発表者の決定をおこないます。指定するテキストは、かならず読んだうえで授業に参加してください。
評価方法	授業での発表（50%）および学期末レポート（50%）によって総合評価を行う。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 授業全体の概要および購読するテキストの選定と発表者の決定		
2	文献検索の方法		
3	論文の書き方		
4	文献購読（1）		
5	文献購読（2）		
6	文献購読（3）		
7	文献購読（4）		
8	文献購読（5）		
9	文献購読（6）		
10	文献購読（7）		
11	文献購読（8）		
12	文献購読（9）		
13	文献購読（10）		
14	論文作成にむけての発表（1）		
15	論文作成にむけての発表（2）		

基本情報

科目名	基礎演習
時間割コード	1000560204
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	李 玄玉
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
李 玄玉

詳細情報

授業の目的・到達目標	
履修上の注意事項	
評価方法	
テキスト	
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	基礎演習
時間割コード	1000570201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	阿部 敦
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
阿部 敦

詳細情報

授業の目的・到達目標	「基礎演習」での学びを継続的に深化させながら、「基礎演習」では新たに次の2つの柱が目標として設定されている。 1. 社会問題をピックアップした演習形式の授業を通じて、社会や福祉のあり方を考える。 2. コロナ禍である以上、状況次第にはなるが、可能であればフィールドワークなどを通して、身近な社会問題を把握できる。
履修上の注意事項	授業には積極的な態度で参加すること。 毎回課題を出すため事前に予習をしてくること(60分程度)。また復習をすること(60分程度)。
評価方法	課題レポート30%、フィールドワーク30%、発表40%による評価を行う。
テキスト	適宜、プリント資料等を配布する。
参考文献	担当教員から、授業中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	全体指導：オリエンテーション：単位取得状況の確認および履修のガイダンス		
2	フィールドワーク等の事前準備 全体指導		
3	フィールドワーク等の事前準備 クラス別指導		
4	フィールドワーク等の事前準備 クラス別指導		
5	フィールドワーク等の実施 クラス別指導		
6	フィールドワーク等の実施 クラス別指導		
7	フィールドワーク等の実施 クラス別指導		
8	フィールドワーク等の事後指導 振り返り、整理とまとめ		
9	フィールドワーク等の事後指導 プレゼンテーション準備		
10	フィールドワーク等の事後指導 プレゼンテーション準備		
11	フィールドワーク等の事後指導 プレゼンテーション準備		
12	フィールドワーク等の事後指導 プレゼンテーション実施		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	フィールドワーク等の事後指導 プレゼンテーション実施		
14	クラスごとに「社会問題 を考える」ことの総括		
15	全体指導： 学生生活の設計と学習の方向性、キャリア支援、 専門教育へ		

基本情報

科目名	基礎演習
時間割コード	1000570202
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	「基礎演習」での学びを継続的に深化させながら、「基礎演習」では新たに次の2つの柱が目標として設定されている。 1. 社会問題をピックアップした演習形式の授業を通じて、社会や福祉のあり方を考える。 2. フィールドワークなどを通して、身近な社会問題を把握できる。
履修上の注意事項	授業には積極的な態度で参加すること。なお、学生状況に応じてフィールドワークを実施する。毎回課題を出すため事前に予習をしてくること(60分程度)。また復習をすること(60分程度)。
評価方法	課題レポート30%、フィールドワーク30%、発表40%による評価を行う。
テキスト	適宜、プリント資料等を配布する。
参考文献	担当教員から、授業中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	研究員として障害者支援施設に勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	全体指導：オリエンテーション：単位取得状況の確認および履修のガイダンス		
2	フィールドワーク等の事前準備 全体指導		
3	フィールドワーク等の事前準備 クラス別指導		
4	フィールドワーク等の事前準備 クラス別指導		
5	フィールドワーク等の実施 クラス別指導		
6	フィールドワーク等の実施 クラス別指導		
7	フィールドワーク等の実施 クラス別指導		
8	フィールドワーク等の事後指導 振り返り、整理とまとめ		
9	フィールドワーク等の事後指導 プレゼンテーション準備		
10	フィールドワーク等の事後指導 プレゼンテーション準備		
11	フィールドワーク等の事後指導 プレゼンテーション準備		
12	フィールドワーク等の事後指導 プレゼンテーション実施		
13	フィールドワーク等の事後指導 プレゼンテーション実施		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	クラスごとに「社会問題を考える」ことの総括		
15	全体指導： 学生生活の設計と学習の方向性、キャリア支援、専門教育へ		

基本情報

科目名	基礎演習
時間割コード	1000570203
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>この授業では、教育（学）の理論的・実践的なテキストの読解・解釈をとおして、教育実践をおこなっていくための基礎的な知識・技能を得ることを目的とします。後期は、養護教諭にかんする理論的なテキストおよび生活指導にかんするテキストをとおして、いかにして今日の学校教育がかかえる諸問題の解決への糸口をみいだすことができるのかを探求します。</p> <p>この授業では、以下のことを目標とします。</p> <p>(1) テキストの読解・解釈をおこない、その内容について理解し、説明することができる。</p> <p>(2) テキストの要約およびコメントを付した資料を作成し、発表をおこなうとともに、それにもとづいて他者と意見を交わすことができる。</p> <p>(3) テキストの読解・解釈をとおして得たことがらなどをとおして、自分自身が取り組むべき課題をみいだすことができる。</p>
履修上の注意事項	<p>初回の授業で、授業でとりあげるテキストの選定および発表者の決定をおこないます。指定するテキストは、かならず読んでうえで授業に参加してください。</p>
評価方法	<p>授業での発表（50%）および学期末レポート（50%）によって総合評価を行う。</p>
テキスト	<p>教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する</p>
参考文献	<p>参考書については授業ごとに適宜紹介する。</p>
実務経験のある教員による授業	<p>無</p>
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 授業全体の概要および購読するテキストの選定と発表者の決定		
2	文献購読（1）		
3	文献購読（2）		
4	文献購読（3）		
5	文献購読（4）		
6	文献購読（5）		
7	文献購読（6）		
8	文献購読（7）		
9	文献購読（8）		
10	文献購読（9）		
11	文献購読（10）		
12	文献購読（11）		
13	論文作成にむけての発表（1）		
14	論文作成にむけての発表（2）		
15	論文作成にむけての発表（3）		

基本情報

科目名	基礎演習
時間割コード	1000570204
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	李 玄玉
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
李 玄玉

詳細情報

授業の目的・到達目標	「基礎演習」での学びを継続的に深化させながら、「基礎演習」では新たに次の2つの柱が目標として設定されている。 1. 社会問題をピックアップした演習形式の授業を通じて、社会や福祉のあり方を考える。 2. フィールドワークなどを通して、身近な社会問題を把握できる。
履修上の注意事項	授業には積極的な態度で参加すること。なお、学生状況に応じてフィールドワークを実施する。毎回課題を出すため事前に予習をしてくること(60分程度)。また復習をすること(60分程度)。
評価方法	課題レポート30%、フィールドワーク30%、発表40%による評価を行う。
テキスト	適宜、プリント資料等を配布する。
参考文献	担当教員から、授業中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	全体指導：オリエンテーション：単位取得状況の確認および履修のガイダンス		
2	フィールドワーク等の事前準備 全体指導		
3	フィールドワーク等の事前準備 クラス別指導		
4	フィールドワーク等の事前準備 クラス別指導		
5	フィールドワーク等の実施 クラス別指導		
6	フィールドワーク等の実施 クラス別指導		
7	フィールドワーク等の実施 クラス別指導		
8	フィールドワーク等の事後指導 振り返り、整理とまとめ		
9	フィールドワーク等の事後指導 プレゼンテーション準備		
10	フィールドワーク等の事後指導 プレゼンテーション準備		
11	フィールドワーク等の事後指導 プレゼンテーション準備		
12	フィールドワーク等の事後指導 プレゼンテーション実施		
13	フィールドワーク等の事後指導 プレゼンテーション実施		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	クラスごとに「社会問題を考える」ことの総括		
15	全体指導： 学生生活の設計と学習の方向性、キャリア支援、 専門教育へ		

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800104
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	阿部 敦
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
阿部 敦

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業論文を執筆する上で必要となる幾つかの技法(例;文献検索、レジュメの作成、PPTの作成、論文の書き方、プレゼンテーションの仕方など)について学ぶ。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・相応の理由なき欠席は、これを認めない。 ・議論や発表には、主体的に関与することを強く求めます。 ・最終的には、1人あたり30～40分程度の発表を求めます(プレゼンテーションの部分)。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義への参加および貢献度(40%) ・プレゼンテーション(40%) ・課題への取り組み(20%)
テキスト	必要に応じて指示する。
参考文献	必要に応じて指示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(演習の運営方針、年間予定など)		
2	文献検索の手法 - 1(書籍、論文)		
3	文献検索の手法 - 2(新聞、コピーの取り寄せ)		
4	論文の書き方 - 1(序論)		
5	論文の書き方 - 2(論文の枠組み)		
6	論文の書き方 - 3(アイデアをまとめるときの注意事項)		
7	ゼミメンバー間で、お互いの問題意識を語り合う		
8	文献検討 - 1		
9	文献検討 - 2		
10	文献検討 3		
11	文献検討 - 4		
12	ゼミ生によるプレゼンテーション - 1		
13	ゼミ生によるプレゼンテーション - 2		
14	ゼミ生によるプレゼンテーション - 3		
15	ゼミ生によるプレゼンテーション - 4		

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800105
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	研究デザインや資料収集及び解析の方法を学び、学術論文を書くための技法を習得する。
履修上の注意事項	定期的(毎週)に進捗状況の報告とそれに対するアドバイスを行う。
評価方法	1 実現可能なテーマを設定することができたか。 2 全体の研究の構想を見通すことができたか。 3 必要な資料収集の計画を立てることができたか。
テキスト	特に使用(指定)しないが、必要に応じて準備する。
参考文献	各学生に関連するものを随時紹介(提供)する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800108
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	竹中 健
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
竹中 健

詳細情報

授業の目的・到達目標	文献検索の手法、文献購読(専門書の精読)のしかた、プレゼンテーションのしかた、議論のしかた、コメントのしかたを学びます。
履修上の注意事項	評価基準の中で、必ず毎回ゼミに出席することを、最低要件とします。正当な理由のない欠席は認められません。また3分の1を超える欠席があったばあいには、いかなる理由があっても単位は認めません。本ゼミは学生に高い水準の課題を課し、その達成を単位取得の条件とします。ゼミ希望者は、自分が研究したいテーマについて、あらかじめ3500文字(A4で2枚)程度にまとめたものを持参してください。
評価方法	レポートのしかたや発言等、ゼミへの積極的なかわりかたを総合的に判断します。
テキスト	適宜、読むべき資料を指示します。毎回必ず資料すべてのページを精読したうえで出席してください。事前に資料を読まずに出席することは認められません。
参考文献	授業の中で適宜、紹介します。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800110
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	李 玄玉
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
李 玄玉

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 自閉症・ADHD(注意欠陥多動性)・アスペルガ障害・学習障害(LD)・高機能自閉症など発達障害児への理解、治療教育、支援に関わる領域や障害児の親、兄弟、家族の問題と支援に関する領域</p> <p>また、不登校に関する領域について概説したのち、自分の関心領域について情報を収集する。</p> <p>2. 関連文献を収集・整理し、各テーマに内包されている障害児への教育・治療への社会的課題を先行研究から把握し、障害児への支援について理解を深める。</p>
履修上の注意事項	特になし。
評価方法	発表40%、レジュメやレポート20%、発言20%、研究計画20%の割合で総合的に評価する。
テキスト	特に、指定しない。
参考文献	各自のテーマに関連するもの個々に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>1. 学生が自分の興味・関心ある分野の先行研究論文を収集、それを読んで、レジュメを作成発表する。(発表の順番を決め)</p> <p>2. 発表の後は、みんなでディスカッションと担当教員のコメントで授業を行う。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800117
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
増田 公香

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目はいわゆるゼミという演習科目である。履修者の関心に焦点をあて卒業論文作成に向け基盤となる思考を構築することをそのねらい・目的とする。
履修上の注意事項	ゼミは学生が主人公でグループ全体で構築します。出席を重視します。
評価方法	授業内で提示する。
テキスト	授業内で提示する。
参考文献	授業内で提示する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	イントロダクション		
2	研究方法1		
3	研究方法2		
4	研究方法3		
5	文献研究・ディスカッション		
6	文献研究・ディスカッション		
7	文献研究・ディスカッション		
8	文献研究・ディスカッション		
9	文献研究・ディスカッション		
10	文献研究・ディスカッション		
11	文献研究・ディスカッション		
12	文献研究・ディスカッション		
13	文献研究・ディスカッション		
14	文献研究・ディスカッション		
15	総括		

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800121
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
水間 宗幸

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業研究論文執筆を前提にした、論文の読み方、文献収集の方法、テーマの設定を理解することができる。
履修上の注意事項	各自、自覚を持って取り組むこと
評価方法	態度80%、課題20%で評価を行う。
テキスト	特になし
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	思考のトレーニング		
3	思考のトレーニング		
4	文献紹介		
5	文献紹介		
6	テーマの設定の仕方		
7	テーマの設定の仕方		
8	論文輪読		
9	論文輪読		
10	論文輪読		
11	論文輪読		
12	論文輪読		
13	論文輪読		
14	論文輪読		
15	後期に向けた夏季休業中の課題と研究計画の立て方		

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800122
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	山住 賢司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名	
山住 賢司	

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業研究に先立つ演習であり、4年次での卒業研究論文作成に必要な情報収集や基礎的技術を習得することを目的とする。 本演習並びに社会福祉特別演習を通じて受講者は、自身の研究テーマに関して卒業研究を遂行できるようになる。
履修上の注意事項	ゼミでは各人の積極的な参加姿勢が求められる。
評価方法	ゼミでの発表内容(50%)、提出レジュメ(50%)で評価する。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	「よくわかる卒論の書き方[第2版]」 白井利明・高橋一郎(著) ミネルヴァ書房 2013
参考文献	「改訂新版 心理学論文の書き方」 松井豊(著) 河出書房新社 2010
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
卒業論文の進め方を理解するため「よくわかる卒論の書き方」をテキストとし、各章の輪読並びに解説を行う。 また、心理学における領域の広さや研究方法について理解するために、「心理学を変えた40の研究 ” FORTY STUDIES THAT CHANGED PSYCHOLOGY 4th Edition ” (R. Hock, 2002) 」から、担当章を決めて各人でレジュメを作成・発表を行なう。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	プレゼミに関するガイダンス	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い(120分)、各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
2	卒業研究に向けてのスケジュール作成	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い(120分)、各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
3	卒論とは何か	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い(120分)、各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
4	ゼミでの学び方	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い(120分)、各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
5	論文の書き方	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い(120分)、各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
6	卒論テーマについて	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い(120分)、各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	

授業計画

卒業論文の進め方を理解するため「よくわかる卒論の書き方」をテキストとし、各章の輪読並びに解説を行う。
また、心理学における領域の広さや研究方法について理解するために、「心理学を変えた40の研究 ” FORTY STUDIES THAT CHANGED PSYCHOLOGY 4th Edition ” (R. Hock, 2002) 」から、担当章を決めて各人でレジュメを作成・発表を行なう。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	文献購読発表(1)「心理学を変えた40の研究」よりテーマを選択	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い(120分)、各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
8	文献購読発表(2)「心理学を変えた40の研究」よりテーマを選択	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い(120分)、各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
9	文献購読発表(3)「心理学を変えた40の研究」よりテーマを選択	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い(120分)、各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
10	パソコンを用いた図表の作成法	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い(120分)、各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
11	文献の集め方	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い(120分)、各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
12	先行研究の読み方	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い(120分)、各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
13	研究テーマの深め方	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い(120分)、各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
14	研究の倫理について	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い(120分)、各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
15	研究計画書の書き方	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い(120分)、各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800123
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会の様々な困難に興味を持ち、社会福祉の課題を見出すために文献を読み検討することを目的とする。 論文の書き方を理解し、文献の検索方法と文章の読み方について学び、研究論文の方法を理解する。
履修上の注意事項	演習前には、次回の予定を確認して文献のまとめや分担された範囲の要約をしておくこと。 演習後は、指導内容を振り返り、まとめなおしをすること。 (演習課題としての事前・事後学習に要する時間 計90分程度)
評価方法	積極性、協調性、独自性を重視する。課題の提出50%、取組み50%で評価する。 課題についてはコメントし返却する。
テキスト	指定なし
参考文献	澤田昭夫：論文の書き方．講談社学術文庫
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	論文とはどのようなものか、参考資料をもとに知る。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	文章を読み、その構成を学ぶ。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	興味のある分野の図書をもとに説明し、自分の考えをまとめる能力を得る。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	提示した資料を要約する方法を理解し、実践する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	自らの要約を振り返って説明し、グループでディスカッションする。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
6	文献検索の方法を再確認し、文献(図書)を探してみる。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	1つの文献（図書）の一部を全員で読み、その意味を考える。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	学术论文を検索する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	学术论文を読み、論文の構成等を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	自ら検索して得られた学术论文を要約する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	興味ある分野の図書や学术论文を探索する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	興味のあるキーワードの抽出とその構成を考える。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	興味ある事柄に仮説を立て、立証する方法を考える。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	仮説に対する賛成論、反対論を自分で述べてみることで、自らの考えを知る。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	研究デザインについて学び、仮説を立証するための研究デザインを考える。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800124
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	隈 直子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
隈 直子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究論文作成を念頭に、研究テーマを見出し、基礎的な知識を身につける。 自分で文献・論文の検索ができる。レポート作成やグループ発表の能力を高める。
履修上の注意事項	<p>積極的に議論に参加することが望ましい。</p> <p>授業前には、次回のテキストや資料を読み、わからない事項は下調べをする。次回のテーマに関する文献や資料を調べて読む。発表等の準備をして授業に臨む(120分)。</p> <p>授業後は、配布資料等を見直し、ディスカッション等をふり返り、内容を整理する。わからない事項があれば、関連する文献や資料を調べて読む。(120分)</p>
評価方法	報告内容50%、提出レポート50%で評価する。
テキスト	別途指示する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、演習の進め方、卒業研究論文作成に向けたスケジュールを確認	<p>授業前には、次回のテキストや資料を読み、わからない事項は下調べをする。次回のテーマに関する文献や資料を調べて読む。発表等の準備をして授業に臨む(120分)。</p> <p>授業後は、配布資料等を見直し、ディスカッション等をふり返り、内容を整理する。わからない事項があれば、関連する文献や資料を調べて読む。(120分)</p>	
2	図書館の活用、文献検索方法を確認	<p>授業前には、次回のテキストや資料を読み、わからない事項は下調べをする。次回のテーマに関する文献や資料を調べて読む。発表等の準備をして授業に臨む(120分)。</p> <p>授業後は、配布資料等を見直し、ディスカッション等をふり返り、内容を整理する。わからない事項があれば、関連する文献や資料を調べて読む。(120分)</p>	
3	提示した文献をもとに報告資料の作成方法を学ぶ	<p>授業前には、次回のテキストや資料を読み、わからない事項は下調べをする。次回のテーマに関する文献や資料を調べて読む。発表等の準備をして授業に臨む(120分)。</p> <p>授業後は、配布資料等を見直し、ディスカッション等をふり返り、内容を整理する。わからない事項があれば、関連する文献や資料を調べて読む。(120分)</p>	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	文献の内容を要約し、レジюмеを作成する	授業前には、次回のテキストや資料を読み、わからない事項は下調べをする。次回のテーマに関する文献や資料を調べて読む。発表等の準備をして授業に臨む（120分）。 授業後は、配布資料等を見直し、ディスカッション等をふり返り、内容を整理する。わからない事項があれば、関連する文献や資料を調べて読む。（120分）	
5	課題について考えをまとめ、グループで話し合う	授業前には、次回のテキストや資料を読み、わからない事項は下調べをする。次回のテーマに関する文献や資料を調べて読む。発表等の準備をして授業に臨む（120分）。 授業後は、配布資料等を見直し、ディスカッション等をふり返り、内容を整理する。わからない事項があれば、関連する文献や資料を調べて読む。（120分）	
6	論文の構成について学ぶ	授業前には、次回のテキストや資料を読み、わからない事項は下調べをする。次回のテーマに関する文献や資料を調べて読む。発表等の準備をして授業に臨む（120分）。 授業後は、配布資料等を見直し、ディスカッション等をふり返り、内容を整理する。わからない事項があれば、関連する文献や資料を調べて読む。（120分）	
7	提示したテーマの中から選択し、担当者が報告（1~2名）	授業前には、次回のテキストや資料を読み、わからない事項は下調べをする。次回のテーマに関する文献や資料を調べて読む。発表等の準備をして授業に臨む（120分）。 授業後は、配布資料等を見直し、ディスカッション等をふり返り、内容を整理する。わからない事項があれば、関連する文献や資料を調べて読む。（120分）	
8	提示したテーマの中から選択し、担当者が報告（1~2名）	授業前には、次回のテキストや資料を読み、わからない事項は下調べをする。次回のテーマに関する文献や資料を調べて読む。発表等の準備をして授業に臨む（120分）。 授業後は、配布資料等を見直し、ディスカッション等をふり返り、内容を整理する。わからない事項があれば、関連する文献や資料を調べて読む。（120分）	
9	提示したテーマの中から選択し、担当者が報告（1~2名）	授業前には、次回のテキストや資料を読み、わからない事項は下調べをする。次回のテーマに関する文献や資料を調べて読む。発表等の準備をして授業に臨む（120分）。 授業後は、配布資料等を見直し、ディスカッション等をふり返り、内容を整理する。わからない事項があれば、関連する文献や資料を調べて読む。（120分）	
10	先行研究の読み方を学ぶ	授業前には、次回のテキストや資料を読み、わからない事項は下調べをする。次回のテーマに関する文献や資料を調べて読む。発表等の準備をして授業に臨む（120分）。 授業後は、配布資料等を見直し、ディスカッション等をふり返り、内容を整理する。わからない事項があれば、関連する文献や資料を調べて読む。（120分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
11	各人の関心領域についてレジュメを作成し、報告する	授業前には、次回のテキストや資料を読み、わからない事項は下調べをする。次回のテーマに関する文献や資料を調べて読む。発表等の準備をして授業に臨む(120分)。 授業後は、配布資料等を見直し、ディスカッション等をふり返り、内容を整理する。わからない事項があれば、関連する文献や資料を調べて読む。(120分)	
12	各人の関心に応じた論文を集める	授業前には、次回のテキストや資料を読み、わからない事項は下調べをする。次回のテーマに関する文献や資料を調べて読む。発表等の準備をして授業に臨む(120分)。 授業後は、配布資料等を見直し、ディスカッション等をふり返り、内容を整理する。わからない事項があれば、関連する文献や資料を調べて読む。(120分)	
13	各人の選んだ論文について報告し、グループディスカッション	授業前には、次回のテキストや資料を読み、わからない事項は下調べをする。次回のテーマに関する文献や資料を調べて読む。発表等の準備をして授業に臨む(120分)。 授業後は、配布資料等を見直し、ディスカッション等をふり返り、内容を整理する。わからない事項があれば、関連する文献や資料を調べて読む。(120分)	
14	各人の選んだ論文について報告し、グループディスカッション	授業前には、次回のテキストや資料を読み、わからない事項は下調べをする。次回のテーマに関する文献や資料を調べて読む。発表等の準備をして授業に臨む(120分)。 授業後は、配布資料等を見直し、ディスカッション等をふり返り、内容を整理する。わからない事項があれば、関連する文献や資料を調べて読む。(120分)	
15	夏季休暇中の課題を整理	授業前には、次回のテキストや資料を読み、わからない事項は下調べをする。次回のテーマに関する文献や資料を調べて読む。発表等の準備をして授業に臨む(120分)。 授業後は、配布資料等を見直し、ディスカッション等をふり返り、内容を整理する。わからない事項があれば、関連する文献や資料を調べて読む。(120分)	

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800126
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	平川 泰士
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	「障害」のある人々が、自身の望む普通の生活を実現するために、障害福祉の基本理念をもとに、考察し、制度・施策、ソーシャルワークのあり方を検討することができるようになる。これらを検討するための基盤となる文献探索、整理、検討方法などの知識・手法を身につけることができる。
履修上の注意事項	指定された課題について、あらかじめ調べ準備を整え、不明な箇所については自身で調べ直す予習復習を求める(30~120分)。
評価方法	講義への参加状況(30%)、報告内容(30%)、課題の事前・事後学習(40%)をもとに評価を行う。
テキスト	別途指定
参考文献	別途指定
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
1. オリエンテーション(演習の運営方針、年間予定等について) 2. 研究の目的、意義の理解 3. 社会福祉研究の分野と範囲(研究領域の理解) 4. 社会福祉研究の分野と範囲(障害福祉に関連する理念) 5. 社会福祉研究の分野と範囲(障害福祉の対象に関する理解) 6. 社会福祉研究の分野と範囲(実践理論の理解) 7. 先行研究の目的と意義 8. 資料探索法(資料の検索方法、資源について) 9. 資料探索法(図書館の活用方法について) 10. 資料探索法(公的機関、Webからの収集について) 11. 文献検討(障害児者福祉に関する文献収集) 12. 文献検討(文献に対するレジュメ作成) 13. 文献検討(障害児者福祉に関する文献輪読) 14. 文献検討(収集文献の報告) 15. 文献検討(プレゼンテーション)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800128
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	論文の書き方をはじめとした基礎的な知識を獲得し、必要な文献等の収集や理解を行うことができるようになる。また、本演習を通して自身の関心を幅を広げ、課題の設定を行うことができる。
履修上の注意事項	授業では自らの関心事項を基に進めるため、主体的に参加し、他者の考えや意見を積極的に聴くこと。事前に自身の関心事項に関連する論文を読み整理しておくなどの学習を進めておくこと(120分)。また、授業で得た他者の意見や考えをもとに、事後学習において考えの整理やさらに必要となる文献等の収集を行う(120分)。
評価方法	ゼミへの参加態度(50%)と課題報告・提出(50%)により判断する。
テキスト	必要に応じて適宜紹介・配布する
参考文献	必要に応じて適宜紹介・配布する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	シラバスの説明 論文についての理解。		
2	論文の構成や書き方について。		
3	文献検索の方法の理解。		
4	論文を用いて論文の読み方についての理解。		
5	論文(研究)テーマの設定についての理解。		
6	関心のあるテーマの論文を要約し目的や研究方法などについて理解する(報告を含む)		
7	関心のあるテーマの論文を要約し目的や研究方法などについて理解する(報告を含む)		
8	関心のあるテーマの論文を要約し目的や研究方法などについて理解する(報告を含む)		
9	関心のあるテーマの論文を要約し目的や研究方法などについて理解する(報告を含む)		
10	キーワードを抽出しいくつかの論文を基に自身のテーマ設定に向けた報告		
11	キーワードを抽出しいくつかの論文を基に自身のテーマ設定に向けた報告		
12	キーワードを抽出しいくつかの論文を基に自身のテーマ設定に向けた報告		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	キーワードを抽出しいくつかの論文を基に自身のテーマ設定に向けた報告		
14	先行研究についての理解と考察		
15	テーマ設定に向けた今後の課題について		

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800129
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	4年次に卒業論文を書き進めていく上で必要になる論文検索や情報収集のやり方を身につける。また社会福祉領域の中から各人が関心を持つ領域を決定していくことを念頭に文献を要約することができる。
履修上の注意事項	自分の研究テーマを決めていく上で必要になる、自身の関心事について積極的に情報収集を行うこと。ゼミの前には自身の問題意識の領域に関係する論文を読むこと。ゼミ終了時には、ゼミ内での討論を踏まえ自身の問題意識を掘り下げることで新たな論文を見つけること
評価方法	課題への取り組み方や相互批判的姿勢の保持 50%、レポート、論文要約の内容等 50%
テキスト	必要に応じて指示する
参考文献	必要に応じて指示する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、ゼミ開講日の確認、1学期の目標設定		
2	各自の関心あるテーマを決定し、図書館のデータベースで論文検索を行う		
3	図書館のデータベースの活用法を理解する		
4	各自の関心あるテーマからキーワード検索を用いて論文を取得する		
5	自身で選んだ論文を要約する		
6	要約した論文をゼミ講義内で発表、及び内容について質問を受ける。		
7	ゼミ仲間の論文要約を聞き、質問や不明な点を話し合う		
8	ゼミ仲間の論文要約を聞き、質問や不明な点を話し合う		
9	ゼミ仲間の論文要約を聞き、質問や不明な点を話し合う		
10	ゼミ仲間の論文要約を聞き、質問や不明な点を話し合う		
11	ゼミ仲間の論文要約を聞き、質問や不明な点を話し合う		
12	発達障害、発達障害児に関する研究領域や研究動向について調べる		
13	発達障害、発達障害児に関する研究領域や研究動向について調べる		
14	ゼミの講義内で発達障害について討論し理解を深める		

授業計画

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	ゼミの講義内で発達障害について討論し理解を深める		

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800132
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	馬場 敏彰
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰

詳細情報

授業の目的・到達目標	生活を営む上で「福祉」は欠かせない。現在の社会福祉・介護福祉の状況に興味を持ち、幅広い視点で考えることができる力を身につけることができる。 先行研究と向き合い、他者と語り、自分に問うことができる、専門職者を目指し、探究できる人材になることができる。 そのために、この科目ではまず卒業論文の作成に関する基礎知識・方法論の習得をはかる。
履修上の注意事項	主体的にゼミ活動に取り組むこと。報告・連絡・相談を行うこと。問題意識を持って授業に臨むこと。 他者(他のゼミ生など)の意見や考えに関心を持つこと。自分の研究テーマや進捗状況と重ね合わせながら振り返りを行い記録すること。事前学習・事後学習(60分)
評価方法	途中経過報告・課題担当発表・ゼミの活動状況等：70% レポート提出：30%
テキスト	別途指示
参考文献	別途指示
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	研究とは何かを考える		
3	研究の基本的な考え方		
4	研究の基本的な考え方		
5	社会福祉研究の分野と範囲		
6	社会福祉研究の分野と範囲		
7	研究計画の立て方 (基本的な考え方)		
8	研究計画の立て方 (事例を参考にみる)		
9	研究計画の立案		
10	研究計画の立案		
11	研究文献の読み方 (先行研究の調べ方)		
12	研究文献の読み方 (先行研究の評価)		
13	研究文献の読み方 (先行研究の整理とレジュメづくり)		
14	先行研究の調査		
15	先行研究の調査		

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	阿部 敦
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名	
阿部 敦	

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会福祉特別演習 を踏まえ、その発展的な学習を行う。 最終的には、本演習を通じて、怖がることなく卒業論文に向き合えるようにする。
履修上の注意事項	・夏休み期間に、(それなりの数の書籍や論文を読むことで)論文テーマをおおよそ絞り込んでおくこと。 ・最終的に、8000～10000文字のレポート提出を求めます。
評価方法	・第1回目のゼミ発表(30%) ・第2回目のゼミ発表(30%) ・最終レポート(30%) ・ゼミでの貢献度(10%)
テキスト	必要に応じて指示する。
参考文献	必要に応じて指示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	社会福祉特別演習 - の確認と反省		
2	論文テーマに関する題材 - 1		
3	論文テーマに関する題材 - 2		
4	論文テーマに関する題材 - 3		
5	レジュメの作成について		
6	PPTについて		
7	ゼミメンバーによる発表(1人目の第1回目)		
8	ゼミメンバーによる発表(2人目の第1回目)		
9	ゼミメンバーによる発表(3人目の第1回目)		
10	ゼミメンバーによる発表(4人目の第1回目)		
11	ゼミメンバーによる発表(第2回目)		
12	ゼミメンバーによる発表(第2回目)		
13	ゼミメンバーによる発表(第2回目)		
14	ゼミメンバーによる発表(第2回目)		
15	総括		

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800202
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会福祉領域の中から自分の研究テーマを決めていく過程で、自身の関心事について積極的に情報収集を行うことができる。また、それに対する考察を深めていくための論文や専門書を検索し手元に集めることができる。併せて小論文の読み込み等を通して、卒業論文を作成していく手順や様式について理解する。
履修上の注意事項	積極的な姿勢で自身の問題意識に向き合うこと。その為に、ゼミの前には自身の問題意識の領域の論文を読み込み要約すること。ゼミ終了時には、ゼミ内での討論を踏まえ自身の問題意識を掘り下げることで新たな論文を見つけること。
評価方法	課題への取り組み方や相互批判的姿勢の保持 50%、レポート,論文要約の内容等 50%
テキスト	必要に応じて指示する
参考文献	必要に応じて指示する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	自身が関心のあるテーマについて先行研究を調べる		
2	自身が関心のあるテーマについて先行研究を調べる		
3	先行研究の要約、ゼミ内発表用資料作成		
4	先行研究の要約、ゼミ内発表用資料作成		
5	先行研究の要約、ゼミ内発表用資料作成		
6	ゼミ内で関心あるテーマの先行研究について発表、討論する		
7	ゼミ内で関心あるテーマの先行研究について発表、討論する		
8	ゼミ内で関心あるテーマの先行研究について発表、討論する		
9	ゼミ内で関心あるテーマの先行研究について発表、討論する		
10	ゼミ内で関心あるテーマの先行研究について発表、討論する		
11	卒業研究論文のテーマについて先行研究、論文検索を行う		
12	卒業研究論文のテーマについて先行研究、論文検索を行う		
13	卒業研究論文執筆に備え、必要な資料、文献を集める		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	卒業研究論文執筆に備え、必要な資料、文献を集める		
15	卒業研究論文のテーマを決める、目次案を考える。		

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800203
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	研究デザインや資料収集及び解析の方法を学び、学術論文を書くための技法を習得する。
履修上の注意事項	定期的(毎週)に進捗状況の報告とそれに対するアドバイスを行う。
評価方法	1 明確なテーマを元に研究を進めたか。 2 研究デザインを確認し、それに沿った活動(資料収集, 解析, 評価等)を行ったか。 3 最終的には、研究の方法の基礎を学ぶことができたか。
テキスト	特に使用(指定)しないが、必要に応じて印刷物等を配布する。
参考文献	各学生に関連するものを随時紹介(提供)する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800205
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（必修科目）

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会的課題に関心を持ち、分析し、自らの意見を論じることができる力を身に付けることを目的とする。 ねらい：論文の作成方法を理解し、興味ある事柄からテーマの確定ができる。
履修上の注意事項	演習前には、次回の予定を確認して文献のまとめや分担された範囲の要約をしておくこと。 演習後は、指導内容を振り返り、まとめなおしをすること。 演習課題として事前・事後学習に要する時間 計90分程度
評価方法	積極性、協調性、独自性を重視する。課題の提出50%、取組み50%で評価する。 課題についてはコメントして返却する。
テキスト	指定なし
参考文献	講義中、適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	キーワードをもとに文献検索を行う。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
2	文献の理解：文献の要約とそれについての自分の考えをまとめる。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
3	文献の理解：前回のまとめを、発表し討議する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
4	文献の理解：文献の要約とそれについてのグループでまとめる。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
5	文献の理解：前回のまとめを発表し、全体討議をする。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
6	研究方法について理解する。（調査、文献、実験等）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	今後の論文完成までの行動計画を作成する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	これまでの文献等を整理し、キーワードとの照合を行い、研究の方向性について考える。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	調査研究の文献を読み、その方法を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	文献研究の文献を読み、その方法を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	実験研究の文献を読み、その方法を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	自らの研究方法について方向性を見直し、研究の可能性を探る。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	動機、問題の背景、仮説を明確化する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	テーマの確定を行う。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	テーマに沿ったキーワード、全体構成を検討する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800206
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名	
増田 公香	

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会福祉特別演習 を基盤に4年次の卒業論文作成に向け、さらに専門的知識や思考を 発展させる。
履修上の注意事項	出席・ディスカッションの参加を重視します。
評価方法	授業内で提示する。
テキスト	授業内で提示する。
参考文献	授業内で提示する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	イントロダクション		
2	文献研究・プレゼンテーション・ディス カッション		
3	文献研究・プレゼンテーション・ディス カッション		
4	文献研究・プレゼンテーション・ディス カッション		
5	文献研究・プレゼンテーション・ディス カッション		
6	文献研究・プレゼンテーション・ディス カッション		
7	文献研究・プレゼンテーション・ディス カッション		
8	文献研究・プレゼンテーション・ディス カッション		
9	文献研究・プレゼンテーション・ディス カッション		
10	文献研究・プレゼンテーション・ディス カッション		
11	文献研究・プレゼンテーション・ディス カッション		
12	文献研究・プレゼンテーション・ディス カッション		
13	文献研究・プレゼンテーション・ディス カッション		
14	文献研究・プレゼンテーション・ディス カッション		
15	総括		

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800207
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	馬場 敏彰
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（必修科目）

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰

詳細情報

授業の目的・到達目標	生活を営む上で「福祉」は欠かせない。現在の社会福祉・介護福祉の状況に興味を持ち、幅広い視点で考えることができる力を身につけることができる。 先行研究と向き合い、他者と語り、自分に問うことができる、専門職者を目指し、探究できる人財になることができる。そのために、この科目ではまず卒業論文の作成に関する基礎知識・方法論の習得をはかる。
履修上の注意事項	主体的にゼミ活動に取り組むこと。報告・連絡・相談を行うこと。問題意識を持って授業に臨むこと。 他者（他のゼミ生など）の意見や考えに関心を持つこと。自分の研究テーマや進捗状況と重ね合わせながら振り返りを行い記録すること。事前学習・事後学習（60分）
評価方法	途中経過報告・課題担当発表・ゼミの活動状況等：70% レポート提出：30%
テキスト	別途指示
参考文献	別途指示
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	先行研究の状況報告		
2	研究デザイン（研究課題の絞り込み）		
3	研究デザイン（関連付け・整理）		
4	仮説を考える		
5	仮説を考え、検討する		
6	研究資料（データ）の収集について		
7	研究資料（データ）の収集について		
8	研究資料（データ）の収集について		
9	研究資料（データ）の収集について		
10	研究資料（データ）の収集について		
11	研究資料（データ）の収集について		
12	経過報告書作成（計画の進捗状況）		
13	経過報告書作成（先行研究・研究方法）		
14	経過報告会（今後の計画立案）		
15	まとめと振り返り		

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800208
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	平川 泰士
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	授業のねらい 「障害」のある人々が、自身の望む普通の生活を実現するために、障害福祉の基本理念をもとに、考察し、制度・施策、ソーシャルワークのあり方を検討することができるようになる。これらを検討するための基盤となる文献探索、整理、検討方法などの知識・手法を身につけることができる。
履修上の注意事項	指定された課題について、あらかじめ調べ準備を整え、不明な箇所については自身で調べ直す予習復習を求める(30~120分)。
評価方法	講義への参加状況(30%)、報告内容(30%)、課題の事前・事後学習(40%)をもとに評価を行う。
テキスト	別途指定
参考文献	別途指定
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
1. 研究資料の活用方法(収集) 2. 研究資料の活用方法(評価) 3. 研究資料の活用方法(整理、検討の方法) 4. 研究資料の分析方法(文献レビューの方法) 5. 研究資料の分析方法(調査研究法の理解) 6. 研究手法に関する文献の輪読(質的研究法) 7. 研究手法に関する文献の輪読(量的研究法) 8. 研究課題の設定の検討、指導 9. 研究課題についての報告(基礎資料の収集) 10. 研究課題についての報告(文献リストの作成) 11. 研究デザインの設定の方法(概略の説明) 12. 研究デザインの設定の方法(課題の設定) 13. 研究デザインの設定の方法(課題の絞り込み) 14. 研究課題についての指導(課題設定) 15. 研究課題についての指導(相互検討)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800210
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	李 玄玉
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
李 玄玉

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 達障害児に関連する様々な問題の中から、各自、関心あるテーマの先行研究論文を収集し、先行論文を読むことによって、一連の研究の流れを体験する。</p> <p>2. 自分の研究(卒論)に向けて、研究の意義・研究方法・分析・考察などについて理解を深める。</p> <p>3. 一つのテーマを取り上げ、自分なりの論文作成ができるような力を身に付ける。</p>
履修上の注意事項	自分の研究テーマに関連する先行文献を調べておくこと。
評価方法	発表40%、レジュメやレポート20%、発言状況20%、研究計画20%の割合で総合的に評価する。
テキスト	指定しない。
参考文献	各自、テーマに沿って個々に紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1. 導入、演習計画		
2	2. 研究方法及び論文作成について基礎学習(1)		
3	3. 研究方法及び論文作成について基礎学習(2)		
4	4. 研究方法及び論文作成について基礎学習(3)		
5	5. 資料収集と各自、研究課題の方向性を探る(1)		
6	6. 資料収集と各自、研究課題の方向性を探る(2)		
7	7. 資料収集と各自、研究課題の方向性を探る(3)		
8	8. 資料収集と各自、研究課題の方向性を探る(4)		
9	9. 研究テーマ及び研究目的に応じた研究方法を検討(1)		
10	10. 研究テーマ及び研究的に応じた研究方法を検討(2)		
11	11. 研究テーマ及び研究的に応じた研究方法を検討(3)		
12	12. 卒業論文の完成に向けて(1)		
13	13. 卒業論文の完成に向けて(2)		
14	14. 卒業論文の完成に向けて(3)		
15	15. まとめ		

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800211
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	論文や研究に関する基礎知識の習得と共に、研究テーマや目的、研究方法等を絞り込むことができる。また、体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、課題を探索し問題を解決できる能力を身につける。
履修上の注意事項	・主体的な参加と発言によって、自身のテーマを絞り込んでいくこと。 ・事前に必要な論文を熟読し、関心のあるテーマに関連する事項を整理すること(120分)。講義後には自身のテーマと関連させてテーマを絞り込んでいくこと(120分)。
評価方法	ゼミへの参加態度(報告や討議内容)50%とレポート50%により総合的に判断する。
テキスト	テキストは使用しません。演習内にて適宜紹介・配布します。
参考文献	演習内にて適宜紹介・配布します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	シラバスの説明 テーマ設定等に向けたスケジュールの確認		
2	研究デザイン (研究課題を明確にし絞り込む)		
3	研究デザイン (研究仮説の構築)		
4	研究デザイン (研究対象の設定)		
5	研究デザイン (研究方法<量的・質的>の検討)		
6	文献(研究資料)収集 (文献研究)		
7	文献(研究資料)収集 (質的研究)		
8	文献(研究資料)収集 (量的研究)		
9	研究データの分析方法 (質的データの分析方法)		
10	研究データの分析方法 (量的データの分析方法)		
11	各ゼミ生によるテーマに沿った文献レビュー及び研究に関するプレゼンテーション(文献研究)		
12	各ゼミ生によるテーマに沿った文献レビュー及び研究に関するプレゼンテーション(質的研究)		
13	各ゼミ生によるテーマに沿った文献レビュー及び研究に関するプレゼンテーション(量的研究)		
14	研究テーマ及びキーワードの絞り込み		
15	研究テーマの設定		

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800212
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	竹中 健
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
竹中 健

詳細情報

授業の目的・到達目標	参考文献リストのつくりかた、要約や引用のしかた、その他論文の書きかたを学ぶ。
履修上の注意事項	第二週までに、テーマと5つ以上の文献リストを作成し提出すること。毎回、ゼミに参加するにあたり、2時間以上はかけて丁寧に資料を読み込んでくること。
評価方法	発表用レジュメ(20%) + プレゼンテーション(20%) + 他の発表者へのコメント(20%) + プレ論文(40%)
テキスト	適宜紹介をする。
参考文献	適宜紹介をする。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800221
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
水間 宗幸

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業研究論文執筆に向けてテーマ設定を行い、論文執筆に向けた準備ができる。
履修上の注意事項	各自、自覚を持って取り組むこと
評価方法	態度、意欲80%、課題20%で評価を行う。
テキスト	特になし
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	研究計画の確認		
2	テーマ設定		
3	テーマ設定		
4	テーマ設定		
5	テーマ設定		
6	テーマ設定		
7	テーマに関する文献収集及び確認		
8	テーマに関する文献収集及び確認		
9	テーマに関する文献収集及び確認		
10	論文の文体の学習		
11	論文の文体の学習		
12	論文の文体の学習		
13	テーマの再確認と研究方法の確認		
14	テーマの再確認と研究方法の確認		
15	テーマの再確認と研究方法の確認		

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800222
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	山住 賢司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名	
山住 賢司	

詳細情報

授業の目的・到達目標	「社会福祉特別演習」に引き続き、各自の研究内容について相互理解を深めるとともに、研究の進め方、論文の書き方、プレゼンテーションの方法を学び、独自の研究を遂行できるようになることを目的とする。 本演習並びに社会福祉特別演習を通じて受講者は、自身の研究テーマに関して卒業研究を遂行できるようになる。
履修上の注意事項	ゼミでは各人の積極的な参加姿勢が求められる。
評価方法	ゼミでの発表内容(50%)、提出レジュメ(50%)で評価する。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	「よくわかる卒論の書き方[第2版]」 白井利明・高橋一郎(著) ミネルヴァ書房 2013
参考文献	「改訂新版 心理学論文の書き方」 松井豊(著) 河出書房新社 2010
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	プレゼミに関するガイダンスとスケジュール確認	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い、文献購読発表等の準備を十分に行ってゼミに臨むこと(120分)。 また各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
2	卒論テーマ計画書・研究計画書について	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い、文献購読発表等の準備を十分に行ってゼミに臨むこと(120分)。 また各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
3	卒論テーマ計画書発表(1)	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い、文献購読発表等の準備を十分に行ってゼミに臨むこと(120分)。 また各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
4	卒論テーマ計画書発表(2)	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い、文献購読発表等の準備を十分に行ってゼミに臨むこと(120分)。 また各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
5	文献購読発表(1) 関心のある領域からの検索	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い、文献購読発表等の準備を十分に行ってゼミに臨むこと(120分)。 また各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
6	文献購読発表(2) 関心のある領域からの検索	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い、文献購読発表等の準備を十分に行ってゼミに臨むこと(120分)。また各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
7	卒論の書き進め方	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い、文献購読発表等の準備を十分に行ってゼミに臨むこと(120分)。また各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
8	卒論の構成の仕方	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い、文献購読発表等の準備を十分に行ってゼミに臨むこと(120分)。また各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
9	序論・問題・目的の書き方	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い、文献購読発表等の準備を十分に行ってゼミに臨むこと(120分)。また各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
10	展開の仕方・結果の吟味の仕方	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い、文献購読発表等の準備を十分に行ってゼミに臨むこと(120分)。また各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
11	考察と結論の書き方	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い、文献購読発表等の準備を十分に行ってゼミに臨むこと(120分)。また各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
12	文献購読発表(3) 先行研究からの検索	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い、文献購読発表等の準備を十分に行ってゼミに臨むこと(120分)。また各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
13	文献購読発表(4) 先行研究からの検索	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い、文献購読発表等の準備を十分に行ってゼミに臨むこと(120分)。また各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
14	研究計画書発表(1)	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い、文献購読発表等の準備を十分に行ってゼミに臨むこと(120分)。また各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	
15	研究計画書発表(2)	事前学習としてテキスト・配布資料等の確認を行い、文献購読発表等の準備を十分に行ってゼミに臨むこと(120分)。また各回の内容についてはゼミ終了後必ず確認を行うこと(120分)。	

基本情報

科目名	社会福祉特別演習
時間割コード	0223800224
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	隈 直子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（必修科目）

担当教員情報

教員名	
隈 直子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会福祉特別演習 に引き続き、卒業研究論文の作成に向け、全体指導を行う。 論文の作成方法、書き方を理解する。 各学生の興味、関心に基づく研究テーマの決定を目指し、文献講読を行う。
履修上の注意事項	問題意識を持って、積極的に参加することが望ましい。 次回授業で取り上げる内容に関する文献や資料を調べ、読む。発表に向けて予習を行い、資料等を準備する(120分)。 授業後は、レジュメや資料、ディスカッションをふり返り、内容を整理する。(120分)
評価方法	報告・発表の内容(50%)、提出物・レジュメ(50%)により評価する。
テキスト	指定なし
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、演習 の方針、進め方、スケジュールを確認する。		
2	1学期の課題をまとめ、各人が資料を基に報告する。		
3	各人の興味・関心あるテーマの発表、レジュメ作成方法の指導		
4	文献検索と研究方法の検討		
5	先行研究の報告・ディスカッション(1~2名)		
6	先行研究の報告・ディスカッション(1~2名)		
7	資料収集、整理		
8	研究テーマを明確化し、研究の方向性を検討する		
9	研究テーマ、研究方法の発表、ディスカッション(1~2名)		
10	研究テーマ、研究方法の発表、ディスカッション(1~2名)		
11	研究の動機、背景を見直し、これまでの文献を読む。		
12	テーマに応じた論文の要約報告・ディスカッション(1~2名)		
13	テーマに応じた論文の要約報告・ディスカッション(1~2名)		
14	卒論作成に向けた研究計画の作成		
15	研究テーマの設定と全体構成の検討		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0223800301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	阿部 敦
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
阿部 敦

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業論文を執筆する上で必要となる幾つかの技法(例;文献検索、レジュメの作成、PPTの作成、論文の書き方、プレゼンテーションの仕方など)について学ぶ。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相応の理由なき欠席は、これを認めない。 ・ 議論や発表には、主体的に関与することを強く求めます。 ・ 最終的には、1人あたり30～40分程度の発表を求めます(プレゼンテーションの部分)。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義への参加および貢献度(40%) ・ プレゼンテーション(40%) ・ 課題への取り組み(20%)
テキスト	必要に応じてプリントを配布する。
参考文献	必要に応じて指示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(演習の運営方針、年間予定など)		
2	文献検索の手法 - 1(書籍、論文)		
3	文献検索の手法 - 2(新聞、コピーの取り寄せ)		
4	論文の書き方 - 1(序論)		
5	論文の書き方 - 2(論文の枠組み)		
6	論文の書き方 - 3(アイデアをまとめるときの注意事項)		
7	ゼミメンバー間で、お互いの問題意識を語り合う		
8	文献検討 - 1		
9	文献検討 - 2		
10	文献検討 3		
11	文献検討 - 4		
12	ゼミ生によるプレゼンテーション - 1		
13	ゼミ生によるプレゼンテーション - 2		
14	ゼミ生によるプレゼンテーション - 3		
15	ゼミ生によるプレゼンテーション - 4		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0223800305
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（必修科目）

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	研究デザインや資料の収集及び解析の方歩を学び、学術論文を書くための技法を習得する。
履修上の注意事項	継続的に研究室に通い、作業の進捗状況の確認と全体的な見通しについてディスカッションを継続する。
評価方法	1 明確なテーマを元に研究を進めたか。 2 研究デザインを確認し、それに沿った活動（データ収集、解析、評価等）を行ったか。 3 最終的には、研究の方法の基礎を身につけることができたか。
テキスト	特に使用（指定）しないが、必要に応じて印刷物等を準備する。
参考文献	1 学生には、先行研究や関連した資料を収集させる。 2 各学生に関連したものを随時紹介（提供）する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0223800309
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	竹中 健
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
竹中 健

詳細情報

授業の目的・到達目標	自身が立てた問いに対して、それにこたえる形で議論をおこない、社会科学の手法により明らかにすることを学ぶ。同時に、議論の組み立て方、論文の書き方、研究の発表のしかたを習得する。
履修上の注意事項	評価基準の中で、必ず毎回ゼミに出席することは、最低要件となる。正当な理由のない欠席は認められない。また3分の1を超える欠席(前期・後期でそれぞれ5回を超える欠席)があったばあいには、いかなる理由があっても単位は認めない。本ゼミは学生の皆さんに比較的高度な水準の課題を課し、その確実な達成をゼミ単位取得の条件とする。卒業論文提出時の文字数についても、本ゼミでは30000字以上というゼミ独自の基準を設ける。とくに4年次前期には非常にタイトなスケジュールとスケジュールに沿った章ごとの卒論提出を逐次履修者に要求する。最終的に提出された論文は、文字数や体裁を満たしていても論文として意味をなさないものについては、不合格とする。この点は本ゼミでは非常に厳格に対応する。ゼミの議論においても、友人の発表にたいしては常に積極的な発言を求める。卒論のなかで調査を実施する予定の者は、3年次の秋もしくは冬休みか、遅くとも4年に進級する前の3月末までに終えておくことが望ましい。
評価方法	卒業論文の内容(50%)、卒業論文完成までのプロセス(35%)、卒業論文提出直後の卒業論文報告会での発表(15%)を総合的に判断する。
テキスト	受講者それぞれに、適宜紹介をする。
参考文献	受講者それぞれに、適宜紹介をする。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0223800310
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	李 玄玉
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
李 玄玉

詳細情報

授業の目的・到達目標	文献検索などを通じて関心のあるテーマを取り上げ、一連の研究の流れを体験し、研究の意義や方法について理解を深める。 自分の研究テーマを明確にし、そのテーマに基づく卒業論文を作成する。
履修上の注意事項	先行研究、参考文献を多めに収集し、読むこと。
評価方法	完成した卒業研究論文を評価する。
テキスト	なし。
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	顔合わせ・オリエンテーション		
2	テーマに近い論文の紹介		
3	文献要約-の発表・ディスカッション1		
4	文献要約-の発表・ディスカッション2		
5	文献要約-の発表・ディスカッション3		
6	テーマ及びキーワードの説明		
7	研究計画(案)発表-1		
8	研究計画(案)発表-2		
9	研究計画(案)発表-3		
10	研究計画(案)発表-4		
11	それぞれの研究計画書完成		
12	研究方法の具体化(調査票などの案)		
13	自分の研究テーマに関連する先行研究の要約		
14	自分の研究テーマに関連する先行研究の要約		
15	研究方法の具体化・調査票などの完成		
16	中間報告会の発表		
17	中間報告会の発表		
18	中間報告会の発表		
19	中間報告会の発表		
20	中間報告会の学びと今後の方向性の確認		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
21	研究結果のまとめ・文献要約		
22	考察の方向性・文献要約		
23	考察の方向性・文献要約		
24	論文全体の流れ・文章化の確認		
25	研究論文草稿完成		
26	研究論文修正		
27	抄録の作成・論文提出		
28	自分の論文要約		
29	ゼミの卒業論文発表会		
30	ゼミ論文集の作成		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0223800319
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	平川 泰士
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名	
平川 泰士	

詳細情報

授業の目的・到達目標	各自の研究テーマに基づき、具体的な実践・データをもとに、「障害」のある人々が、自身の望む普通の生活を 実現するために、障害福祉の基本理念をもとに、考察し、制度・施策、ソーシャルワークのあり方を検討することができるようになる。卒業研究論文を所定の様式に基づき提出できることを目指す
履修上の注意事項	指定された課題について、あらかじめ調べ準備を整え、不明な箇所については自身で調べ直す予習復習を求める。指定課題以外にも本文を書き上げる作業を自主的に書き進めていくことを求める。そのため、数時間の作業が見込まれ、作業を計画的に進める必要がある。期間中の実習や就活など想定していないことに時間が必要なことが多いため、早めの作成をすることを勧める。
評価方法	講義への参加状況(10%)、報告内容(20%)、課題の事前・事後学習(20%)、卒業研究論文(50%)をもとに評価を行う。
テキスト	適宜指定する
参考文献	適宜指定する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(運営方針、年間予定)		
2	研究デザインの設定(先行研究の調査)		
3	研究デザインの報告(先行研究の概況)		
4	研究課題についての指導(先行研究)		
5	研究デザインの設定(仮説の構築)		
6	研究デザインの設定(理論モデルの検討)		
7	研究デザインの報告(仮説設定、相互検討)		
8	研究デザインの検討		
9	研究資料の分析法(方法の概略)		
10	研究資料の分析法(質的研究法の理解)		
11	研究資料の分析法(質的研究法の理解)		
12	研究成果の報告		
13	研究デザインの設定(アウトラインの作成)		
14	研究デザインの設定(アウトラインの検討)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	研究デザインの設定（アウトラインの指導）		
16	アウトラインの報告、検討		
17	論文の構成の方法		
18	論文の基本ルールの確認（提出要項）		
19	論文の基本ルールの確認（研究倫理）		
20	先行研究の指導		
21	先行研究の指導		
22	分析方法の指導		
23	分析方法の指導		
24	分析結果、まとめの指導		
25	分析結果、まとめの指導		
26	考察の指導		
27	考察の指導		
28	考察の指導（相互検討）		
29	提出形式の確認、修正		
30	提出形式の確認、修正		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0223800321
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
水間 宗幸

詳細情報

授業の目的・到達目標	個々の興味関心に基づきテーマ設定を行い、研究論文を書く目的、方法、様式を学び、執筆の中で理論的科学的態度で考察を行うことができる。
履修上の注意事項	個別指導が中心となるため、自覚を持って卒業研究論文に取り組むこと
評価方法	卒業研究論文：80% ゼミへの態度：20% 総合：100%で評価
テキスト	特になし
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0223800322
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	山住 賢司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名	
山住 賢司	

詳細情報

授業の目的・到達目標	各人の関心に基づく具体的な研究テーマに沿って研究を行い、卒業研究論文を完成させることを目的とする。 自らテーマを設定し、目的を明らかにするためにデータ収集を行い、分析結果に基づいた論理的な考察ができるようになる。
履修上の注意事項	各自の研究テーマに真摯に向き合い、意欲的に卒業研究を進めていくことが求められる。
評価方法	提出された卒業研究論文に対して副査のコメントを参考に主査(指導教員)が評価を決定する。副査からのコメントを返却する。
テキスト	使用せず、随時資料を配布する。
参考文献	各自の研究テーマに関して、必要と思われるものを随時紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
指導を受けるにあたって、指導内容に沿った論文執筆を進めてゆき、随時チェックを受けること。 指導を受けた後は、論文執筆の過程において指摘された点を速やかに修正を行い、再度のチェックを受けること。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	卒論に関するガイダンス		
2	卒論作成スケジュールの確認		
3	研究計画書の確認		
4	研究目的に関する指導(1)題目の設定		
5	研究目的に関する指導(2)問題意識の説明		
6	研究目的に関する指導(3)研究の意義		
7	研究目的に関する指導(4)個別指導		
8	研究方法に関する指導(1)手法の選択		
9	研究方法に関する指導(2)倫理的配慮		
10	研究方法に関する指導(3)実験刺激作成		
11	研究方法に関する指導(4)調査用紙作成		
12	研究方法に関する指導(5)個別指導		
13	データ分析に関する指導(1)データ整理		
14	データ分析に関する指導(2)分析手法の選択		
15	データ分析に関する指導(3)統計検定		
16	データ分析に関する指導(4)個別指導		
17	データ分析に関する指導(5)個別指導		
18	結果の説明に関する指導(1)情報の選択		
19	結果の説明に関する指導(2)図表の提示法		
20	結果の説明に関する指導(3)検定結果		

授業計画

指導を受けるにあたって、指導内容に沿った論文執筆を進めてゆき、随時チェックを受けること。

指導を受けた後は、論文執筆の過程において指摘された点を速やかに修正を行い、再度のチェックを受けること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
21	結果の説明に関する指導(4)個別指導		
22	結果の説明に関する指導(5)個別指導		
23	考察に関する指導(1)根拠に基づく主張		
24	考察に関する指導(2)対立仮説との比較検討		
25	考察に関する指導(3)限界と今後の発展		
26	考察に関する指導(4)個別指導		
27	考察に関する指導(5)個別指導		
28	総合考察・結論に関する指導		
29	引用・参考文献リストに関する指導		
30	要旨・キーワードに関する指導		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0223800323
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	ねらい：社会的問題に関する課題解決にむけ、自らの論点をもって文章で表現する力を身につける。 卒業研究論文は4年間の学修の総合である。3年次の特別演習・で学んだことを踏まえて、自らのテーマについて知識を深め、文章化して表現する能力を身につけ、論理的な展開を行ってまとめることができることを目的としている。自らの課題の明確化を行い、計画的に行動する。
履修上の注意事項	卒業研究論文の執筆要綱を確認し、それに沿った形式で作成すること。 ゼミの学生全員で行う指導には必ず出席すること。 個別指導は原則として時間割上の開講時とするが、それ以外に必要な場合は、事前の時間調整等を積極的に行い、資料を準備すること。講義の事前・事後学習として、執筆した部分の整理と見直しを行うこと。 指導前後の課題に要する時間 計120分
評価方法	論文の内容・完成度 50% 中間・最終発表 20% 討論への参加など積極的な取り組み 30% 論文執筆要領にそっているか、論点は明確かを中心に完成度を評価する
テキスト	講義中に提示する。
参考文献	講義中に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	【科目担当者：吉岡 実務経験】 大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）、介護福祉士養成校教員（高齢者科目担当）他

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	3年次におけるまとめとテーマの決定	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	研究計画の確認と文献考察の発表	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	これまでの資料まとめと研究の方向性見直し	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	論文における論点の確認	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	中間報告に向けたレポート作成	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	中間報告レポートの確認と修正	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
7	中間報告（2名）と討議	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	全体構成、内容とテーマの整合性の確認	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	中間報告（2名）と討議	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	卒業研究論文作成：学生間での理解の可能性	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	論文構成の理解と実践（緒言）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	論文構成の理解と実践（方法）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	論文構成の理解（結果の書き方）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	論文構成の理解（考察の推敲）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	1学期の進捗状況報告および計画の見直し	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
16	卒業研究論文作成：草稿の報告（2名）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
17	卒業研究論文作成：草稿の報告（2名）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
18	卒業研究論文作成：草稿の報告（2名）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
19	中間報告の説明および準備（背景～方法）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
20	論文構成の見直し（全体像、執筆要綱）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
21	引用文献の活用方法の見直し	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
22	図・表の適正化の確認	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
23	中間報告（2名）と討議	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
24	最終発表についての説明	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
25	研究の課題の明確化と方向性を見直し	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
26	最終発表準備（PP作成）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
27	最終発表（2名）と討議	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
28	最終発表（2名）と討議	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
29	最終発表（2名）と討議	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
30	論文の修正とまとめ	指示された部分の修正を事前しておくこと 最終確認を事後に行うこと（各30分）	

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0223800324
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	隈 直子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（必修科目）

担当教員情報

教員名
隈 直子

詳細情報

授業の目的・到達目標	学生が自らの関心や課題に応じて、卒業論文テーマを設定する。 文献収集・調査・結果・考察などを通して卒業研究論文を作成する。
履修上の注意事項	問題意識をもち、主体的に卒論作成に取り組むこと。 授業の事前学習として、各自で資料を準備し、卒論の執筆部分を整理する。必要な文献、資料等を調べ、読む。(120分) 授業後には、見直しを行う。(120分)
評価方法	卒業研究論文の内容(70%)、ゼミでの発表・報告内容(30%)で判断する。
テキスト	個別に指示する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	3年次までのまとめ、スケジュールの確認		
2	研究の背景と研究方法の検討		
3	研究計画の確認とテーマの見直し		
4	文献検索指導		
5	卒業研究論文執筆要領の確認		
6	先行研究の収集と分析		
7	先行研究のまとめの報告		
8	進捗状況の報告とディスカッション(2名)		
9	進捗状況の報告とディスカッション(2名)		
10	研究テーマの明確化		
11	論文構成の見直し、章立ての検討		
12	卒論レジュメ報告(2名)		
13	卒論レジュメ報告(2名)		
14	資料のまとめと研究の方向性を見直し		
15	研究計画の見直し、課題の整理		
16	進捗状況の報告		
17	研究テーマと章立ての確認		
18	卒論作成・草稿の報告(2名)		
19	卒論作成・草稿の報告(2名)		
20	論文構成の見直し、論点の確認		
21	図表、引用文献等の書き方指導		
22	卒論作成・報告(2名)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
23	卒論作成・報告（2名）		
24	卒論作成・報告（2名）		
25	全体構成の確認		
26	卒論作成指導（全体指導）		
27	卒論発表の準備		
28	卒論発表とディスカッション（2名）		
29	卒論発表とディスカッション（2名）		
30	卒論まとめ、修正		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0223800326
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（必修科目）

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	3年次から積み上げてきた論文等に関する基礎知識をもとに、論理的・学際的思考力を涵養しつつ、関心のあるテーマについて卒業研究論文の作成を行うことができる。また、卒業研究論文の作成を通して、課題を探究し、問題を解決できる能力を身につける。
履修上の注意事項	1年という期間を有効に使うためにも、テーマ設定から卒業研究論文の執筆、完成までの計画をしっかり立てて取り組むこと。他者の研究にも関心をもちお互いが高めあいながら完成を目指すこと。 事前にテーマに沿った文献等を整理し必要に応じてレジュメを作成（120分）、講義・指導後にはそれらを踏まえた整理、執筆を行う（120分）。
評価方法	卒業研究論文執筆過程での取り組み（40%）と、完成後、副査の意見を含めて（60%）評価する。
テキスト	テキストは使用しない。必要であれば適宜紹介・配布する。
参考文献	必要に応じて紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	卒業研究論文指導（研究テーマ）		
2	卒業研究論文指導（研究目的）		
3	卒業研究論文指導（研究背景）		
4	卒業研究論文指導（先行研究）		
5	卒業研究論文指導（研究方法）		
6	先行研究レビュー（文献研究）		
7	先行研究レビュー（質的研究）		
8	先行研究レビュー（量的研究）		
9	研究計画の作成（研究資料・データ）		
10	研究計画の作成（論文執筆）		
11	データ収集指導（調査法等）		
12	データ収集指導（質問紙法等）		
13	中間報告にむけた個別指導		
14	中間報告にむけた個別指導		
15	卒業研究論文中間報告		
16	データ分析方法指導（個別指導）		
17	データ分析方法指導（個別指導）		
18	データ分析方法指導（個別指導）		
19	データに基づいた図表の作成等		
20	図表の表記や挿入方法		
21	分析・結果指導（個別指導）		
22	分析・結果指導（個別指導）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
23	分析・結果指導（個別指導）		
24	考察指導（研究目的に沿った考察）		
25	考察指導（学生同士の批判的検討）		
26	考察指導（まとめ）		
27	論文執筆指導（脚注等の体裁）		
28	論文執筆指導（論文の構成）		
29	論文執筆指導（引用・参考文献）		
30	卒業研究論文総括		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0223800333
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	3年次での演習の成果を踏まえ、自身の卒業研究のテーマを決めることができる。その上で論文作成に必要な先行研究の分析やデータの収集、結果の考察等を行うことができる。2学期は論文の完成に向けた指導を受けつつ卒業論文を完成させることができる。
履修上の注意事項	自身の研究テーマに積極的に取り組むこと、相談や報告を忘れずに行うこと。ゼミの前には自身の問題意識の領域の論文を読み込み要約すること。ゼミ終了時にはゼミ内での討論を踏まえ、自身の問題意識を掘り下げることで卒業論文の論点を確認及び修正すること。
評価方法	卒業論文の完成度70%、資料収集や課題検討時の積極性20%、他学生との相互批判的考察時の態度10%
テキスト	なし
参考文献	研究テーマに即して個別に指示する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1学期 執筆の準備	各自の研究テーマを決める。先行研究の検索を行う。	
2	1学期 執筆の準備	先行研究の論文や専門書の要約をする。	
3	1学期 執筆の準備	先行研究の論文や専門書の要約をする。	
4	1学期 執筆の準備	先行研究の論文や専門書の要約をする。	
5	1学期 執筆の準備	自身の問題意識の明確化を試みる。	
6	1学期 論文の具体的内容を決める	自身の問題意識の明確化を試みる。	
7	1学期 論文の具体的内容を決める	卒業論文のテーマと章立てを決める。	
8	1学期 各自で書き進める	問題意識と執筆内容に齟齬が生じないように俯瞰しつつ書き進める。	
9	2学期 各自で書き進める	問題意識と執筆内容に齟齬が生じないように俯瞰しつつ書き進める。	
10	2学期 草稿の発表	ゼミ内でテーマ、草稿を発表する。意見交換の実施	
11	2学期 考察内容や結論の検証	自身の研究テーマと結論、考察の内容の再確認を行う。	
12	2学期 卒業論文を書き進める	卒業論文の提出に向けて内容を確認しつつ書き進める。	
13	2学期 卒業論文を仕上げる	卒業論文の提出に向け、引用文献、参考文献、誤字・脱字等の確認を行う。	
14	2学期 卒業論文を仕上げる	卒業論文の提出に向け、引用文献、参考文献、誤字・脱字等の確認を行う。	
15	2学期 提出後にゼミ内卒業論文発表会の実施。	提出した卒業論文を短く修正してゼミ内で発表する。	

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0223800335
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	馬場 敏彰
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰

詳細情報

授業の目的・到達目標	研究に関心を持ち、研究テーマについて追及できる力を身につけることができる。 先行研究と向き合い、他者と語り、自分に問うことができる、専門職者を目指し、探究できる人材になることができる。 卒業論文の作成方法に関する基礎知識・方法論の習得をはかる。
履修上の注意事項	提出期限を守り、時間を無駄につかわないこと 主体的にゼミ活動に取り組むこと。報告・連絡・相談を行うこと。問題意識を持って授業に臨むこと。 他者(他のゼミ生など)の意見や考えに関心を持つこと。自分の研究テーマや進捗状況と重ね合わせながら振り返りを行い記録すること。事前学習・事後学習(60分)
評価方法	卒業論文: 60% 途中経過報告・発表・ゼミの活動状況・取り組む姿勢: 40%
テキスト	別途指示
参考文献	別途指示
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	現在の状況報告、計画の確認		
2	経過報告会		
3	研究目的に関する指導		
4	研究目的に関する指導		
5	研究方法に関する指導		
6	研究方法に関する指導		
7	研究目的・方法に関する指導(個別)		
8	データ収集についての指導		
9	データ収集についての指導		
10	データ収集についての指導		
11	データ分析についての指導		
12	データ分析についての指導		
13	データ分析についての指導		
14	データ分析についての指導		
15	現在の状況確認、計画の確認		
16	現在の状況報告、計画の確認		
17	分析結果のまとめ		
18	分析結果のまとめ		
19	分析結果のまとめ		
20	分析結果のまとめ		
21	分析結果のまとめ		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
22	結果考察についての指導		
23	結果考察についての指導		
24	結果考察についての指導		
25	結果考察についての指導		
26	結果考察についての指導		
27	論文の構成についての指導		
28	論文の構成についての指導		
29	論文の構成についての指導		
30	研究のまとめと今後の展開		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0223800336
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(必修科目)

担当教員情報

教員名
増田 公香

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業論文作成に向けて、指導を展開する。
履修上の注意事項	
評価方法	卒業論文70%・授業参加30%
テキスト	特になし
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	イントロダクション		
2	卒業論文指導		
3	卒業論文指導		
4	卒業論文指導		
5	卒業論文指導		
6	卒業論文指導		
7	卒業論文指導		
8	卒業論文指導		
9	卒業論文指導		
10	卒業論文指導		
11	卒業論文指導		
12	卒業論文指導		
13	卒業論文指導		
14	卒業論文指導		
15	卒業論文指導		
16	卒業論文指導		
17	卒業論文指導		
18	卒業論文指導		
19	卒業論文指導		
20	卒業論文指導		
21	卒業論文指導		
22	卒業論文指導		
23	卒業論文指導		
24	卒業論文指導		
25	卒業論文指導		
26	卒業論文指導		
27	卒業論文指導		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
28	卒業論文指導		
29	卒業論文指導		
30	卒業論文指導		

基本情報

科目名	障害児療育支援論
時間割コード	0223900801
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	李 玄玉
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
李 玄玉	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、最近増加している高機能自閉症、ADHD（注意欠陥多動性）、コミュニケーション障害など、教育現場で「気になる子ども」や発達障害をもつ子どもについての正しい理解とさらに、その子に合わせた適切な対応指導・支援の仕方を身に付けることができる。
履修上の注意事項	事前学習； 発達障害児の行動特性について調べる。 事後学習； 発達障害児の療育支援について現場での事例文献を収集する。
評価方法	定期テスト50点、授業態度及び発表・発言30点、レポート20点、合計100点
テキスト	プリントを配布する。
参考文献	授業進行に沿って紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1.オリエンテーション		
2	2. 発達障害児への援助 －現状と課題－		
3	3. 援助の基礎となる理論と課題		
4	4.行動問題に関する援助について		
5	5.コミュニケーションに関する援助		
6	6.教育的対応としての援助		
7	7.地域や家庭における生活に関する援助		
8	8. アセスメントと支援の方法		
9	9.困りごとの理解と対応するプログラムの作り方		
10	10.SSTにおける基礎的理解と応用		
11	11.スキルトレーニングの支援と実践		
12	12.リラクゼーションスキルの支援と実践		
13	13.コミュニケーションスキルトレーニングの支援と実践		
14	14.ペアレントトレーニングの支援と実践		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
15	15．ASD(自閉症スペクトラム障害)の理解と適応指導について		

基本情報

科目名	福祉サービスの組織と経営
時間割コード	0223901101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	川崎 孝明
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
川崎 孝明	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【授業の目的】 本授業では、社会福祉基礎構造改革のもとで展開された社会福祉サービスの運営および管理の方法をはじめ、業務運営のあり方に関する知識や技能を培うことを目的とする。加えて、社会福祉サービス提供組織のあり方やチームアプローチ、人材育成に向けた組織体制について学習する。</p> <p>【到達目標】 社会福祉サービスに係る組織の現状や仕組みを具体的に説明できる。 社会福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論を解釈することができる。 社会福祉サービスの組織体制と管理運営の方法と実際を自ら調べ、自分なりに考えを整理できる。</p>
履修上の注意事項	理解度を確認するための小テストを授業内で2回実施する。 毎回振り返りシートを自宅学習で取組み、翌週の講義開始前に提出を求める(2時間)。
評価方法	定期試験(70%)、小テスト2回(20%)、振り返りシート(10%)
テキスト	使用しない
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>社会福祉専門職が社会福祉事業を行うにあたって、直接的な対人援助だけでなく、人材育成を含めた職場環境の改善をはじめ、法人運営に関する基礎知識が近年の制度改革のなかで求められるようになった。社会福祉従事者=雇用労働者として位置づけると、組織運営のあり方についてさまざまな観点から学習する必要性は生じてくる。</p> <p>本授業では、社会福祉法人制度を契機として、法人設立に関する具体的手続きや制度改革の背景にある目的や今後の課題について学習する。また、運営管理という側面で、一般組織における基礎理論の系譜および実践事例についても取り上げていく。加えて、社会福祉サービスの質保障をめぐる具体的取組みを取り上げながら、社会福祉従事者に求められる組織における役割と実践について学ぶこととする。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	法人の種類	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
2	社会福祉事業と社会福祉法人	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
3	社会福祉法人の概要 - 設立要件ほか	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
4	社会福祉法人の概要 - 優遇措置ほか	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
5	規制改革と社会福祉法人	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	

授業計画

社会福祉専門職が社会福祉事業を行うにあたって、直接的な対人援助だけでなく、人材育成を含めた職場環境の改善をはじめ、法人運営に関する基礎知識が近年の制度改革のなかで求められるようになった。社会福祉従事者＝雇用労働者として位置づけると、組織運営のあり方についてさまざまな観点から学習する必要性は生じてくる。

本授業では、社会福祉法人制度を契機として、法人設立に関する具体的手続きや制度改革の背景にある目的や今後の課題について学習する。また、運営管理という側面で、一般組織における基礎理論の系譜および実践事例についても取り上げていく。加えて、社会福祉サービスの質保障をめぐる具体的取組みを取り上げながら、社会福祉従事者に求められる組織における役割と実践について学ぶこととする。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	社会福祉法人制度をめぐる現状と課題	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
7	NPO法人の仕組みと実践活動	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
8	医療法人・営利法人等の概要	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
9	経営と組織と経営に関する基礎理論 - 組織論ほか	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
10	経営に関する基礎理論 - PDCAサイクルほか	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
11	組織論をベースとした現場での活用	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
12	社会福祉サービスの運営管理と会計	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
13	社会福祉サービスの質保障 - 人材育成・評価事業	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
14	社会福祉サービスと危機管理 - リスクマネジメント	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
15	まとめ	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	

基本情報

科目名	ソーシャルワーク論
時間割コード	0223901501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
増田 公香	

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 相談援助における人と環境との交互作用に関する理論について理解できる。 2. 相談援助の対象と様々な実践モデルについて理解できる。 3. 相談援助の過程、知識や技術(介護保険及び障害者総合支援のサービス計画等を含む)について理解できる。 4. 相談援助における事例分析の意義や方法について理解できる。 5. 相談援助の実際(権利擁護活動を含む)について理解し、支援が展開できる。
履修上の注意事項	1. 社会福祉士国家試験受験資格取得希望者は、必ず履修する必要がある。 3. 予習については、授業計画のテーマに基づいて、テキストや他の文献等で事前学習すること(30分程度)。 4. 復習については、疑問点や理解不足の部分をテキスト等で再確認すること(30分程度)。
評価方法	期末試験と必要に応じたレポート課題によって評価する。
テキスト	社会福祉士養成講座編『相談援助の理論と方法』新・社会福祉士養成講座、中央法規出版。
参考文献	社会福祉士養成講座編『相談援助の基礎と専門職』新・社会福祉士養成講座、中央法規出版。 1年の教科書
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ソーシャルワーク(相談援助)における援助関係の意義と概念を理解する(利用者の意思決定支援)		
2	ソーシャルワーク(相談援助)における関係形成を理解する(ラポール、自己覚知など)		
3	ソーシャルワーク(相談援助)の機能・役割を理解する(マイクロ・メゾ・マクロの相互関係)		
4	インテークの意義、目的を理解する		
5	インテークの方法、留意点を理解する(マイクロカウンセリング等傾聴・共感等のスキル)		
6	アセスメントの意義、目的を理解する(問題把握・ニーズ確定支援等・エコマップのスキル)		
7	アセスメントの方法、留意点を理解する(事前評価から支援目標等記入のスキル)		
8	プランニングの意義、目的を理解する(援助計画、介護保険のケアプラン、ナラティブのスキル)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	プランニングの方法、留意点を理解する（援助計画、センター方式のスキル）		
10	説明と同意、及び各サービス計画を理解する（ケアプランの作成と契約スキル）		
11	モニタリングと評価の目的、方法を理解する（プロセス評価とアウトカム評価）		
12	再アセスメントを理解する（初期アセスメント・再アセスメント）		
13	終結と効果測定の目的、方法を理解する（支援プロセスの視覚化）		
14	予防的対応とサービス開発を理解する（個別援助から地域支援へ）		
15	相談援助論の総合スキルを理解する（新たな福祉サービス支援・全世代型援助）		

基本情報

科目名	ソーシャルワーク論
時間割コード	0223901601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助における人と環境との交互作用に関する理論について理解する。</p> <p>2. 相談援助の対象と様々な実践モデルについてそのスキルが実践できる。</p> <p>3. 相談援助の過程、知識や技術について理解でき、援助のプランニングができる。</p> <p>4. 相談援助における事例分析の意義や方法について理解し、実践できる。</p> <p>5. 相談援助の実際(権利擁護活動を含む)について理解し、実践できる。</p> <p>以上を通して、さまざまな生活課題に対して、他職種との連携や協働、個性性を尊重した支援ができる能力を身につける。</p>
履修上の注意事項	<p>1 社会福祉士国家試験受験希望者は、必ず履修すること。</p> <p>2 事前学習として、各講義内容に該当するテキスト部分を読んで、専門用語を調べることを含めて学習しておくこと(120分)。</p> <p>3 事後学習として、講義内で疑問に思ったことや支援方法等についてテキストを用いて整理し再確認すること(120分)。</p>
評価方法	単位修得試験によって評価する(100%)。
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編 7 『相談援助の理論と方法』(最新版)中央法規出版。
参考文献	講義の展開に応じて、適宜、提示・案内する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1.オリエンテーション ソーシャルワーク論 の振り返り (相談援助のプロセスを中心に)	ソーシャルワーク論 ~ の振り返りをしておくこと。また、専門用語等について整理しておくこと(120分) 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること(120分)。	
2	2.相談援助の展開過程 個別支援から地域支援へ	講義前には講義内容に該当するテキスト部分を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと(120分) 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること(120分)。	
3	3.相談援助のためのアウトリーチの技法	講義前には講義内容に該当するテキスト部分を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと(120分) 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	4.相談援助のための契約の技術	講義前には講義内容に該当するテキスト部分を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	
5	5.相談援助のためのアセスメントの技術	講義前には講義内容に該当する過程やアセスメントの内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	
6	6.相談援助のためのアセスメントの技術	講義前には講義内容に該当する過程やアセスメントの内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	
7	7.相談援助の介入技術	講義前には講義内容に該当する過程や介入の内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	
8	8.相談援助のための面接の技術	講義前には講義内容に該当する過程や面接の内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	
9	9.相談援助のための記録 意義と目的 記録の種類と活用	講義前には講義内容に該当する記録についての内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	
10	10.相談援助のための記録 記録の方法とIT化 記録と倫理	講義前には講義内容に該当する記録についての内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	
11	11.相談援助のための交渉と技術	講義前には講義内容に該当する交渉についての内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	
12	12.スーパービジョンの技術 スーパーバイザーとスーパーバイジーの関係	講義前には講義内容に該当するスーパービジョンについての内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと（120分） 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
13	13.事例研究・事例分析 児童虐待が疑われた事例 ホームレスへの相談援助事例	講義前には講義内容に該当する事例研究・分析についての内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと(120分) 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること(120分)。	
14	14.事例研究・事例分析 ドメスティック・バイオレンスの事例 認知症夫婦の事例	講義前には講義内容に該当する事例研究・分析についての内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと(120分) 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること(120分)。	
15	15.事例研究・事例分析 社会的排除に対する事例	講義前には講義内容に該当する事例研究・分析についての内容を読んでおくこと。また、専門用語等について整理しておくこと(120分) 講義後には、授業で疑問に思ったことや支援方法をテキスト等を用いて整理・再確認すること(120分)。	

基本情報

科目名	ソーシャルワーク論
時間割コード	0223901701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
田島 望	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>下位学年で学習したソーシャルワーク論に関する知識と得られた知見を用いて、相談援助を实践するソーシャルワーカーとして求められる価値と倫理、専門知識と技術について理解する。特に以下の点について学習する。</p> <p>ソーシャルワークにおける対象、ケアマネジメント、グループワークを理解する。</p> <p>ソーシャルワークにおけるコーディネーション、ネットワーキングを理解する。</p> <p>ソーシャルワークにおける社会資源の調整及び開発について把握する。</p>
履修上の注意事項	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験を受験する者は、必ず履修しなければならない。テキストの授業内容に該当する箇所を事前に読んでおくこと(60分)。分からない、忘れていた専門用語等について調べておくこと(60分)。授業後は授業内容の整理とともに、社会問題やソーシャルワークの实践と関連させて整理しておくこと(120分)。</p>
評価方法	単位修得試験によって評価する(100%)。
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編 8 『相談援助の理論と方法』(最新版),中央法規出版。
参考文献	授業の進展に応じて適宜提示する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	社会福祉士・精神保健福祉士の相談援助活動の対象及び基本的な考え方について	テキストの授業内容に該当する箇所を事前に読んでおくこと(60分)。分からない、忘れていた専門用語等について調べておくこと(60分)。授業後は授業内容の整理とともに、社会問題やソーシャルワークの实践と関連させて整理しておくこと(120分)。	
2	集団の性質やグループダイナミクスについて	テキストのグループワークの内容を事前に読んでおくこと(60分)。分からない、忘れていた専門用語等について調べておくこと(60分)。授業後は授業内容の整理とともに、社会問題やソーシャルワークの实践と関連させて整理しておくこと(120分)。	
3	集団を活用した相談援助の意義、目的について	テキストのグループワークの内容を事前に読んでおくこと(60分)。分からない、忘れていた専門用語等について調べておくこと(60分)。授業後は授業内容の整理とともに、社会問題やソーシャルワークの实践と関連させて整理しておくこと(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	集団を活用した相談援助の方法、留意点について	テキストのグループワークの内容を事前に読んでおくこと（60分）。分からない、忘れていた専門用語等について調べておくこと（60分）。授業後は授業内容の整理とともに、社会問題やソーシャルワークの実践と関連させて整理しておくこと（120分）。	
5	自助グループについて	テキストのセルフヘルプグループの内容を事前に読んでおくこと（60分）。分からない、忘れていた専門用語等について調べておくこと（60分）。授業後は授業内容の整理とともに、社会問題やソーシャルワークの実践と関連させて整理しておくこと（120分）。	
6	ケアマネジメントの目的、方法について	テキストのケアマネジメントの内容を事前に読んでおくこと（60分）。分からない、忘れていた専門用語等について調べておくこと（60分）。授業後は授業内容の整理とともに、社会問題やソーシャルワークの実践と関連させて整理しておくこと（120分）。	
7	アウトリーチの目的、方法について	テキストのアウトリーチの内容を事前に読んでおくこと（60分）。分からない、忘れていた専門用語等について調べておくこと（60分）。授業後は授業内容の整理とともに、社会問題やソーシャルワークの実践と関連させて整理しておくこと（120分）。	
8	社会資源の活用・調整・開発について	テキストの社会資源の活用・調整・開発の内容を事前に読んでおくこと（60分）。分からない、忘れていた専門用語等について調べておくこと（60分）。授業後は授業内容の整理とともに、社会問題やソーシャルワークの実践と関連させて整理しておくこと（120分）。	
9	ネットワーキングの目的、方法について	テキストのネットワーキングの内容を事前に読んでおくこと（60分）。分からない、忘れていた専門用語等について調べておくこと（60分）。授業後は授業内容の整理とともに、社会問題やソーシャルワークの実践と関連させて整理しておくこと（120分）。	
10	各種のネットワーキングの実際について	テキストのネットワーキングの内容を事前に読んでおくこと（60分）。分からない、忘れていた専門用語等について調べておくこと（60分）。授業後は授業内容の整理とともに、社会問題やソーシャルワークの実践と関連させて整理しておくこと（120分）。	
11	ケア会議の意義と目的について	テキストのケア会議の内容を事前に読んでおくこと（60分）。分からない、忘れていた専門用語等について調べておくこと（60分）。授業後は授業内容の整理とともに、社会問題やソーシャルワークの実践と関連させて整理しておくこと（120分）。	
12	「個人情報保護法」の運用について	テキストの個人情報保護の内容を事前に読んでおくこと（60分）。分からない、忘れていた専門用語等について調べておくこと（60分）。授業後は授業内容の整理とともに、社会問題やソーシャルワークの実践と関連させて整理しておくこと（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	ITを活用した支援方法の意義と目的について	テキストのITを活用した支援の内容を事前に読んでおくこと（60分）．分からない，忘れている専門用語等について調べておくこと（60分）．授業後は授業内容の整理とともに，社会問題やソーシャルワークの実践と関連させて整理しておくこと（120分）．	
14	ITを活用した支援方法と留意点について	テキストのITを活用した支援の内容を事前に読んでおくこと（60分）．分からない，忘れている専門用語等について調べておくこと（60分）．授業後は授業内容の整理とともに，社会問題やソーシャルワークの実践と関連させて整理しておくこと（120分）．	
15	ソーシャルアクションによる社会システムづくりについて	テキストのソーシャルアクションの内容を事前に読んでおくこと（60分）．分からない，忘れている専門用語等について調べておくこと（60分）．授業後は授業内容の整理とともに，社会問題やソーシャルワークの実践と関連させて整理しておくこと（120分）．	

基本情報

科目名	ソーシャルワーク演習
時間割コード	1000580201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	相談援助の知識と技術に係るほかの科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができることをめざす。総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげること。個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレイング等)を中心とする演習形態により実施する。
履修上の注意事項	小集団による話し合いやグループワークを行うので、積極的に参加することを求める。本演習では、社会福祉士、精神保健福祉士の国家資格の取得を前提とし、専門職として就労することを目標にする学生が望ましい。また、指定された課題について、あらかじめ調べ準備を整え、不明な箇所については自身で調べ直す予習復習を求める。
評価方法	授業態度・発表の内容・技能習得状況が50%、予習復習による自主的学習態度・状況が10%、課題の内容・提出状況・学期末時の課題が40%による総合評価とする。
テキスト	授業内で提示する。
参考文献	随時指示する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	ソーシャルワーク演習
時間割コード	1000580203
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>社会福祉士・精神保健福祉士に求められる具体的な援助場面を想定した実技指導を通して、ソーシャルワーカーに求められるコミュニケーション能力をはじめとした基礎的な能力の涵養を目指す。またソーシャルワークの知識と技術を実践的に理解する。</p> <p>具体的なソーシャルワークの展開過程を学ぶことで、ソーシャルワークの価値規範と倫理について実践的に理解する。またソーシャルワークの展開過程において必要となる他の科目との関連性を理解する。</p> <p>ロールプレイングといった具体的な援助場面を想定した実技指導を中心とした学びをとおして実践的理解を深める。</p>
履修上の注意事項	<p>社会福祉士国家試験受験資格希望者、及び精神保健福祉士国家試験受験資格希望者は、必ず1年次2学期から履修すること。</p> <p>グループでの話し合いでは進んで発言することが望まれる。授業の前には配布されている資料を熟読しておくこと。授業後は専門用語の確認と授業内容を振り返っておくこと。</p>
評価方法	<p>授業態度、積極的姿勢から20%</p> <p>課題レポートの提出&内容から30%</p> <p>試験から50%</p>
テキスト	『ソーシャルワーク基本用語辞典』 2013年刊 川島書店
参考文献	必要に応じて配布、もしくは指示する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	シラバスの説明、アイスブレイキング(自己紹介を含む) ソーシャルワーク演習の意義と目的を理解する		
2	ソーシャルワークの展開に求められる知識と技術に係る他科目との関連性について理解する		
3	人と環境の交互作用について学ぶことで、人とその人を取り巻く環境の把握の重要性と生活モデルを理解する		
4	人と環境の交互作用について学ぶことで、自己理解と他者理解の重要性と難しさを理解する		
5	ソーシャルワークの具体的展開の学びをとおして価値基準、及び倫理、理念の重要性を理解する		
6	ソーシャルワークの展開に求められる機能と、ソーシャルワーカーが果たす役割を理解する		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	コミュニケーション技術の実技指導 クライアントとの関わりにおける注意事項と特質		
8	面接技術について実技指導 面接の構造化と環境の重要性		
9	面接技術について実技指導 言語的表現の習得		
10	ソーシャルワークの展開過程 インテークの重要性の理解と、ラポール形成		
11	ソーシャルワークの展開過程 アセスメントの重要性の理解とニーズ抽出		
12	ソーシャルワークの展開過程 利用者主体、環境との相互作用の実際		
13	ソーシャルワークの展開過程 プランニングとモニタリングの実際		
14	実践知を踏まえたモニタリングとアフターケアの理解		
15	実践知を踏まえたスーパービジョンの重要性		

基本情報

科目名	ソーシャルワーク演習
時間割コード	1000580204
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	ソーシャルワークの実践に必要なコミュニケーション能力を養う。ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を踏まえ、社会福祉士及び精神保健福祉士として求められる基礎的な能力を涵養する。またソーシャルワークの価値規範と倫理について実践的に理解する。ソーシャルワークの展開過程において必要になる知識と技術を実践的に理解する。ロールプレイングといった具体的な援助場面を想定した実技指導を中心とした演習を通して実践的理解を深める。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義と実習をつなぐ重要な科目であることを理解して取り組んでください。 ・ 次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 ・ 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)。 ・ 演習形態での授業のため、各回のグループワークやロールプレイ等への主体的な参加(発言)を求めます ・ 毎回の講義を積み上げていきますので、出席は必須と考えてください。
評価方法	演習の参加態度と授業内の課題への取り組み(40%)、課題レポート(30%)、学期末総合課題(30%)により評価します。
テキスト	テキストは使用しません。講義内にて、適宜紹介・配布します。
参考文献	講義内にて、適宜紹介します
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己覚知と他者理解の重要性を理解する。自己覚知に取り組み、深める。 2. 基本的なコミュニケーション技術(言語的技術:質問や促し、言い換え)を習得する。 3. 基本的なコミュニケーション技術(言語的技術:感情の反映、繰り返し、要約等)を習得する。 4. 基本的なコミュニケーション技術(非言語的技術:表情、態度、身振り、位置取り等)を習得する。 5. 面接の構造化といった基本的な面接技術を理解し習得する。 6. 面接の場の設定やツールの活用等について学び理解する。 7. ケースの発見、インテークの事例を用いてソーシャルワーク場面と過程を想定した実技指導を通して実践的に理解する。 8. 事例を用いてソーシャルワークの場面と過程を想定したアセスメントについて実技指導を通して実践的に理解する。 9. 事例を用いてソーシャルワークの場面と過程を想定したプランニングについて実技指導を通して実践的に理解する。 10. プランに基づいた支援の実施とモニタリングまでの事例を用いてソーシャルワークの場面と過程を想定した実技指導を通して実践的に理解する。 11. 支援の終結と事後評価について学び、アフターケアの事例を用いてソーシャルワークの場面と過程を想定した実技指導を通して実践的に理解する。 12. ソーシャルワークの記録の重要性に対する理解と支援経過の把握と管理について実践的に理解する。 13. グループワークの実践を通して、グループダイナミクスの活用について実践的に理解する。 14. グループワークの実践を通して準備期、開始期、作業期、終結期までの展開過程を実践的に理解する。 15. 個人及びグループによるプレゼンテーション技術を習得する。 <p>【事前・事後学習について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前学習として、上記の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目(特にソーシャルワーク論)の復習を行っておくこと。また分からない用語等について確認し調べておくこと(120分)。 ・ 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べて整理しておくこと(120分)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	こころのしくみの理解
時間割コード	1000590201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	未定
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会から求められる医療人の育成のために、心理学の知見と医療現場で求められる知識や考え方を理解することを目指す。そのために、人間についての基本的理解、現場に役立つ実践的な心理学の習得、患者理解のための心理学及び歯科患者の心理などについて理解できるようにする。
履修上の注意事項	本科目は再試験を実施しない。したがって、日頃からの出席とノートテークをしっかりとしないと単位取得は難しい。さらに事前・事後ノートの整理や内容について自学学習を怠らないこと。
評価方法	定期試験：100点で評価する
テキスト	未使用
参考文献	各單元ごとに紹介していく
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	シラバス説明 オリエンテーション 一般心理学との違い等		
2	生理心理学と大脳生理		
3	こころと身体の世界		
4	こころと行動の形成		
5	こころと行動の発達		
6	こころの個性と深層		
7	こころの適応と障がい		
8	こころと身体臨床心理		
9	対人援助者と患者の人間関係		
10	対人援助に役立つ心理テスト		
11	医療に役立つ心理療法		
12	被援助者の心理メカニズム		
13	ストレスとコーピング		
14	こころのしくみ		
15	こころのしくみ(進化心理学)		

基本情報

科目名	発達と老化の理解
時間割コード	1000600201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	地域の中で生活する人への援助を考えるために「ヒト」を理解することを目的とする。 ヒトは時間の経過とともに変化していく。 発達と老化の理解では、生殖機能から受精、その後の細胞の変化と成長過程を知り、成長と老化について、その様子を解剖生理学的に説明でき、発達段階の精神と合わせて説明できることをねらいとする。また、細胞の死と人の死とは何か考えることができるようになる。
履修上の注意事項	事前学習として、講義で示している単元のテキストを読んでくること。 事後学習では、講義中にとったノートをまとめなおすこと。 事前・事後学習に要する時間 計60分程度
評価方法	筆記試験80%、レポート課題20%で評価する。
テキスト	人体の構造と機能「解剖生理学」 メディカ出版
参考文献	解剖生理学 医学書院 こころとからだのしくみ 「発達と老化の理解」中央法規
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：大学病院（看護師）、一般病院（看護部長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	受精と胎児の発生、成長を知る	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
2	出生と、そこに生じる危険による影響を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
3	人間の発達について、生涯発達の視点と発達の可塑性を知る	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
4	乳児期の発達と発達課題を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
5	幼児期の発達と発達課題を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
6	学童期から思春期の発達と発達課題を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	青年期・成人期から更年期の発達と発達課題を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	老年期とは何か、法律や制度も含めて理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	老化のメカニズム（身体におこる変化）を知る	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	老年期の発達課題と適応理論を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	老化に伴う心肺機能の変化と日常生活への影響を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	老化に伴う筋・骨格系、腎・肝機能の変化と日常生活への影響を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	老化と感覚器系の変化と影響を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	老化に伴って起こりやすい疾患と生活上の影響を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	細胞の死と身体の変化を知る	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	こころとからだのしくみ
時間割コード	0224000301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	地域で生活する生活困難を抱えた方々への課題解決を見出すことができる力を身につけることを目的とする。 生活支援に必要な介護技術の根拠となる人体の構造や機能および生活援助サービスの提供における安全への留意 点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。
履修上の注意事項	学則の出席規定を遵守すること。出席不足の学生は評価対象としない。 演習等をおりませながら授業展開するため、積極的に取り組み、課題提出期限を守ること。 期限を過ぎた提出物は評価対象としない。 事前学習として、講義で示している単元のテキストを読んでくること。(30分) 事後学習では、講義中にとったノートをまとめなおし、課題に取り組むこと。(30分)
評価方法	筆記試験 80% 演習参加状況、課題提出 20% 課題にはコメントを入れて返却する
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会編集『こころとからだのしくみ』中央法規出版
参考文献	講義中、適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師として病院勤務経験、管理職経験 訪問看護師として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成課程(専修学校)勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	人体の構造と機能、障害や認知症を理解し、生活機能低下における生活行動への影響を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	身じたくに関連した身体機能の名称および役割と、心理的影響を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	身体や認知機能低下・障害が及ぼす整容行動への影響、生活場面での変化の気づきと連携を学ぶ。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	身じたくに関連したこころとからだのしくみを理解する。(事例をととした演習による理解)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	移動に関連した身体機能の名称および役割と、心理的影響を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	身体や認知機能低下・障害が及ぼす移動への影響と、生活場面における変化の気づきと連携を学ぶ。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
7	移動に関連したところとからだのしくみを理解する。（事例をとおした演習による理解）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	食事に関連した身体機能の名称および役割と、心理的影響を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	食べることに関連したところとからだのしくみを理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	身体や認知機能低下・障害が及ぼす食事への影響と、生活場面における変化の気づきと連携を学ぶ。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	食事に関連したところとからだのしくみを理解する。（事例をとおした演習による理解）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	排泄に関連した身体機能の名称および役割と、心理的影響を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	身体や認知機能低下・障害が及ぼす排泄への影響と、生活場面における変化の気づきと連携を学ぶ。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	排泄に関連したところとからだのしくみを理解する。（事例をとおした演習による理解）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	身じたく・移動・食事・排泄、認知症状の理解と心理的变化の理解を統合した支援の視点を学ぶ。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	こころとからだのしくみ
時間割コード	0224000401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	地域で生活する方々の生活困難課題を見出し、適切な支援について検討する力を身につけることを目的とする。 介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。
履修上の注意事項	事前学習として、講義で示している単元のテキストを読むこと。(30分) 事後学習では、講義中にとったノートをまとめなおし、課題に取り組むこと。(30分) 授業内ではディスカッション・ディベート等、話し合い活動を取り入れることが多い。 積極的に参加し、自らの考えを伝え、支援の方向性を見出すこと。
評価方法	原則として筆記試験(60%)、積極性及び小レポート(40%)を評価の対象とする。 提出されたレポートにはコメントを入れて返却する。
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会編集 最新介護福祉士養成講座「こころとからだのしくみ」 中央法規
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	【吉岡】 大学病院(看護師)、一般病院(看護師長)、訪問看護ステーション(訪問看護師・管理者)、 介護福祉士養成校教員(高齢者科目担当)他 【小阪】 介護支援専門員 社会福祉士 介護福祉士 として、高齢者施設や病院にて勤務 【石本】 介護支援専門員 介護福祉士として、高齢者施設にて勤務

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	人体の構造と機能、障害や認知症を理解し、生活機能低下における生活行動への影響を理解する(吉岡)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	入浴・清潔に関連した身体機能の名称・役割と心理的影響(小阪)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	身体や認知機能低下・障害が及ぼす入浴行動への影響と変化(小阪)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	入浴に関連した仕組みの理解(石本)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	清潔に関連した身体機能の名称・役割と影響(小阪)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	身体・認知機能低下・障害が及ぼす清潔行動への影響（小阪）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
7	清潔に関連した仕組みの理解（石本）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	睡眠に関連した身体機能の名称及び役割と心理的影響（吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	身体・認知機能低下・障害が及ぼす睡眠への影響（小阪）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	睡眠に関連した仕組みの理解（石本）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	終末期と法的な死の理解（石本）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	死のプロセスと変化の理解（吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	ターミナルケアの介護の役割と家族支援（小阪）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	グリーフケアの理解と死生観の検討（吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	生活に欠かせない行動における支援の特徴（吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	発達と加齢現象
時間割コード	1000610201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	未定
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	一般心理学の基礎理論・技術をベースに、高齢者への心理的援助のあり方を理解できること。特に発達心理学・認知心理学及び老年学(ジェロントロジー)の視点を入れながら高齢者の理解や加齢現象に伴う問題及び心理的問題に対する対応方法について理解できるようにする。
履修上の注意事項	主に高齢者の加齢現象について、新聞や文献等で事前に学習しておくこと。さらに生涯発達の観点から、高齢期の位置づけなどについて復習すること。
評価方法	単位認定試験：100点満点で評価する。
テキスト	未使用
参考文献	適宜、指示していく。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	生涯発達心理学とエイジング心理学		
2	ジェロントロジーと生涯発達		
3	発達段階と課題		
4	高齢者を含む心理学的人間理解		
5	高齢期のサクセスフル・エイジングと生きがい		
6	高齢者の健康(体力と機能)		
7	感覚・知覚のエイジング		
8	記憶・学習のエイジング		
9	認知・知能のエイジング		
10	性格・感情のエイジング		
11	家族との関係		
12	社会・仕事との関係		
13	心理的問題への理解		
14	認知症への理解		
15	まとめ：生涯発達の観点から加齢を理解し、高齢者の心理や機能の変化に関する知識を総括する		

基本情報

科目名	感覚・知覚の行動心理
時間割コード	0224000501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	山住 賢司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	我々人間は感覚・知覚を通じて外界の情報を得ている。感覚や知覚の働きがなければ、自己の存在を含め、どんな存在も認識することは出来ないだろう。心理学の分野では感覚・知覚の研究は古くから関心もたれ、行動の科学としての心理学の実験テーマとして研究されてきた。本講義では、心の働きとしての感覚・知覚についての基礎的な知識や心理学における研究法などについて取り上げ、それらの理解を目的とする。本講義を通じて受講者は、感覚・知覚の心理学的基礎について自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	講義に加え簡単なデモンストレーションも行う予定である。欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。理解度を確保するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。再試験は実施しない。なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	使用せず、講義中に随時資料を配布する。
参考文献	「朝倉心理学講座6 感覚知覚心理学」 菊地正(編) 朝倉書店 2008 「知覚心理学 心の入り口を科学する」 北岡明佳(編著) ミネルヴァ書房 2011
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	感覚・知覚とは	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
2	感覚・知覚心理学の歴史と方法論	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
3	精神物理学的測定法と刺激閾・弁別閾	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
4	視覚：視覚システムと基礎機能	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
5	視覚：明るさ・色の知覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
6	視覚：形の知覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
7	視覚：3次元空間の知覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
8	視覚：運動の知覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
9	聴覚：聴覚系の機能と構造	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
10	聴覚：聴覚の知覚的性質	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
11	聴覚：音声の知覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
12	聴覚：音楽の知覚・認知	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
13	身体感覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
14	味覚と嗅覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
15	多感覚相互作用	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	

基本情報

科目名	学習と人間行動
時間割コード	0224000601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	山住 賢司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	人間行動において学習が果たす役割は大きい。学習という過程なしに過ごす日々は皆無といって良いだろう。授業や本を読んで学ぶ知識の他にも、日常生活の様々な場面に学習は関与している。本講義では学習の分野における諸現象を学び、学習心理学の基礎的な知識の理解を目的とする。本講義を通じて受講者は、学習心理学の基礎的知識について自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 テキストは毎回必ず持参すること。 理解度を確保するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。 再試験は実施しない。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	「コンパクト新心理学ライブラリ2 学習の心理 - 行動のメカニズムを探る - 第2版」 実森正子・中島定彦(著)サイエンス社 2019
参考文献	「新心理学ライブラリ6 学習心理学への招待[改訂版] 学習・記憶のしくみを探る」 篠原彰一(著)サイエンス社 2008
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	「学習」について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
2	馴化と鋭敏化	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
3	古典的条件づけの基本的特徴	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
4	古典的条件づけに影響を及ぼす諸要因	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	複雑な古典的条件づけ	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
6	古典的条件づけにおける信号機能	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
7	古典的条件づけで学習される内容とその発現システム	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
8	オペラント条件づけの基礎	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
9	オペラント条件づけにおける強化・消去と罰	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
10	オペラント条件づけの強化スケジュール	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
11	オペラント条件づけにおける弁別	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
12	オペラント条件づけにおける刺激般化	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
13	概念学習・観察学習・問題解決	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
14	記憶と学習	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	エピソード記憶とメタ記憶	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

基本情報

科目名	認知と人間行動
時間割コード	0224000701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	山住 賢司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	人間が外界の情報を取り扱う過程を「認知」と呼ぶ。本講義では、広い意味での情報処理的アプローチにより認知系の働きを理解する認知心理学について学んでゆく。 人間のこころの働きの中でも重要な役割を占める記憶や思考・推論など複雑な過程が、認知心理学によりどのように説明されるのかを理解することを目的とする。 本講義を通じて受講者は、認知心理学の基礎的知識について自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 テキストは毎回必ず持参すること。 理解度を確認するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。 再試験は実施しない。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	「グラフィック 認知心理学」 森敏昭・井上毅・松井孝雄(著) サイエンス社 2000
参考文献	「認知心理学」 箱田裕司・都築誉史・川畑秀明・萩原滋(著) 有斐閣 2010
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	「認知心理学」について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
2	記憶の区分	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
3	記憶過程の説明モデル	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
4	忘却と検索	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	概念と言語	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
6	意味記憶とエピソード記憶	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
7	知識の表象	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
8	イメージと空間の情報処理	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
9	認知の制御過程	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
10	文章の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
11	文章の記憶	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
12	推理	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
13	問題解決	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
14	意思決定	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	日常世界の記憶と認知	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

基本情報

科目名	臨床発達心理学
時間割コード	0224002901
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名	
水間 宗幸	

詳細情報

授業の目的・到達目標	乳幼児期以降、特に思春期・青年期における変化を、生涯発達の視点から理解することができる。また生活における社会的変化に沿って、それぞれのライフステージの課題を理解し、特に発達障害の理解と支援を含めた生涯発達支援を行なう上での必要な考え方を習得する一方で、発達障害を中心とした発達上の課題を抱えた人たちの発達の様相を理解することができる。
履修上の注意事項	次回内容の教科書を事前に読み込んでおくこと。復習時には、キーワードを自分のことばで説明できるようにしておくこと。予習45分、復習45分、計90分を目安とする。
評価方法	総合的な学びと理解を問う筆記試験により評価を行う。フィードバックについては、希望者に口頭で個別に評価内容を伝える。
テキスト	「子どもが育つということ:身体と関係性の発達臨床」 山上雅子 ミネルヴァ書房
参考文献	「新・プリマーズ/保育/心理 発達心理学」ミネルヴァ書房(無藤隆ほか)(1年時の「発達心理学」テキスト)。その他、適宜、紹介していく。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	臨床発達進学とは何か(イントロダクション)		
2	認知機能の発達について		
3	ことばの発達について		
4	社会性の発達について		
5	困難事例とは何か		
6	困難事例から考える理解と支援 学童期の自閉スペクトラム症		
7	困難事例から考える理解と支援 学童期の注意欠如多動症		
8	困難事例から考える理解と支援 学童期の学習症		
9	困難事例から考える理解と支援 ~青年期の自閉スペクトラム症	思春期	
10	困難事例から考える理解と支援 ~青年期の迷い	思春期	
11	困難事例から考える理解と支援 特別支援教育の中の性教育	特別支	
12	困難事例から考える理解と支援 強度行動障害	強度行	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	困難事例から考える理解と支援 発達障害児の不登校		
14	災害時における障害児・者と家族の理解と支援		
15	困難を感じる事例と支援を再考		

基本情報

科目名	心理学概論
時間割コード	1000620201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	山住 賢司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、心理学という学問分野の全体像とその広がりについて学んでゆく。心理学は実証科学であり、様々なエビデンスに基づいて「人の心」を明らかにすることを目指している。そのような学問背景を持つ心理学が人間の多種多様な側面をどのように説明しているかを古典的研究から最新研究まで幅広く概観することで、心理学がどのような学問であるかについての理解を深めることを目的とする。 本講義を通じて受講者は、心理学とはどのような学問であるのかを理解し、自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 理解度を確認するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。 再試験は実施しない。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	使用せず、講義中に随時資料を配布する。
参考文献	「心理学ビジュアル百科 基本から研究の最前線まで」 越智啓太(編) 創元社 2016 「カラー版 マイヤーズ心理学」 D・マイヤーズ(著) 西村書店 2015
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：心理学のこれまでとこれから	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
2	感情と心理学：単純接触効果、情動の二要因説、ソマティック・マーカー仮説	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
3	社会の中の心理学：対人魅力、認知的不協和、傍観者効果、フレーミング効果	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	パーソナリティと心理学：Big Five理論、権威主義的パーソナリティ、アイヒマン実験	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
5	心の病と健康の心理学：精神疾患、向精神薬、レジリエンス	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
6	脳と心の関係：脳損傷、機能局在、ミラーニューロン	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
7	進化と心理学：利己的な遺伝子、囚人のジレンマとシッペ返し戦略、ソーシャルブレインズ	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
8	こころの発達：ピアジェの認知発達、心の理論、新生児模倣、アタッチメント	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
9	学習と心理学：条件づけ、観察学習、社会的学習理論	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
10	感覚の心理学：感覚モダリティ、共感覚、ラバーハンド錯覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
11	音の世界の心理学：音の性質、メロディらしさの認知、心を動かす音楽	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
12	音声とコミュニケーションの心理学：印象伝達、非言語コミュニケーション、声を操る	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
13	記憶・注意の心理学：記憶の再構成、プライミング効果、チェンジブラインドネス	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
14	意識・認識と心理学：因果関係の知覚、AIとニューラルネットワーク、意識の神経相関説	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
15	まとめ	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	

基本情報

科目名	健康相談論
時間割コード	0224000901
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
古賀 由紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	児童生徒の心の健康問題が深刻化し、保健室でも心身両面の対応が養護教諭の重要な職務として位置づけられて いることを理解する。また養護教諭の専門性や保健室の機能を生かした相談活動としての「健康相談」について の理論と方法について理解し、具体的に子どもの状態のとらえ方と対応について説明できる。
履修上の注意事項	授業の最後に課題を提示するので、その内容についてテキスト及び他の文献を用いて調べておくこと。(60分) それを次の授業で提出する。また毎回授業の最後に振り返りと質問をかかせる。確認後、次の授業で返却する。 前時間の質問には授業の最初に応える。
評価方法	レポート30%、まとめのテスト70%として評価する
テキスト	養護教諭の行なう健康相談 大谷尚子、森田光子編 東山書房
参考文献	学校保健実務必携 第一法規
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	児童生徒の心身の健康問題の現状と背景 /健康相談の基本的理解		
2	養護教諭の職務の特質及び保健室の機能 と健康相談		
3	健康相談と健康相談活動(学校保健安全 法との関連)		
4	健康相談に関連する諸理論		
5	健康相談のプロセス		
6	ヘルスアセスメントについて		
7	健康相談における子ども理解の方法(演 習含む)		
8	健康相談における心理的理解		
9	健康相談における連携		
10	諸問題の捉え方とかかわり方		
11	諸問題への具体的な対応について(事例 研究の目的)		
12	事例から相談支援を具体的に学ぶ 疾 病を伴う事例		

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	事例から相談支援を具体的に学ぶ 非社会的行動、反社会的行動、生活上の課題を持つ事例		
14	保健室登校と不登校の捉え方と対応		
15	健康相談における記録、力量形成・研究・研修		

基本情報

科目名	病態生理学
時間割コード	0224001001
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	病態生理学は、疾病を正常機能の破綻や調節機能の異常の観点から原因解明し、病理学は、疾病の原因、機序、診断を明らかにする学問である。病態生理学では、解剖生理学で学んだ人体の正常な仕組みに関する知識に基づき、疾病の成り立ちを基本的な機序に沿って整理する。さらに、その結果引き起こされる組織や臓器の変化に関する正しい知識を身につけ、各種疾患における病態生理や臨床症状を理解するための基礎を総論的に学ぶ。専門用語を正しく理解し、臓器ごとの各種疾患の成り立ちを理解するための基礎を身につける。正常な状態から病態への移行と回復過程に関する基本的知識を正確に理解し、説明できることを目標とする。
履修上の注意事項	1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること(1時間程度)。 2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること(1時間程度)。 3) 講義プリントはファイルし、毎回、教科書、ノートと一緒に必ず持ってくること。 4) 専門用語は正確に覚え、その概念を正しく理解すること。理解できない内容は講義の前後に質問すること。
評価方法	1) 筆記試験(100%)で、正常な状態から病態への移行と回復過程に関する基本的知識を正確に理解し、説明できるかを評価する。 2) 最終授業で、全体に対するフィードバックを行う。
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進 [1]「病理学」大橋健一ほか著、医学書院
参考文献	1) なるほどなっとく!病理学 病態形成の基本的な仕組み 改訂2版、小林 著、南山堂 2) シンプル病理学 改訂第8版。笹野 他編、南江堂
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	病理学で学ぶこと、病気の原因(内因、外因)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
2	細胞・組織の障害と修復	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
3	循環障害 : 局所性	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
4	循環障害 : 全身性	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
5	炎症	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
6	免疫と免疫不全	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
7	アレルギーと自己免疫疾患、移植と再生医療	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
8	感染症	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
9	代謝障害 : 脂質代謝障害、タンパク質代謝障害	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	代謝障害：糖代謝障害、そのほかの代謝障害	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	老化と死	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	先天異常と遺伝子異常	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	腫瘍：腫瘍の定義と分類、悪性腫瘍の広がりと影響	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	腫瘍：腫瘍の発生病理	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	腫瘍：腫瘍の診断と治療、腫瘍の統計	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	環境衛生学
時間割コード	0224001101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	星野 輝彦
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名	
星野 輝彦	

詳細情報

授業の目的・到達目標	環境因子と人との相互関係に関する知識について学ぶ。 生活環境の安全の確保と健康の維持・増進の重要性を認識できるようになる。
履修上の注意事項	授業前にプリントを読み、わからない語句を調べる。また授業で得た知識を復習しておくこと(60分)。 出欠は出席カードを用います。出席カードの裏に講義の質問や感想を書くこと。次回講義の際回答します。
評価方法	試験90%、レポート10%
テキスト	各講義の際に資料を配布する。
参考文献	「環境衛生の科学」篠田純男、那須正夫、黒木広明、三好伸一(三共出版) 「環境衛生科学」大沢基保、内海英雄(南江堂)
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	薬剤師として学校環境衛生管理に関与している。

授業計画

授業計画	
スライドやDVDを利用します。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	環境衛生学概論：環境衛生の歴史	環境と人類の共存 事前：2時間、事後：4時間	
2	環境因子と人体：環境物質の体内動態と毒性、安全の基準	体内動態と毒性発現 事前：2時間、事後：4時間	
3	環境化学：生態系と物質動態	生態系の構造と環境の中の物質の動態 事前：2時間、事後：4時間	
4	地球環境の化学：オゾン層破壊、地球温暖化、酸性雨	地球温暖化 事前：2時間、事後：4時間	
5	環境因子と健康：化学的因子(重金属、農薬、工業薬品など)の健康への影響	化学物質の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
6	環境因子と健康：化学的因子(環境ホルモンなど)の健康への影響	環境ホルモン 事前：2時間、事後：4時間	
7	環境因子と健康：生物学的因子(病原微生物など)の健康への影響	病原微生物の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
8	環境因子と健康：物理的因子(放射線など)の健康への影響	放射線の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
9	環境因子と健康：物理的因子(温熱、圧力、騒音など)健康への影響	温度、気圧、騒音などによる健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
10	大気環境と健康：大気汚染の状況と対策	大気汚染の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
11	水環境と健康：水に由来する健康被害、水質汚濁状況と対策	水による健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
12	食品環境と健康：食品汚染と食中毒	食品汚染による健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
13	生活環境と健康：室内の汚染物質	室内の汚染物質 事前：2時間、事後：4時間	

授業計画

スライドやDVDを利用します。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	生活環境と健康：廃棄物の分類と処理方法	廃棄物の分類 事前：2時間、事後：4時間	
15	環境影響評価と対策：環境アセスメント	環境アセスメント 事前：2時間、事後：4時間	

基本情報

科目名	公衆衛生学
時間割コード	0224001201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
嶋 政弘、阿部 敦

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 現代における健康課題を理解するために、その基礎となる知識と技能を習得する。 2 私たちを取り巻く自然・社会環境や人々の活動を理解し、心身ともに健康で豊かなQOLの向上を目指すことができる。
履修上の注意事項	1 ペアによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。 2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加40%、期末試験60%で評価する。 再試験は実施しない。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回、資料(学習プリント)を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	健康の定義と位置づけ		
2	健康の要因と公衆衛生の特徴		
3	公衆衛生の歴史(公衆衛生の発展に寄与した人物を基に)		
4	予防医学とヘルスプロモーション		
5	健康な社会を目指して 健康の測定と健康指標		
6	健康な社会を目指して 人口に関する現状と課題を中心に		
7	健康な社会を目指して 新生児~学童期の生命(母子保健を含む)		
8	集団の傾向の把握 疫学的考えに基づく解析		
9	学習指導案の作成 学集団の傾向の把握 実態把握の方法とバイアス		
10	教育情報機器の操作 集団の傾向の把握 データの種類と解釈		
11	感染症とその予防 感染症成立の条件と発症までの経緯		
12	感染症とその予防 感染症に関する現状と傾向(予防と根絶を含む)		
13	食品保健と栄養 食品の安全(食中毒)と現状		
14	食品保健と栄養 食品の機能と安全性		
15	生活習慣病 主な生活習慣病の原因と健康影響(予防と対策を含む)		

基本情報

科目名	精神保健
時間割コード	0224001301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
水間 宗幸、平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 精神の健康についての基本的考え方と精神保健学の役割について説明できるようになる。 2 精神保健を維持・増進するために機能している専門機関や関係職種との役割と連携について基礎的知識を備える。
履修上の注意事項	1 必ず講義ノートを作成すること。また、配布するプリントをファイル化し毎回持参することが必要である(配布資料は何回か使用する可能性がある)。 2 授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと。 3 授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること。 4 予習45分、復習45分、計90分を目安とする。
評価方法	試験による評価(70%)および授業中のレスポンスやミニレポート(30%)。なお希望者には個別に評価内容を伝える。
テキスト	「最新 精神保健福祉士養成講座2 現代の精神保健の課題と支援」 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 (中央法規)
参考文献	
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	精神保健の概要(担当:水間)		
2	精神保健分野の動向と基本的考え方(担当:水間)		
3	社会構造の変化と新しい健康観(担当:水間)		
4	ストレスと精神の健康(担当:水間)		
5	家族およびライフサイクルと精神の健康(出生前~思春期)(担当:水間)		
6	家族およびライフサイクルと精神の健康(青年期~老年期)(担当:水間)		
7	精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ(担当:水間)		
8	精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ(担当:水間)		
9	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ 貧困、ホームレス、引きこもりと精神保健等(担当:水)		
10	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ 異文化接触、LGBT、触法行為と精神保健等(担当:		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	精神保健に関する発生予防と対策 うつ病と自殺予防対策等		
12	精神保健に関する発生予防と対策 家族に関する子育て支援と虐待予防、引きこもり等		
13	地域精神保健に関する偏見・差別の課題（担当：水間）		
14	精神保健に関する専門職と国、都道府県、市町村、団体等の役割及び連携（担当：平川）		
15	精神保健に関する国際的動向（担当：水間）		

基本情報

科目名	精神保健
時間割コード	0224001401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	上田 智之
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
上田 智之

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における精神保健の諸課題と、精神保健の実際及び精神保健福祉士の役割について説明できるようになる。 ・精神保健を維持、増進するために機能している、専門機関や関係職種との役割と連携について説明できるようになる。 ・国際的視野に立った精神保健活動や他の国々における精神保健の現状と対策について基礎的知識を備える。
履修上の注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと。 2. 授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること。
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 試験による評価(60%) 2 授業中のレスポンスやミニレポート(30%) 3 小テスト(10%)
テキスト	新・精神保健福祉士養成講座『精神保健の課題と支援(第3版)』中央法規,2018年
参考文献	『精神保健医療福祉白書2017年版』精神保健医療福祉白書編集委員会編,中央法規 野村総一郎・樋口輝彦【監修】『こころの医学辞典』講談社 2003 その他、講義時に適宜資料配布。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	上田智之:看護師として精神科病院経験 緒方浩志:看護師として精神科病院経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	精神保健活動の実際 【家庭における精神保健と家族支援】(上田)	事前:授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと(120分)。 事後:授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること(120分)。	
2	精神保健活動の実際 【学校における精神保健/いじめ・不登校・教員の精神保健】(緒方)	事前:授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと(120分)。 事後:授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること(120分)。	
3	精神保健活動の実際 【学校コミュニティ/スクールソーシャルワーク】(上田)	事前:授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと(120分)。 事後:授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること(120分)。	
4	精神保健活動の実際 【職場におけるメンタルヘルス:EAP・復職支援/関連法規】(上田)	事前:授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと(120分)。 事後:授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	精神保健活動の実際 【地域精神保健活動とネットワーク・多職種連携】（上田）	事前．授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと（120分）。 事後．授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること（120分）。	
6	地域精神保健と地域保健 【災害被災者・犯罪被害者・ニートや貧困など社会的排除】（緒方）	事前．授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと（120分）。 事後．授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること（120分）。	
7	地域精神保健と地域保健 【地域移行・地域定着支援／社会的ひきこもり】（上田）	事前．授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと（120分）。 事後．授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること（120分）。	
8	地域精神保健と地域保健 【アルコール関連問題・薬物乱用／依存対策】（上田）	事前．授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと（120分）。 事後．授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること（120分）。	
9	地域精神保健と地域保健 【認知症介護者のバーンアウト・ターミナルケア】（緒方）	事前．授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと（120分）。 事後．授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること（120分）。	
10	地域精神保健と地域保健 【性同一性障害・発達障害】（上田）	事前．授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと（120分）。 事後．授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること（120分）。	
11	精神保健に関する社会問題と関連法規の理解 【うつ病と自殺／自殺対策基本法】（上田）	事前．授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと（120分）。 事後．授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること（120分）。	
12	精神保健の現代的課題【偏見と差別／スティグマ／逸脱／コンフリクト】（上田） グループワーク	事前．授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと（120分）。 事後．授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること（120分）。	グループワーク
13	精神保健の現代的課題【偏見と差別／スティグマ／逸脱／コンフリクト】（上田） 発表	事前．授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと（120分）。 事後．授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること（120分）。	発表
14	地域精神保健に関する諸活動【地域保健法／母子保健法・関係法規・資源開発・人材育成】（上田）	事前．授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと（120分）。 事後．授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること（120分）。	
15	諸外国における精神保健【WHOの活動・多文化と精神保健】（上田）	事前．授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと（120分）。 事後．授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること（120分）。	

基本情報

科目名	精神医学
時間割コード	0224001501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	肥後 成美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
肥後 成美

詳細情報

授業の目的・到達目標	脳の基本構造を把握し、個々の部位の総合作用として我々の精神が発動しているということを学ぶ。脳の構造と機能を結びつけることで、精神障害の病態像、治療法などに対するより深い理解力を育むことができ、そのことが障害を持つ人たちと接する医療者としての適格な人間形成にも繋がると考える。特定の教科書に沿った説明はせず、講義内容・配布資料を積み重ねることで一冊の新しい教科書(ダイジェスト版)が完成するような内容を旨とする。
履修上の注意事項	耳慣れない専門用語を受け入れるためにも、毎講義後の復習や次回講義内容の予習が要求されます。特に授業後の毎回の復習を積み上げることが全体の理解に繋がります。毎回の授業の始めに、前回の内容についての質問を行うことで、理解度を確認している。
評価方法	期末試験の成績で判断する
テキスト	講義で使用したスライドと同じ内容のプリント資料を配布する。講義終了時にはこれが教科書となると思う。よって、教科書を指定することはせず参考文献のみを挙げる。
参考文献	「精神医学テキスト」上島国利・立山萬里/編集、南江堂、「標準精神医学」野村総一郎他/編集、医学書院
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	医師として医学部解剖学教室での解剖学実習、脳実習に参加経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	精神医学の神経科学的基礎(脳の巨視的構造)		
2	精神医学の神経科学的基礎(脳機能に対する概念の歴史の変遷)		
3	精神医学の神経科学的基礎(神経細胞の形態学的、生理学的特徴)		
4	精神医学の神経科学的基礎(大脳皮質の働き、分離脳)		
5	精神医学総論(精神医学の歴史)		
6	精神医学総論(精神障害における症状)		
7	精神医学総論(精神障害における症状)		
8	高次脳機能障害(失語、失行、失認、前頭葉症候群)		
9	精神科治療学(歴史、電気けいれん療法、薬物療法、精神療法)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	器質性精神障害（大脳皮質の変性疾患による認知症、脳血管性認知症）		
11	器質性精神障害（中毒、脳腫瘍、正常圧水頭症）		
12	身体疾患に基づく精神障害（代謝障害、膠原病、内分泌疾患）		
13	身体因精神病（てんかん：概念、疫学、病因）		
14	身体因精神病（てんかん：分類、検査、治療）		
15	精神保健福祉法（入院形式、社会復帰）		

基本情報

科目名	精神医学
時間割コード	0224001601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	肥後 成美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
肥後 成美

詳細情報

授業の目的・到達目標	脳の構造と局在化している機能を勉強することで、個々の部位の総合作用として発露している我々の行動・思考の状態をより深く把握できる。それが精神障害の病像を適格に理解し、医療者としての治療、介護への正確な対応へと繋がると考える。
履修上の注意事項	耳慣れない専門用語を受け入れるためにも、毎授業後の復習や次回講義内容の予習が必要である。毎回の授業始めに、前回の内容についての質問を行うことで、理解度を確認している。
評価方法	期末試験の成績で判断する。
テキスト	プリント資料を配布する
参考文献	「精神医学テキスト」上島国利・立山萬里/編集、南江堂、「標準精神医学」野村総一郎他/編集、医学書院
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	医師として医学部解剖学講座での解剖実習、脳実習に参加経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	精神作用物質による精神および行動の障害(アルコール)		
2	精神作用物質による精神および行動の障害(モルヒネ、アンフェタミン等)		
3	統合失調症(概念、疫学)		
4	統合失調症(病因、病型)		
5	統合失調症(治療、鑑別診断、統合失調症近縁の疾患)		
6	気分障害(単極性気分障害)		
7	気分障害(双極性気分障害)		
8	神経症性障害(治療、病型:恐怖症性不安障害、強迫性障害)		
9	神経症性障害(病型:重度ストレス反応および適応障害、解離性障害、神経衰弱など)		
10	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群(摂食障害)		
11	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群(睡眠障害など)		
12	成人の人格および行動の障害(特定の人格障害)		
13	成人の人格および行動の障害(習慣および衝動の障害、性同一性障害など)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	小児期・高齢者と精神医学（広範性発達障害、高齢者の精神症状）		
15	精神保健と社会（刑法・民法と精神医学）		

基本情報

科目名	精神保健福祉援助演習
時間割コード	0224002101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1, 木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	平川 泰士
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について理解を深める。精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について体系的な概念や理論をもとに、専門的援助技術として実践的に展開できる能力を身につける。総合的包括的な相談援助・保健医療福祉のチームアプローチなどを具体的事例をもとに理解する。ロールプレイを通じた個別・集団での指導をもとに、具体的場面を想定した対応力を身につける。
履修上の注意事項	1 常に臨床場面を想定し、専門職としてのロールプレイ・演習中の発言・事前学習準備など主体的参加を求める 2 事例や学生同士の自己開示における守秘義務の徹底 3 ロールプレイや事例学習にて得られた知見をもとに専門職としての自己と重ね合わせ振り返りを行うこと 4 指定された課題に取り組み、復習を行うこと(30分~2時間)
評価方法	事例・ロールプレイ・課題における評価: 50% 授業中のレスポンスやチームとして取り組む姿勢: 50% 演習のため、期末試験、再試験は実施しない。
テキスト	特に使用しない。 必要な資料を適宜配布する。
参考文献	講義時指定する
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	事例の理解(退院支援、地域移行、地域生活継続)		
2	包括的援助の実践的習得(退院支援、地域移行に関する相支援過程の実技指導)		
3	包括的援助の実践的習得(地域生活継続に関する相支援過程の実技指導)		
4	事例の理解(社会的排除、貧困、低所得、ホームレス)		
5	包括的援助の実践的習得(社会的排除に関する相支援過程の実技指導)		
6	包括的援助の実践的習得(貧困等に関する相支援過程の実技指導)		
7	事例の理解(自殺、ひきこもり、児童虐待、薬物・アルコール依存等、ピアサポート)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	包括的援助の実践的習得（自殺に関する相支援過程の実技指導）		
9	包括的援助の実践的習得（ひきこもり等に関する相支援過程の実技指導）		
10	事例の理解（教育、就労（雇用））		
11	包括的援助の実践的習得（就労（雇用）に関する相支援過程の実技指導）		
12	包括的援助の実践的習得（教育に関する相支援過程の実技指導）		
13	事例の理解（精神科リハビリテーション・その他の危機状態）		
14	包括的援助の実践的習得（精神科リハビリテーション等に関する相支援過程の実技指導）		
15	自己の援助関係構築方法に対する理解と自己覚知		

基本情報

科目名	精神保健福祉援助演習
時間割コード	0224002201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	平川 泰士
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について理解を深める。精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について体系的な概念や理論をもとに、専門的援助技術として実践的に展開できる能力を身につける。総合的包括的な相談援助・保健医療福祉のチームアプローチなどを具体的事例をもとに理解する。ロールプレイを通じた個別・集団での指導をもとに、具体的場面を想定した専門職としての対応力を身につける。
履修上の注意事項	1 常に臨床場面を想定し、専門職としてのロールプレイ・演習中の発言・事前学習準備など主体的参加を求める 2 事例や学生同士の自己開示における守秘義務の徹底 3 ロールプレイや事例学習にて得られた知見をもとに専門職としての自己と重ね合わせ振り返りを行うこと 4 指定された課題に取り組み、復習を行うこと(30分~2時間)
評価方法	事例・ロールプレイ・課題における評価: 50% 授業中のレスポンスやチームとして取り組む姿勢: 50% 演習のため、期末試験、再試験は実施しない。
テキスト	特に使用しない。 必要な資料を適宜配布する。
参考文献	日本社会福祉実践理論学会監修『事例研究・教育法 理論と実践の向上を目指して』川島書店
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	包括的援助の実践的習得(精神科リハビリテーション等に関する相支援過程の実技指導)		
2	実習体験の振り返り(集団) 精神保健福祉士の活動内容と理論との結びつけ		
3	実習体験の振り返り(集団) 精神保健福祉相談援助事例と理論との結びつけ		
4	実習体験の振り返り(集団) クライアントとの関係における困難場面の共有化と体系的理解		
5	実習体験の振り返り(集団) クライアントとの関係における困難場面の再構成とロールプレイ		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	実習体験の振り返り（集団） 各専門職との関係における困難場面の共有化と体系的理解		
7	実習体験の振り返り（集団） 各専門職との関係における困難場面の再構成とロールプレイ		
8	実習体験の振り返り（個別） 精神保健福祉士の活動内容と理論との結びつけ		
9	実習体験の振り返り（個別） 精神保健福祉相談援助事例と理論との結びつけ		
10	実習体験の振り返り（個別） クライアントとの関係における困難場面の共有化と体系的理解		
11	実習体験の振り返り（個別） クライアントとの関係における困難場面の再構成とロールプレイ		
12	実習体験の振り返り（個別） 各専門職との関係における困難場面の共有化と体系的理解		
13	実習体験の振り返り（個別） 各専門職との関係における困難場面の再構成とロールプレイ		
14	課題の発見・分析・解決（個別）		
15	自己の援助関係構築方法に対する理解と自己覚知		

基本情報

科目名	精神保健福祉援助実習指導
時間割コード	0224002301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2, 他
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	平川 泰士
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	1精神保健福祉援助実習の意義について理解した上での態度を身につける。2精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について説明できるようになる。3個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を体得する。4精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。5具体的な体験や援助活動を、価値や倫理に基づき、専門的知識及び技術として習得していく。
履修上の注意事項	1 本科目と同時に履修する精神保健福祉援助実習との関係から、常に臨床場面を想定し、専門職としてのロールプレイ・演習・事例検討中の発言・事前学習準備など主体的参加を求める。 2 必要に応じて用いられるケースや学生同士の自己開示における専門職業人としての守秘義務の徹底。 3 実習や事例学習にて得られた知見をもとに専門職としての自己と重ね合わせながら振り返りを行うこと。
評価方法	実習報告書・事例検討報告書等による評価(60%) スーパービジョン時の応答や態度、チームとして取り組む姿勢(40%)
テキスト	特に指定しない(必要に応じて随時資料配布)
参考文献	日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座 9 精神保健福祉援助実習指導・実習』中央 法規
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	精神保健福祉援助実習指導
時間割コード	0224002401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	平川 泰士
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	精神保健福祉援助実習の意義について理解した上での態度を身につける。精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について説明できるようになる。個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術等を体得する。精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 具体的な体験や援助活動を、価値や倫理に基づき、専門的知識及び技術として習得していく。
履修上の注意事項	1 本科目と同時に履修する精神保健福祉援助実習との関係から、常に臨床場面を想定し、専門職としてのロールプレイ・演習・事例検討中の発言・事前学習準備など主体的参加を求める。 2 必要に応じて用いられるケースや学生同士の自己開示における専門職業人としての守秘義務の徹底。 3 実習や事例学習にて得られた知見をもとに専門職としての自己と重ね合わせながら振り返りを行うこと。4事前学習として実習先の研究を行うなど自主的に学習を進める(30分~2時間)
評価方法	実習報告書等による評価(60%) スーパービジョン時の応答や態度、チームとして取り組む姿勢(40%)
テキスト	特に指定しない(必要に応じて随時資料配布)
参考文献	日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座 9 精神保健福祉援助実習指導・実習』中央法規
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	精神保健福祉援助実習の意義と内容		
2	精神保健医療福祉の現状に関する理解: 障害者総合支援法における給付等の理解 (平川)		
3	精神保健医療福祉の現状に関する理解: 障害者総合支援法における地域生活支援 事業の理解(平川)		
4	精神保健福祉士に求められる職業倫理と 法的責務に関する理解(平川)		
5	実習における個人のプライバシー保護と 守秘義務の理解(個人情報保護法の理解 を含む)(平川)		
6	「実習記録ノート」への記録内容及び記 録方法に関する理解(平川)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	実習先の理解と実習計画の作成（平川）		
8	精神科病院・地域における障害福祉サービス事業所等の理解：就労支援（甲斐）		
9	精神科病院・地域における障害福祉サービス事業所等の理解：生活支援（岩崎）		
10	実習先で必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術に関する理解（中野）		
11	実習中における巡回指導・スーパービジョン（平川）		
12	実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括レポートの作成（集団）（平川）		
13	実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括レポートの作成（個別）（平川）		
14	実習の評価全体総括会（実習指導者を含めた実習報告会の実施） 全体報告（平川）		
15	実習の評価全体総括会（実習指導者を含めた実習報告会の実施） 個別指導（平川）		

基本情報

科目名	精神保健福祉援助実習
時間割コード	0224002501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	5.0
学年	4
主担当教員	平川 泰士
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>精神保健福祉援助実習の意義について理解した上での態度を身につける。 精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について説明できるようになる。 個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術等を体得する。 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 具体的な体験や援助活動を、価値や倫理に基づき、専門的知識及び技術として習得していく。</p>
履修上の注意事項	<p>1 本科目と同時に履修する精神保健福祉援助実習との関係から、常に臨床場面を想定し、専門職としてのロールプレイ・演習・事例検討中の発言・事前学習準備など主体的参加を求める。 2 必要に応じて用いられるケースや学生同士の自己開示における専門職業人としての守秘義務の徹底。 3 実習や事例学習にて得られた知見をもとに専門職としての自己と重ね合わせながら振り返りを行うこと。 4 事前学習として実習先の研究を行うなど自主的に学習を進める(30分~2時間)</p>
評価方法	実習報告書・事例検討報告書等による評価(60%)、スーパービジョン時の応答や態度・チームとして取り組む姿勢・精神保健福祉士としての到達度(40%)を総合し評価する
テキスト	特に指定しない(必要に応じて随時資料配布)
参考文献	日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座 9 精神保健福祉援助実習指導・実習』中央法規
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	個別/集団指導の意義(平川)		
2	精神疾患・障害の現状と基本的理解(平川)		
3	精神科専門用語の基本的理解(平川)		
4	精神保健福祉法の現状と基本的理解(平川)		
5	社会保障制度の現状と基本的理解(平川)		
6	実習先,知識,技術の理解と実習計画(原田)		
7	職業倫理,法的責務,守秘義務の理解(中原)		
8	精神科病院の理解(大島)		
9	巡回指導・スーパービジョン(平川)		
10	帰学指導・スーパービジョン(平川)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
11	帰学指導・スーパービジョン (平川)		
12	巡回指導・スーパービジョン (平川)		
13	帰学指導・スーパービジョン (平川)		
14	帰学指導・スーパービジョン (平川)		
15	帰学指導・スーパービジョン (平川)		
16	権利擁護の視点による実習指導(平川)		
17	障害者総合支援法の実際と実習指導(平川)		
18	地域の社会資源の実際と実習指導(平川)		
19	課題の整理と総括レポートの作成(平川)		
20	課題の整理と総括レポートの作成(平川)		
21	課題の整理と総括レポートの作成(平川)		
22	課題の整理と総括レポートの作成(平川)		
23	課題の整理と総括レポートの作成(平川)		
24	課題の整理と総括レポートの作成(平川)		
25	課題の整理と総括レポートの作成(平川)		
26	三者(実習生,教員,指導者)協議会(平川)		
27	実習指導者を含めた実習報告会(平川)		
28	実習指導者を含めた実習報告会(平川)		
29	実習指導者を含めた実習報告会(平川)		
30	実習指導者を含めた実習報告会(平川)		

基本情報

科目名	精神保健福祉援助実習
時間割コード	0224002601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	4
主担当教員	平川 泰士
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	精神保健福祉援助並びに障害者等の相談援助に係る専門的知識と技術について具体的かつ実践的に理解し実践的な技術を体得する。精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活実態や生活上の課題について把握する。精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に判断できる能力を習得する。総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職との連携のあり方及び具体的内容を実践的に理解する。
履修上の注意事項	1. 本科目は精神保健福祉援助実習指導や精神保健福祉援助演習と連動して行われる。専門職として必要な知識や技術について事前に総合的振り返り学習を行ったうえで実習に臨むこと。 2. 専門職団体である日本精神保健福祉士協会の倫理綱領を遵守して実習を行うこと。 3. 実習や事例学習にて得られた知見をもとに専門職としての自己と重ね合わせながら振り返りを行うこと。
評価方法	実習指導者による評価(30%) 実習報告書・事例検討報告書等による評価(30%) 専門職業人としての成熟度(40%)
テキスト	なし。
参考文献	随時紹介する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画

1．地域における障害福祉サービス事業所等において実習を行う学生は、次に掲げる事項を経験し、実習先の実習指導者による指導を受ける。

利用者の地域における日常生活の理解

障害福祉サービス事業所等利用における利用者及びその家族への相談援助

多職種や障害福祉サービス事業所外の関係機関との連携を通じた援助

2．学生は、障害福祉サービス事業所等における実習を通して、次に掲げる事項をできる限り経験し、実習先の実習指導者による指導を受けるものとする。

クライアントやその関係者、施設・機関・事業者・団体住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成

クライアントの理解とその需要の把握及び支援計画の作成

クライアントやその関係者（家族・親族・友人等）との支援関係の形成

クライアントやその関係者（家族・親族・友人等）への権利擁護及び支援（エンパワーメントを含む。）とその評価

精神医療・保健・福祉に係る多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実

際

精神保健福祉士としての職業倫理と法的義務への理解

障害福祉サービス事業所等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任への理解

障害福祉サービス事業所等の経営やサービスの管理運営の実際

障害福祉サービス事業所が地域社会の中の施設・機関・事業者・団体等であることへの理解と具体的な地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関する理解

3．精神保健福祉援助実習指導担当教員は、巡回指導等を通して、実習事項について学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	災害支援演習
時間割コード	0224100501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	安藤 学
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
安藤 学、花田 雄二

詳細情報

授業の目的・到達目標	災害支援の場合、常に支援協力活動にあたる要員の為に、快適な宿泊設備、生活物資が用意されているとは限らない。むしろ多くの場合が、災害被災地であったり、生活物資の不足する場所での支援協力活動である。 支援協力活動において任務を遂行するために、まず自分自身の安全の確保と生命の維持が確保されなければならないし、またチームワークも重要である。この演習では、協力協同の精神を涵養し災害場面を想定して自活生存、生命維持のための基本的な方法と共に、支援活動に必要な基本技術を修得できる。
履修上の注意事項	演習に際しては、安全確保のために指定の作業着・帽子・作業靴を着用する。(作業着等については、貸与するが、食事代と作業服のクリーニング代は各自負担) 演習前に出された課題を完成させて授業に臨み、演習後は演習で学んだことを復習をすること。事前に配布された資料を学習しておく、演習終了後は各自で復習を定期的におこなうこと。
評価方法	技能(80%)、演習態度(20%)
テキスト	プリントを配布する
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	花田雄二：東京消防庁 消防士の経験あり

授業計画

授業計画
<p>授業計画</p> <p>この演習では、「海上訓練」と「陸上訓練」に分けて集中的に実施する。</p> <p>「海上訓練」では短艇(カッター)を用いて協同協力の精神を養い、「陸上訓練」では実際にテントを設営し野営して自活生存方法を修得する。また「海上訓練」「陸上訓練」を通じてチームワークの重要性を学ぶ。実施の時期については、前もってオリエンテーションを開き説明指導する。ただしこの演習で、他の授業に支障(公欠で授業を欠席)がでないように、夏季休暇中の実施する。</p> <p>「海上訓練」(9月上旬 4日間 長洲海洋センター/前面海域)</p> <p>短艇(カッター)・帆走(ヨット)・結索(ロープワーク)・安全管理・気象観測・溺者救助・応急処置・信号通信・統率(指揮)法</p> <p>「陸上訓練」(9月中旬 2泊3日 大学構内/蛇が谷公園)</p> <p>オリエンテーリング(地図見・コンパス見方)・ロープ技術(ロープ渡り・降下等)・野営方法(テント設営・炊飯等)・安全管理・救急処置(傷病者搬送方法含む)・統率(指揮)法</p> <p>「海上訓練」・「陸上訓練」とも、学内において事前指導を行った後に実施する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	社会・組織の心理
時間割コード	0224100901
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	山住 賢司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	人間は社会的生物であり、人間理解のためには社会との関わりにおける心的過程を知る必要がある。本講義では、人間の社会的行動に焦点をあてた社会心理学について学んでゆく。人間の社会的行動を説明するのに内的な要因のみならず、状況や社会的環境の認知を重視する社会心理学の見解を通じて、「人と人のつながり」「人と社会のつながり」における法則性を理解することを目的とする。 本講義を通じて受講者は、社会心理学の基礎的知識について自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 テキストは毎回必ず持参すること。 理解度を確認するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。 再試験は実施しない。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	「グラフィック 社会心理学 第2版」 池上知子・遠藤由美(著) サイエンス社 2008
参考文献	「社会心理学 補訂版」 池田謙一・唐沢穰・工藤恵理子・村本由紀子(著) 有斐閣 2019
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	「社会心理学」について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
2	対人認知の心的過程	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
3	社会的推論の心的メカニズム	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	態度形成・態度変容の心的メカニズム	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
5	社会的判断・行動と感情	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
6	自己概念と自己認知	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
7	自己評価	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
8	自己認識と動機づけの関わり	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
9	対人行動の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
10	人間関係の成立・発展・維持と崩壊	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
11	集団と個人	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
12	組織と個人のダイナミクス	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
13	集団間の心理過程	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	心の社会性と健康・幸福	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
15	文化と人間との関係性	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

基本情報

科目名	学校教育の心理学
時間割コード	0224101001
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
水間 宗幸

詳細情報

授業の目的・到達目標	学校教育の現場における現象を、発達心理学・教育心理学的見地を中心に考える。また教育現場に必要な心理学的視点を養い、学校現場への理解を深めることができる。
履修上の注意事項	予習復習が必要。特に次回に触れる内容について、少なくとも事前にテキストを一読すること。復習時にはキーワードを自分のことばで説明できるようにしておくこと。予習45分、復習45分、計90分を目安とする。 教職免許取得希望者には受講を推奨します。
評価方法	総合的な学びの理解の確認のため、筆記試験にて評価を行う(100%)。フィードバックについては、模範解答を提示し、希望者には個別に評価内容を伝える。
テキスト	「よくわかる学校教育心理学」 森 敏昭編 ミネルヴァ書房
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	イントロダクション：21世紀の学校教育が目指すもの		
2	学習理論と学習評価：新しい学習と評価の考え方		
3	学習指導と学習評価：具体的指導と評価		
4	カリキュラムと教授法：学習のスタイル		
5	発達に関する基礎理論：アタッチメント、ピアジェ、生態学的発達モデル		
6	子どもを理解する基礎知識：ことば・身体と発達		
7	子どもを理解する基礎知識：数概念・社会的知識・道徳性と発達		
8	子どもたちへの支援：社会的背景、特別な支援が必要な子どもたち		
9	子どもたちへの支援：学校教育相談、スクールカウンセリング、スクールカウンセラーとの連携		
10	子どもたちへの支援 ストレスマネジメント、共同学習、キャリア教育		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	学級集団の心理学：社会的態度、対人関係、特別なニーズを必要とする児童・生徒		
12	学級集団の心理学：集団の意義としくみ、学級崩壊と学級支援		
13	教師と子どもの人間関係：ほめ方叱り方とコミュニケーション		
14	学校組織と教師集団：学校という文化と学校支援		
15	社会における学校：学校組織の適応と健康、地域との関係		

基本情報

科目名	学校ソーシャルワーク論
時間割コード	0224101101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	古閑 智子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
古閑 智子

詳細情報

授業の目的・到達目標	今日の学校教育現場においては、不登校やいじめ、引きこもり、非行、児童虐待、ネグレクト等、様々な困難や課題が深刻化しています。学校のみでは対応が困難な状況にあり、学校・地域・家庭をつなぎ、子どもを中心とした支援を展開するスクールソーシャルワーカーの役割が求められています。本講義を通して、現代の子ども達を取り巻く状況を理解し、スクールソーシャルワーカーが果たすべき役割について理解できることを目指します。
履修上の注意事項	皆さんはこれまでに何らかの形で「学校」とかかわりを持ってきました。その体験的学校論を生かしながら授業に参加してください。
評価方法	1. 課題レポート70% 2. 発表等の受講態度30%
テキスト	「スクール〔学校〕ソーシャルワーク論」社団法人日本社会福祉士養成校協会 = 監修 中央法規
参考文献	* 「スクールソーシャルワーカー養成テキスト」日本学校ソーシャルワーク学会 中央法規 * 「スクールソーシャルワーカーのしごと」門田 光司・奥村 賢一 中央法規
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション：学校ソーシャルワーク論とは？	事前)シラバスを確認しておく(1) 事後)スクールソーシャルワーカーの成り立ちについてまとめる(2)	
2	学校ソーシャルワークの歴史(アメリカ)	事前)日本の学校教育文化、教育システムについてまとめる(2) 事後)日本とアメリカの学校ソーシャルワーク実践の違いについてまとめる(1)	
3	学校ソーシャルワークの歴史(日本)	事前)スクールソーシャルワーカーの支援が必要な子ども達の状況について調べる(2) 事後)子ども達が抱える課題についてまとめる(1)	
4	「教育」と「福祉」の接点	事前)教育専門職と福祉専門職の役割の違いについて調べる(2) 事後)教育と福祉の接点についてまとめる(1)	
5	学校ソーシャルワークの専門的基盤と援助技術の概要	事前)ソーシャルワーカーの専門性について調べる(1) 事後)ソーシャルワーカーとスクールソーシャルワーカーの専門性の違いについてまとめる(2)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	学校ソーシャルワークの目的と価値	事前)学校にソーシャルワーカーが必要な理由についてまとめる(2) 事後)授業を受けて、事前学習でまとめた内容に関してさらに深めて考えをまとめる(1)	
7	学校ソーシャルワークの実践モデル	事前)ソーシャルワーク実践モデルとアプローチについてまとめる(2) 事後)学校ソーシャルワークにおいて効果的な実践モデルとアプローチについてまとめる(1)	
8	学校ソーシャルワークの実践過程と展開	事前)スクールソーシャルワーカーの実際の支援について調べる(2) 事後)学んだことを踏まえて、実践のプロセスについて整理する(1)	
9	学校スクールワーカーに求められる能力	事前)なぜ社会福祉を学ぶのか整理し、ソーシャルワーカーに必要な能力についてまとめる(2) 事後)スクールソーシャルワーカーに必要な能力、スキルについて整理する(1)	
10	日本におけるスクールソーシャルワーカーの活動	事前)スクールソーシャルワーカーの活動、支援事例について調べる(2) 事後)実際の活動についての学びを踏まえ、自分がスクールソーシャルワーカーだったら、という視点で考える(1)	
11	日本におけるスクールソーシャルワークの実践	事前)虐待や不登校などの事例を調べ、自分がスクールソーシャルワーカーだったらどのように関わるか考える(2) 事後)学校の中で教員とともにチームとして支援することについて考える(1)	
12	支援ケース会議のあり方について	事前)ケース会議について整理する(2) 事後)効果的なケース会議の在り方についてまとめる(1)	
13	支援ケース会議の実際	事前)チーム学校について調べる(2) 事後)ケース会議におけるスクールソーシャルワーカーの役割について整理する(1)	
14	協働支援の観点と技術	事前)連携と協働についてまとめる(2) 事後)多職種連携が効果的に行われるために必要なことについてまとめる(1)	
15	まとめ	事後)スクールソーシャルワーカーの役割と機能について整理する(3)	

基本情報

科目名	学校ソーシャルワーク論
時間割コード	0224101201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	古閑 智子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名	
古閑 智子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	「学校ソーシャルワーク論」を踏まえて、学校ソーシャルワークに特徴的な援助手法や展開過程等について、学校文化の特質を踏まえて理解します。さらに、個別事例を通して、日本における学校ソーシャルワーク実践のあり方について考察できることを目指します。
履修上の注意事項	皆さんはこれまでに何らかの形で「学校」とかわりを持ってきました。その体験的学校論を生かしながら授業に参加してください。
評価方法	1. 課題レポート70% 2. 発表等の受講態度30%
テキスト	「スクール〔学校〕ソーシャルワーク論」社団法人日本社会福祉士養成校協会=監修 中央法規
参考文献	* 「スクールソーシャルワーカー養成テキスト」日本学校ソーシャルワーク学会 中央法規 * 「スクールソーシャルワーカーのしごと」門田光司・奥村賢一 中央法規
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	はじめに：学校を取りまく状況	事前)学校ソーシャルワーク論の学習内容を復習した上で、近年の学校を取り巻く状況(子ども達、親、教員、地域)について調べる(3)	
2	「家庭」「学校」「地域」の固有性と接点	事前)学校、家庭、地域がどのような関係性を持ちながら、学校教育が成り立っているか調べる(3)	
3	児童虐待問題の理解・基礎知識	事前)児童虐待の現状や支援機関、支援体制について整理する(3)	
4	児童虐待問題に対する学校ソーシャルワークの取り組み	事前)児童虐待における学校(教員)の役割について調べる(1) 事後)児童虐待におけるスクールソーシャルワーカーの役割について整理する(2)	
5	発達障害の理解・基礎知識	事前)発達障害及び様々な発達障害者支援の現状や支援機関について整理する(3)	
6	特別支援教育における学校ソーシャルワークの取り組み	事前)発達障害の子ども達の現状について調べる(1) 事後)特別支援教育におけるスクールソーシャルワーカーの役割について整理する(2)	
7	不登校・ひきこもりの理解・基礎知識	事前)不登校・ひきこもりの現状や支援機関について整理する(3)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	不登校・ひきこもりに対する学校ソーシャルワークの取り組み	事前)不登校・ひきこもりの子ども達の現状について調べる(1) 事後)不登校・ひきこもりの子ども達の支援におけるスクールソーシャルワーカーの役割について整理する(2)	
9	非行問題の理解・基礎知識	事前)非行や少年犯罪及び更正保護の現状や支援機関について整理する(3)	
10	非行問題に対する学校ソーシャルワークの取り組み	事前)非行や生徒指導対応が必要な子ども達の現状について調べる(1) 事後)非行問題におけるスクールソーシャルワーカーの役割について整理する(2)	
11	高校中退・進路問題の理解・基礎知識	事前)高校中退、退学、転学など、義務教育卒業後の子ども達の現状や支援機関について整理する(3)	
12	フリースクール等に対する学校ソーシャルワークの取り組み	事前)フリースクールや適応指導教室など、学校外の学ぶ場で過ごす子ども達の現状や、外国籍などのマイノリティの子ども達の現状について整理する(3)	
13	事例検討会議のあり方について	事前)事例を検討するにあたって、どのようにまとめ、アセスメントする必要があるか調べる(2) 事後)事例検討会議におけるスクールソーシャルワーカーの役割について整理する(2)	
14	事例検討会議の実際	事後)効果的な事例検討会議の在り方について整理する(3)	
15	振り返りとまとめ	事前)様々な課題を抱える子ども達の現状について整理し、スクールソーシャルワーカーが担う役割についてまとめる(3)	

基本情報

科目名	介護の基本
時間割コード	1000630201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	馬場 敏彰
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 介護の歴史を踏まえ、介護問題の背景にある課題を理解し、介護にかかわる動向と介護福祉士の役割と機能を把握し介護の原理原則を学ぶ。</p> <p>2. 介護の社会化の形成過程の理解から介護福祉士の役割と活動について学び、専門職としての自覚を深める。</p> <p>3. 専門職としての介護福祉士の自覚と実践を展開できる視点と方法を身につける。</p>
履修上の注意事項	<p>事前学習として、単元のテキストを読み、疑問や質問を明確にしておくこと。(30分)</p> <p>事後学習として、講義中のノート・学びをまとめること。指示された課題に取り組むこと。(30分)</p>
評価方法	期末試験80% 課題提出10% 講義における積極性10%
テキスト	『介護の基本』『介護の基本』中央法規 最新版
参考文献	講義のなかで、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護の歴史(介護福祉の形成を学ぶ意義)		
2	日本における介護の成り立ちから介護福祉形成の背景		
3	日本における介護の成り立ちから介護福祉形成の背景(明治・大正時代)		
4	日本における介護の成り立ちから介護福祉形成の背景(戦前・戦後)		
5	日本における介護の成り立ちから介護福祉形成の背景(老人福祉法制定)		
6	介護福祉を取り巻く近年の動向(新介護システム ADLとQOL)		
7	介護福祉を取り巻く近年の動向(自立支援に向けた尊厳と自己実現)		
8	介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ(介護福祉士資格成立前史)		
9	介護福祉士の役割と機能(社会的役割としての介護ニーズ)		
10	介護福祉士の役割と機能(法的資格への期待)		
11	介護福祉士の役割と機能(史的における介護福祉士の役割の理解)		
12	介護福祉士の役割と機能(求められる介護福祉士に向けた知識・技術修得の意義)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	介護福祉形成の理解 演習（「介護」の見方・考え方の変化）		
14	介護福祉形成の理解 演習（社会的に求められる専門的な介護）		
15	介護福祉形成から今後の介護福祉士の役割と課題		

基本情報

科目名	介護の基本
時間割コード	1000640201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	馬場 敏彰
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 尊厳ある介護の理解と、援助理念を学び、人権尊重の観点を踏まえて職業倫理を身につける。</p> <p>2. 人間の尊厳を支援する理念としてノーマライゼーション・利用者主体・プライバシーの保護・虐待防止等を学び、職業倫理を身につける。</p> <p>3. 介護福祉士が専門職として身につけておくべき、理念や職業倫理の理解を深めつつ、介護場面の援助関係構築の意義について学ぶ。</p>
履修上の注意事項	<p>事前学習として、単元のテキストを読み、疑問や質問を明確にしておくこと。(30分)</p> <p>事後学習として、講義中のノート・学びをまとめること。指示された課題に取り組むこと。(30分)</p>
評価方法	期末試験80% 課題提出10% 講義における積極性10%
テキスト	『介護の基本』『介護の基本』中央法規 最新版
参考文献	講義のなかで、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	尊厳を支える介護とは		
2	利用者への生活支援と尊厳を支える介護		
3	生活支援に必要なノーマライゼーションとQ Lの考え方		
4	尊厳を支える介護の実際		
5	利用者主体の介護		
6	利用者主体の介護の実際		
7	事例を通して考える「利用者主体の介護」		
8	介護の倫理(職業倫理、介護従事者の倫理)		
9	介護福祉士にとって必要な「倫理」の理解		
10	倫理とプライバシー		
11	演習を通して考える「倫理とプライバシー」		
12	利用者の人権尊重の意義(介護場面における虐待の背景)		
13	介護に必要な人権尊重の考え方		
14	利用者の人権を尊重した介護の実際		
15	尊厳を支える介護の考え方<演習>		

基本情報

科目名	介護の基本
時間割コード	1000650201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	川俣 幹雄
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名	
川俣 幹雄	

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者は、介護職の立場からリハビリテーションの理念について説明できるようになる。また、障害とは何か、障害を持った方の家族支援の在り方や介護における多職種連携の在り方について説明できるようになる。
履修上の注意事項	各回の授業テーマと関連する教科書の該当箇所の予習・復習を徹底すること(120分)。演習問題は2回以上解いてください。
評価方法	期末試験70%、レポート等の日常的学習成果30%で評価する。レポートはコメントを通じてフィードバックする。
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会『介護の基本』『介護の基本』中央法規(最新版)
参考文献	適宜講義中に紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	川俣幹雄：理学療法士として実務経験あり

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	リハビリテーションとは?(川俣:理学療法士として病院勤務)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
2	障害の理解(川俣:理学療法士として病院勤務)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
3	ICFの概念(川俣:理学療法士として病院勤務)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
4	介護を必要とする人の理解(小阪)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
5	介護を必要とする人の理解2(小阪)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
6	尊厳を考える～羞恥心を守る介護の重要性を通して～(小阪)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
7	障がいと生活環境(小阪)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
8	家族支援について(介護負担、虐待発生のメカニズム)(小阪)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
9	家族支援について(家族支援の実際と精神的ケアの重要性)(小阪)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	組織が職員に与える影響（小阪）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
11	リスクマネジメント、感染症対策の重要性と実際（小阪）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
12	多職種連携の重要性（小阪）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
13	アドバンスケアプランニングの重要性（小阪）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
14	人生の最終段階における介護福祉士の役割（小阪）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
15	これからの介護福祉士に求められるものとは何か（小阪）	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

基本情報

科目名	介護の基本
時間割コード	1000660201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野島 謙一郎
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
野島 謙一郎

詳細情報

授業の目的・到達目標	介護におけるリスクマネジメントの必要性を理解するとともに、安全確保のための基礎的な知識や事故への対応を理解し、介護従事者自身の健康管理や労働環境の管理について考える内容とする。
履修上の注意事項	講義前にテキストの当該箇所を一読してください。毎回ノートを取りましょう。参加者の知識・経験に合わせ適切に指導していきます。また、講義進捗や理解度を考慮し内容を変更することがあります。講義後の振り返りを各自行うようにしてください。
評価方法	試験結果70% 授業貢献度10% レポート20%
テキスト	最新・介護福祉士養成講座 4 介護の基本 (中央法規出版)
参考文献	授業中にて適宜紹介します。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	介護福祉士として高齢者・障害者の分野で勤務経験あり

授業計画

授業計画
事前・事後学修については毎回の授業後にレポートを提出すること。内容については、別途お知らせいたします。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護における安全の確保のリスクマネジメント		
2	介護福祉士の責務と安全の確保		
3	リスクマネジメントとは何か		
4	リスクマネジメントの重要性		
5	福祉サービスに求められる安全・安心		
6	事故防止のための対策		
7	身体拘束とリスクマネジメント		
8	介護福祉職に必要な感染に関する知識		
9	高齢者介護施設と感染対策		
10	感染症とリスクマネジメント		
11	健康管理の意義と目的		
12	こころの健康管理		
13	身体の健康管理		
14	労働環境の整備		
15	専門職業人としての介護福祉士		

基本情報

科目名	介護の基本
時間割コード	0224101701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	瀬川 綾
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
瀬川 綾

詳細情報

授業の目的・到達目標	介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するための仕組みを理解し、介護福祉の専門職としての能力を養う。また、実際に現場で起こりうる事故を想定し、事故が起きないようにどう取り組むべきかを考える力を身に付ける。
履修上の注意事項	実際に現場で起こりうるであろう事故や感染についてどんなものがあるかを調べてくること。また、そのような事故を起こさないためには、どんなことに注意が必要なのかを考え、自分の意見をはっきり発言できるようにして下さい。
評価方法	試験 60% 小テスト 10% 発表 20% 学習態度 10%
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会編「新・介護福祉士養成講座4 介護の基本」
参考文献	特になし。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	准看護師として通所リハビリテーション、病院勤務経験 社会福祉士(医療ソーシャルワーカー)として病院勤務経験 現在、地域密着型通所介護にて機能訓練指導員として勤務

授業計画

授業計画
毎回の事前学習はその講義の内容についてテキストを熟読し、わからない語句等を調べておく(2時間) 毎回の事後学修は講義でわからない箇所を整理しておく、そして教科書等で自分で調べておく(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護における安全の確保とリスクマネジメントの必要性を理解する		
2	安全の確保のための基礎的な知識を理解する		
3	ヒヤリハット・事故報告書の必要性を学び、事故が起こってしまった時の対応について理解する		
4	地域における生活支援の実践を学び、生活の多様性や社会との関わりを理解する		
5	介護サービスや地域連携など、フォーマル、インフォーマルな支援を理解する		
6	保健・医療・福祉に関する他職種の専門性や役割、機能を理解する		
7	チームマネジメントの必要性を理解する		
8	自立支援のための環境整備や介護予防、リハビリテーション等の対応について理解する		
9	地域における災害時等の介護福祉士の役割と機能を理解する		
10	利用者、家族間との信頼関係づくりの方法を学び、苦情処理の対応策を理解する		

授業計画

毎回の事前学習はその講義の内容についてテキストを熟読し、わからない語句等を調べておく(2時間)
 毎回の事後学修は講義でわからない箇所を整理しておく、そして教科書等で自分で調べておく(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
11	感染症の種類、症状を学び、発生時の対応について理解する		
12	誤嚥予防のための食事介助を体験し、テクニックを学ぶ		
13	転倒、転落の予防策を理解する		
14	高齢者を詐欺などの被害から守るために必要な知識、対策を理解する		
15	介護従事者の健康管理や、労働環境の管理について理解する		

基本情報

科目名	介護の基本
時間割コード	0224101801
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	野島 謙一郎
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
野島 謙一郎

詳細情報

授業の目的・到達目標	介護を必要とする人の生活を支援するという観点から、介護サービスや地域連携等フォーマルサービス・インフォーマルサービスな支援を理解し、多職種協働・連携を実践するために各専門職の専門性や役割を理解する内容とする。
履修上の注意事項	介護保険制度及び障害者総合支援法の制度理解を事前学習とします。また、講義進捗や理解度を考慮し内容を変更することがあります。
評価方法	試験結果70% 授業貢献度10% レポート20%
テキスト	新・介護福祉士養成講座 4 介護の基本 第3版 (中央法規出版)
参考文献	授業中にて適宜紹介します。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	介護福祉士として高齢者・障害者の分野で勤務経験あり

授業計画

授業計画
事前・事後学修については毎回の授業後にレポートを提出すること。内容については、別途お知らせいたします。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護従事者の心身の健康管理に関する意義・目的		
2	心の健康管理に関する理解		
3	心の健康管理～ストレス～		
4	心の健康管理～燃え尽き症候群等～		
5	身体の健康管理に関する理解		
6	身体の健康管理～感染予防と対策～		
7	身体の健康管理～腰痛の原因と対策～		
8	身体の健康管理～腰痛予防等～		
9	介護従事者の健康問題と労働環境		
10	介護従事者の労働安全		
11	介護職場の安全対策		
12	介護従事者の安全に関する法規の理解		
13	労働基準法の理解		
14	労働安全衛生法の理解		
15	まとめ		

基本情報

科目名	コミュニケーション技術
時間割コード	1000670201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	日野 充裕
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名	
日野 充裕	

詳細情報

授業の目的・到達目標	介護現場で必要となるコミュニケーション能力の基礎を身に着けることをねらいとする。そのために自己理解及び他者理解からはじめ、話を聞くための基本的技術の獲得を目指す。
履修上の注意事項	演習形式で行うので、積極的に参加をしてほしい。
評価方法	授業への参加態度及び実際に行うロールプレイを通して評価を行う
テキスト	最新・介護福祉士養成講座5「コミュニケーション技術」中央法規
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	日野充裕：老人ホームにおける相談員、地域支え合いセンターにおける相談支援員

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション 福祉の基本	事後：授業内容に関して整理をする(4時間)	
2	介護におけるコミュニケーション	事前：テキストの該当箇所を熟読して置くこと(2時間) 事後：内容を整理し理解する(2時間)	
3	演習：他者に映した自分	事後：演習内容を整理し自らの振り返りを行う(4時間)	
4	演習：自己開示のワーク	事後：演習内容を整理し自らの振り返りを行う(4時間)	
5	演習：価値観の違い	事後：演習内容を整理し自らの振り返りを行う(4時間)	
6	演習：価値のランキング	事後：演習内容を整理し自らの振り返りを行う(4時間)	
7	演習：伝達トレーニング	事後：演習内容を整理し自らの振り返りを行う(4時間)	
8	演習：ジェスチャーコミュニケーション	事後：演習内容を整理し自らの振り返りを行う(4時間)	
9	援助の基本原則(バイステックの7原則を基本として)	事前：テキストの該当箇所を熟読する(2時間) 事後：内容を整理して覚える(2時間)	
10	面接の技術1：ロールプレイ演習	事後：演習内容を整理し自らの振り返りを行う(4時間)	
11	面接の技術2：ロールプレイ演習	事後：演習内容を整理し自らの振り返りを行う(4時間)	
12	面接の技術3：ロールプレイ演習	事後：演習内容を整理し自らの振り返りを行う(4時間)	
13	面接の技術4：ロールプレイ演習	事後：演習内容を整理し自らの振り返りを行う(4時間)	
14	面接の技術5：ロールプレイ演習	事後：演習内容を整理し自らの振り返りを行う(4時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	面接の技術（応用編）：ロールプレイ演習	事後：演習内容を整理し自らの振り返りを行う（4時間）	

基本情報

科目名	コミュニケーション技術
時間割コード	0224102001
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	日野 充裕
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
日野 充裕

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション障害のある利用者を理解する視点を学び、適切なコミュニケーションの実践が可能とする ・文書(記録・報告書など)を通して、介護実践に必要とされる情報を関係者に伝達する技術を学ぶ。 ・個人情報の扱い方や情報の共有、管理の仕方を理解し、実践可能とする。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを使用する講義の前にはテキストの該当ページを熟読し、分からない言葉などに関しては調べて置くこと。 ・演習には積極的に参加すること。
評価方法	・授業内における質疑応答の内容やレポート及び演習への参加度を総合的に評価する。"
テキスト	最新・介護福祉士養成講座5「コミュニケーション技術」中央法規
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	日野充裕：老人ホームにおける相談員、地域支え合いセンターにおける相談支援員

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション 介護におけるコミュニケーションについての振り返り	事前：技法の確(2時間) 事後：演習内容に関する振り返り(2時間)	
2	面接の技法についての振り返り	事前：コミュニケーション技術 の復習(3時間) 事後：振り返りとまとめ(1時間)	
3	ロールプレイ演習1	事前：技法の確(2時間) 事後：演習内容に関する振り返り(2時間)	
4	ロールプレイ演習2	事前：技法の確(2時間) 事後：演習内容に関する振り返り(2時間)	
5	目的別のコミュニケーション技術	事前：技法の確(2時間) 事後：演習内容に関する振り返り(2時間)	
6	集団におけるコミュニケーション技術	事前：技法の確(2時間) 事後：演習内容に関する振り返り(2時間)	
7	コミュニケーション障害への対応の基本	事前：技法の確(2時間) 事後：演習内容に関する振り返り(2時間)	
8	さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援1 (視覚障害、聴覚障害)	事前：技法の確(2時間) 事後：演習内容に関する振り返り(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援2 （構音障害、失語症）	事前：技法の確（2時間） 事後：演習内容に関する振り返り（2時間）	
10	さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援3 （認知症）	事前：技法の確（2時間） 事後：演習内容に関する振り返り（2時間）	
11	さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援4 （うつ病、統合失調症）	事前：技法の確（2時間） 事後：演習内容に関する振り返り（2時間）	
12	さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援5 （知的障害、発達障害）	事前：技法の確（2時間） 事後：演習内容に関する振り返り（2時間）	
13	さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援6 （高次脳機能障害、重症心身障害）	事前：技法の確（2時間） 事後：演習内容に関する振り返り（2時間）	
14	家族とのコミュニケーション	事前：技法の確（2時間） 事後：演習内容に関する振り返り（2時間）	
15	介護におけるチームのコミュニケーション	事前：技法の確（2時間） 事後：演習内容に関する振り返り（2時間）	

基本情報

科目名	生活支援技術
時間割コード	1000680201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	馬場 敏彰
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. どのような障害や生活の困難さがあっても生活そのものが個人としての自立・自律するために必要な援助や支援を学ぶ。</p> <p>2. 生活の理解と支援の方法について、基本的な視点としてのICFの理解を深めると同時に介護サービス提供の対象や場を把握しながら、基本的な介護の知識・技術を養う。</p> <p>3. 生活の仕組みの理解を深め、生活支援の考え方としてICFの視点を身につける。</p>
履修上の注意事項	<p>事前学習として、単元のテキストを読み、疑問や質問を明確にしておくこと。(30分)</p> <p>事後学習として、講義中のノート・学びをまとめること。指示された課題に取り組むこと。(30分)</p>
評価方法	期末試験80% 課題提出10% 講義における積極性10%
テキスト	『生活支援技術』『生活支援技術』中央法規 最新版
参考文献	授業のなかで適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	生活支援に必要な生活の理解		
2	生活と生活習慣(生活の主体性)		
3	生活形成のプロセスとアイデンティティ		
4	生活の構成と要素		
5	事例を通して考える「生活形成のプロセス」		
6	生活の継続性		
7	生活支援が必要な人の理解(生活関連動作と日常生活)		
8	生活支援の理解		
9	生活支援の考え方(意義・目的)		
10	生活支援の考え方(生活障害による生活のしづらさ)		
11	生活支援とICFの視点		
12	ICFの視点にもとづく<アセスメント		
13	ICFにおける「活動・参加」		
14	利用者の生活と生活支援		
15	生活支援の実際		

基本情報

科目名	生活支援技術
時間割コード	1000690201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	馬場 敏彰
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰

詳細情報

授業の目的・到達目標	1.自立に向けた生活空間としての「生活の場」「暮らし」について学び考えることができる。 2.居住環境の整備は、介護を必要とする者にとって安全で快適であることが整備されていることを知る。 3.快適な居住環境の確保に必要な視点と方法を身につけ、施設・在宅における環境整備を他職種とともに協働して取り組むことの必要性を理解できる。
履修上の注意事項	事前学習として、単元のテキストを読み、疑問や質問を明確にしておくこと。(30分) 事後学習として、講義中のノート・学びをまとめること。指示された課題に取り組むこと。(30分) 施設見学予定 利用者の生活の場をを環境面からの側面で学習を深めます。施設の都合がありますので予定です。
評価方法	期末試験80% 課題提出10% 講義における積極性10%
テキスト	『生活支援技術』中央法規 最新版
参考文献	講義中に適宜提示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	居住環境整備の意義と目的		
2	生活空間と介護 (居場所とアイデンティティー、生活の場)		
3	生活空間と介護 (すまい、住み慣れた地域での生活の保障)		
4	居住環境のアセスメント (ICFの視点にもとづく利用者の全体像のアセスメント)		
5	居住環境のアセスメント (ICFの視点にもとづく利用者の全体像のアセスメント)		
6	安全で住み心地のよい生活の場づくりのための工夫		
7	安全で住み心地のよい生活の場づくりのための工夫		
8	安全で心地よい生活の場づくり (住宅改修、住宅のバリアフリー化)		
9	安全で心地よい生活の場づくり (ユニバーサルデザイン、その他)		
10	施設等での集住の場合の工夫と留意点 (ユニットケア、居室の個室化)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	施設等での集住の場合の工夫と留意点 （なじみの生活空間づくり、その他）		
12	居住環境整備と生活支援技術（事例検 討 ...施設における住環境の整備） 施 設見学		
13	居住環境整備と生活支援技術（事例検 討 ...在宅における住環境の整備） 施 設見学		
14	他の職種の役割と協働		
15	生活の場とは、何か 学期末振り返り		

基本情報

科目名	生活支援技術
時間割コード	0224102301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4, 火 5
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	2
主担当教員	馬場 敏彰
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰、吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1.生活支援の考え方について考えることができる。</p> <p>2.自立支援の観点から、身じたく・移動・食事・排泄にかかわる基本的な態度と方法について学び、演習を通じて具体的な方法について理解を深めることができる。</p> <p>3.利用者体験を通して、利用者の気持ちを考えることができる。</p>
履修上の注意事項	<p>演習では、決められた服装等を準備すること。</p> <p>事前学習として、単元のテキストを読み、疑問や質問を明確にしておくこと。(30分)</p> <p>事後学習として、講義中のノート・学びをまとめること。指示された課題に取り組むこと。(30分)</p>
評価方法	期末試験60%、実技試験20%、課題提出10% 講義における積極性10%
テキスト	『生活支援技術I』『生活支援技術II』中央法規 最新版
参考文献	適宜提示する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	身じたくの意義と目的		
2	身じたくに関する利用者のアセスメント		
3	生活習慣と装いの楽しみを支える介護		
4	整容行動、衣生活を調整するアセスメント		
5	身じたくの介助の留意点(洗面)		
6	身じたくの介助(整髪)		
7	身じたくの介助(髭剃り他)		
8	身じたくの介助(爪切り他)		
9	身じたくの介助(口腔ケア)見守り一部介助		
10	身じたくの介助(口腔ケア他)全介助		
11	身じたくの介助(衣服着脱介護他)一部介助		
12	身じたくの介助(衣服着脱介護他)全介助		
13	移動の意義と目的		
14	移動に関する利用者のアセスメント		
15	状態状況別留意点 上方・水平移動等演習)		
16	状態状況別留意点 上方・水平移動等演習)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
17	状態状況別留意点 仰臥位から側臥位等）		
18	状態状況別留意点 起居から端座位等演習）		
19	状態状況別留意点 端座位から立位等演習）		
20	利用者の状態と状況に応じた移動介護の方法		
21	食事の意義・目的		
22	食事介護の留意点		
23	利用者の状態・状況に応じた食事介助の留意		
24	利用者の状態・状況に応じた食事介助の留意		
25	排泄介護の意義と目的（気持ちよい排泄）		
26	排泄介護の留意点（安全・的確な排泄介助）		
27	排泄介助の状態状況別留意点 見守り		
28	排泄介助の状態状況別留意点 一部介助		
29	排泄介助の状態状況別留意点 全介助		
30	入浴に関するアセスメントの視点と方法		

基本情報

科目名	生活支援技術
時間割コード	0224102401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	2
主担当教員	馬場 敏彰
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰

詳細情報

授業の目的・到達目標	1.利用者体験を通して、援助者としての資質向上に努めることができる。 2.入浴介助における生活支援の技術について、具体的な方法と支援を学び、安全の確保と快適な支援について理解を深めると同時に援助場面でのスキルを身につける。
履修上の注意事項	演習では、決められた服装等を準備すること。 事前学習として、単元のテキストを読み、疑問や質問を明確にしておくこと。(30分) 事後学習として、講義演習中のノート・学びをまとめること。指示された課題に取り組むこと。(30分)
評価方法	期末試験60%、実技試験20%、課題提出10% 講義における積極性10%
テキスト	『生活支援技術』中央法規 最新版
参考文献	適宜提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	一連の生活支援技術(見守り 一部介助)		
2	一連の生活支援技術(全介助)		
3	自立に向けた入浴のアセスメント		
4	ICFの視点にもとづいたアセスメント		
5	爽快感・安楽を支える入浴介護の意義		
6	爽快感・安楽を支える介護の工夫		
7	清潔保持の介助の技法(入浴介護の留意点)		
8	清潔保持の介助の技法(入浴介護の方法)		
9	清潔保持の介助(シャワー浴介護の留意点)		
10	清潔保持の介助(シャワー浴介護の方法)		
11	清潔保持の介助の技法(清拭介護の留意点)		
12	清潔保持の介助の技法(清拭介護の方法)		
13	清潔保持の介助(部分浴介護の留意点)		
14	清潔保持の介助の技法(部分浴介護の方法)		
15	清潔保持の介助の技法(洗髪介護の留意点)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
16	清潔保持の介助の技法（洗髪介護の方法）		
17	利用者の状態・状況に応じた介助の留意点		
18	利用者の状態・状況に応じた介助の方法		
19	利用者の状態・状況に応じた介助の演習		
20	利用者の状態・状況に応じた介助のまとめ		
21	一連の生活支援技術（見守り 一部介助）		
22	一連の生活支援技術（全介助）		
23	健康状態確認技法		
24	状態状況別生活支援技術（視覚障害）		
25	状態状況別生活支援技術（聴覚・言語障害）		
26	状態状況別生活支援技術（グループ演習）		
27	状態状況別支援技術 運動機能障害の理解		
28	状態状況別生活支援技術（発達障害）		
29	状態状況別支援技術 運動器疾患による障害		
30	状態状況別支援技術 脳血管障害・神経疾患		

基本情報

科目名	生活支援技術
時間割コード	0224102501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	2
主担当教員	有馬 留以子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
有馬 留以子

詳細情報

授業の目的・到達目標	家庭生活に必要な基礎知識を学び、健康で自立した生活に必要なものは何かについて考えていく。施設や1人暮らしの高齢者が本人主体の生活を送るためにどのような生活支援をすればよいのか考えられるようにする。
履修上の注意事項	テキストを事前に学習すること。生活に関連する授業なので、新聞なども読むこと。
評価方法	期末テスト70%、作品30%
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会『生活支援技術』中央法規
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・事前 テキストを読んでおくこと。 ・事後 実習で習った事は家庭ですできるだけ復習すること。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	自立した生活を支える家事		
2	家事の一連の流れ		
3	調理の意義		
4	調理の介助方法		
5	嚥下食・治療食の作り方		
6	食品の保存、衛生管理		
7	調理実習 調理の基本		
8	調理実習		
9	調理実習		
10	調理実習		
11	調理実習		
12	調理実習 蒸し器を使う		
13	調理実習 圧力鍋を使う		
14	調理実習 ミキサーを使う		
15	洗濯の意義		
16	洗濯の介助方法		
17	掃除・ゴミ捨ての介助		
18	裁縫		
19	衣類の衛生管理		
20	衣類の整理整頓		
21	寝具の衛生管理		
22	被服実習 基本的な縫い方		

授業計画

- ・事前
テキストを読んでおくこと。
- ・事後
実習で習った事は家庭でできるだけ復習すること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
23	被服実習		
24	被服実習		
25	被服実習		
26	買い物の意義		
27	家庭経営、家計の管理		
28	多職種連携の必要性（在宅）		
29	多職種連携の必要性（施設）		
30	まとめ		

基本情報

科目名	生活支援技術
時間割コード	0224102601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 3, 金 4
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	3
主担当教員	馬場 敏彰
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰

詳細情報

授業の目的・到達目標	利用者にとっての睡眠の確保と安眠への支援が、快適な生活の基本であることを学ぶ。「生」「死」とは何かを考え、人間の尊厳にかかわる「終末期」における医療と地域福祉との連携の必要性を理解し、介護福祉士としての役割を身につける。
履修上の注意事項	事前学習として、単元のテキストを読み、疑問や質問を明確にしておくこと。(30分) 事後学習として、講義中のノート・学びをまとめること。指示された課題に取り組むこと。(30分)
評価方法	期末試験80% 課題提出10% 講義における積極性10%
テキスト	『生活支援技術』中央法規
参考文献	『生活支援技術』適宜提示する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	心臓・呼吸機能低下傾向の人の生活理解		
2	心臓・呼吸機能低下傾向の人への介護方法		
3	腎臓機能、膀胱直腸低下傾向の人の生活理解		
4	腎臓機能、膀胱・直腸低下傾向の人への介護		
5	認知・知覚機能低下傾向の人への介護留意点		
6	認知・知覚機能低下傾向の人への介護方法		
7	精神障害の人の生活理解と介護方法		
8	精神障害の人への介護方法		
9	発達障害者支援技法		
10	重複障害(重症心身障害)への介護方法		
11	自立に向けた睡眠の介護(意義・目的)		
12	睡眠に関するICFの視点によるアセスメント		
13	安眠のための介護の留意点		
14	安眠のための介護の方法と工夫		
15	終末期の介護(意義・目的)		
16	終末期の介護(尊厳の保持)		
17	終末期におけるアセスメントの視点		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
18	ICfの視点にもとづく終末期のアセスメント		
19	終末期における医療との連携の意義と実際		
20	終末期における介護（援助の基本姿勢）		
21	終末期における介護（他職種との連携等）		
22	終末期における介護（具体的援助）		
23	臨終期の介護（症状の変化への援助）		
24	死別期の介護の留意点と方法 死後のケア含		
25	グリーフケア 意義・目的 援助者の役割等		
26	他の職種の役割と協働		
27	多職種間の連携と介護福祉士の役割		
28	一連の生活支援技術（施設生活）		
29	一連の生活支援技術（在宅生活）		
30	尊厳ある支援を提供するための方法の理解		

基本情報

科目名	認知症の理解
時間割コード	1000700201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	認知症に関する基礎的知識を習得すると共に、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、生活支援の視点を習得する学習とする。
履修上の注意事項	事前学習として、講義で示している単元のテキストを読んでくること。 事後学習では、講義中にとったノートをまとめなおすこと。 事前・事後学習に要する時間 計90分程度
評価方法	試験やレポートの評価基準など 試験：60% 演習課題：30% 受講態度・演習へのとりくみ：10% 提出されたレポート等の課題については、コメントを入れて返却する。
テキスト	最新介護福祉士養成講座 第12巻 認知症の理解(中央法規)
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	認知症ケアの歴史と理念、認知症になった人の数の推移などの現状を知る	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	認知症に関する現在の支援対策を、報道等をもとに理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	中核症状による生活困難を知る	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	BPSDによる生活困難を知る	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	認知症と間違えられやすい症状を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
6	認知症の原因となる疾患の症状とその特徴を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	認知症に対する検査・治療・予防を知る	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	若年性認知症の理解（DVDなどの教材をとおして）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	認知症の人の生活の変化を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	認知症の人の心理的影響、行動障害の理解と対応	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	認知症の人の行動障害の理解と対応（事例をとおした演習）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	周辺症状の背景にあるこころの理解（不安、孤独など）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	認知症の事例検討（演習）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	認知症に関する検査、診断、治療をもとに、生活を支える視点について総合的に理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	認知機能が低下した人の人権をまもる成年後見制度をはじめとした制度の理解	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	介護過程
時間割コード	1000710201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 介護福祉士養成の科目の学びを統合して、介護過程の意義・目的・目標を情報収集からアセスメントをし、 介護計画を立案する力量を身につける。</p> <p>2. 介護過程の概要と構成要素を把握して介護過程の理解を深め、情報収集してアセスメントできるように学 び、生活支援の目標設定から介護計画策定までの一連のプロセスの理解を深める。</p> <p>3. 介護過程の一連の流れを理解し生活支援の介護計画を立てる力を身につける。</p>
履修上の注意事項	<p>事前学習として、予定単元に該当するテキスト部分を読んでくること。 事後学習として、講義中のノートをもとめなおし、課題に取り組むこと。 事前・事後学習に要する時間 計90分程度</p>
評価方法	筆記試験: 80% 課題提出: 10% 授業時の積極性: 10% 課題については、コメントを入れて返却する。
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会『介護過程』中央法規 最新版
参考文献	講義中適宜提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>吉岡久美: 看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験</p> <p>介護教員として介護福祉士養成校勤務経験</p> <p>馬場敏彰: 介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験</p>

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護過程とは何かを知り、その概要と構成要素を理解する : 馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	介護場面における生活上の課題から解決プロセスにおける考え方を学ぶ : 馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	生活上の課題から自立生活に向けた展開プロセスにつながることを理解する : 馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	生活上の課題とその解決過程の基本視点を獲得する(事例をもとに検討する) : 馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	介護過程の意義、目的と生活支援の関係性を知る : 馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	生活支援における介護過程の必要性を理解する : 馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
7	情報収集の意義と方法について、具体的な場面から必要な知識と技術を考える : 馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	アセスメントの目的を理解する : 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	アセスメントから介護計画につながる全体像を理解する : 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	生活支援の課題解決に向けた情報のとらえ方を知る : 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	情報収集の方法と分類を理解する : 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	情報収集の実際と分類を実践する（事例をもとに検討する） : 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	情報の解釈・関連づけ・統合化の意味と方法を理解する : 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	介護計画に向けたアセスメントの実践をする 演習 : 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	アセスメントから生活支援の目標設定方法を理解する : 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	介護過程
時間割コード	0224103101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰、吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	介護過程における自立支援とICFの視点を基本にした課題解決の過程を理解し、自立に向けたアセスメントが介護計画作成への重要な鍵となることを理解する。
履修上の注意事項	必ず、予定されている授業内容を確認してテキストを読み、指示された事前レポートを作成すること。 講義終了後は振り返りを行い、指示された課題に取り組むこと。 事前・事後学習に要する時間 計90分程度
評価方法	筆記試験：80% 課題の提出：10% 講義における積極性：10% 提出されたレポートについてはコメントを入れて返却する
テキスト	介護福祉士養成講座編集 「介護過程」 中央法規 最新版
参考文献	講義中、適宜指示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護過程における[自立]とは何か理解する(馬場)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	ICFの視点を含め、生活者としての対象者のとらえ方を理解する(馬場)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	「リハビリテーション」を目指す情報の関連付け・統合化・分析を理解する(馬場)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	介護過程におけるノーマライゼーションを知る(馬場)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	「活動・参加」「個人因子」「環境因子」を考慮した生活課題の抽出方法を知る(馬場)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
6	介護における支援の目標設定方法と具体的な援助計画の作成方法を理解する(吉岡)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	日常生活の自立支援に向けた個別介護支援計画を作成する（吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	個別介護支援計画の実施方法を理解する（馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	個別介護支援計画の実施上の注意点を知る（吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	個別介護支援計画の具体的な実施における記録について理解する（吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	実践した介護の記録を基にした評価方法を理解する（吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	評価の実践を知る（演習）（馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	介護過程における評価、再アセスメントの過程の重要性とその効果を理解する（吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	介護過程の一連としての実施・評価による対象者への影響を理解する（吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	事例を通して、自立支援を目指した日常生活における援助のための介護過程を理解する（吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	介護過程
時間割コード	0224103201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	個別介護計画の作成に必要な情報をアセスメントすることの意義を理解し、対象者の個々の状態・状況から個別介護計画作成の一連のプロセスを学ぶ。
履修上の注意事項	必ず予定されている授業内容を確認してテキストを読み、指示された事前学習レポートを作成すること。 講義終了後は振り返りを行い、指示された課題に取り組むこと。 事前・事後学習に要する時間 計90分程度
評価方法	筆記試験：80% 課題の提出：10% 講義における積極性：10% 提出されたレポートはコメントを入れて返却する
テキスト	介護福祉士養成講座編集 「介護過程」 中央法規 最新版
参考文献	講義中、適宜指示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	生活者の生活活動動作を知る：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	生活活動動作の基本的な捉え方を知る：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	介護過程における介護計画を理解する：吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	個別介護計画作成方法を理解する：吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	介護計画の意義を知る：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
6	介護計画作成を理解する：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	状態に応じた介護過程展開を知る：吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
8	状態に応じた介護過程の実際を知る：吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
9	情報収集の留意点について分析する：吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
10	アセスメントの留意点を理解する：吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
11	事例で情報収集の具体的方法を知る：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
12	事例で情報収集の実際を理解する：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
13	事例を用いてアセスメントを検討する：吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
14	事例のアセスメント課題を探究する：吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
15	計画立案における留意点を知る：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
16	計画立案の留意点を分析し理解する：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
17	事例で計画立案の実践を理解する：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
18	事例を用いて計画立案を実践する：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
19	困難事例による計画立案の方法を知る：吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
20	困難事例による計画立案を実践する：吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
21	個別介護計画実施の留意点を知る：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
22	個別介護計画の評価方法を理解する：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
23	事例研究：体験事例の情報を整理する：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
24	事例研究：関わりを振り返り検討する：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
25	事例研究：アセスメントの傾向を知る：吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
26	事例研究：計画・実践を探求する：吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
27	事例研究発表：事例の共有：馬場・吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
28	事例研究：事例を共有し検討：馬場・吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
29	個別介護計画の見直しと再立案：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
30	評価の視点を探求する：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	介護過程
時間割コード	0224103301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰、吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	介護の実践に必要な他職種とのチームアプローチを学び、個別介護支援計画作成のための介護専門職との連携、サービス担当者会議における他職種との調整、インテークからモニタリング、再アセスメントといった一連のプロセスを理解する。
履修上の注意事項	事前学習として、講義で示している単元のテキストを読み、まとめておくこと。 事後学習では、講義中にとったノートをまとめなおし、指示された課題に取り組むこと。 事前・事後学習に要する時間 計90分程度
評価方法	筆記試験：80% 課題提出：10% 講義における積極性：10%
テキスト	新) 介護福祉士養成講座編集『介護過程』中央法規
参考文献	授業の中で適宜提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	チームアプローチとは何かを理解する ：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	チームに存在するメンバーの役割を理解する ：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	生活課題解決のためのチームアプローチの意義を理解する ：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	ケースカンファレンスの意義・目的を知る ：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	サービス担当者会議の意義・目的を知り、準備から実施までを理解する ：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
6	チームアプローチによる支援を理解する ：馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	介護過程におけるチームアプローチを理解する : 馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	介護過程とケアプランの関係性を理解する : 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	ケアプランに基づいた個別介護計画を作成し、重要性を理解する : 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	作成した計画におけるチームアプローチを探る : 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	介護過程と他の職種との関係を理解する : 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	介護過程における他の職種との連携を理解する : 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	日常生活介護における社会資源を理解する : 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	社会資源の活用方法を知る : 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	事例をもとに、ケアプランと介護過程を理解する : 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	介護総合演習
時間割コード	1000720201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰、吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	1.利用者とのコミュニケーションにより人間的な関わりを深めることで、利用者の生活について理解できることを学ぶ。 2.体験学習の意義、重要性について理解できる。 3.介護実習の意義、目的や利用者へのかかわり方について理解できる。
履修上の注意事項	大学における規定の出席回数を満たしていなければ評価対象としない。 事前学習として、講義で示している単元のテキストを読んでくること。(30分) 事後学習では、講義中にとったノートをまとめなおし、実習に向けた事前学習ノートを整理するとともに、課題に取り組むこと。(30分)
評価方法	演習への積極性、参加態度 60% 提出物(課題・レポート等) 40% 提出されたレポートにはコメントを入れて返却する
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会『介護総合演習・介護実習』中央法規
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護実習の意義や目的、位置付けについて理解する 吉岡 ・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	実習施設の種類に関して知り、実習段階を理解する 吉岡 ・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	福祉施設(通所・居宅)の機能と職員の役割について理解する 吉岡 ・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	福祉施設(通所・居宅)利用者の特徴とコミュニケーション方法を理解する 吉岡 ・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	実習生としての心構え(マナーを含む)を知る 吉岡 ・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	介護実習における記録の必要性とその意義について理解する ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
7	実習に必要な書類について理解し、作成する ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	実習準備としての事前訪問について理解する ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	実習日誌の重要性を理解し、具体的方法を知る ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	介護実習の目的を明確化し、目標設定をする ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	介護実習の実践をイメージした行動計画を立案する ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	介護実習にむけた実習施設別の学習課題とその指導（個別指導） ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	介護実習 直前指導：目標設定の見直し、および施設理解を深める ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	介護実習 事後指導：自己の行動を客観的に振り返る ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	介護実習 事後指導：実習における目標の達成度の確認と学びの共有 ・馬場 吉岡	事前に提示した資料を基に予習をすること と 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	介護総合演習
時間割コード	1000730201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学内で学んだ知識に基づいて利用者と関わりを深め、介護ニーズについて説明できる ・高齢者施設での機能や利用者の特徴について説明できる。 ・高齢者の日常生活援助に関する介護の目的や機能並びに施設職員の一般的な役割について説明できる。
履修上の注意事項	<p>規定の出席回数を満たしていなければ評価対象としない。</p> <p>事前学習として、指示された項目を調べてまとめておくこと。(30分)</p> <p>事後学習として、講義終了後にノートを整理し、指示された課題に取り組むこと。(30分)</p>
評価方法	<p>取り組み状況20% 授業態度40% 提出物(課題・レポート等)40%</p> <p>提出された課題レポートについてはコメントを入れて返却する</p>
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会『介護総合演習・介護実習』中央法規
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験</p> <p>介護教員として介護福祉士養成校勤務経験</p> <p>馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験</p>

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護実習 を振り返り、高齢者施設での機能と福祉施設職員の役割を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	介護実習 の課題である、利用者の特徴とコミュニケーション方法を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	介護実習 の要項をもとに、課題の理解と心構えについて深める 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	介護施設における各職種の業務内容と連携について理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	高齢者施設を利用する人の生活について考える 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
6	カンファレンスの種類を知り、実習カンファレンスの意義・方法を検討する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	介護実習日誌の重要性の理解と具体的方法を知り実践することでその内容を検討する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	介護実習での介護過程の展開（個別介護のための利用者情報獲得）方法を検討する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	介護実習 の実習目標および行動計画を作成する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	介護実習 の実習目標および行動計画を見直して具体化する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	実習における自己評価項目を作成する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	実習の全体像、施設理解、利用者理解、生活支援技術実施を具体化する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	介護実習 の直前指導として課題を確認し、実習における行動・学習を検討する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	介護実習 を振り返り、課題を整理して報告書を作成する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	実習の学びと実践を発表し、共有しながら高齢者施設における介護を探求する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	介護総合演習
時間割コード	0224103601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 学習している知識に基づいて、日常生活に援助が必要な高齢者や障がい者の介護ニーズについて説明できる。 2. 高齢者や障がい者の日常生活介護の目的や機能並びに施設職員の役割について説明できる。 3. 日常生活上の支障ある部分に応じた生活支援技術の適正な技法を実践・説明できる。
履修上の注意事項	規定の出席回数を満たしていなければ評価対象としない シラバスを確認して、単元の事前学習と準備を行い、演習後には課題にとりくむこと 事前・事後学習に要する時間 計60分程度
評価方法	演習への積極性、参加態度：60% 提出物(課題・レポート等)：40% 提出されたレポートについてはコメントを入れて返却する
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会「介護総合演習・介護実習」 中央法規
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	障がい者支援施設の種類と特徴を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	障がい者支援施設の機能と職員の役割について理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	障がいの特徴とコミュニケーション方法について考える(グループワーク)(馬場・吉岡)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	障がい者支援施設における介護の役割を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	障がい者支援施設と地域、家族の連携について理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
6	実習生としての自己覚知をする 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	チームワークを理解し、実習におけるチームの一員としての関わりを検討する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	実習記録の重要性を再認識し、具体的記入方法を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	介護実習の目的から自己課題を明確にし、課題解決に向けた対策を考える 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	介護実習の実習目標を設定し、実践をイメージした行動計画を立案する（馬場・吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	実習目標および行動計画を見直して具体化する（馬場・吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	介護実習における自己評価項目を作成する（馬場・吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	介護実習の直前指導として課題を確認し、実習での行動と学習を検討する（馬場・吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	介護実習を振り返り、課題を整理して報告書を作成する（馬場・吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	介護実習における目標達成度の確認と学びの共有を発表を通して実践する（馬場・吉岡）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	介護総合演習
時間割コード	0224103701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 介護過程の展開を考え、個別介護について理解を深め、実践につなげることができる。 2. 施設職員の組織を理解し、チームの一員として介護業務を行う能力を養う。 3. 介護過程の展開を考え、個別介護について検討できる能力を獲得する。
履修上の注意事項	規定の出席回数を満たしていなければ評価対象としない シラバスを確認して、単元の事前学習と準備を行い、演習後には課題に取り組むこと 事前事後学習として90分程度
評価方法	演習への積極性、参加態度：60% 提出物（課題・レポート等）：40% 提出された課題レポートはコメントを入れて返却する
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会「介護総合演習・介護実習」 中央法規
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション 勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護実習 を振り返り、施設や技術、利用者の理解を深める 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	介護実習 における学習について、その成果と不足点を分析する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	介護実習 ~ から、自己の課題を明確にする 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	介護実習 の目的を理解し、日常生活が困難な方への技術の提供を検討する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	入所施設と地域、家族の連携について、現状と課題を検討する(討議)(吉岡・馬場)	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
6	連続した生活支援について考え、生活課題を見出す方法を探る 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	介護実習 の目的から自己課題を明確にする 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	介護実習 の実習目標を設定し、行動計画を立案する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	実習目標及び行動計画を具体化し、日々の行動計画を作成する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	実習課題である「介護福祉士の役割」について検討する（討議）（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	チームアプローチについて考え、具体的な場面から介護の役割を見出す 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	介護実習における自己評価項目を作成する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	介護実習 の直前指導として課題確認し、実習での行動と学習を検討する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	介護実習 を振り返り、課題を整理して報告書を作成する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	介護実習 における目標達成度の確認と学びの共有を、発表を通して実践する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	介護総合演習
時間割コード	0224103801
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰、吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	地域で生活する方のうち、生活困難を抱えた方々の課題とその支援について検討し、実際の援助方法を分析する力を身につける。 居宅介護、グループホーム等に関する制度を理解し、利用者の生活形態、家族関係を考慮した生活援助が説明できる。
履修上の注意事項	事前学習として、単元に関するテキストを読んでくること。 事後学習では、演習における課題に取り組むこと。 事前事後学習として90分程度
評価方法	演習への積極性、参加態度：60% 提出物(課題、レポート等)：40% 提出された課題レポートについてはコメントを入れて返却する
テキスト	新)介護福祉士養成講座編集『介護総合演習・介護実習』中央法規 最新版
参考文献	介護実習要項等
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	グループホームに関する制度と利用者の生活を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	在宅生活をする介護が必要な対象者の生活を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	在宅生活を支援する介護の専門性と実践を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	居宅支援に位置づけられる福祉サービスを理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	居宅支援の実践者とその役割を理解する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
6	居宅支援における介護福祉士の役割を探究する(グループワーク (吉岡・馬場))	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	居宅支援のチームアプローチにおける連携方法を考える 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	居宅支援の実践に必要な接遇等を考える 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	これまでの実習を振り返り、居宅支援の実施にむけた自己課題を明確化する 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	介護実習 の目的を明確化し、目標設定をする 吉岡・馬場	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	介護実習 の行動計画を作成する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	実習施設の理解を深め、考えられる利用者像をもとに生活支援を検討する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	介護実習 の直前指導として、課題確認し実習での行動と学習を検討する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	介護実習 の目標達成状況を振り返り、自己評価して報告書作成する（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	対象者理解、施設理解、生活支援技術の提供等について総合的にまとめる（吉岡・馬場）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	介護実習
時間割コード	1000740201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰、吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	通所施設や居宅施設を利用する日常生活援助が必要な人を知り、その介護の目的や機能並びに施設職員の役割について説明できる。
履修上の注意事項	実習前には、介護総合演習における事前学習を振り返ること。(60分) 実習終了後は、実習を振り返った報告書を見直し、自己課題を明確にしておくこと。(60分)
評価方法	施設指導者による評価 60% 実習担当教員による評価30% 実習への総合的な積極性 10%
テキスト	新) 介護福祉士養成講座編集『介護総合演習・介護実習』中央法規
参考文献	本学で作成した「介護実習要項」と「実習日誌」等
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
<p>実習概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者とかかわることでその人を知り、講義、演習、学内実習で学んだ知識を基に介護ニーズを考える <p>5日間の実習を行うにあたり、実習先における実践に関する事前学習を毎日行い、その日に体験した実践を振り返り整理すること（事前事後学習を合わせて90分を目安とする）</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	介護実習
時間割コード	1000750201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学内で学んだ講義、演習、学内実習を基にして、施設実習に応用する。 ・生活障害を有する高齢者の施設を実習施設とし、要介護に応じて求められる介護技術の適正な用い方を身につけ、利用者の権利を尊重する態度を養う。 ・利用者の自立支援の観点から、利用者の全人格的理解と福祉サービスの全体像を把握でき、適切な援助ができる能力を身につける。
履修上の注意事項	<p>実習生として相応しい学修態度に留意し、実習中の課題に取り組むこと 実習前には、介護総合演習における事前学習を振り返ること(60分) 実習終了後は、実習を振り返った報告書を見直し、自己課題を明確にしておくこと(60分)</p>
評価方法	施設評価60%、教員評価30%、その他10%
テキスト	新)介護福祉士養成講座編集『介護総合演習・介護実習』中央法規
参考文献	本学で作成した「介護実習要項」と「実習日誌」等
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画	
<p>実習概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者への適正な介護技術が援助でき、カンファレンスの意義やありがた、連携の必要性を理解して積極的な参加ができる ・福祉機器や福祉用具の知識と活用を学ぶ <p>15日間の実習を行うにあたり、実習先における実践に関する事前学習を毎日行い、その日に体験した実践を振り返り整理すること(事前事後学習を合わせて90分を目安とする)</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	介護実習
時間割コード	0224104101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰、吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	講義・演習における学びを基本とし、高齢者および障がい者施設で生活する利用者を理解し、その介護を具体的にアセスメントする。また、日常生活に必要な支援技術を実践することで、介護技術を習得する。
履修上の注意事項	実習生としてふさわしい学習態度に留意し、実習中の課題に取り組むこと 実習前には、介護総合演習における事前学習を振り返ること(60分) 実習終了後は、実習を振り返った報告書を見直し、自己課題を明確にしておくこと(60分)
評価方法	施設評価：60% 教員評価：30% その他提出物等：10%
テキスト	介護福祉士養成講座編集「介護総合演習・介護実習」 中央法規
参考文献	本学で作成した「介護実習要項」と「実習日誌」等
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
<p>実習の概要</p> <p>生活支援技術が必要な高齢者及び障害者の生活を夜間の状況を含めて理解する 適正な介護技術の提供のための利用者理解とアセスメントを行い、課題の抽出と目標の設定を行うことで、尊厳に基づいた個別性のある介護を考える カンファレンスの意義やあり方、連携の必要性を理解し、チームアプローチを学ぶ 15日間の実習を通してこれらを学習する</p> <p>15日間の実習を行うにあたり、実習先における実践に関する事前学習を毎日行い、その日に体験した実践を振り返り整理すること (事前事後学習を合わせて90分を目安とする)</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	介護実習
時間割コード	0224104201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	福祉施設職員の組織を理解し、チームの一員として介護を遂行する能力を養う。
履修上の注意事項	実習生としてふさわしい学習態度に留意し、実習中の課題に取り組むこと 実習前には、介護総合演習における事前学習を振り返ること(60分) 実習終了後は、実習を振り返った報告書を見直し、自己課題を明確にしておくこと(60分)
評価方法	施設評価：60% 教員評価：30% その他提出物等：10%
テキスト	介護福祉士養成講座編集「介護総合演習・介護実習」 中央法規
参考文献	本学で作成した「介護実習要項」と「実習日誌」等
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画	
実習概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設運営のプログラムに参加し、福祉サービスについて理解する 施設の通所サービスの実際と入所との関係を知り、地域、家族、施設の関係について学ぶ
15日間の実習を行うにあたり、実習先における実践に関する事前学習を毎日行い、その日に体験した実践を振り返り整理すること(事前事後学習を合わせて90分を目安とする)	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	介護実習
時間割コード	0224104301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
馬場 敏彰、吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	居宅介護、グループホーム等の実習を体験することにより、高齢者が住み慣れた住宅や地域の中で自己の能力を最大限に生かして、その人らしい生活が継続できるようにするための実践活動ができる。
履修上の注意事項	介護実習 を修了していること 実習前には、介護総合演習における事前学習を振り返ること。(60分) 実習終了後は、実習を振り返った報告書を見直し、自己課題を明確にしておくこと。(60分)
評価方法	施設指導者による評価:60% 実習担当教員による評価:30% 実習への総合的な積極性:10%
テキスト	新)介護福祉士養成講座編集『介護総合演習・介護実習』中央法規
参考文献	本学で作成した「介護実習要項」と「実習日誌」等
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験 馬場敏彰：介護福祉士として介護施設等勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
<p>実習概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護、グループホーム等の実習を体験することで、高齢者や障害者が住み慣れた住宅や地域の中でその人らしい生活が継続できるようにするための実践活動を学ぶ ・居宅生活を支援する介護福祉士の役割を理解する <p>7日間の実習を行うにあたり、実習先における実践に関する事前学習を毎日行い、その日に体験した実践を振り返り整理すること(事前事後学習を合わせて90分を目安とする)</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1			

基本情報

科目名	医療的ケアの基礎
時間割コード	0224104401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>[授業の目的・ねらい] 介護福祉士に求められる医療的ケアに関する基本を理解する。 [授業全体の内容の概要] 医療的ケアに必要な個人の尊厳及びさまざまな医療に関する制度、感染予防を理解するとともに、医療的ケアである「たんの吸引」について理解する。 [授業修了時の達成課題(到達目標)] 医療的ケアを行う上での制度の理解と尊厳について説明できる。 適切な感染予防方法の説明、高齢者及び障害児・者に行う「たんの吸引」の必要性が説明できる。</p>
履修上の注意事項	<p>授業内ではディスカッションを取り入れることもあるため、参加的態度で臨むこと。提示してある項目について、必ず事前にテキストを確認して課題に取り組むこと。講義終了後は、ノートをまとめなおし、講義中に確認できた理解不足事項を補うとともに、課題を完成させること。(事前事後学習として90分)</p>
評価方法	<p>原則として筆記試験(60%)、ディスカッション参加+小レポート(40%)を評価の対象とする。レポートについてはコメントを入れて返却する。</p>
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会編集 最新介護福祉士養成講座15『医療的ケア』中央法規
参考文献	講義中に適宜、指示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験</p>

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	個人の尊厳と自立、医療の倫理の理解、利用者や家族の気持ちの理解	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	保健医療制度、医行為に関する法律	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	チーム医療と介護職員の連携、安全な療養生活のための医療的ケアの提供の重要性	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	リスクマネジメントとアクシデント報告の重要性、救急蘇生の必要性の判断	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	救急蘇生法の理解と実際の方法	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
6	感染予防と清潔の保持	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
7	療養環境の清潔と消毒方法、消毒薬の使い方と留意点	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	身体・精神の健康の理解と健康状態の把握	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	健康状態を知る具体的方法の理解と急変時の対応	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	たんの吸引概論～呼吸のしくみとはたらき	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	異状の呼吸とそれに伴う苦痛と障害、たんの排出のしくみ	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	たんの吸引が必要な状態の理解、人工呼吸療法	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	人工呼吸器のしくみ、生活支援上の留意点と医療職との連携、子どもの吸引の留意点	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	吸引を受ける利用者・家族の気持ちと対応、呼吸器感染の予防	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	たんの吸引による危険、安全確認方法と事故発生予防・事故対策	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	医療的ケアの基礎
時間割コード	0224104501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 1, 金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	介護福祉士に求められる医療的ケアに関する基本を理解する。 到達目標：「喀痰吸引」の実施手順が説明できる。栄養の必要性が説明できる。「経管栄養」の必要性が説明できる。
履修上の注意事項	講義内ではディスカッションを取り入れるため、参加の態度でのぞむこと。 事前学習として、次回の単元に関するテキストを熟読しておくこと。 事後学習では、講義のノートをまとめなおし、関連科目の復習も添えておくこと。 事前事後学習として90分
評価方法	原則として筆記試験60%、ディスカッション参加・小レポート40%を評価対象とする レポートについてはコメントを入れて返却する
テキスト	医療的ケア 中央法規
参考文献	介護職員等のための医療的ケア 公益財団法人日本訪問看護財団編 ミネルヴァ書房 最新版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	喀痰吸引の必要性を振り返り、実施の留意点と急変・事故時の対応、人工呼吸器について知る	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	喀痰吸引で使用する機材とその消毒を含めた取扱いを理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	吸引の物品準備、利用者への説明と事前準備から片づけまでが説明できるようになる	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	吸引に伴うケア、医療職への報告、記録の意義と書き方を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	消化器系のしくみと働きの理解を深める	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
6	消化・吸収のしくみを振り返り、消化器症状、経管栄養が必要な状態を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	経管栄養のしくみと注入内容に関する知識を得る	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	経管栄養実施上の留意点を学び、子供の経管栄養について理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	経管栄養に関する感染とその予防方法、利用者・家族の気持ちを理解した説明と同意を考える	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	経管栄養による危険、注入後の安全確認、急変・事故発生時の対応と事前対策を知る	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	経管栄養実施手順の理解～経管栄養に必要な器材と清潔保持を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	経管栄養の物品準備、利用者への説明と事前準備から片づけまでが説明できるようになる	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	経管栄養を受ける利用者のプライバシーを考える 消化機能を促進するケアを理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	経管栄養に必要なケア（体位、口腔、鼻腔、胃瘻部の確認等）の理解を深める	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	医療職への報告、連絡、記録について理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	医療的ケアの実践
時間割コード	0224104601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	4
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	施設・地域で生活する医療的ケアを必要とする方々の身体的状況を把握する力を身につけ、援助できるスキルを修得することができることを目的とする。 介護福祉士に求められる医療的ケアに関する基本を踏まえた実践を行う。 到達目標：喀痰吸引、経管栄養の実施手順が説明でき、物品準備、教材モデルを対象にした実践、観察、片づけなどの一連の手技が説明でき、実施できる。
履修上の注意事項	実践を中心とした演習はまじめに取り組み、講義中のディスカッションでは積極的な態度で臨むこと 事前学習及び事後学習を行い、記録にとどめ、学習を深めること（これが不十分であれば演習を実施しないこと もありうる） 事前事後学習として90分
評価方法	原則として、演習時の実践60%、実技試験40%
テキスト	医療的ケア 中央法規
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション 勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	講義：吸引における身体状況の確認と準備から片づけ、観察、記録方法	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に示された課題に取り組むこと(各20分)	
2	演習：痰の吸引(口腔内吸引5回以上、鼻腔内吸引5回以上、気管カニューレ内部5回以上)の実践	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に示された課題に取り組むこと(各20分)	
3	講義：経管栄養における身体状況の確認と準備から片づけ、観察、記録方法	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に示された課題に取り組むこと(各20分)	
4	演習：経管栄養(胃瘻または腸瘻5回以上、経鼻5回以上)の実践	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に示された課題に取り組むこと(各20分)	
5	講義：救急時の判断と対応	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に示された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	演習：救急蘇生法（1回以上）の実施、観察と記録、報告の実践	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
7	講義：痰の吸引、経管栄養、救急時の対応の振り返り	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	演習：総合評価（すべての技術の実践）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	医療的ケア実習
時間割コード	0224104701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	介護福祉士に求められる医療的ケアである「喀痰吸引」、「経管栄養」を、指導者の下で安全、安楽に実践する 技術を習得し、対象者の尊厳、感染防止、以上の早期発見に留意しながら実践する。 到達目標：対象者の尊厳を守り、安全・安楽な吸引や経管栄養の援助に関する物品準備、観察、実践、片づけなどの一連の主義が説明でき、実施できる。
履修上の注意事項	実習施設のきまりを守り、個人情報保護、尊厳の順守、真摯な態度での実習をすること。 事前学習として、医療的ケアの基礎、 を振り返り、解剖整理、疾患の理解等を深め、医療的ケアの実践で行った技術の再確認と観察項目の確認をすること。 事後学習では、実際に振り返り、補助がなく実践できるための手順の確認と観察、対応を明確にすること。 (事前事後学習として90分)
評価方法	実習施設指導者評価60%、指導教員評価30%、記録等の提出10%
テキスト	医療的ケア(中央法規)
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験 介護教員として介護福祉士養成校勤務経験

授業計画

授業計画
<p>実習概要</p> <p>喀痰吸引(口腔内10回以上、鼻腔内20回以上、気管カニューレ内部20回以上)を指導者の支持を受けながら利用者の心身の状態を正確に観察し、指導者と連携し医師に報告し、安全、安楽、効果的に実践する</p> <p>10日間の実習を行うにあたり、実習先における実践に関する事前学習を毎日行い、その日に体験した実践を振り返り整理すること(事前事後学習を合わせて90分を目安とする)</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	学校ソーシャルワーク演習
時間割コード	0224200801
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	古閑 智子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(実践強化科)

担当教員情報

教員名	
古閑 智子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	この演習では、学校が抱えるさまざまな課題を知り、スクールソーシャルワーカーが学校においてどのようにソーシャルワーク実践を行うべきかについて学びます。子どもたちが抱える状況を把握するためのアセスメント方法、支援計画の立て方、ケース会議の方法、関係機関との連携等、学校ソーシャルワークのさまざまな支援方法を学んだのち、「自分がスクールソーシャルワーカーならどうするか」という意識をもちながら、実践事例を通して支援を考え、課題を抱えた子どもたちへ適切な支援が行えるようになることを目指します。
履修上の注意事項	皆さんはこれまでに何らかの形で「学校」とかかわりを持ってきました。その体験的・学校論を生かしながら授業に参加してください。学校ソーシャルワークの役割や活動内容についてイメージを図ることが大切です。授業に参加するに当たっては、授業中適宜提示される課題に真摯に取り組むようにしてください。
評価方法	1. 課題レポート50% 2. 発表等の受講態度30% 3. 授業終了時に適宜提示する小課題20%
テキスト	「ハンドブック 学校ソーシャルワーク演習 実践のための手引き」門田光司・鈴木庸裕編著 ミネルヴァ書房
参考文献	「スクールソーシャルワークのしごと」門田光司・奥村賢一著 中央法規
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	スクールソーシャルワーカーの仕事	スクールソーシャルワーカーの役割や実際の業務について整理する(3)	
2	スクールソーシャルワーカーの専門性	学校現場においてソーシャルワーク実践を行うために必要な知識、視点、アプローチ等について整理する(3)	
3	学校ソーシャルワーク実践の導入	学校教育文化、システムを理解し、教育専門職である教師と協働しながら支援を展開するために必要なことについて整理する(3)	
4	学校ソーシャルワークの支援方法	子ども達を取り巻く状況を理解し、様々な課題に対して支援するために必要な知識、実践モデル、アプローチについて整理する(3)	
5	アセスメントの展開	アセスメントツール、アセスメントにおける視点、マッピング技法等について整理する(3)	
6	支援計画の展開	ケースマネジメント、支援計画の立て方等について整理する(3)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	学校ケースマネジメント、チームアプローチの理解	チーム学校について理解し、学校教育文化の中で展開するチームアプローチについて整理する(3)	
8	ケース会議の展開	事前)学校ソーシャルワーク論 ・ で学んだケース会議、事例検討会議について改めて整理する(3)	
9	関係機関との連携：学校外資源の活用	事前)多様で複雑な課題や困りを抱える子ども達の支える様々な社会資源について調べる(2) 事後)学校外資源を活用する際のスクールソーシャルワーカーの役割について整理する(2)	
10	関係機関との連携：地域に根差した実践、協働システムの構築	事前)地域性、地域に根差した支援を行うために必要なことについて自分なりに考える(1) 事後)地域を巻き込む支援を展開するために求められるスクールソーシャルワーカーの役割について整理する(2)	
11	記録の在り方、スーパービジョンについて	記録の在り方、スーパービジョンについて整理する(3)	
12	事例検討＜児童虐待、非行、不登校＞	事後)事例について、自分が担当スクールソーシャルワーカーだったらどのように支援するか、考えを整理する(3)	
13	事例検討＜特別支援教育、貧困家庭、精神疾患＞	事後)事例について、自分が担当スクールソーシャルワーカーだったらどのように支援するか、考えを整理する(3)	
14	事例検討＜接近困難な事例、コンサルテーション事例＞	事後)事例について、自分が担当スクールソーシャルワーカーだったらどのように支援するか、考えを整理する(3)	
15	まとめ	スクールソーシャルワーカーに求められる役割や機能を整理し、常に子ども達に寄りそう支援を行うために必要なことについて検討する(3)	

基本情報

科目名	心理学研究法
時間割コード	0224201301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	山住 賢司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(実践強化科)

担当教員情報

教員名	
山住 賢司	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、科学的な学問としての心理学を成立させている心理学独自の研究法について、その基礎を学ぶ。 「実験法」「質問紙法」「観察法」「面接法」といった主要な研究法についての理解を深め、それらの知識を実験や卒業研究において活用できるようになることを目的とする。 本講義を通じて受講者は、心理学独自の研究法について自分の言葉で説明し、その知識を活用できるようになる。
履修上の注意事項	「心理学基礎実験」「心理学基礎実験」を履修する学生は、本科目を履修しておくこと。 欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 テキストは毎回必ず持参すること。 理解度を確認するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	レポートの得点100%で成績を評価する。 フィードバックとして希望者にはレポートに対するコメントを返却する。
テキスト	「心理学研究法」 大山正・岩脇三良・宮埜嘉夫(著) サイエンス社 2005
参考文献	「心理学研究法入門 調査・実験から実践まで」 南風原朝和・市川伸一・下山晴彦(編) 東京大学出版会 2001
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：心理学とは何か	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
2	心理学の研究とは何か	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
3	心理学研究法の特徴	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
4	観察法	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
5	面接法	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
6	質問紙法	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
7	S D法	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
8	心理検査法	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
9	精神物理学的測定法	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
10	実験法	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
11	仮説とその検証：構成概念と観測変数	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
12	実験計画入門	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
13	実験計画と統制	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	準実験と単一事例実験	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
15	研究の倫理	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

基本情報

科目名	心理統計学基礎
時間割コード	0224201402
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	2
主担当教員	山住 賢司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(実践強化科)

担当教員情報

教員名	
山住 賢司	

詳細情報

授業の目的・到達目標	心理学研究において必要とされる、主要な統計解析技法について学ぶ。 統計学の基本的な考え方に始まり、平均・分散・相関といった記述統計や、母集団モデルに基づく推測統計などについて、実際にデータ分析演習を交えながら理解を深め、それらの知識を活用できるようになることを目的とする。 本講義を通じて受講者は、統計学の知識をもとにデータ分析を行い、その結果を解釈できるようになる。
履修上の注意事項	「心理学基礎実験」「心理学基礎実験」を履修する学生は、本科目も併せて履修すること。 講義に加え、データ分析課題や小テストなども随時行う。 欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 テキストは毎回必ず持参すること。
評価方法	定期試験の得点80%、データ分析課題・小テスト20%とし、これらの合計得点で評価する。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	「新心理学ライブラリ14 心理統計法への招待 - 統計をやさしく学び身近にするために -」 中村知靖・松井仁・前田忠彦(著) サイエンス社 2006
参考文献	「心理統計学の基礎 統合的理解のために」 南風原朝和(著) 有斐閣 2002
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
1~15回までは2年次第2学期に、16~30回までは3年次第1学期に行う。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	心理学と統計学	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
2	度数分布表とグラフ	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
3	代表値と散布度	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	

授業計画

1～15回までは2年次第2学期に、16～30回までは3年次第1学期に行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	データの分布に関する指標	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
5	相関	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
6	回帰分析	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
7	正規分布	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
8	母集団と標本	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
9	統計的仮説検定とは	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
10	独立な2群の平均の差の検定	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
11	対応のある2標本の平均の差の検定	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
12	各種の t 検定の例	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
13	3標本以上の平均の差の検定：分散分析入門	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

1～15回までは2年次第2学期に、16～30回までは3年次第1学期に行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	分散分析の基本的な考え方	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
15	1要因分散分析の例	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
16	多重比較の各種の方法	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
17	確率モデルの基本的な考え方	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
18	統計的推測で用いられる確率分布	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
19	母相関係数に関する検定	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
20	区間推定	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
21	要因計画の導入	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
22	2要因分散分析の基本的な考え方	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
23	2要因分散分析の例	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

1～15回までは2年次第2学期に、16～30回までは3年次第1学期に行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
24	2要因分散分析における交互作用の分析	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
25	単純主効果の検定の例	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
26	被験者内1要因分散分析の基本的な考え方	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
27	被験者内1要因分散分析の例	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
28	度数データの検定	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
29	順位データの検定	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
30	多変量解析入門	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

基本情報

科目名	心理統計学基礎
時間割コード	0224201401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	3
主担当教員	山住 賢司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(実践強化科)

担当教員情報

教員名	
山住 賢司	

詳細情報

授業の目的・到達目標	心理学研究において必要とされる、主要な統計解析技法について学ぶ。 統計学の基本的な考え方に始まり、平均・分散・相関といった記述統計や、母集団モデルに基づく推測統計などについて、実際にデータ分析演習を交えながら理解を深め、それらの知識を活用できるようになることを目的とする。 本講義を通じて受講者は、統計学の知識をもとにデータ分析を行い、その結果を解釈できるようになる。
履修上の注意事項	「心理学基礎実験」「心理学基礎実験」を履修する学生は、本科目も併せて履修すること。 講義に加え、データ分析課題や小テストなども随時行う。 欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 テキストは毎回必ず持参すること。
評価方法	定期試験の得点80%、データ分析課題・小テスト20%とし、これらの合計得点で評価する。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	「新心理学ライブラリ14 心理統計法への招待 - 統計をやさしく学び身近にするために -」 中村知靖・松井仁・前田忠彦(著) サイエンス社 2006
参考文献	「心理統計学の基礎 統合的理解のために」 南風原朝和(著) 有斐閣 2002
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
1～15回までは2年次第2学期に、16～30回までは3年次第1学期に行う。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	心理学と統計学	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
2	度数分布表とグラフ	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	
3	代表値と散布度	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと(120分)。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること(120分)。	

授業計画

1～15回までは2年次第2学期に、16～30回までは3年次第1学期に行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	データの分布に関する指標	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
5	相関	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
6	回帰分析	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
7	正規分布	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
8	母集団と標本	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
9	統計的仮説検定とは	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
10	独立な2群の平均の差の検定	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
11	対応のある2標本の平均の差の検定	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
12	各種の t 検定の例	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
13	3標本以上の平均の差の検定：分散分析入門	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

1～15回までは2年次第2学期に、16～30回までは3年次第1学期に行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	分散分析の基本的な考え方	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
15	1要因分散分析の例	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
16	多重比較の各種の方法	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
17	確率モデルの基本的な考え方	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
18	統計的推測で用いられる確率分布	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
19	母相関係数に関する検定	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
20	区間推定	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
21	要因計画の導入	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
22	2要因分散分析の基本的な考え方	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
23	2要因分散分析の例	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

1～15回までは2年次第2学期に、16～30回までは3年次第1学期に行う。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
24	2要因分散分析における交互作用の分析	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
25	単純主効果の検定の例	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
26	被験者内1要因分散分析の基本的な考え方	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
27	被験者内1要因分散分析の例	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
28	度数データの検定	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
29	順位データの検定	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
30	多変量解析入門	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

基本情報

科目名	心理学基礎実験
時間割コード	0224201501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	山住 賢司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(実践強化科)

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	心理学は心を科学的に研究する学問であり、その過程において実験や調査などを通じてデータを収集し、分析を行い、論理的に考察を進め知識を深めてゆく。 主観的なデータではなく観察可能な客観的なデータに基づく科学的研究方法について、心理学の主要な分野での実験を実際に体験し学んでゆく。 受講者は、正確なデータを得るための実験手続きやデータの統計的な分析評価方法について理解するとともに、科学的なレポートを書けるようになる。
履修上の注意事項	「心理学研究法」「心理統計学基礎」を併せて履修すること。 実験はクラス全員の参加が必須であるため、遅刻・欠席は厳禁とする。 各実験ごとにレポートの提出を義務づけるが、提出の期日を厳守すること。 自己の健康管理に注意し、積極的な課題への取り組みを行なうこと。
評価方法	レポート評価100%で成績を評価する。 フィードバックとしてレポートに対するコメントを返却する。
テキスト	「改訂新版 心理学論文の書き方」 松井豊(著) 河出書房新社 2010 「実験・実習で学ぶ心理学の基礎」 日本心理学会認定心理士資格認定委員会(編) 金子書房 2015
参考文献	「実験とテスト=心理学の基礎 解説編」 心理学実験指導研究会(編) 培風館 1985
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
本科目は2時限連続で行う。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	心理学基礎実験の意味と心得、レポートの書き方	テキストを熟読し、心理学実験とレポートの書き方について事前学習を行うこと(120分)。	
2	ミュラー・リヤーの錯視(1)テーマ解説・実験実施	実験テーマについてはテキストや参考文献を熟読し、事前に学習しておくこと(120分)。	
3	ミュラー・リヤーの錯視(2)データ分析・レポート作成上の注意点	レポート作成へ向けて文献探索を行い、実験テーマへの理解を十分に深めた上でレポートを作成すること(120分)。	
4	触二点閾の測定(1)テーマ解説・実験実施	実験テーマについてはテキストや参考文献を熟読し、事前に学習しておくこと(120分)。	
5	触二点閾の測定(2)データ分析・レポート作成上の注意点	レポート作成へ向けて文献探索を行い、実験テーマへの理解を十分に深めた上でレポートを作成すること(120分)。	
6	レポート評価・指導(1)	レポート指導の結果について振り返りを行うこと(120分)。	
7	体積重さ錯覚(1)テーマ解説・実験実施	実験テーマについてはテキストや参考文献を熟読し、事前に学習しておくこと(120分)。	

授業計画

本科目は2時限連続で行う。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
8	体積重さ錯覚(2)データ分析・レポート作成上の注意点	レポート作成へ向けて文献探索を行い、実験テーマへの理解を十分に深めた上でレポートを作成すること(120分)。	
9	仮現運動(1)テーマ解説・実験実施	実験テーマについてはテキストや参考文献を熟読し、事前に学習しておくこと(120分)。	
10	仮現運動(2)データ分析・レポート作成上の注意点	レポート作成へ向けて文献探索を行い、実験テーマへの理解を十分に深めた上でレポートを作成すること(120分)。	
11	鏡映描写による両側性転移(1)テーマ解説・実験実施	実験テーマについてはテキストや参考文献を熟読し、事前に学習しておくこと(120分)。	
12	鏡映描写による両側性転移(2)データ分析・レポート作成上の注意点	レポート作成へ向けて文献探索を行い、実験テーマへの理解を十分に深めた上でレポートを作成すること(120分)。	
13	自由再生法による記憶の系列位置効果(1)テーマ解説・実験実施	実験テーマについてはテキストや参考文献を熟読し、事前に学習しておくこと(120分)。	
14	自由再生法による記憶の系列位置効果(2)データ分析・レポート作成上の注意点	レポート作成へ向けて文献探索を行い、実験テーマへの理解を十分に深めた上でレポートを作成すること(120分)。	
15	レポート評価・指導(2)	レポート指導の結果について振り返りを行うこと(120分)。	

基本情報

科目名	心理学基礎実験
時間割コード	0224201601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 1, 月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	山住 賢司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(実践強化科)

担当教員情報

教員名	
山住 賢司	

詳細情報

授業の目的・到達目標	2年次の心理学基礎実験 に引き続き、心理学の主要な分野での実験を実際に体験し学んでゆく。実験手法やデータの解析法、科学的なレポートのまとめ方についてさらに習熟し、より完成度の高いレポートを書けるようになることを目的とする。 受講者は、正確なデータを得るための実験手続きやデータの統計的な分析評価方法について理解するとともに、科学的なレポートを書けるようになる。
履修上の注意事項	「心理学研究法」「心理統計学基礎」を併せて履修すること。 「心理学基礎実験」の履修を前提とする。 実験はクラス全員の参加が必須であるため、遅刻・欠席は厳禁とする。 各実験ごとにレポートの提出を義務づけるが、提出の期日を厳守すること。 自己の健康管理に注意し、積極的な課題への取り組みを行なうこと。
評価方法	レポート評価100%で成績を評価する。 フィードバックとしてレポートに対するコメントを返却する。
テキスト	「改訂新版 心理学論文の書き方」 松井豊(著) 河出書房新社 2010 「実験・実習で学ぶ心理学の基礎」 日本心理学会認定心理士資格認定委員会(編) 金子書房 2015
参考文献	「実験とテスト=心理学の基礎 解説編」 心理学実験指導研究会(編) 培風館 1985
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
本科目は2時限連続で行う。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	心理学基礎実験 ガイダンス	テキストを熟読し、心理学実験 についての振り返りを行うこと(120分)。	
2	実体鏡視による立体視と視野闘争(1) テーマ解説・実験実施	実験テーマについてはテキストや参考文献を熟読し、事前に学習しておくこと(120分)。	
3	実体鏡視による立体視と視野闘争(2) データ分析・レポート作成上の注意点	レポート作成へ向けて文献探索を行い、実験テーマへの理解を十分に深めた上でレポートを作成すること(120分)。	
4	視覚探索(1) テーマ解説・実験実施	実験テーマについてはテキストや参考文献を熟読し、事前に学習しておくこと(120分)。	
5	視覚探索(2) データ分析・レポート作成上の注意点	レポート作成へ向けて文献探索を行い、実験テーマへの理解を十分に深めた上でレポートを作成すること(120分)。	
6	連想ブライミング(1) テーマ解説・実験実施	実験テーマについてはテキストや参考文献を熟読し、事前に学習しておくこと(120分)。	

授業計画

本科目は2時限連続で行う。

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
7	連想プライミング (2) データ分析・レポート作成上の注意点	レポート作成へ向けて文献探索を行い、実験テーマへの理解を十分に深めた上でレポートを作成すること (120分)。	
8	レポート評価・指導 (1)	レポート指導の結果について振り返りを行うこと (120分)。	
9	認知的葛藤とストループ効果 (1) テーマ解説・実験実施	実験テーマについてはテキストや参考文献を熟読し、事前に学習しておくこと (120分)。	
10	認知的葛藤とストループ効果 (2) データ分析・レポート作成上の注意点	レポート作成へ向けて文献探索を行い、実験テーマへの理解を十分に深めた上でレポートを作成すること (120分)。	
11	心的回転 (1) テーマ解説・実験実施	実験テーマについてはテキストや参考文献を熟読し、事前に学習しておくこと (120分)。	
12	心的回転 (2) データ分析・レポート作成上の注意点	レポート作成へ向けて文献探索を行い、実験テーマへの理解を十分に深めた上でレポートを作成すること (120分)。	
13	SD法によるイメージの測定 (1) テーマ解説・実験実施	実験テーマについてはテキストや参考文献を熟読し、事前に学習しておくこと (120分)。	
14	SD法によるイメージの測定 (2) データ分析・レポート作成上の注意点	レポート作成へ向けて文献探索を行い、実験テーマへの理解を十分に深めた上でレポートを作成すること (120分)。	
15	レポート評価・指導 (2)	レポート指導の結果について振り返りを行うこと (120分)。	

基本情報

科目名	福祉科教育法
時間割コード	0229001201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	未定
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	福祉教育の意義や必要性を学び、教員の専門的能力・資質について考察する。 実際の教員の事例を通して学び、目指す理想の教師像を具体的にイメージできるようになる。 高等学校学習指導要領を参考に、授業の教材研究や教育方法の実践について学ぶ。
履修上の注意事項	授業へ積極的に取り組み、主体性を持って意欲的に自ら学ぶ姿勢を評価する。 よって、予習・復習や授業中の態度や定期試験を重視する。
評価方法	定期試験80% 質疑応答、模擬授業、レポート、出席率20%
テキスト	藤田久美編『アクティブラーニングで学ぶ福祉科教育法』（2017）一藝社
参考文献	保住芳美編『高等学校学習指導要領の展開 福祉科編』（2010）明治図書
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	福祉教育の必要性と意義		
2	福祉科設置の経緯と福祉科の実際		
3	ボランティア活動を通して学ぶ福祉		
4	高校福祉科の生徒の姿		
5	高校福祉科の教員の仕事		
6	専攻科の教育と可能性		
7	高校教員からの声		
8	福祉科教員からのメッセージ		
9	高校福祉科の教育目標と教科		
10	高校福祉科の教育目標と教科		
11	模擬授業と評価		
12	模擬授業と評価		
13	学修指導案の作成		
14	学修指導案の作成		
15	福祉科の授業における教材研究のポイント		

基本情報

科目名	福祉科教育法
時間割コード	0229001301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	未定
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	教育実習の準備、実習後の学習を主体的に行い、教員としての能力・資質について学びを深める。 地域社会で福祉教育の企画・立案をする際のポイントを理解する。
履修上の注意事項	授業へ積極的に取り組み、主体性を持って意欲的に学ぶ姿勢を評価する。 よって、予習・復習や授業中の態度や定期試験を重視する。
評価方法	定期試験80% 質疑応答、模擬授業、レポート、出席率20%
テキスト	藤田久美編『アクティブラーニングで学ぶ福祉科教育法』（2017）一藝社
参考文献	保住芳美編『高等学校学習指導要領の展開 福祉科編』（2010）明治図書
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ワークシート事例		
2	ワークシート事例		
3	アクティブラーニングを導入した授業計画		
4	アクティブラーニングを導入した授業計画		
5	ICTを導入した授業計画		
6	模擬授業		
7	模擬授業		
8	教育実習の準備		
9	教育実習の整理		
10	教育実習をもとにした情報の共有化		
11	地域で進める福祉教育の可能性		
12	福祉教育プログラムの企画・実践		
13	福祉教育実践の実際（高齢者福祉）		
14	福祉教育実践の実際（障がい者福祉）		
15	福祉教育実践の実際（ボランティア活動）		

基本情報

科目名	学校保健
時間割コード	0229000101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
古賀 由紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	児童生徒の発育・発達、健康、そして学校教育法につながる指導要領等の教育の基礎を把握するとともに、児童生徒の実態から保健教育、保健管理、組織活動の諸活動を理解し、これら学校保健活動の計画と組織を教育計画と学校組織との関連でとらえ、教育の中の学校保健の全貌を説明できる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(事前60分)。授業の復習を行うこと(事後60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し、次時に返却する。前時の質問に対しては授業の最答える。
評価方法	レポート15%、試験85%で評価する
テキスト	学校保健ハンドブック 第6次改訂 教員養成系大学保健協議会 ぎょうせい
参考文献	新訂版 学校保健実務必携 第一法規
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	学校保健概論・・・学校保健と関連法、学校保健の目的、学校保健の構造		
2	学校保健概論・・・学校保健の歴史		
3	学校保健組織活動・・・学校保健関係者と各々の職務、学校保健組織と運営、関連組織		
4	学校保健計画・・・学校教育目標との関連、保健室経営との関連		
5	学校保健の対象・・・児童生徒の発育発達の現状と課題1。(発育・発達の実態)		
6	学校保健の対象・・・児童生徒の発育発達の現状と課題2。(疾病異常、体力の実態)		
7	学校保健の対象・・・心の健康問題、精神保健		
8	学校保健活動・・・保健管理：領域側面、意義、方法		
9	学校保健活動・・・保健管理：健康観察、健康相談		
10	学校保健活動・・・保健管理：健康診断、保健調査		

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	学校保健活動・・・保健管理：感染症予防		
12	学校保健活動・・・保健管理：学校環境衛生		
13	学校保健活動・・・安全管理：学校安全と危機管理、救急処置		
14	学校保健活動・・・保健教育：学校における保健教育の考え方		
15	学校保健活動・・・性教育、薬物乱用防止教育、食育		

基本情報

科目名	養護概説
時間割コード	0229000201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
古賀 由紀子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	養護教諭の職務である保健教育、保健管理、救急看護、学校保健経営の4機能を理論的に理解し、具体的な職務 内容と方法論で実証し、学校経営の中で、そして学校保健の各領域で養護教諭の職務がどう機能するかを把握し 説明できる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し、次時に返却する。 前時間の質問に対しては授業の最初に答える。
評価方法	レポート15%、筆記試験85%として評価
テキスト	・新訂 養護概説 編集代表 三木とみ子 ぎょうせい ・「新訂版学校保健実務必携」 学校保健・安全実務研究会 第一法規
参考文献	冊子「学校保健」松本敬子編、「養護教諭の授業づくり」 松本敬子他 東山書房
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画	
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	養護の概念		
2	養護教諭制度と歴史		
3	養護教諭の専門性、養護教諭の倫理		
4	養護教諭の活動拠点保健室—その役割と機能		
5	養護教諭の活動拠点保健室—保健室経営計画		
6	養護活動の過程		
7	養護教諭の実践—1 健康実態・健康問題の把握(健康観察、保健調査)		
8	養護教諭の実践—2 健康実態・健康問題の把握(健康診断)		
9	養護教諭の実践—3 支援の方法(救急処置活動)		
10	養護教諭の実践—4 支援の方法(健康相談)		
11	養護教諭の実践—5 養護活動の展開		
12	養護教諭の実践—6 環境整備(感染症予防、学校環境衛生)		
13	養護教諭の実践—7 健康教育活動(保健教育、保健便り)		

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	養護教諭の実践－8 組織活動		
15	養護教諭と研究		

基本情報

科目名	養護実践論
時間割コード	0229000301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
古賀 由紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	これまでの養護専門科目学習の総まとめを行うとともに、養護教諭としての実践力を身につける。 学校で養護実践を行う場合に必要計画、実施、評価、改善の各過程をいくつかの職務を例に取り上げ、具体的に述べる事ができる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(事前60分)。授業の復習を行うこと事後60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し、次時に返却する。 前時の質問に対しては授業の最初に答える。
評価方法	事前学習30%・レポート40%・プレゼン30%
テキスト	適宜プリントを配布する
参考文献	「つながる・ひろがる 学校保健」 東山書房 松本敬子他著
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	学校経営の中の保健室経営		
2	保健室経営の考え方と進め方、保健室経営計画の立案		
3	保健室経営の実際		
4	保健室経営の評価		
5	養護活動の実際 (健康診断の計画)		
6	養護活動の実際 (健康診断の実施)		
7	養護活動の実際 (健康診断の評価・改善)		
8	養護活動の実際 (学校救急処置活動の計画)		
9	養護活動の実際 (学校救急処置活動-子供に起こりやすい疾病)		
10	養護活動の実際 (学校救急処置活動 内科的対応-心因性含む)		
11	養護活動の実際 救急処置ロールプレイ		
12	学校保健組織活動 (学校保健委員会の計画)		
13	学校保健組織活動 (学校保健委員会の実施)		

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	学校保健組織活動（学校保健委員会の評価・改善）		
15	全体まとめ		

基本情報

科目名	看護学各論
時間割コード	0229001901
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	生活者に発生する疾患や症状の理解を深め、看護の視点や方法について学習することを目的とする。 また、養護教諭の職務の一領域である学校看護に必要な看護学を学ぶ。学校看護は、児童・生徒の生命を守り、健康の維持・増進をはかることを目的とし、また重要な教育活動である意義を理解する。心身のメカニズム、疾病・異常等、臨床看護実習にも必要な知識・技術を修得すると共に、これらを学校看護の教育としての独自性の中に生かすことを学ぶ。
履修上の注意事項	事前学習として、それぞれの単元で扱う項目に関する事柄を、テキストから拾い上げておき、講義に臨むこと。 事後学習では、講義終了後にノートをまとめなおし、関連する疾患や状態像と合わせて理解を深めること。 (事前・事後学習として60分)
評価方法	課題の提出等 20% 筆記試験(小テストを含む) 80% 提出された課題レポートについてはコメントを入れて返却する
テキスト	養護教諭のための看護学 改訂版 藤井寿美子他 大修館書店
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	吉岡久美：大学病院(看護師)、一般病院(看護師長)、訪問看護ステーション(訪問看護師・管理者)

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	看護の基礎と看護行為の基本、疾病の経過や治療処置に伴う看護の理解を深める	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	循環器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	呼吸器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	消化器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	造血器系疾患 内分泌・代謝系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
6	泌尿器・生殖器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
7	運動器系疾患の発生機序、病態をもとに、疾患による看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
8	脳神経系疾患、精神系疾患の発生機序とその看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
9	感覚器系疾患に関する病態とその看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
10	救命救急看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
11	発熱・腹痛・頭痛・嘔気嘔吐・呼吸困難・けいれんなどの症状別看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
12	小児看護と母性看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
13	思春期看護、障がいのある方への看護を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
14	老年、精神看護を理解する（在宅を含む）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	
15	ターミナルケアからグリーフケアまでの重要性を理解する	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出示された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	基礎看護技術
時間割コード	0229002001
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	3
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>養護教諭に必要な看護技術の基礎知識を習得することを目的とする。</p> <p>1. 健康の回復、維持増進を図るための看護技術を実践できる。</p> <p>2. 看護の基礎技術を学習し習得することで、援助過程での活用の意義を説明することができる。</p>
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・演習は動きやすい服装（ジャージ等）と靴を準備すること ・準備物等は掲示板にて連絡するため、確認しておくこと ・講義及び演習の構成上、展開計画の流れが変更となることがあるが、事前に掲示するため注意し、十分に事前学習をしてレポート作成すること ・事後学習では、関連する疾患や状態像と合わせて理解を深め、課題に取り組むこと。（事前事後で60分）
評価方法	筆記試験 70% 学習への取り組み、課題の提出 30% 提出された課題についてはコメントを入れて返却する
テキスト	基礎看護技術（メディカ出版）
参考文献	養護教諭講座3 新版 基礎看護学（東山書房）
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>吉岡久美：大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）</p> <p>柴田恵子：基礎看護学分野教員</p> <p>古江佳織：基礎看護学分野教員 看護師経験</p> <p>古堅裕章：基礎看護学分野教員 看護師経験</p> <p>赤峰隆元：基礎看護学分野教員 看護師経験</p>

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	病床環境調整の必要性とその方法について学習し実践する。（吉岡）	事前学習として、テキストを基に病院及び病床環境についてまとめること。病床の援助としてベッドメイキングの方法を確認しておく。 事後学習として、患者の状態に応じた環境の調整について整理する。	
2	生命の兆候を観察する技術を知り、バイタルサインの示す意味と測定方法を習得する。（吉岡）	事前学習として、バイタルサインとは何か、そのチェックにおける方法と留意点をまとめる。 事後学習として、実際の測定における困難と工夫、確実な実践方法を整理する。	
3	安全を守る技術を習得し、安楽な体位を理解して移動等の支援の実践方法を習得する。（柴田）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
4	運動と休息の影響を理解し、体位、運動の援助方法を習得する。（古堅）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	栄養管理を含めた食事の重要性を理解し、形態、摂取方法について理解する。（古堅）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
6	排泄の意義・目的を理解し、その管理方法と援助について実践する。（柴田）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
7	身体の清潔の目的を理解して、衣服管理・交換方法を含めた援助を実践する。（柴田）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	身体の清潔の目的を理解して、身体保清の具体的方法を習得する。（古江）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	褥法の適応を理解して実践し、安楽かつ快適さを確保する技術を習得する。（吉岡）	事前学習として、褥法の目的、種類、留意点を整理する。 事後学習として、褥法の効果と危険性について整理する。	
10	検査・治療を安全かつ正確に行う技術を理解し、対象者の理解と看護の役割を知る。（古江）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	感染の具体的予防としての管理方法、清潔操作、創傷管理等を実践する。（古江）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	与薬についての知識を深め、薬剤の管理と投与方法を理解する。（赤峰）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	安楽な呼吸のための吸引、吸入の目的と種類を理解し、手技と管理方法を習得する。（古江）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	救急救命処置の技術を理解し、緊急時の判断ができる能力を習得する。（赤峰）	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	危篤・終末時の心理・生理的变化を踏まえて死を迎える時の援助を習得する。（吉岡）	事前学習として、終末期における身体・精神的变化をテキストから学習する。 事後学習として、死を迎える本人と周りの人への処置・対応をまとめる。	

基本情報

科目名	教育原理
時間割コード	0229000501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
桑嶋 晋平	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>この授業では、教育という概念やその理念・目的について学んだうえで、現代にいたるまでの西洋および日本の教育の歴史と思想をふりかえり、今日の教育がどのような歴史的背景を有しているのかを学んでいきます。このことによって、「教育」とは何か、よい教育とはどのようなものか、といった問いへのじぶんなりのこたえ あるいはこたえるための問い をみいだすことを目指します。</p> <p>そのため、この授業では、以下のことを目標とします。</p> <p>(1) 教育の理念・歴史・思想にかんする基礎的なことがらを理解し説明することができる。</p> <p>(2) 教育の理念・歴史・思想にかんする知識に基づいて、教育の意義や特徴を理解し、説明することができる。</p> <p>(3) 教育とはなにか、よい教育とはなにかについて、自分自身のかんがえをあらわすことができる。</p>
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	<p>授業後の小レポート（30%）および学期末試験（70%）の総合成績で評価する。</p> <p>基礎的なことがらへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。</p> <p>なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。</p>
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 授業全体の概要をしめす。		
2	「教育」とは何か / 教育の理念および目的について学ぶ。		
3	「教育」とは何か / 教育概念の歴史的な変遷について学ぶ。		
4	教育の思想と歴史 / 前近代の共同体における人間形成について学ぶ。		
5	教育の思想と歴史 / 前近代から近現代にいたる子ども観の変遷について学ぶ。		
6	教育の思想と歴史 / 近代家族の誕生とその教育とのかかわりについて学ぶ。		
7	教育の思想と歴史 / 近代教育の成立とその思想について学ぶ。		
8	教育の思想と歴史 / 新教育の思想と実践について学ぶ。		

授業計画

予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	教育の思想と歴史 / 近代教育批判における教育のとらえなおしについて学ぶ。		
10	近代日本における教育の思想と歴史 / 前近代のこの国の教育および近代教育の受容過程について学ぶ。		
11	近代日本における教育の思想と歴史 / 大正新教育の思想と実践について学ぶ。		
12	近代日本における教育の思想と歴史 / 総力戦体制と教育および戦後の教育改革について学ぶ。		
13	近代日本における教育の思想と歴史 / 50年代から高度経済成長期にかけての教育について学ぶ。		
14	近代日本における教育の思想と歴史 / 臨教審以後の教育改革について学ぶ。		
15	まとめ / 授業をまとめ、現代教育の諸問題について考察を試みる。		

基本情報

科目名	教職論
時間割コード	1000470201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目（教職に関する科目）

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 教員の身分と役割，義務と裁量権について理解する。 2 最近の，教員を取り巻く状況や課題について理解する。 3 教員に関わる教育制度，学校の組織構造，学級経営の現代的問題理解を通して，求められる新しい教師像と専門性について考察することができる。
履修上の注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 ペアによるディスカッションをするため，ペアを作って着席する。 2 すべてペアに発言の機会があるので，常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加40%，期末試験60%で評価する。 再試験は実施しない。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回，資料を配布する。参考資料については，授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	教員名：嶋 政弘 実務内容：公立学校教員としての実績（35年）

授業計画

授業計画
<p>前半は，教員に求められる資質と意識を中心とした，教職に関する現状と課題について，最近の事例をもとに，ディスカッションを随所に仕組んだ講義を中心に進める。後半は，理想の教育を求めて取り組んでいる国内の実践例や，世界の先駆者として教育改革に取り組んでいるフィンランドを例に，これからの教育や教師像について，資料を基に，自分なりの考えを導き出すような展開にする。</p> <p>なお，事前・事後学修のうち，事前学修については，個人で行うことは難しいと考えるが，事後学習については，講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	教職とは何か 教師の役割と使命感		
2	教職の意義 これまでに会った教師を参考に，その意義について考える		
3	理想の教師像 聖職者・労働者としての教師像		
4	教師像の変化 文学作品・テレビドラマにみられる教師像の変化		
5	教員の服務義務 法的義務と現状		
6	校務分掌と教員の多様な仕事と多忙化		
7	教師間の仕事量の不均衡と公務員制度。		
8	一人一人の児童・生徒を守る教師		
9	研修とスキルアップ		
10	国内における実践例		
11	国内における実践例		
12	理想の教育を目指して（フィンランドにおける教育改革）		
13	理想の教育を目指して（フィンランドにおける教育改革）		

授業計画

前半は、教員に求められる資質と意識を中心とした、教職に関する現状と課題について、最近の事例をもとに、ディスカッションを随所に仕組んだ講義を中心に進める。後半は、理想の教育を求めて取り組んでいる国内の実践例や、世界の先駆者として教育改革に取り組んでいるフィンランドを例に、これからの教育や教師像について、資料を基に、自分なりの考えを導き出すような展開にする。
 なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	理想の教育を目指して（フィンランドにおける教育改革）		
15	教職への道		

基本情報

科目名	教育行政論
時間割コード	0229000601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1 教育行政の基本概念を理解し、教育行政をめぐる諸問題について自分の考えを持つことができる。</p> <p>2 日本国憲法及び教育基本法から導き出される教育の基本原則、及びその意義を理解する。</p> <p>3 学校教育における具体的な事例について、その多くが教育行政と密接に関連していることを理解する。</p>
履修上の注意事項	<p>1 ペアによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。</p> <p>2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。</p>
評価方法	ディスカッションへの参加40%、期末試験60%で評価する。 再試験は実施しない。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回、資料を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>教員名 : 嶋 政弘</p> <p>実務内容: 公立学校教員としての実績(35年)</p>

授業計画

授業計画
<p>学校教育における様々な場面において、まず、その運用の実態と問題点に視点を向け、次に、その根拠となる関連法規や資料を判断基準として、実際の場面ではどのように判断すべきかについてのディスカッションを中心に展開する。</p> <p>なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	教育行政 教育委員会の組織・機能		
2	教育行政 教職員の人事権		
3	教育行政 学校選択制の拡大		
4	学校組織 校長の職務・権限と職員会議の機能		
5	学校組織 (校長, 副校長, 教頭の資格要件とその緩和)		
6	学校組織 教頭・副校長の職務		
7	学校組織 主任制度		
8	学校組織 主幹教諭・指導教諭		
9	養護教諭の職務 歴史的変遷		
10	養護教諭の職務 職務の変化		
11	教育無償化		
12	教員の服務と待遇		
13	教育課程 学習指導要領		
14	教育課程 教科書		
15	教育課程 特別支援教育		

基本情報

科目名	特別支援教育総論
時間割コード	1000480201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(教職に関する科目)

担当教員情報

教員名	
水間 宗幸	

詳細情報

授業の目的・到達目標	特別支援教育の意義や目的を理解し、学習面、行動面などに困難を抱える子どもの理解を、発達心理学的観点から理解し、それぞれの発達段階や特性に応じた教育および支援の在り方を考えることができる。
履修上の注意事項	予習・復習を行うこと。特に、次回の講義で扱う内容について、必ず教科書を一読した上、分からない単語などを調べておくこと(2時間)。復習時には、ノートをまとめ、講義の中で扱われた理論やキーワードを自分のことばで説明できるようになっておくこと(2時間)。
評価方法	試験で評価する(100%)。なお試験のフィードバックについては、希望者に個別に口頭で評価内容を伝える。
テキスト	はじめての特別支援教育--教職を目指す大学生のために 改訂版 (有斐閣アルマ)
参考文献	「発達障害の子どもたち」「発達障害のいま」とともに杉山登志郎、講談社現代新書。その他、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション：特別支援教育の概要と中教審「特別支援教育推進について」		
2	特別支援教育と発達臨床心理学的考え方		
3	知的機能などに制約がある子どもの理解と支援		
4	運動機能などに制約がある子どもの理解と支援		
5	見え、聞こえなどに制約がある子どもの理解と支援		
6	読み書き計算などに制約がある子どもの理解と支援		
7	注意集中力などに制約がある子どもの理解と支援		
8	社会性の発達などに制約がある子どもの理解と支援		
9	貧困や母国語など社会問題等によって発達に課題を抱える子どもの理解		
10	教育課程の中の特別支援教育の理解		
11	特別支援教育に関わるアセスメントについて		
12	発達に制約がある子どもの二次障害への理解		
13	不登校の理解と支援		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	虐待が発達に及ぼす影響の理解と支援		
15	学習面、行動面に困難を抱える子どもを支える専門機関の理解		

基本情報

科目名	教育課程論
時間割コード	1000490201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(教職に関する科目)

担当教員情報

教員名	
桑嶋 晋平	

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、教育課程を編成して学校で教育をするということについて批判的に考える力をつけることで、学習指導要領に沿いつつも、自分自身で教育課程を編成し、カリキュラム・マネジメントをおこなっていくことができるようになることを目的とします。 そのため、この授業では、以下のことを目標とします。 (1) 教育課程が有する役割や機能、並びに意義を理解し説明することができる。 (2) 教育課程編成の基本原則、ならびに学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解し説明することができる。 (3) カリキュラムをデザインし、マネジメントをおこなっていくことができる。
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	授業後の小レポート(30%)、授業での発表(20%)、学期末レポート(50%)の総合成績で評価する。 基礎的なことからへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。 なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	(小・中・高)『学習指導要領』 上記以外の参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
予習・復習については、毎時の授業で指示します(各回につき、事前学習:2時間、事後学習:2時間)。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス/授業全体の概要をしめす。		
2	教育課程の構成要素と編成原理		
3	教育課程をめぐる法と行政		
4	教育におけるメディアとしての教科書		
5	近現代日本の教育課程の歴史(1)		
6	近現代日本の教育課程の歴史(2)		
7	学力とはなにか		
8	教育において評価とはなにか		
9	教育における評価の方法		
10	諸外国の教育課程		
11	隠れたカリキュラム		
12	子ども理解とカリキュラム		
13	カリキュラムと学校の空間		
14	保護者・地域と教育課程		
15	授業のまとめと今日の課題に応じる教育課程の在り方		

基本情報

科目名	特別活動・総合的な学習の時間の指導法
時間割コード	0229002901
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、学校教育における特別活動の位置付けとその意義について基礎的なことがらおよび生徒の発達や成長にたいして特別活動の持っている多様な役割と可能性について学び、特別活動を実施していくための実践的指導力の基礎を形成することを目指すとともに、総合的な学習の時間にかんして、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰してとらえ、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、学習活動の評価にかんする知識・技能を身に付けることを目的とします。 (1) 特別活動の意義、目標及び内容について理解し、説明することができる。 (2) 特別活動の指導の在り方について理解し、説明することができる。 (3) 総合的な学習の時間の意義や、指導計画の作成や指導の仕方について理解し、説明することができる。
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	授業後の小レポート(30%)および学期末レポート(70%)の総合成績で評価する。 基礎的なことがらへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。 なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	(小・中・高)『学習指導要領 特別活動編』、(小・中・高)『学習指導要領 総合的な学習の時間編』 上記以外の参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します(各回につき、事前学習:2時間、事後学習:2時間)。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス/授業全体の概要をしめす。		
2	教育課程における特別活動の位置付けと各教科などとの関連		
3	学級活動・ホームルーム活動の特質		
4	児童会・生徒会活動の特質		
5	クラブ活動・部活動の特質		
6	学校行事の特質		
7	教育課程全体における特別活動の指導		
8	特別活動における取組の評価・改善活動		
9	特別活動と生活指導、集団づくり		
10	特別活動における家庭・地域住民や関係諸機関との連携		
11	「総合的な学習の時間」の意義と教育課程における位置づけ		
12	「総合的な学習の時間」の目標		

授業計画

予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	年間指導計画の作成における各教科等との関連性		
14	単元計画の作成と具体事例の分析		
15	総合的な学習の時間における評価の方法		

基本情報

科目名	教育方法論
時間割コード	0229001101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 多様な学習者に配慮して「教授と学習」という視点に立った学習指導の方法を理解する。 2 学習や学校生活における様々な場面に対する対応方法について理解する。 3 授業効果を高めるための方法としての教育情報機器の利用について理解し、活用できるようになる。
履修上の注意事項	1 ペア・グループによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。 2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加40%、課題提出20%、課題発表20%、期末試験20%で評価する。 追試験は実施しない。
テキスト	使用しない。(毎回、学習プリント及び資料を配布する)
参考文献	毎回、資料を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	教員名 : 嶋 政弘 実務内容: 公立学校教員としての実績(35年)

授業計画

授業計画
<p>前半は、教育における方法論的な立場から、教育方法の歴史や組織面(形態)及び改革等について学ぶ。後半は、指導案作成を中心に、発表会準備の過程で、視聴覚機器の活用方法について学習する。</p> <p>なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	授業のねらいと展開の方法		
2	教育方法の歴史		
3	教育方法の歴史		
4	教育方法の類型と特質		
5	教育方法の類型と特質		
6	教育方法の改革と課題 学力形成の方法論		
7	教育方法の改革と課題 学習の形態と、教師と子どもの関係性		
8	学習指導案の作成 作成の手順と内容		
9	学習指導案の作成 単元(教材)の目標設定と指導計画		
10	学習指導案の作成 各時間(本時)におけるねらいと授業準備		
11	学習指導案の作成 学習展開(過程)における学習活動と指導上の留意点		
12	教育情報機器の操作 教育情報機器の例とその効果		
13	教育情報機器の操作 パワーポイントによるわかりやすいプレゼンテーションの作成方法		

授業計画

前半は、教育における方法論的な立場から、教育方法の歴史や組織面（形態）及び改革等について学ぶ。後半は、指導案作成を中心に、発表会準備の過程で、視聴覚機器の活用方法について学習する。

なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	指導案発表と審議		
15	指導案発表と審議		

基本情報

科目名	生徒指導・進路指導論
時間割コード	0229002601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>この授業では、生徒指導の意義や原理を理解するとともに、すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方および児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の形態と、教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を学びます。それとともに、進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それにむけた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身に付けることを目的とします。</p> <p>そのため、この授業では、以下のことを目標とします。</p> <p>(1) 生徒指導の学校教育における意義や役割を理解し、説明することができる。</p> <p>(2) 生徒指導が求められる諸問題について理解し、基本的な対応ができる。</p> <p>(3) 校内外での連携のあり方について理解し、対応の方途をさぐることができる。</p> <p>(4) 進路指導・キャリア教育の進め方について理解し、基礎的な実践ができる。</p>
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	<p>授業後の小レポート(30%)および学期末レポート(70%)の総成績で評価する。</p> <p>基礎的なことからへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。</p> <p>なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。</p>
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します(各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間)。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス/授業全体の概要をしめす。		
2	生徒指導の意義と目的		
3	生徒指導の歴史的変遷		
4	集団指導と個別指導		
5	教育課程における生徒指導		
6	児童生徒理解の意義と方法		
7	課題を抱える児童生徒への指導		
8	いじめの実態と支援		
9	不登校問題と支援		
10	児童虐待の実態と支援		
11	非行の実態と支援		
12	生徒指導における教職員・保護者・地域・諸機関の連携		
13	進路指導・キャリア教育の意義と理論		
14	進路指導・キャリア教育の方法		
15	職業・労働と学校教育のレリパンス		

基本情報

科目名	生徒指導論
時間割コード	0229001501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、生徒指導の意義や原理を理解するとともに、すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方および児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の形態と、教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を学びます。 この授業では、以下のことを目標とします。 (1) 生徒指導の学校教育における意義や役割を理解し、説明することができる。 (2) 生徒指導が求められる諸問題について理解し、基本的な対応ができる。 (3) 校内外での連携のあり方について理解し、対応の方途をさぐることができる。
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	授業後の小レポート（30%）および学期末レポート（70%）の総合成績で評価する。 基礎的なことからへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。 なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 授業全体の概要をしめす。		
2	生徒指導の意義と目的		
3	生徒指導の歴史的変遷		
4	集団指導と個別指導		
5	教育課程における生徒指導		
6	児童生徒理解の意義と方法		
7	児童生徒の発達と児童生徒理解		
8	課題を抱える児童生徒への指導		
9	いじめの実態と支援		
10	不登校問題と支援		
11	児童虐待の実態と支援		
12	非行の実態と支援		
13	生徒指導と保護者		
14	生徒指導における教職員・保護者・地域・諸機関の連携		
15	授業のまとめと今日における生徒指導の課題		

基本情報

科目名	教育相談（カウンセリングを含む）
時間割コード	0229001601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
古賀 由紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	教育相談とは、一人一人の子どもの教育上の諸問題について本人または、保護者、教師などにその望ましい在り方について指導助言することを意味しているが、特に学校生活において不適応を訴える児童生徒、保護者に対して主として個別援助するとき、これらの悩みや問題行動に対してどのように理解し、具体的に対応していったらよいか説明できる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し、次時に返却する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。
評価方法	レポート等20%、期末試験80%により評価する
テキスト	必要に応じてプリントを配布する
参考文献	「新しい学校教育相談の在り方と進め方 - 教育相談系の役割と活動 - 」栗原慎二著 ほんの森出版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：養護教諭として公立学校勤務経験 豊永：教諭（教育相談担当）として県立高校勤務経験，スクールカウンセラーとして公立学校勤務経験

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分） 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	教育相談の考え方・教育相談の位置づけ、生徒指導と教育相談（古賀）		
2	児童生徒理解の基礎（教育相談の内容、発育発達、疾病等の一般的理解）（古賀）		
3	児童生徒理解の基礎（個別的理解とその方法）（古賀）		
4	包括的な教育相談体制（マルチレベルアプローチ）に取り組む（豊永）		
5	学級で実施できるSST（グループワーク）（豊永）		
6	学校で使えるアセスメントツール（豊永）		
7	カウンセリングの理論と技法（豊永）		
8	認知と行動にアプローチする（認知行動療法）（豊永）		
9	資源にアプローチする（豊永）		

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	家族心理学（1）家族心理学の理論（豊永）		
11	家族心理学（2）教育相談への応用（豊永）		
12	チーム援助と支援会議（豊永）		
13	教育相談の担い手（学級担任、教育相談担当者、養護教諭、スクールカウンセラー他）（古賀）		
14	教育相談の機関と支援ネットワーク（古賀）		
15	教育相談充実のための方策（古賀）		

基本情報

科目名	臨床看護実習
時間割コード	0229002101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護学・基礎看護技術で学習した知識・技術を基に病院臨床の場でさらに観察し、またこれを実際に行ってみる ことにより、看護の理解を深める。 学校保健活動および養護教諭の職務、養護実習との関連を考え、臨床看護実習の意義を理解する。
履修上の注意事項	・実習事前指導に出席すること。 ・事前学習として、これまで学んだ解剖整理、病態、医学一般、看護学各論、基礎看護技術、薬理学等を中心に復習しておくこと。(60分) ・事後学習では、報告会での他実習先での学びを振り返り、体験できなかった技術や対応について、その方法・留意点をまとめること。(60分)
評価方法	実習成績(90%) 実習出席状況、実習態度、看護実習レポート 看護カンファレンスへの参画、学内実習態度(発表内容等)(10%) 課題レポートにはコメントを入れて返却する
テキスト	実習要項、実習資料
参考文献	『基礎看護技術』 メディカ出版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	吉岡久美：大学病院(看護師)、一般病院(看護師長)、訪問看護ステーション(訪問看護師・管理者) 古城玲子：看護師経験

授業計画

授業計画
<p>目的：看護学・基礎看護技術で学習した知識・技術をもとに病院臨床の場でさらに観察し、実際に行ってみるにより看護の理解を深める。 学校保健活動及び養護教諭の職務、養護実習との関連を考え、臨床看護実習の意義を理解し説明できる。</p> <p>8日間の臨床実習及び2日間の学内実習を行うにあたり、実習先における実践に関する事前学習を毎日行い、その日に体験した実践を振り返り整理すること (事前事後学習を合わせて90分を目安とする)</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	教育実習（事前事後指導を含む）
時間割コード	0229002201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	3.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
柴田 恵子、古賀 由紀子、古江 佳織、嶋 政弘、水間 宗幸、吉岡 久美、未定、桑嶋 晋平	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本学における教職課程で学んだ理論をもとに、学校現場における教育の実践的経験を通して、高校教諭に必要な資質や専門性、実践的指導力をもつことができる。
履修上の注意事項	高校教諭1種免許状の取得希望者のみ。履修に当たっては教職課程履修細則が適用されるので、よく確認すること。 事前準備、事後の復習については担当者の指示に従うこと。
評価方法	実習校による評価（60%）、実習録・実習終了レポートによる評価（10%）、事前事後指導における平常の評価（授業態度等）（10%）、事前事後指導におけるレポート等による評価（20%）。 なお、事前事後指導、本実習のすべてにおいて、無断欠席は認められないので厳重に慎むこと。
テキスト	特に使用しない。資料を配布する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は教員・養護教諭の実務経験、あるいは病院勤務経験者である。

授業計画

授業計画	
<p>1. 事前指導（3年次～4年次実習前） 教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導</p> <p>2. 教育実習（4年次、2週間） 実習校の指導のもとで実習を行う</p> <p>3. 事後指導（4年次、実習後） 実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。 *なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。</p>	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	養護実習（事前事後指導を含む）
時間割コード	0229002301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	5.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
柴田 恵子、古賀 由紀子、古江 佳織、嶋 政弘、水間 宗幸、吉岡 久美、未定、桑嶋 晋平	

詳細情報

授業の目的・到達目標	保健室の在り方および養護教諭の果たすべき役割と「養護」の対象である児童生徒の心身、生活の状況、健康問題について実習校の実態に基づいて述べることができる。保健室に来室する児童生徒に対する中で、健康問題の発見・把握、健康問題の解決、予防のための指導などを適切に行うことができる。自らが養護教諭になった時の姿（養護教諭増）を描くことができる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に当たっては1単位の事前事後指導を受けること（養護教諭に必要な資質としての救急処置演習を含む） ・履修に当たっては教職課程履修細則が適用されるのでよく確認をすること ・実習校の計画に基づき実習を行なうこと ・実習の事前学習を行うこと（学校組織、子どもの発育・発達、養護活動など）また、実習後には振り返りレポートを書くこと。
評価方法	実習校における評価（70%）、実習録・実習終了レポートによる評価（10%）、事前事後指導における平常の評価（出席、授業参加等）、事前事後指導におけるレポートによる評価（20%） なお、事前事後指導、本実習のすべてにおいて、無断欠席は認められないので厳重に慎むこと。
テキスト	養護実習の手引き及び配布資料
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は教員・養護教諭の実務経験、あるいは病院勤務経験者である。

授業計画

授業計画	
<p>1. 事前指導（3年次～4年次実習前） 教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導</p> <p>2. 教育実習（4年次、2週間） 実習校の指導のもとで実習を行う</p> <p>3. 事後指導（4年次、実習後） 実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。 *なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。</p>	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	教職実践演習（高）
時間割コード	0229001701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
柴田 恵子

詳細情報

授業の目的・到達目標	これまでの履修内容を統合することで確かな実践的指導力を身につける。具体的には、使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、社会性や対人関係能力に関する事項、 幼児・児童・生徒理解や学級経営等に関する事項、 教科・保育内容等の指導力に関する事項、に関する知識・技術を修得し、実践が行えるようになる。
履修上の注意事項	事前事後学習については担当者の指示に従うこと。
評価方法	授業態度（30%）、ポートフォリオを通しての評価（50%）、外部講師による評価（20%）
テキスト	随時、紹介する。
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は教員あるいは養護教諭として学校での実務経験、看護師は病院での実務経験がある。

授業計画

授業計画
<p>1. 事前指導（3年次～4年次実習前） 教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導</p> <p>2. 教育実習（4年次、2週間） 実習校の指導のもとで実習を行う</p> <p>3. 事後指導（4年次、実習後） 実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。</p> <p>*なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	教職実践演習（養護教諭）
時間割コード	0229001801
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
柴田 恵子

詳細情報

授業の目的・到達目標	使命感や責任感に裏打ちされた教員としての確かな実践的指導力が身についているかどうかの確認を行い、自らの養護教諭としての実践実習を評価しまとめることができる。 自らの能力・適性（資質）について、自ら描く養護教諭像と照らし合わせて研鑽すべき課題を述べるができる。
履修上の注意事項	これまでの教職に関する学習の総まとめの意味があるので、毎回関連する既習科目を復習し演習に臨むこと。 授業後は、行った演習を振り返り記録しポートフォリオを作成すること。
評価方法	講義についてのレポート、演習後の記録、グループワークでの活動、振り返りでの討論等を総合して評価する。
テキスト	これまで使用した教科書や資料を活用する。
参考文献	適宜、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は教員あるいは養護教諭として学校での実務経験、看護師は病院での実務経験がある。

授業計画

授業計画
<p>1. 事前指導（3年次～4年次実習前） 教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導</p> <p>2. 教育実習（4年次、2週間） 実習校の指導のもとで実習を行う</p> <p>3. 事後指導（4年次、実習後） 実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。 *なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	養護実習の学びから仮想学校構想、学校教育目標設定		
2	仮想学校の学校保健計画、保健室経営案作成		
3	構想、計画案の発表会、討議		
4	模擬授業（保健学習・保健指導）と現職教諭を交えての授業研究会（その1）		
5	模擬授業（保健学習・保健指導）と現職教諭を交えての授業研究会（その2）		
6	模擬授業（保健学習・保健指導）と現職教諭を交えての授業研究会（その3）		
7	個別指導の場面指導（疾病の場面指導）		
8	個別指導の場面指導（生徒指導の場面指導：性の問題）		

授業計画

1. 事前指導（3年次～4年次実習前）

教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導

2. 教育実習（4年次、2週間）

実習校の指導のもとで実習を行う

3. 事後指導（4年次、実習後）

実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。

*なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	個別指導の場面指導(健康相談活動)		
10	(前次を受けて)指導における連携の在り方について討議		
11	スクールボランティアを活用したフィールド学習		
12	スクールボランティアを活用したフィールド学習		
13	スクールボランティアを活用したフィールド学習		
14	フィールド学習の振り返りと評価		
15	まとめ		

基本情報

科目名	心理学
時間割コード	0221100201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	山住 賢司
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、心の働き・仕組みを科学的に探究していく学問である心理学の基礎について学んでゆく。 人の心の基本的な仕組みと機能、発達段階における心理的課題、日常生活と心の健康との関係、心理学理論を基礎とするアセスメントの方法と支援、等について理解することを目的とする。 本講義を通じて受講者は、心理学の基本知識について自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 テキストは毎回必ず持参すること。 理解度を確保するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	「最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座2 心理学と心理的支援」 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編） 中央法規 2021
参考文献	「心理学概論[第2版]」 岡市廣成・鈴木直人（監修） ナカニシヤ出版 2014
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：「心理学」について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
2	心理学の歴史と方法について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
3	心の生物学的基礎の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	感情・動機づけ・欲求の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
5	感覚と知覚の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
6	学習・行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
7	認知：記憶・注意・言語・思考の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
8	知能・パーソナリティの心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
9	社会のなかでの心理：自己概念・対人認知・集団の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
10	心の発達の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
11	心の健康：ストレス理論と対処行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
12	心理アセスメントの理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	心理療法と介入技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
14	心理的支援の基本的技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
15	まとめ：振り返り・心理学と対人援助職との交点	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

基本情報

科目名	心理学
時間割コード	0221100202
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	山住 賢司
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、心の働き・仕組みを科学的に探究していく学問である心理学の基礎について学んでゆく。 人の心の基本的な仕組みと機能、発達段階における心理的課題、日常生活と心の健康との関係、心理学理論を基礎とするアセスメントの方法と支援、等について理解することを目的とする。 本講義を通じて受講者は、心理学の基本知識について自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 テキストは毎回必ず持参すること。 理解度を確保するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	「最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座2 心理学と心理的支援」 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編） 中央法規 2021
参考文献	「心理学概論[第2版]」 岡市廣成・鈴木直人（監修） ナカニシヤ出版 2014
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：「心理学」について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
2	心理学の歴史と方法について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
3	心の生物学的基礎の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	感情・動機づけ・欲求の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
5	感覚と知覚の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
6	学習・行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
7	認知：記憶・注意・言語・思考の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
8	知能・パーソナリティの心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
9	社会のなかでの心理：自己概念・対人認知・集団の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
10	心の発達の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
11	心の健康：ストレス理論と対処行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
12	心理アセスメントの理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	心理療法と介入技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
14	心理的支援の基本的技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
15	まとめ：振り返り・心理学と対人援助職との交点	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

基本情報

科目名	法学
時間割コード	0221100901
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	今日の社会で要求される法感覚、さらに私たちが日常生活を送る上で必要な法知識を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 社会生活における法の作用および役割、民法の財産法および家族法の基本的な考え方、医療・福祉サービス利用者の権利とその救済方法、成年後見制度および日常生活自立支援事業、医療・福祉職の専門性と法的責任
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（適宜）について調べ、作成・提出する（2時間）。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	法と日常生活 講義計画の紹介、何をどこまで学ぶか、法というものの考え方		
2	家庭生活と法（1） 親族の範囲・効果		
3	家庭生活と法（2） 婚姻・離婚とその効果		
4	家庭生活と法（3） 相続の一般原則、法定相続と遺言相続、相続をめぐる諸問題		
5	消費生活と人権（1） 悪質商法の法的問題点、物権と債権の基本的異同		
6	消費生活と人権（2） クレジット取引の仕組み、契約の拘束力・相対性		
7	刑事手続きと人権（1） 法的責任、犯罪と刑罰、刑務所と前科		
8	刑事手続きと人権（2） 不法行為責任と刑事責任の異同、行政上の処分の独自性		
9	医療・福祉サービスに関わる法（成年後見制度と日常生活自立支援事業、行政行為と行政争訟）		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（適宜）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	医療・福祉専門職の根拠法（医療・福祉職の専門性および資格、社会福祉各法の適用対象者）		
11	医療・福祉職の連携（看護・介護事故、看護と介護の関係、職務の専門性と就業問題）		
12	病院・施設の設置基準と法律問題（医療・福祉サービスの公共性、設置基準の法的拘束力）		
13	障害者の雇用・就労支援（障害者雇用促進法、法定雇用率、勤労の権利と義務）		
14	ふたたび人権を考える（雇用対策と差別の禁止、労働市場における公正、人権の普遍性）		
15	医療・福祉職と法（高齢社会における課題と役割分担、行為準則としての法）		

基本情報

科目名	法学（日本国憲法）
時間割コード	0221101001
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	医療・福祉さらには教育の実践にあたって必要な憲法感覚を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 日本国憲法の基本原理、基本的人権の意義および機能、基本的人権を保障するための仕組み（国および地方公共団体の組織・権能・財政）、行政情報へのアクセス（情報公開）、行政の役割と法治国家原理（行政行為、行政手続き、行政不服審査・行政訴訟）
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	・定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	・野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 ・野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	・各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	取引社会と医療・福祉の権利（取引社会のルール、契約原理の修正、国家と個人）		
2	日本国憲法の考え方（人権規定の私人間効力、裁判例の分析、人権という思想）		
3	日本国憲法の構成（三つの基本原理、基本的人権のカatalog、人権保障の仕組み、特別条項）		
4	基本的人権と公共の福祉、基本的人権の主体（内在的制約と外在的制約、外国人・法人の人権）		
5	プライバシーの権利と個人情報の保護、情報公開制度（行政情報へのアクセス）		
6	自己決定権の尊重と医療・介護（インフォームドコンセント、身体拘束の禁止）		
7	自由権（とくに人身の自由、少年の刑事手続き、資格制限と社会復帰）		
8	法の下での平等と合理的差別（男女共同参画、セクハラと雇用機会均等法）		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	家族生活における平等（介護と扶養、介護保険制度導入の背景）		
10	社会権の思想（平等権から社会権へ、生活保護法の基本原理と裁判例）		
11	高齢社会における社会保障（社会保障の法体系、高齢者と住居、看護・福祉の労働）		
12	その他の基本権 参政権、受益権（施設入所高齢者・障害者の参政権保障、国家賠償請求権）		
13	国家の機構（三権の抑制と均衡、裁判所の仕組み）		
14	財政、地方自治（財政の基本原則、自治体の行政権・立法権、行政争訟）		
15	医療・福祉と日本国憲法（民主主義と少数者の人権、統治機構の役割）		

基本情報

科目名	経済学
時間割コード	0221101301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	松尾 隆
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
松尾 隆

詳細情報

授業の目的・到達目標	講義は、空気、森林、水、土地、海、企業、人、お金などに絡めて、話をします。世界が抱える様々な経済問題も実は身近な問題であるのだということを理解してもらい、今後の思考の素材にしてもらいたいとおもいます。
履修上の注意事項	配付する資料を参考にして、知らない経済用語等について調べ、復習では、内容で解らなかった点を理解し、さらには視野を広げるために、図書館などを利用してください。
評価方法	試験 100%
テキスト	特に使用せず、講義の際にプリントを配布する。
参考文献	講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	プロローグ：講義内容および講義目標		
2	基礎知識：現代における貨幣と金融の関係		
3	空気：環境問題と各国の経済的利害		
4	森林：世界の木材貿易と日本の林業		
5	水：世界の水問題と水ビジネス市場の拡大		
6	土地：世界の食糧生産の現状と農業問題		
7	海：世界の漁業生産の実情と「コモンズ」概念		
8	石油：原油生産と脱炭素社会への動き		
9	貿易：市場を巡る競争とルール(WTO, FTA)		
10	企業：中国, ASEAN諸国と日本の経済的結びつき		
11	人：国際的な人の大移動と問題点		
12	援助：日本のODA制度と企業の連携		
13	お金：年金基金と投機		
14	国連：SDGsとESG		
15	エピローグ：講義の総括		

基本情報

科目名	人権教育
時間割コード	0221101701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	隈 直子
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名	
隈 直子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> この授業では、人権の成り立ちに関する知識について学ぶ。 日本や世界で起きている人権問題の現状について理解する。 学生がグループで人権問題を取り上げて調べ、議論、発表し、人権上の問題を説明できる。
履修上の注意事項	<p>学生自身で人権をめぐる問題・課題を設定し発表を行うため、記載した15項目を変更することがある。</p> <p>事前学習：各回のテーマに即した文献、資料等を調べ、読んでおくこと。発表の際は、各自でレジユメを作成する。(120分)</p> <p>事後学習：授業後は復習を行い、内容を整理する。テーマに関する文献、資料等を読み込む。(120分)</p> <p>令和3年度閉講の可能性あり</p>
評価方法	課題レポート60%、発表40%。
テキスト	なし。
参考文献	授業の中で紹介します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション。グループワークのルールを考える。		
2	人権をめぐる歴史的沿革と世界人権宣言		
3	日本国憲法における人権		
4	子どもと人権 児童の権利条約、児童虐待防止法		
5	子どもと人権 児童虐待の背景と対応		
6	学びを守る 学習権		
7	勤労の権利と義務		
8	権利の保障と支援		
9	人権尊重のための環境づくり 「デートDV」		
10	人権尊重のための環境づくり 「アルバイト」		
11	現代における人権の諸相 「女性差別」 (11~15回は、学生が選んだ人権をめぐる課題の発表を軸にする)		
12	現代における人権の諸相 「障害者差別」		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	現代における人権の諸相 「高齢者差別」		
14	現代における人権の諸相 「地域差別」		
15	現代における人権の諸相 「少数者への差別」		

基本情報

科目名	中国事情
時間割コード	0221201701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	中国語の文書を読むことによって中国の古代の文化や現代の中国事情について理解することができる。 現代の中国事情については中国の人口地理民族習慣文化などについて理解することができる。
履修上の注意事項	事前に授業の内容を予習することと毎回授業が終わった後復習すること。
評価方法	レポート 40% 小テスト 20% 試験 40%
テキスト	講義時プリント配布
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	全体オリエンテーション		
2	中国概況		
3	中国の電子決済事情		
4	中国の習慣		
5	中国人の礼儀作法		
6	論語		
7	論語		
8	中間復習まとめ		
9	中国の観光		
10	中国の飲食習慣		
11	中国の節日		
12	中国の交際礼儀		
13	中国の現代の大学生		
14	現代中国の抱える問題		
15	総括まとめ		

基本情報

科目名	中国事情
時間割コード	0221201801
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	主として中国の現代事情を理解しつつ、その事象について分析考察します。 伝統文化と現代文化の関連性や、中国特有の事情と日本お違いを理解することができる。
履修上の注意事項	事前に授業内容を予習してくることと事後復習をしていくことができれば授業がスムーズに進みます。
評価方法	レポート40% 小テスト20% テスト 40%
テキスト	講義時プリント配布
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(張・高)		
2	中国の消費観念(高)		
3	中国の就職事情(高)		
4	中国の教育事情(高)		
5	中国の健康観念(高)		
6	中国の定年後の娯楽(高)		
7	中国の婚姻(高)		
8	今までの振り返り(高)		
9	中国の医療事情(張)		
10	中国の観光事情(高)		
11	中国の伝統休日(張)		
12	中国の世界遺産(張)		
13	中国の伝統習慣(張)		
14	中国の伝統礼節(張)		
15	総括まとめ(張・高 継芬)		

基本情報

科目名	アジア文化
時間割コード	0221201901
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
安藤 学、李 玄玉、高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	アジアの国々と地域の文化形成過程(文化史)を学修し、それぞれの文化における共通性と異質性を認識すること によって異文化への理解を深めることをねらいとする。
履修上の注意事項	アジア文化の関連する本を事前に読んでいただくと毎回授業内容を復習していただくとスムーズに受講できます。
評価方法	レポート 20% 小テスト 40% 試験 40%
テキスト	講義時プリント配布。
参考文献	適宜に紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	タイの文化(その歴史と現在)(安藤)		
2	韓国と日本の違い(未定)		
3	日韓文化の遠近(未定)		
4	韓国から日本へ伝えられた様々な文化について(李)		
5	「飛鳥」という地名の意味、由来(李)		
6	日本語の「鳥・とり」と韓国語の「Dori」について(李)		
7	台湾の文化について(高)		
8	日中の歴史について(高)		
9	日中旅遊観光文化について(高)		
10	日中教育の文化について(高)		
11	日中文化における共通性と異質性 漢字の比較(高)		
12	日中文化における共通性と異質性 論語の比較(高)		
13	日中文化における共通性と異質性 衣食住の比較(高)		
14	日本の文化を知る(高)		
15	文化についてのディスカッション(担当者全員)		

基本情報

科目名	環境生物学
時間割コード	0221300101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	松岡 正佳
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
松岡 正佳

詳細情報

授業の目的・到達目標	微生物は私達の世界の一員として、多くは生命の維持に必要であり、また食品製造に使われているものもある。 しかし少数の微生物は人間に病気を引き起こす病原菌であり、この授業では病原性微生物に焦点を当て、それらが人間との摩擦を起こす原因や環境要因について学ぶ。 学修者は微生物の正確な知識を習得し、伝染病の防御の方法や、どのようにして微生物とうまく付き合っていくかについて知識を深めることができる。
履修上の注意事項	Power Pointを使った説明の後、設問が与えられる。次回までに解答しておいてください。
評価方法	3回のテストの合計点で評価します。
テキスト	プリントを配布します。
参考文献	The Microbial Challenge第2版、Jones and Bartlett Learning (2010年、英文) Krasner's Microbial Challenge第4版、Jones and Bartlett Learning (2020年、英文)
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	松岡正佳：応用微生物工学の実験を大学にて指導

授業計画

授業計画
毎回の授業で配布するプリントの内容を、授業後によく読み、授業中に下線を引くように指示されたキーワードについて説明ができるようにする（復習、2時間）。各章末にある自己評価の問題（選択式）を解いてみる。分からないときは、プリントを参照し、どの部分に説明が書いてあるかをチェックする（2時間）。次回の授業で自己評価問題の解答が示されるので、間違った問題については再度、内容を確認しておく。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	微生物の挑戦とはどういうものか。伝染病の引き起こされる要因について考察する。		
2	微生物の世界。微生物界を形成する多様な微生物種とその性質について学ぶ。		
3	微生物の有益な側面。コインのもう一つの面。		
4	細菌（バクテリア）。		
5	ウイルス。		
6	細菌の遺伝学。細菌における遺伝的交雑の機構について概観する。		
7	微生物病の概念。微生物とその宿主の出会いには偶然であるという事実を認識する。		
8	疫学と微生物病の周期および院内感染。		
9	細菌による病気と感染経路。		
10	ウイルスによる病気と感染経路。		
11	原生動物および寄生虫による病気と感染経路。		

授業計画

毎回の授業で配布するプリントの内容を、授業後によく読み、授業中に下線を引くように指示されたキーワードについて説明ができるようにする（復習、2時間）。各章末にある自己評価の問題（選択式）を解いてみる。分からないときは、プリントを参照し、どの部分に説明が書いてあるかをチェックする（2時間）。次回の授業で自己評価問題の解答が示されるので、間違った問題については再度、内容を確認しておく。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	免疫反応。免疫系により微生物由来の外来分子が認識・排除される機構について学ぶ。		
13	微生物病の管理。対処方法について知る。		
14	伝染病の管理における協力。伝染を防ぐ効果的な協力体制について知る。		
15	生物兵器や現代の伝染病。この授業のまとめ。		

基本情報

科目名	情報リテラシー
時間割コード	0221300201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	高校における「情報」の履修を踏まえ、大学生として、また社会にでてからも必要となっていく「情報活用力（情報リテラシー能力）」を高めていくことがねらいである。これにより、これからの高度情報化社会に対応した、身の回りのパソコンやネットワークなどの情報環境を、自ら積極的に、活用できるようになることを目指す。
履修上の注意事項	基本操作が充分理解できていない場合は、事前に予習をしておくこと。 また、講義中はゆっくりノートをしている時間はないので、復習する中で自分の理解を確かめながら、手順や注意事項をメモするように。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断する。配点は、レポート30%、試験70%。再試験は行なう。
テキスト	「2021年度版 情報倫理ハンドブック」noa出版
参考文献	講義中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	情報教育システムの利用について（森），教務システムLiveCampusの説明（教務課）		
2	E-mailの利活用（森）		
3	Wordの基本操作 日本語入力，段落設定，段組み等（森）		
4	Wordの基本操作 罫線，図の挿入等（森）		
5	Wordの基本操作 図形描画，曲線とフリーフォーム（森）		
6	文献検索（福本/図書館），インターネットの利活用（森）		
7	情報モラル，情報セキュリティについて（森）		
8	Excelの基本操作 データ入力，表作成等（森）		
9	Excelの基本操作 グラフ作成（森）		
10	Excelの基本操作 コピーと移動，絶対参照と相対参照等（森）		
11	Excelによるデータ処理 様々な関数の利用（森）		
12	Excelによるデータ処理 並べ替え，フィルター等（森）		
13	Excelによるデータ処理 ピボットテーブル（森）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
14	Powerpointの基本操作 入力, テーマ等 (森)		
15	Powerpointの基本操作 画面切り替え, アニメーション 等 (森)		

基本情報

科目名	情報リテラシー
時間割コード	0221300301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名	
森 信之	

詳細情報

授業の目的・到達目標	高校における「情報」の履修を踏まえ、大学生として、また社会にでてからも必要となっていく「情報活用力（情報リテラシー能力）」を高めていくことがねらいである。これにより、これからの高度情報化社会に対応した、身の回りのパソコンやネットワークなどの情報環境を、自ら積極的に、活用できるようになることを目指す。
履修上の注意事項	1人1台のPCを用いて、講義・演習を行なう。講義資料や演習教材は、講義時間中に各PCに配布するので、中間モニターの教員の資料・教材を見ながら、適宜マーキングしたり、メモを書き込んだり、演習したりすること。ノ質問があるときは、デスクトップ上の質問アイコンをクリックすること。ノレポート課題は、講義時間内であれば教員の方で回収できるが、時間外に提出するときは、メールに添付して提出すること。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断する。配点は、レポート30%、試験70%。再試験は行なう。
テキスト	テキストは使用しない。適宜、資料を配布する。
参考文献	講義中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	Excelの応用 計算の復習、日付・時間の計算 他	事前：Excelでの計算を復習 事後：日付・時間の表示形式を調べる	
2	Excelの応用 折れ線と散布図、複合グラフ	事前：グラフの描き方を復習 事後：日付・時間のグラフについて調べる	
3	Excelの応用 オートフィル、絶対参照と相対参照 他	事前：Excelでのコピーの仕方を調べる 事後：数式への\$のつけ方を復習	
4	Excelの応用 様々な関数の利用・関数の検索 他	事前：関数の使い方を復習 事後：講義に出てきた関数とその類似関数についてまとめる	
5	Excelの応用 IF関数とIFの組合せ、COUNTIF、SUMIF、AVERAGEIF	事前：IF関数について予習 事後：IFの組合せと論理式についてまとめる	
6	Excelの応用 並び替え	事前：並び替えについて予習 事後：複数の並び替えの組合せについて復習	
7	Excelの応用 フィルター	事前：フィルターについて予習 事後：複数のフィルターや並び替えの組合せについて復習	
8	Excelの応用 ピボットテーブル：集計、クロス集計 他	事前：条件付平均等を復習 事後：ピボットテーブルの作り方を復習	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
9	Excelの応用 ピボットテーブル : 度数, 相対度数 他	事前: ピボットテーブルの計算の仕方を 復習 事後: 相対度数 (比率) の計算の違いを まとめる	
10	Excelの応用 条件付き書式	事前: Excelの書式について復習 事後: 条件の組合せについて復習	
11	ExcelとWordのデータ連携	事前: WordでのTab設定の復習 事後: 貼り付けオプションの違いをまと める	
12	Web上のデータの Excel, Wordでの利活用	事前: Webでの検索について調べる 事後: データの利用の仕方をまとめる	
13	Office365の利用について	事前: WebでのOffice365へのアクセスに ついて復習 事後: Office365の様々な使い方を調べる	
14	Web検索とOneNoteの使い方	事前: Webでの検索について調べる 事後: 自分のテーマに沿って調べたこと をOneNoteにコピーする	
15	総合演習	事前: OneNoteの整理 事後: レポートにまとめる	

基本情報

科目名	社会調査法
時間割コード	0221300801
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	竹中 健
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名	
竹中 健	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>社会福祉調査の意義と目的について理解する。 社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係について理解する。 社会福祉調査における倫理や個人情報保護について理解する。 量的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する。 質的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する。 ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解する。 調査研究に基づいた論文の書き方についても学び、卒業研究論文が執筆できるようにする。</p>
履修上の注意事項	<p>第1回目の授業では必要な事項についての説明がある。必ず出席すること。 各回の講義内容に沿って事前学習と事後学習をし、内容の理解を深めること。</p>
評価方法	<p>合計5回のテストを講義内で行う。試験週間には試験を行わない。 合計5回のテストを総合して最終評価点とする。</p>
テキスト	<p>日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『社会福祉士養成講座 社会福祉調査の基礎』中央法規 必要に応じてプリントを配布する。</p>
参考文献	<p>E.ゴッフマン『アサイラムー施設被収容者の日常世界』誠信書房 その他、授業の中で適宜指示をする。</p>
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>社会福祉調査の意義と目的について理解する。 社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係について理解する。 社会福祉調査における倫理や個人情報保護について理解する。 量的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する。 質的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス	<p>【事前】あなたが知っている「社会調査」を列挙してみよう(2時間) 【事後】アクション・リサーチの事例を一つ調べてください(2時間)</p>	
2	社会福祉と社会調査(目的・役割・意義)	<p>【事前】e-Statを覗いてみよう。政府統計が置かれている場所を確認し、その使い方をマスターしよう(2時間) 【事後】e-Statを使って、あなたが今一番関心のある統計データを調べてみよう。A4用紙1枚にまとめ、次回の講義開始前に提出してください(2時間)</p>	
3	社会調査の計画と準備・倫理的配慮・個人情報保護・訪問面接調査・郵送調査・留め置き調査	<p>【事前】ヘルシンキ宣言について調べてください(2時間) 【事後】社会調査を行う上で必要な倫理的配慮をまとめてください(2時間)</p>	
4	量的調査の設計 調査票の質問項目の作り方 調査票の配布と回収	<p>【事前】「母集団」について調べてください(2時間) 【事後】サンプリングについて、まとめておいてください(2時間)</p>	

授業計画

社会福祉調査の意義と目的について理解する。
 社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係について理解する。
 社会福祉調査における倫理や個人情報保護について理解する。
 量的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する。
 質的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	ダブルバーレル質問 キャリーオーバー効果 パーソナルな質問とインパーソナルな質問	【事前】「ステレオタイプ」について、調べてください（2時間） 【事後】「ダブルバーレル質問」「キャリーオーバー効果」をまとめてください（2時間）	
6	統計法 量的調査の分析手法 相関・クロス集計・検定	【事前】「因果関係」と「相関関係」の定義を調べておいてください（2時間） 【事後】独立変数と従属変数について、まとめておきましょう（2時間）	
7	測定 測定の水準 測定の信頼性と妥当性	【事前】二乗検定について、調べておこう（2時間） 【事後】様々な検定について、まとめ、整理しておこう（2時間）	
8	単純集計と記述統計 コーディング	【事前】単純集計と記述統計を調べておいてください（2時間） 【事後】コーディングの例を一つ読みましょう（2時間）	
9	調査法の比較 量的調査と質的調査 ITの活用方法	【事前】フィールド調査とは何かを調べておこう（2時間） 【事後】量的調査と質的調査 のちがいをまとめてください。A4用紙1枚にまとめ、次回の講義開始前に提出してください（2時間）	
10	リサーチデザインのつくりかた グラウンデッドセオリーアプローチ	【事前】リサーチデザインとは何かを調べておこう（2時間） 【事後】グラウンデッドセオリーアプローチについて、まとめよう（2時間）	
11	インタビューのしかた 自由面接法 構造化面接 半構造化面接	【事前】半構造化面接法についてしらべておいてください（2時間） 【事後】参与観察の研究を一つみつけて読んでみよう（2時間）	
12	参与観察法 ゴッフマン『アサイラムス』誠信書房	【事前】「アサイラムス」とは何かを調べておこう（2時間） 【事後】E.Goffman の業績について、調べて読んでみよう（2時間）	
13	横断調査と縦断調査	【事前】横断調査と縦断調査について、その違いを調べておこう（2時間） 【事後】横断調査と縦断調査、それぞれの研究事例を一つずつ探して読んでみよう（2時間）	
14	ナラティブアプローチ、ライフストーリー、ライフヒストリー	【事前】ナラティブアプローチ、ライフストーリー、ライフヒストリー、それぞれの研究手法はどのようなものかを調べておこう（2時間） 【事後】3つの手法のどれか一つを選び、実際の研究を一つ、読んでみよう（2時間）	
15	計量分析における結果の図表化、アウトプットの分析と考察方法	【事前】調査結果が政策に反映されるためには何が必要かを考えてみよう（2時間） 【事後】調査とソーシャルワーク実践について、考えてみよう（2時間）	

基本情報

科目名	物理学
時間割コード	0221101401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	物理学は、自然界のあらゆる出来事に対し、科学的思考によってその本質を明らかにしようという学問です。本講義は、医療・福祉分野において必要となるであろう項目を取上げますが、その学修により、観察事実に基づく科学的思考、分析的思考を身に付けることも目指します。
履修上の注意事項	黒板に書かれたことをただ写すだけでなく、講義を聞いて、なぜそうなのかを考えながら、要点をまとめてノートするようにしてください。自分の頭で考えることなしに、物理学や科学的思考を理解することはできないからです。
評価方法	筆記試験を行ない、その結果のみで評価します。
テキスト	使用しません。適宜、プリントを配布します。
参考文献	必要に応じ、講義中に示します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	力とベクトル、力の合成・分解、作用反作用、力のつり合い		
2	力のモーメント、槌子(てこ)の原理、モーメントのつり合い		
3	身体の構造と槌子、重心と安定性		
4	圧力、サイフォン、ドレナージ(吸引)		
5	速度、加速度、ニュートンの運動の法則		
6	重力と重力加速度、一様重力による運動		
7	等速円運動、単振動、波		
8	運動量と運動量保存則、はね返り係数		
9	仕事と力学的エネルギー		
10	種々のエネルギーとエネルギー保存則		
11	電場、静電気力；磁場、磁力		
12	電流、電位差、オームの法則		
13	電磁波、光		
14	直流回路、交流回路		
15	原子核と放射線、半減期		

基本情報

科目名	数学
時間割コード	0221300901
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	この講義では、数学の基礎を理解し、問題演習を通して「論理的思考」や「数学的思考」ができるようになることを目指します。
履修上の注意事項	テキストを使用しないので、講義中のノートをしっかり取るだけでなく、事前学習が必要になる。また毎回、前の週の確認テストを行なうので、復習をし、特に授業中の演習問題は、もう一度解いてみて、その考え方のプロセスを学ぶこと。 「数理的な思考」を身に着けるには、自分の頭で考えてみるのが大切です。
評価方法	定期試験のみで評価します。 毎回行なう小テストは、理解度を確認するためのものなので、評価には入れないが、定期試験の問題として出題します（問題文や数字は変更します）。
テキスト	テキストは使わず、必要に応じてプリントを配布します。
参考文献	講義中に、適宜、指示します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	数と演算		
2	度数と分布		
3	算術平均，加重平均；幾何平均		
4	比・連比，比率（静的・動的）		
5	リスク比，オッズ比		
6	様々な関数，逆関数		
7	累乗関数とその性質		
8	指数関数とその性質		
9	対数関数とその性質		
10	グラフの描き方・読み方		
11	経験的確率と理論的確率		
12	根元事象と場合の数，順列・組合せ		
13	2項分布とポアソン分布		
14	条件付き確率，期待値		
15	ベイズの定理		

基本情報

科目名	化学
時間割コード	0221301001
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、専門科目（生化学、薬理学、栄養学、医用工学など）の土台となっている化学の基礎的な知識について学ぶ。また、食品をはじめ身の回りにある物質について科学的に考え、正しく理解できるようになる。
履修上の注意事項	高校で化学を履修しなかった、化学を苦手としていた、履修したがもう一度学び直したい学生を対象にする。「わかること」「楽しめる」ように丁寧な講義を行う。
評価方法	中間試験 50%、単位習得試験 50%
テキスト	特になし。プリントを配布。
参考文献	看護系で役立つ化学の基本（有本淳一・西沢いずみ、化学同人） コ・メディカル化学 医療系・看護系のための基礎化学（齋藤勝裕ら、裳華房） 生理学・生化学につながるていねいな化学（白戸亮吉ら、羊土社）
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	人体を構成する元素	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
2	原子の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
3	イオンと分子	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
4	化学結合	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
5	原子の質量	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
6	物質の質量とモル	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
7	水溶液の%濃度とモル濃度	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
8	中間テスト	これまでの授業内容をしっかりと復習しておくこと	
9	浸透圧	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
10	酸・塩基と中和	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
11	pHと酸性・中性・塩基性	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
12	緩衝液	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
13	酸化と還元	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	化学反応と酵素	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
15	有機化合物	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	

基本情報

科目名	生物学
時間割コード	0221301101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名	
檜枝 洋記	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では「細胞」を軸にして、生物（とくにヒト）のからだの構造とはたらきについて学ぶ。専門科目（解剖学、生理学、生化学、微生物学など）のより深い理解に役立てる。
履修上の注意事項	高校で生物を履修しなかった、生物を苦手としていた、履修したがもう一度学び直したい学生を対象にする。「わかること」を「楽しめる」ように丁寧な講義を行う。 ただ暗記するのではなく、考えて理解すること。
評価方法	中間試験 50%、単位修得試験 50%
テキスト	プリント配布
参考文献	1. わかる！身につく！生物・生化学・分子生物学、第2版（田村隆明、南山堂） 2. 基礎から学ぶ生物学・細胞生物学、第3版（和田勝、羊土社）
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	生物の多様性と共通性	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
2	環境と生命	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
3	細胞の構造とはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
4	生体構成物質	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
5	代謝	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
6	エネルギーの獲得と利用	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
7	酵素のはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
8	中間試験	これまでの内容をしっかりと復習しておくこと	
9	遺伝子DNAと染色体	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
10	遺伝子のはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
11	細胞分裂	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
12	遺伝	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
13	生殖と発生	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
14	組織と器官	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	生体防御	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	

基本情報

科目名	社会福祉原論
時間割コード	0222000301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	村本 浄司
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
未定、村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 社会福祉の固有の視点である政策の実践の歴史、相互作用の変遷について説明できる。</p> <p>2. 社会福祉の思想と哲学及び理論の基本事項について説明できる。</p> <p>3. 現代の社会問題と社会構造の概要について説明できる。</p> <p>4. 福祉政策の基本的な視点や概念、理念について、説明できる。</p> <p>5. ニーズという言葉の意味や必要原則、貢献原則、資源の性質や種類について説明できる</p>
履修上の注意事項	本講義は5名の教員によるオムニバスによって実施する。講義にあたっては、各先生の指示に従い、積極的に参加することを望む。
評価方法	定期試験60%、課題レポート40%で評価する。
テキスト	最新・社会福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編、中央法規、2021年。
参考文献	オムニバスを担当した各教員が適宜資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、社会福祉の原理とは何かについて理解する(村本)	(事前)教科書P2-P5を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の原理についてノートにまとめる(2時間)。	
2	社会福祉の原理と様々な理論について理解する(村本)	(事前)教科書P6-P13を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の様々な理論についてノートにまとめる(2時間)。	
3	社会福祉の歴史を学ぶ意義と英国と米国における福祉の歴史的展開について理解する(村本)	(事前)教科書P16-P33を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)英国と米国の福祉の歴史についてノートにまとめる(2時間)。	
4	日本の社会福祉の歴史的天下について理解する(村本)	(事前)教科書P34-P45を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)日本における社会福祉の歩みについてノートにまとめる(2時間)。	
5	自由主義イデオロギーとフェミニズムについて理解する(増田)	(事前)教科書P48-P59を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)イデオロギー、自由主義、新自由主義についてノートにまとめる(2時間)。	
6	社会福祉の理論について理解する(増田)	(事前)教科書P60-P69を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の理論についてノートにまとめる(2時間)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	社会福祉の論点を把握し、公私関係、普遍主義と選別主義について理解する（増田）	（事前）教科書P70-P79を読み、わからない語句について調べておく。 （事後）様々な社会福祉論点について、ノートにまとめる（2時間）。	
8	社会福祉の対象とニーズについて理解する（増田）	（事前）教科書P80-P88を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会福祉における対象の捉え方についてノートにまとめる（2時間）。	
9	現代における社会問題について理解する（阿部）	（事前）教科書P90-P99を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）現代の様々な社会問題についてノートにまとめる（2時間）。	
10	社会問題が生じている構造的背景について理解する（阿部）	（事前）教科書P100-P108を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会問題の構造的背景について、ノートにまとめる（2時間）。	
11	福祉政策とニーズの概念について理解する（橋本）	（事前）教科書P110-118を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策とニーズについてノートにまとめる（2時間）。	
12	自由と平等、自由主義と新自由主義が福祉に与える影響について理解する（橋本）	（事前）教科書P119-P131を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）新自由主義が福祉政策に与える影響についてノートにまとめる（2時間）。	
13	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（ニーズの使われ方、ニーズとデマンド）（平川）	（事前）教科書P134-P143を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）ニーズとデマンドの関係についてノートにまとめる（2時間）。	
14	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（行政需要と行政ニーズ、ニーズの把握、ニーズの種類）（平川）	（事前）教科書P143 - P151を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）公正の原理としての必要原則についてノートにまとめる（2時間）。	
15	ニーズを充足するものとしての資源について理解する（村本）	（事前）教科書P152-163を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策における資源についてノートにまとめる（2時間）。	

基本情報

科目名	障害児教育概論
時間割コード	0222001301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	李 玄玉
科目区分	共通専門科目 学部共通専門科目

担当教員情報

教員名
李 玄玉

詳細情報

授業の目的・到達目標	最近増加している発達障害児（自閉症、アスペルガー障害、ADHD等）に関する特別支援教育について 紹介し、合わせて障害児教育の本質的な考え方や社会的・現実的限界について講義する。 また、認知発達・行動問題などの基本知識をはじめ、障害児教育を幅広いスタンスで学ぶ。
履修上の注意事項	「特別支援教育」や障害児への「合理的配慮」などについて調べてくる。
評価方法	学習態度及び発表 40点、 レポート10点、 定期試験 50点 合計100点
テキスト	プリント資料を配布する。
参考文献	『障害児の発達と教育』 村井潤一、 小山 正共著、 培風館
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	公的扶助論
時間割コード	0223700401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	隈 直子
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
隈 直子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公的扶助制度の中核である生活保護制度や生活保護に係る他の法制度を説明できる。 ・低所得者層の生活実態を学び、貧困問題と相談援助活動の役割やその実際について理解する。 ・生活保護制度や生活困窮者への支援制度をめぐる最近の動向を理解する。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを持参して受講すること。 ・理解度を確認するために講義内で小テストを実施します。 ・事前：次回授業で取り上げる範囲をテキストで予習し、文献や資料を調べて読む。わからない事項があれば、下調べをしておく。(120分) ・事後：授業後にはテキストや資料を読み返し、関連する文献や新聞等を読む。ノートの整理をする。(120分)
評価方法	試験80% レポート20%
テキスト	日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座 4 貧困に対する支援』(中央法規出版、2021年)
参考文献	講義の中で、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、公的扶助の概念	<ul style="list-style-type: none"> ・事前：テキスト1章を読む。わからない事項があれば、下調べをしておく。(120分) ・事後：テキストや資料を読み返し、関連する文献等を読む。ノートの整理をする。(120分) 	
2	貧困・低所得者問題と社会的排除	<ul style="list-style-type: none"> ・事前：テキストの指定範囲や資料を読む。わからない事項があれば、下調べをしておく。(120分) ・事後：テキストや資料を読み返し、関連する文献等を読む。ノートの整理をする。(120分) 	
3	海外の公的扶助制度の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・事前：テキストの指定範囲や資料を読む。わからない事項があれば、下調べをしておく。(120分) ・事後：テキストや資料を読み返し、関連する文献等を読む。ノートの整理をする。(120分) 	
4	日本の公的扶助制度の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・事前：テキストの指定範囲や資料を読む。わからない事項があれば、下調べをしておく。(120分) ・事後：テキストや資料を読み返し、関連する文献等を読む。ノートの整理をする。(120分) 	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	生活保護制度の目的、原理、原則	・事前：テキストの指定範囲や資料を読む。わからない事項があれば、下調べをしておく。（120分） ・事後：テキストや資料を読み返し、関連する文献等を読む。ノートの整理をする。（120分）	
6	生活保護の種類と内容及び方法、保護施設	・事前：テキストの指定範囲や資料を読む。わからない事項があれば、下調べをしておく。（120分） ・事後：テキストや資料を読み返し、関連する文献等を読む。ノートの整理をする。（120分）	
7	被保護者の権利及び義務、不服申立てと訴訟	・事前：テキストの指定範囲や資料を読む。わからない事項があれば、下調べをしておく。（120分） ・事後：テキストや資料を読み返し、関連する文献等を読む。ノートの整理をする。（120分）	
8	最低生活保障水準と生活保護基準	・事前：テキストの指定範囲や資料を読む。わからない事項があれば、下調べをしておく。（120分） ・事後：テキストや資料を読み返し、関連する文献等を読む。ノートの整理をする。（120分）	
9	生活保護の動向と予算・財源	・事前：テキストの指定範囲や資料を読む。わからない事項があれば、下調べをしておく。（120分） ・事後：テキストや資料を読み返し、関連する文献等を読む。ノートの整理をする。（120分）	
10	生活保護制度における運営実施体制、組織及び団体の役割と実際	・事前：テキストの指定範囲や資料を読む。わからない事項があれば、下調べをしておく。（120分） ・事後：テキストや資料を読み返し、関連する文献等を読む。ノートの整理をする。（120分）	
11	貧困・低所得者に対する相談援助活動	・事前：テキストの指定範囲や資料を読む。わからない事項があれば、下調べをしておく。（120分） ・事後：テキストや資料を読み返し、関連する文献等を読む。ノートの整理をする。（120分）	
12	低所得者対策（住宅政策を含む）とホームレス対策の概要	・事前：テキストの指定範囲や資料を読む。わからない事項があれば、下調べをしておく。（120分） ・事後：テキストや資料を読み返し、関連する文献等を読む。ノートの整理をする。（120分）	
13	生活保護制度に係る他の法制度の理解	・事前：テキストの指定範囲や資料を読む。わからない事項があれば、下調べをしておく。（120分） ・事後：テキストや資料を読み返し、関連する文献等を読む。ノートの整理をする。（120分）	
14	生活保護における自立支援プログラムの意義と実際	・事前：テキストの指定範囲や資料を読む。わからない事項があれば、下調べをしておく。（120分） ・事後：テキストや資料を読み返し、関連する文献等を読む。ノートの整理をする。（120分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	低所得者に対する支援の政策動向と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事前：テキストの指定範囲や資料を読む。わからない事項があれば、下調べをしておく。（120分） ・事後：テキストや資料を読み返し、ノートの整理をする。定期試験に向けた復習。（120分） 	

基本情報

科目名	社会福祉法制
時間割コード	0223700501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	野崎 和義
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	「社会福祉の権利」についてその意義・由来を日本国憲法の条項に即して検討するとともに、いわゆる福祉四権（福祉サービス請求権、処遇過程の権利、費用徴収に対する免除権、権利侵害に対する救済・争訟権）について実定法上の根拠を学ぶ。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 社会福祉の法体系、介護保険制度、地域福祉と法、社会福祉サービスと裁判
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：指定された演習問題あるいはレポート課題に取り組むこと（各回120分）。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。 令和3年度閉講の可能性あり
評価方法	定期試験（100％）の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『福祉法学』2013年、ミネルヴァ書房。 野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房（過年度版でも可）。
参考文献	各回の講義の際に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	社会福祉の根拠法（社会保障と憲法、社会福祉の制度）		
2	社会福祉法と老人福祉法（1） 老人福祉施設の類型と設置主体		
3	社会福祉法と老人福祉法（2） 老人福祉施設の設置規制（許可・認可・届出の法的性格）		
4	社会福祉法人と法（1） 公益法人制度改革、社会福祉法に基づく特別法人		
5	社会福祉法人と法（2） 社会福祉法人に対する行政監督		
6	身体拘束の禁止（1） 介護保険制度（指定基準、事業者・施設の指定）と身体拘束の違法性		
7	身体拘束の禁止（2） 一般病院と身体拘束の禁止（最判平成22年1月26日を素材として）		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	生活保護と介護保険（1） 生活保護法の原理、外国人に対する生活保護		
9	生活保護と介護保険（2） 介護保険と最低生活の保障（最判平成15年7月17日を素材として）		
10	児童虐待と民法・児童福祉法（1） 虐待への法的対応、児童相談所の公的介入		
11	児童虐待と民法・児童福祉法（2） 親権制限の段階化、財産管理権の喪失、未成年後見人		
12	高齢者虐待と老人福祉法 虐待の種類、養護者・養介護施設従事者による虐待とその対応		
13	障害者虐待 障害者基本法の改正、虐待の対応範囲、通報とその後の対応		
14	障害者差別解消法 差別の内容、権利義務の構造		
15	社会福祉と権利救済 苦情解決システム、不服申立て、行政訴訟		

基本情報

科目名	児童福祉論
時間割コード	0223700601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要を理解する。 2 児童・家庭福祉制度の発展過程を理解する。 3 児童の権利について理解する。 4 相談援助において必要となる児童・家庭福祉制度や児童・家庭福祉に係る他の法制度について理解する。
履修上の注意事項	社会福祉士国家試験受験資格取得希望者は必ず履修すること。授業前にテキストを読むこと(30分)。授業後にテキストを再読する、また専門用語に注目しつつ復習する(60分)。
評価方法	試験80点、授業内レポート20点で評価する。レポートの内容については講義内で説明する。
テキスト	『3 児童・家庭福祉』一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編 中央法規(最新版)
参考文献	社会福祉用語辞典(第9版)山縣文治・柏女霊峰編集委員代表 ミネルヴァ書房
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	児童福祉の学びのポイントの理解、児童や家庭に対する支援と家庭福祉制度の概要の理解		
2	児童・家庭の生活実態と社会の関連性を理解する		
3	子育て、ひとり親家庭、児童虐待、家庭内暴力の実態から福祉需要を把握する		
4	地域における子育て支援及び青少年育成の実態から福祉需要を把握する		
5	児童・家庭福祉制度の発展過程を理解する		
6	「児童福祉法」の概要を学ぶ、児童の定義と権利を理解する		
7	児童相談所の役割と実際(組織体系、児童福祉司等の専門職の業務、他職種との連携)を理解する		
8	「児童虐待防止法」の概要、社会的養護の理解と自治体の役割を理解する		
9	「DV法」「母子及び父子並びに寡婦福祉法」の目的理解、婦人相談所や保護施設の役割理解		
10	児童健全育成・保育と児童手当等の社会手当の役割を関連付けて理解する		
11	「母子保健法」「子ども・子育て支援法」の役割理解と子どもの貧困対策について理解する		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	児童・家庭福祉制度と地域における他職種連携とネットワーキングと実際を理解する		
13	障害・難病のある子どもと家族の理解と相談援助活動についての考察		
14	児童虐待・非行・情緒障害児等と社会的養護の関連性の理解と相談援助活動についての考察		
15	児童・家庭に対する相談援助活動についての整理と理解		

基本情報

科目名	高齢者福祉論
時間割コード	0223700701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
吉岡 久美

詳細情報

授業の目的・到達目標	高齢者に関する社会福祉に関する課題を理解し、課題解決ができるための基礎知識を得ることを目的とする。 1. 高齢者への支援に必要な介護保険法の概要、諸手続き方法、居宅・施設サービスの種類、地域支援事業、地域包括支援センターの機能や役割を説明できる。 2. 高齢者への総合的相談援助に必要な高齢者諸関係法を説明できる。
履修上の注意事項	該当する単元については、指定テキストを用いて事前に学習しておくこと。講義後もう一度通読して復習し、理解を深めること。 また、指示したレポートは期限を守り、提出すること。 (事前事後学習 計90分程度)
評価方法	定期試験90%、課題レポート10%で評価する。 レポートについてはコメントして返却する。
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編『高齢者に対する支援と介護保険制度-高齢者福祉論-』(最新版)中央法規。 野崎和義監修『社会福祉六法』(最新版)ミネルヴァ書房。
参考文献	日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座2 高齢者福祉』中央法規 授業中、適宜紹介
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護保険法の目的、保険者と被保険者、保険料を知る。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	介護保険法の要介護認定の仕組みとプロセスを理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	介護保険サービスの種類と体系を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	介護保険法の居宅・介護予防・地域密着型サービス、住宅改修を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
5	介護保険法の施設サービスの種類、役割、機能を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	地域包括支援センターの役割と実際を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
7	介護保険法における地域支援事業、苦情処理、審査請求、介護保険制度の動向を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	介護保険法における組織及び団体の役割を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	介護保険法における専門職の役割と実際を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	介護保険法におけるネットワーキングとその実際を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	老人福祉法の歴史と概要、サービスと援助を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	高齢者の権利擁護と成年後見制度を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	高齢者の居住の安定確保について理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	高齢者関連法とその関係、諸施策を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	障害者福祉論
時間割コード	0223700801
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
増田 公香、平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉・介護需要（地域移行や就労の実態を含む）について理解する。 2 障害者福祉制度の発達過程について理解する。 3 相談援助活動において必要となる障害者総合支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度について理解する。
履修上の注意事項	授業前にテキストを読み、キーワードについて調べてくること。 授業後に復習しておくこと。
評価方法	定期試験60%、レポート20%、発表20%で評価する。
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編『障害者に対する支援と障害者自立支援制度』第6版（中央法規、2019年）。
参考文献	厚生労働省編『（平成30年版）厚生労働白書』（ぎょうせい、2018年）。 内閣府編『（平成30年版）障害者白書』（日経印刷、2018年）。『社会福祉六法』（最新版）。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉・介護需要		
2	障害者福祉制度の発達過程		
3	障害者総合支援法		
4	障害者総合支援法における組織及び団体の役割と実際		
5	障害者総合支援法における専門職の役割と実際		
6	障害者総合支援法における多職種連携、ネットワーキングと実際		
7	相談支援事業所の役割と実際		
8	身体障害者福祉法		
9	知的障害者福祉法		
10	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律		
11	発達障害者支援法		
12	障害者基本法		
13	心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律		
14	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	障害者の雇用の促進等に関する法律		

基本情報

科目名	地域福祉論
時間割コード	0223700901
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題について理解し、説明できる。</p> <p>2. 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の具体的展開方法について説明できる。</p> <p>3. 地域福祉ガバナンスの概念と他機関協働について説明できる。</p> <p>4. 地域福祉を理解する上で重要な基本的考え方について説明できる。</p>
履修上の注意事項	令和元年度の社会福祉士資格のカリキュラム改正の目的は、地域共生社会の実現に向けて、複雑化した課題を受け止める包括的な相談支援を実施し、地域住民が主体的に地域課題を解決していくよう支援できるソーシャルワーカーの養成をすることである。そのために重要な位置づけとなるこの授業内容の理解と習得が必要不可欠となる。学生には、将来の福祉人材の中核となるために集中して取り組んでいただきたい。
評価方法	<p>1) 授業後の提出物 40% (講義内で、ディスカッションを実施し、その結果について、毎回の講義後の提出を求める)</p> <p>2) 課題レポート (テーマは講義内で発表) 30%</p> <p>3) 定期試験 30%</p>
テキスト	最新・社会福祉士養成講座 6 『地域福祉と包括的支援体制』一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集, 中央法規出版を使用する。
参考文献	授業ごとに必要な資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	村本浄司：研究員として障害者支援施設に勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、地域社会の概念を理解する	事前) 教科書P2-4を熟読し、わからない語句について調べておく(2時間)。 事後) 地域福祉の概念について、ノートにまとめる(2時間)。	
2	我が国のコミュニティ政策の動向を理解する	事前) 教科書P4-10を熟読し、わからない語句について調べておく(2時間)。 事後) 地域福祉の理論について、ノート	
3	近年の地域社会の変化の諸相を理解する	事前) 教科書P11-19を熟読し、わからない語句について調べておく(2時間)。 事後) 地域社会の変化について、ノートにまとめる(2時間)。	
4	多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズについて理解する	事前) 教科書P20-30を熟読し、わからない語句について調べておく(2時間)。 事後) 地域生活課題について、ノートにまとめる(2時間)。	
5	地域福祉と社会的孤立、地域包括ケアシステムの考え方について把握する	事前) 社会的孤立とは何かについて、教科書を読んで把握しておく(2時間)。 事後) 地域包括ケアシステムについて、ノートにまとめる(2時間)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	生活困窮者自立支援制度の目的、基本理念、概念を学ぶ	事前）教科書P44-54を読み、生活困窮者自立支援制度の中身について把握しておく（2時間）。 事後）生活困窮者自立支援制度について、ノートにまとめる（2時間）。	
7	包括的支援体制の概念と具体的な展開方法について理解する	事前）包括的支援体制についてノートにまとめておく（2時間）。 事後）地域共生社会の実現に向けての方法をノートにまとめる（2時間）	
8	包括的支援体制構築事業について理解する	事前）教科書を読み、包括的支援体制事業の中身について把握しておく（2時間）。 事後）包括支援体制の確立に向けたソーシャルワーカーの役割についてノートにまとめる（2時間）。	
9	地域福祉ガバナンスとその背景について理解する	事前）ガバナンスの考え方についてノートにまとめておく（2時間）。 事後）多機関協働を促進する仕組みについてノートにまとめる（2時間）。	
10	多職種連携の目的とコンピテンシーについて理解する	事前）多職種連携の目的についてノートにまとめておく（2時間）。 事後）チームが直面する倫理的ジレンマについてノートにまとめる（2時間）。	
11	福祉以外の分野との協働の目的と意義について理解する	事前）身近にある社会資源について調べてノートにまとめておく（2時間）。 事後）福祉以外の分野との協働による事例についてノートにまとめる（2時間）。	
12	地域福祉の理論と内容について理解する	事前）地域福祉の様々な理論についてノートにまとめる（2時間）。 事後）地域福祉をめぐる新たな課題や動向について、ノートにまとめる（2時間）。	
13	地域福祉の歴史的変遷について理解する	事前）地域福祉の源流について教科書をまとめておく（2時間）。 事後）戦後から今日に至る地域福祉の歴史的変遷について時代背景とともにまとめておく（2時間）。	
14	地域生活課題に対応する地域福祉の新たな動向について理解する	事前）人口減少と超高齢社会における地域生活課題について調べておく（2時間）。 事後）地域福祉の推進主体についてノートにまとめる（2時間）。	
15	地域福祉の主体と福祉教育について理解する	事前）地域生活課題について調べておく（2時間）。 事後）福祉教育についてノートにまとめる（2時間）。	

基本情報

科目名	地域福祉論
時間割コード	0223701001
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 地域を基盤としたソーシャルワークであるコミュニティワークの考え方やそれが必要になった背景について説明できる。</p> <p>2. 災害時における法制度を学び、災害によって生じる課題に対して、どのような包括的支援を行うのかを説明できる。</p> <p>3. 福祉計画の策定過程と方法・技術、福祉計画におけるニーズ把握と評価の方法について説明できる。</p> <p>4. 国、地方公共団体の行政システム、地方分権化や国と地方の関係について説明できる。</p>
履修上の注意事項	令和元年度の社会福祉士資格のカリキュラム改正の目的は、地域共生社会の実現に向けて、複雑化した課題を受け止める包括的な相談支援を実施し、地域住民が主体的に地域課題を解決していくよう支援できるソーシャルワーカーの養成をすることである。そのために重要な位置づけとなるこの授業内容の理解と習得が必要不可欠となる。学生には、将来の福祉人材の中核となるために集中して取り組んでいただきたい。地域福祉論 の理解のうえに本講義を行うため、1学期の地域福祉論を履修しておくこと。また、講義に際しては、教科書の該当箇所を事前に学習するとともに、できれば講義の後にも講義内容の再確認を行うこと。
評価方法	講義内で作成するワークシートの提出を毎回行う（40%） 課題レポート（30%） 定期試験（30%）
テキスト	最新・社会福祉士養成講座 6 『地域福祉と包括的支援体制』一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集,中央法規出版
参考文献	講義の際に必要な資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	研究員として障害者支援施設に勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、地域福祉論 の振り返り	（事前）地域福祉論 の内容について、ノートにまとめる（2時間） （事後）授業で重要な箇所についてノートにまとめる（2時間）。	
2	地域を基盤としたソーシャルワークの概念について理解する	（事前）地域を基盤としたソーシャルワークについて調べておく（2時間）。 （事後）地域紀要制社会の実現に向けたアプローチについてノートにまとめる（2時間）。	
3	地域福祉における住民主体の意味と意義を理解する	（事前）住民の主体形成のアプローチについてノートにまとめておく（2時間） （事後）住民の主体形成の方法についてノートにまとめる	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	地域を基盤としたソーシャルワークの具体的な展開について学ぶ	（事前）教科書P182-197を読んで、具体的な展開に関する特徴をつかんでおく（2時間）。 （事後）各事例における考え方についてノートにまとめる（2時間）。	
5	被災者を支援するための法制度を学ぶ	（事前）被災者法制度をあらかじめ調べておく（2時間）。 （事後）災害対策基本法の重要部分についてノートにまとめる（2時間）。	
6	被災者が抱える多様なニーズについて学ぶ	（事前）被災者にはどのようなニーズがあるか調べておく（2時間）。 （事後）他職種との連携による被災者支援についてノートにまとめる（2時間）。	
7	福祉計画の基本的視点を学ぶ	（事前）福祉計画についてあらかじめ調べておく（2時間）。 （事後）福祉計画の歴史的展開についてノートにまとめる（2時間）。	
8	市町村地域福祉計画と都道府県地域福祉支援計画の歴史的変遷について学ぶ	（事前）地域福祉計画についてあらかじめ調べてノートにまとめる（2時間）。 （事後）地域福祉計画の歴史についてノートにまとめる（2時間）。	
9	福祉計画の策定方法について理解する	（事前）福祉計画の過程モデルについてノートにまとめる（2時間）。 （事後）福祉計画の過程の特徴についてノートにまとめる（2時間）。	
10	福祉計画におけるニーズ把握の方法について理解する	（事前）ニーズの概念についてノートにまとめる（2時間）。 （事後）ニーズ把握の方法についてノートにまとめる（2時間）。	
11	福祉計画の評価について理解する	（事前）福祉計画の評価方法について調べノートにまとめておく（2時間）。 （事後）福祉計画における評価の実際についてどのような方法があるかノートにまとめる（2時間）。	
12	国と地方公共団体の福祉行政体制について理解する	（事前）くに、地方公共団体の行政体制についてノートにまとめる（2時間）。 （事後）国、都道府県、市町村の福祉行政の違いについてノートにまとめる（2時間）。	
13	国から地方自治への流れを理解するm社会福祉の実施体制について把握する	（事前）地方分権改革について調べてノートにまとめる（2時間）。 （事後）社会福祉の専門機関についてノートにまとめる	
14	福祉における財政について理解する	（事前）現在の国の財政について調べノートにまとめておく （事後）民間の財政についてノートにまとめる（2時間）。	
15	まとめと国家試験問題演習	（事前）これまで配布した資料やノートを読み、復習しておく（2時間）。 （事後）国家試験の過去問について復習する（2時間）。	

基本情報

科目名	福祉行財政と福祉計画
時間割コード	0223701301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	川崎 孝明
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
川崎 孝明

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【授業の目的】 社会福祉専門職がソーシャルワークを実践するうえで、社会福祉法制の系譜のなかで社会福祉の理念の位置づけを把握することは必要不可欠である。また、実践場面において関係機関との連携では、当然行政の実施体制に関する基礎知識が求められる。加えて、社会保障・社会福祉の制度設計のあり方を考えるうえで財源論を回避することはできない。 そこで本授業では、戦後の社会福祉法制の系譜をたどりながら、社会福祉の理念の位置づけを学ぶとともに、社会福祉行政の実施体制の概要ならびに財政構造について理解を深め、財源的な裏付けのもとで展開される行政施策として、福祉計画の体系を学習することとする。</p> <p>【到達目標】 戦後から現在に至るまでの社会福祉関係法の歩みと制度の変遷及び、社会福祉の理念や仕組みの変化を比較できる。 社会福祉の行財政の実施体制（国と地方自治体、組織や団体、財源、専門職の役割と機能）を説明できる。 社会福祉財政の動向及び国・地方自治体の負担関係、民間社会福祉事業の財政について述べることができる。 国と地方自治体の政策に位置づけられる福祉計画の種類や内容を説明することができる。</p>
履修上の注意事項	<p>本授業は受講者が不快な思いをしないよう講義中の私語は厳禁とする。ルールを守ることができない者は途中退席を命じる場合があるが、その場合は欠席扱いとする。 毎回、事後学習では振り返りシートに取り組んでもらい、翌週の授業前に提出を求める。</p>
評価方法	定期試験（70%）、小テスト（20%）、振り返りシート（10%）
テキスト	使用しない。
参考文献	講義中に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>本授業は、社会福祉専門職を目指す学生が比較的敬遠しがちな財政に関する基礎知識を取り上げる。財政に関する議論は、社会保障・社会福祉の制度設計を考えるうえで不可避なテーマであり、正しい財政知識を身につけることで、ソーシャルワークにおけるソーシャルアクションを考えるうえでも有意義である。 また、ソーシャルワーク実践では、その多くは法に基づいた事業展開に携わることになるため、行政の実施体制を把握することで関係機関との連携が期待できる。これらの内容を本授業では学習することで、ソーシャルワークの専門性を高める手がかりとなる。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	社会福祉関係法の発展段階	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
2	社会福祉行政の実施体制 - 国・都道府県の役割	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	

授業計画

本授業は、社会福祉専門職を目指す学生が比較的敬遠しがちな財政に関する基礎知識を取り上げる。財政に関する議論は、社会保障・社会福祉の制度設計を考えるうえで不可欠なテーマであり、正しい財政知識を身につけることで、ソーシャルワークにおけるソーシャルアクションを考えるうえでも有意義である。

また、ソーシャルワーク実践では、その多くは法に基づいた事業展開に携わることになるため、行政の実施体制を把握することで関係機関との連携が期待できる。これらの内容を本授業では学習することで、ソーシャルワークの専門性を高める手がかりとなる。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	社会福祉行政の実施体制 - 市町村の役割	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
4	国と地方の関係 - 地方分権の推進	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
5	社会福祉行政の組織および団体の役割 - 福祉事務所、児童相談所	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
6	社会福祉行政の組織および団体の役割 - 身体障害者更生相談所ほか	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
7	社会福祉の財源 - 国の財源	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
8	社会福祉の財源 - 地方の財源	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
9	社会福祉の財源 - 財源論とは何か	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
10	福祉計画の意義と目的	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
11	福祉計画の全体像	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
12	福祉計画の体系 - 障害分野	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
13	福祉計画の体系 - 高齢者分野	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
14	福祉計画の体系 - 児童分野ほか	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	
15	まとめ	振り返りシートを活用し、授業内容を図式化したうえで、疑問点を調査し整理する(2時間)。	

基本情報

科目名	医学一般
時間割コード	0223701401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	志賀 潔
科目区分	専門科目 社会福祉学科基礎専門科目

担当教員情報

教員名
志賀 潔

詳細情報

授業の目的・到達目標	医学一般科目は、医療、保健、福祉について諸々の考察を行う時、あるいはこの分野で専門的な仕事をする時に必要となる基礎学力の一つである。人体の構造と機能及び疾病について広く学ぶことにより、医学一般に関する教養を身に付けよう。
履修上の注意事項	教科書を予習・復習してくること。
評価方法	筆記試験で評価する。60点以上を合格とする。
テキスト	新・社会福祉士養成講座 人体の構造と機能及び疾病 - 医学一般、社会福祉士養成講座編集委員会、編集、中央法規
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	人の成長・特に発達に力点を置いて検討する		
2	人の成長・老化を中心に検討する		
3	身体の構造・人体部位の名称		
4	身体の構造と機能・水分と脱水		
5	身体の構造と機能・血液の成分		
6	各種臓器の構造と機能・心、腎、神経系		
7	各種臓器の構造と機能-消化系、内分泌系等		
8	疾病の概要・生活習慣病、悪性新生物		
9	疾病の概要・心疾患、脳血管疾患等		
10	障害の概要・視覚、聴覚障害		
11	障害の概要・肢体不自由、認知症等		
12	国際生活機能分類について		
13	健康の概念とその歴史・健康とは何か		
14	健康増進の概念と変遷		
15	リハビリテーションの概要		

基本情報

科目名	地域社会論
時間割コード	0223900101
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	竹中 健
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
竹中 健

詳細情報

授業の目的・到達目標	「地域」という用語にこめられた歴史的な文脈やその意味、諸問題を理解し、同時に近代化や国民国家との関連で「地域」やそこに生きる人びと、地域社会のありかたやあるべき姿を考えることができるようになることを、本講義の最終的な目標とする。
履修上の注意事項	授業前に出された課題を完成させて授業に臨み、授業後は授業前の課題と授業で学んだことを比較して復習をすること。予習には最低30分、復習には短くても15分を費やすこと。
評価方法	講義時間内外に作成し提出する複数回のレポート(50%)と第13回以降に行うプレゼンテーション(50%)を総合して評価する。
テキスト	使用しない
参考文献	講義のなかで適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション	【事前】自分の生まれ育った故郷について、「私の想い」を書いてみよう。講義にお持ちください。(2時間) 【事後】自分の生まれ育った故郷に対して、なぜ自分がそのような気持ちを抱いているのかを分析してみよう。A4用紙に1~2枚程度で書いてみてください。次回の講義が始まる前に、提出してください。(2時間)	
2	urban sociology と rural sociology	【事前】あなたは将来大都市に住みたいですか、それとも田舎に住みたいですか？その理由を考えてみてください。(2時間) 【事後】都市の生活と地方の生活のそれぞれの良さや問題をあげてみましょう(2時間)	
3	コミュニティとはなにか？	【事前】コミュニティの定義を複数、調べておいてください。(2時間) 【事後】コミュニティ研究の意義を論じてください。A4用紙に1枚書いてみてください。次回の講義が始まる前に提出してください。(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	「公共の福祉」とナチズム	【事前】ナチス政権化における社会福祉の進展にはどのようなものがあったのかを調べておいてください（2時間） 【事後】「公共の福祉」という概念が個人におよぼしうる暴力の事例を一つ取り上げて、論じてください。（2時間）	
5	戦時下の軍事動員	【事前】「ボランティア」の語源や起源を調べてください（2時間） 【事後】日本における戦時下の動員の実態について調べてA4用紙に2枚程度でまとめてください。次回の講義が始まる前に提出してください。（2時間）	
6	現代日本のボランティア動員	【事前】オリンピック開催に向けたボランティア動員の現状を調べてみよう（2時間） 【事後】現代日本のボランティア動員の事例を一つ取り上げ、論じてください（2時間）	
7	国民国家と地域社会	【事前】国家と自治体の関係性について、何か一つ象徴的な事例をあげて論じてみよう（2時間） 【事後】自分が取り上げた事例において、「何が問題であるのか」を論じてください。A4用紙に2枚程度でまとめてください。次回の講義が始まる前に提出してください。（2時間）	
8	「国家」の虚構と「地域」の虚構	【事前】Covid19感染対策のように、政府と自治体の間で互いに責任を押し付け合っていてなかなか適切な時期に適切な対応が取れない事例を一つ取り上げ、A4用紙に1枚で書いてみてください。講義が始まる前に提出してください。（2時間） 【事後】ご自身が取り上げた事例について、何が問題であるのかを論じてください。A4用紙に2枚程度でまとめてください。次回の講義が始まる前に提出してください。（2時間）	
9	中間集団とコミュニティ	【事前】自助組織（セルフ・ヘルプ・グループ）一つを取り上げて、その活動実態をレポートしてください（2時間） 【事後】ご自身が取り上げた事例について、どのような問題が克服されると、その活動が軌道に乗るのかを論じてください。A4用紙に2枚以内でまとめてください。次回の講義が始まる前に提出してください。（2時間）	
10	水俣とフクシマ（1）	【事前】水俣病の歴史を調べておいてください（2時間） 【事後】映像を見た感想を書いてください（2時間）	
11	水俣とフクシマ（2）	【事前】水俣病の歴史のなかで、何が問題であるのかを考察してください（2時間） 【事後】「何が問題であるのか」を論じてください。A4用紙に2枚以内でまとめてください。次回の講義が始まる前に提出してください。（2時間）	
12	玉名に生きる	【事前】玉名に住む人びとの暮らしについて、調べておいてください（2時間） 【事後】玉名の暮らしのなかで、「何が問題であるのか」を調べ、考察し、論じてください（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
13	熊本に生きる	【事前】熊本に住む人びとの暮らしについて、調べてください(2時間) 【事後】熊本県において、現在「何が問題であるのか」を調べ、考察し、論じてください(2時間)	
14	九州に生きる	【事前】九州に住む人びとの暮らしについて、調べてください(2時間) 【事後】九州に暮らすなかで、「何が問題であるのか」を調べ、考察し、論じてください(2時間)	
15	まとめ	【事前】この講義のなかで、扱ってほしかったテーマを書いてください。講義にお持ちください。(2時間) 【事後】自分の生まれ育った故郷に対して、今後あなたはどのようにかわりたいのか/かわりたくないのかを論じてください。なぜ自分がそのような気持ちを抱いているのかについても触れてみましょう。(2時間)	

基本情報

科目名	家族福祉論
時間割コード	0223900201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	高齢者、子ども、障害者、一人親家族といった方々に顕在化しやすい諸問題を、「家族」が抱え込まれている問題として把握することで、家族福祉の役割と重要性について理解することができる。また「家族」について考察する上で欠かすことができない、女性に求められている役割と現状を女性福祉として学ぶことで、家族に求められている役割が社会と密接に繋がっていることを説明することができる。その上で、家族に対する支援のあり方をソーシャルワーカーの立場から考察することができる。
履修上の注意事項	授業の前にテキスト、および配布資料を熟読しておくこと、授業終了後は語句の確認といった復習をしておくこと。
評価方法	1. 試験 60% 2. 課題レポート等 20% 3. 受講態度 20%
テキスト	『よくわかる現代家族』第2版 神原文子 他編著 ミネルヴァ書房
参考文献	『家族福祉の視点』 野々山久也 編著 ミネルヴァ書房
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション：家族福祉の位置づけ		
2	現代における新たな家族観の登場、及び家族の類型について学び考える		
3	家族が果たしている役割と、その変遷を理解する		
4	現代社会と家族 家族福祉の沿革を理解する		
5	家族福祉と法制度(血縁の有無、事実婚、同性婚等)について理解する		
6	家族福祉と女性福祉、近代日本における女性に求められる役割について理解する		
7	家族福祉と女性福祉、現代の労働力としての女性にフォーカスする		
8	社会から家族へ要請される役割、高齢者介護を題材に考察を深める		
9	社会から家族へ要請される役割、「このとりのゆりかご」を題材に考察を深める		
10	社会から家族へ要請される役割、社会の変容に応える役割変化について理解する		
11	モデル事例検討 高齢者問題、実際の支援について考察を深める		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	モデル事例検討 障害者問題、実際の支援について考察を深める		
13	モデル事例検討 母子家庭問題、実際の支援について考察を深める		
14	モデル事例検討 DV問題、実際の支援について考察を深める		
15	家族福祉の課題を整理した上で理解する		

基本情報

科目名	児童福祉論
時間割コード	0223900301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	障害児福祉の要である人権とその子に適した発達の保障という視点は、全ての児童に保障されるべき人権に繋がるものである。よって、この講義を通して児童福祉の中でも特別な配慮が求められる障害児について理解を深める。また社会的養護が必要な児童の事例から児童福祉の諸制度を活用する意義について理解する。
履修上の注意事項	社会福祉士受験資格希望者は、可能な限り履修する。授業後に専門用語に注目しつつ復習していくこと。
評価方法	筆記試験80点、講義内レポート20点で評価する。レポート課題については講義内で明示する。
テキスト	国民の福祉と介護の動向 2020/2021 厚生労働統計協会
参考文献	社会福祉用語辞典(第9刷) 山縣文治・柏女霊峰編集委員代表(ミネルヴァ書房)
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	特別な配慮が必要な児童について考える		
2	社会的養護の役割と制度を理解する		
3	児童虐待と社会的養護の関係を理解する		
4	児童虐待の実態の理解と求められる支援を理解する		
5	障害のある児童の実態と、おかれている状況を理解する		
6	障害のある児童に対する支援制度を理解する		
7	障害のある児童の育ちの保障と求められる支援について考える		
8	胎児期、乳児期、幼児期の児童のおかれている状況と支援制度を理解する		
9	学童期、思春期の児童のおかれている状況と支援制度を理解する		
10	子どもの貧困の実態についての理解と求められる支援について考える		
11	家族支援の重要性を理解する		
12	スクールソーシャルワーカーの役割と実際を理解する		
13	障害のある児童に対する社会的包摂の重要性と実現のための支援について考える		
14	社会的養護を受けた児童に対する社会的包摂の重要性と実現のための支援について考える		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	子ども・家庭への援助活動の今までとこれからについて理解する		

基本情報

科目名	高齢者福祉論
時間割コード	0223900401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	吉岡 久美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
吉岡 久美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 現代社会における高齢者福祉の理念と意義を説明できる。</p> <p>2. 高齢者の身体的・精神的・心理社会的特長や特性、障害等を説明できる。</p> <p>3. 認知症高齢者の障害特性とケアを説明できる。</p> <p>4. 高齢者や家族に対する相談援助活動を説明できる。</p> <p>5. 高齢者支援の地域活動や民間活動、シルバーサービス等を説明できる。</p>
履修上の注意事項	<p>該当する単元については、指定テキストを用いて事前に学習しておくこと。講義後もう一度通読して復習し、理解を深めること。</p> <p>また、指示したレポートは期限を守り、提出すること。</p> <p>事前・事後学習に要する時間 計90分程度</p>
評価方法	<p>定期試験90%、課題レポート10%で評価する。</p> <p>レポートはコメントを入れて返却する。</p>
テキスト	<p>社会福祉士養成講座編集委員会編『高齢者に対する支援と介護保険制度-高齢者福祉論-』(最新版)中央法規。</p> <p>野崎和義監修『社会福祉六法』(最新版)ミネルヴァ書房。</p>
参考文献	<p>日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座2 高齢者福祉』中央法規</p> <p>その他 授業中、適宜紹介</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>吉岡久美：看護師・管理者として病院勤務経験 訪問看護師・管理者として訪問看護ステーション勤務経験</p> <p>介護教員として介護福祉士養成校勤務経験</p>

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	高齢者の処遇の変遷を、歴史を振り返りながら理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
2	産業構造の変化に伴う高齢者への影響と、少子高齢社会における課題を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
3	高齢社会における地域創世の取り組みを理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	
4	居住世帯と家族介護の問題及び課題を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと(各20分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	高齢者の所得や就労状況、地域社会との関係を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
6	高齢者の身体的・心理的特性と疾病を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
7	高齢者の精神的特性と疾病を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
8	高齢者の社会的特性を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
9	認知症を医学的・心理学的に理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
10	認知症高齢者のケアの理念と方法を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
11	高齢者やその家族、地域住民への支援の方法を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
12	独り暮らしや寝たきりの高齢者やその家族に対する支援と相談援助活動を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
13	認知症高齢者やその家族に対する相談援助活動を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
14	社会福祉協議会の取り組みやボランティア活動、非営利民間活動を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	
15	シルバーサービスの現状と展望を理解する。	事前に提示した資料を基に予習をすること 講義中に出された課題に取り組むこと（各20分）	

基本情報

科目名	介護概論
時間割コード	0223900501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	前田 公江
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
前田 公江

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 介護の理念とその枠組みについて学習し、人間尊重と自立支援を目指した新しい介護の考え方を理解する。</p> <p>2. 歴史的展開を理解すると共に、現代社会における介護の在り方や関係職種間の連携の重要性について学ぶ。</p> <p>3. 介護援助における倫理および援助者としての基本的態度を身につけ、個々の利用者に応じた介護技術の在り方を探求する。</p> <p>4. 介護を通して「人間としての尊厳」や「その人らしい生き方」について学び、人間観や思考を深める。</p>
履修上の注意事項	<p>・授業前にテキストを読み、単元のキーワードについて調べてくること(90分)</p> <p>・授業後は必ず配布したプリントを復習し理解を深めること(60分)</p>
評価方法	毎回の授業の終わりに小レポートを提出、および講義・演習への参加意欲を20%加味し筆記試験80%で評価する。
テキスト	「新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度」社会福祉士養成講座編集委員会編(中央法規出版)
参考文献	適宜、講義の中で紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>1) 介護を取り巻く社会的背景について理解する</p> <p>2) 「介護」をどのように定義づけるか、介護の概念について考察する</p> <p>3) 介護の範囲の考え方を理解し求められる資質と専門性について考える</p> <p>4) 介護過程の仕組みを理解し、「自立に向けた介護」とは何かを考察する</p> <p>5) 地域で支える力と介護予防の重要性を理解する</p> <p>6) 認知症高齢者の対応方法について考える</p> <p>7) 高齢者の終末期の特徴を理解しケアのあり方を考える</p> <p>8) 事例検討を通して、実際の介護現場における問題を考える</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	わが国の介護福祉の現状と動向・課題について	介護に専門性が求められる理由とは何か? 事前に考えてみよう	キーワード: わが国の医療・社会福祉の歴史
2	高齢者の生活実態と福祉・介護ニーズを理解する	身体面・心理面・社会面からのアプローチに必要な視点とは何か? 様々な介護ニーズを通してまとめよう	キーワード: 身体・心理・社会的アプローチ
3	介護従事者としての役割と実際	要介護者を支える仕組みにはどのような制度があるかを事前に調べてみよう	キーワード: 要介護者と要支援者
4	介護の概念や対象・範囲について	「その人らしさ」と「生活ニーズ」という言葉の意味を自分なりに考えてみよう	キーワード: 生活ニーズ
5	介護保険制度の仕組みとサービス体系について	わが国のサービス体系を理解し、その課題について考えよう	キーワード: 介護保険制度
6	地域で支える介護の必要性と介護予防の概念を理解する	地域で支える介護の意義と介護予防の種類について調べてみよう	キーワード: 地域包括ケアシステムと介護予防
7	高齢者の尊厳を支える介護を通して人間の尊厳と自立を考える	高齢者の尊厳を守るためにはどのような視点が必要かを考える	キーワード: 人間の尊厳

授業計画

- 1) 介護を取り巻く社会的背景について理解する
- 2) 「介護」をどのように定義づけるか、介護の概念について考察する
- 3) 介護の範囲の考え方を理解し求められる資質と専門性について考える
- 4) 介護過程の仕組みを理解し、「自立に向けた介護」とは何かを考察する
- 5) 地域で支える力と介護予防の重要性を理解する
- 6) 認知症高齢者の対応方法について考える
- 7) 高齢者の終末期の特徴を理解しケアのあり方を考える
- 8) 事例検討を通して、実際の介護現場における問題を考える

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	介護過程の概要と展開及び介護の技法について	利用者の真のニーズを捉えるコミュニケーション技法を学ぶ	キーワード：福祉介護従事者に必要なコミュニケーション技法
9	自立に向けた介護とは何かを考えよう ：その1	家事における介護にはどのようなものがあるか	キーワード：自立
10	自立に向けた介護とは何かを考えよう ：その2	身支度、移動、睡眠、食事、口腔衛生の介護にはどのようなものがあるか	キーワード：身体介護と家事支援
11	自立に向けた介護とは何かを考えよう ：その3	入浴、清潔、排泄の介護にはどのようなものがあるか	キーワード：介護の専門性
12	認知症ケアの概況：これからの認知症ケアのあり方と方向性	認知症患者の主な症状にはどのようなものがあるか？事前に調べてみよう	キーワード：認知症
13	死と終末期ケア：人間観と倫理から終末期ケアと死生観を考える	高齢者の終末期ケアの特徴を事前に調べてみよう	キーワード：終末期ケア
14	事例検討：実際の介護サービス計画を立ててみよう！	事例を通して介護サービス計画書の書き方を理解し、計画書作成において必要な視点を捉える	キーワード：介護サービス計画書
15	事例検討：認知症ケアの実際	認知症ケアにおいて自分自身が最も重要視したいことを事前に整理し、事例検討に臨むこと	キーワード：認知症ケア

基本情報

科目名	障害者福祉論
時間割コード	0223900601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	未定
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
未定	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要について理解する。</p> <p>2 障害者福祉及び関連分野の専門職とその連携のあり方について理解する。</p> <p>3 相談援助活動において必要となる障害者総合支援法や福祉・介護に係る他の法制度について理解する。</p> <p>4 障害者福祉全般に関する制度改革を理解し、地域生活支援という懸案の課題を認識する。</p>
履修上の注意事項	<p>授業前にテキストを読み、キーワードについて調べてくること。</p> <p>授業後に復習しておくこと。</p>
評価方法	定期試験60%、レポート20%、発表20%で評価する。
テキスト	社会福祉士養成講座編集委員会編『障害者に対する支援と障害者自立支援制度』第6版(中央法規、2019年)。
参考文献	厚生労働省編『(平成31年版)厚生労働白書』(ぎょうせい、2019年)。 内閣府編『(平成31年版)障害者白書』(日経印刷、2019年)。「社会福祉六法」(最新版)。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	障害者総合支援法におけるサービス 1(障害福祉サービスの種類、障害者支援施設の種類など)		
2	障害者総合支援法におけるサービス 2(補装具・住宅改修の種類、自立支援医療など)		
3	地域生活支援事業		
4	介護保険と障害者サービス		
5	障害者福祉の関連分野 1(保健・医療)、2(教育)		
6	障害者福祉の関連分野 3(雇用・就労)		
7	障害者福祉の関連分野 4(所得保障・経済負担の軽減)		
8	障害者福祉の関連分野 5(生活環境の改善)、6(情報保障・権利擁護)		
9	障害者福祉の関連分野 7(ボランティア、文化、スポーツ、レクリエーションなど)		
10	障害者運動と当事者参加		
11	ケアマネジメントとソーシャルワーク		
12	障害者福祉におけるチームワーク		
13	相談援助活動事例		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	障害者の自立と就労支援（work and support）		
15	障害者福祉の課題と展望		

基本情報

科目名	医療福祉論
時間割コード	0223900701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	竹中 健
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
竹中 健	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>ソーシャルワーク実践において必要となる保健医療の動向を理解する。 保健医療に係る政策、制度、サービスについて理解する。 保健医療領域における社会福祉士の役割と、連携や協働について理解する。 保健医療の課題を持つ人に対する、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。</p>
履修上の注意事項	<p>講義予定の範囲について、テキストをあらかじめよく読み、毎回予習をしておくこと。講義に際しては、教科書の該当箇所を事前に最低30分は学習するとともに、講義後にも最低15分は講義内容の再確認を行うこと。</p>
評価方法	<p>講義内で実施する5回のミニテストの結果(各回100点満点:合計500点満点)をもとに総合的に判定する(100%)。</p>
テキスト	<p>日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『保健医療と福祉』中央法規(最新版)</p>
参考文献	<p>講義中に適宜紹介する。</p>
実務経験のある教員による授業	<p>無</p>
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション	<p>【事前】日本国がどのようなCovid-19感染防止策をとったかを調べてください(2時間) 【事後】日本国の現在のCovid-19感染防止策の問題点を、A4用紙1枚程度にまとめ、次回の講義開始前に提出してください。(2時間)</p>	
2	疾病構造の変化	<p>【事前】世界のCovid-19感染状況を調べてください(2時間) 【事後】日本の現在のCovid-19感染状況とそれに対して政府や自治体が行っている対策の中身を正確に知ろう(2時間)</p>	
3	医療施設から在宅医療へ	<p>【事前】「社会的入院」について調べてください(2時間) 【事後】社会的入院がなくなる理由をA4用紙2枚にまとめ、次回の講義開始前に提出してください。(2時間)</p>	
4	保健医療における福祉的課題	<p>【事前】様々な「依存症」について調べておいてください(2時間) 【事後】「依存症」への支援について調べてください(2時間)</p>	
5	医療保険制度の概要	<p>【事前】日本における医療保険制度の歴史を調べておいてください(2時間) 【事後】アメリカにおいて皆保険制度が成立しない理由はなにか、論じてください。A4用紙1枚程度にまとめ、次回の講義開始前に提出してください。(2時間)</p>	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	診療報酬制度の概要	【事前】高額療養費制度について調べてください（2時間） 【事後】労災保険、傷病手当金、特定疾患医療費助成制度について調べてください（2時間）	
7	医療施設の概要	【事前】病院と診療所の違いについて調べておいてください（2時間） 【事後】特定機能病院とは何かを調べてください（2時間）	
8	保健医療対策の概要	【事前】保健所の役割を調べておいてください（2時間） 【事後】地域医療の指針をまとめてください（2時間）	
9	自己決定権の尊重	【事前】インフォームド・コンセントについて調べてください（2時間） 【事後】終末期の医療について、その課題を整理してください（2時間）	
10	保健医療に係る倫理	【事前】医療倫理の4原則をしらべておいてください（2時間） 【事後】出生前診断の問題を整理して論じてください。A4用紙1枚程度にまとめ、次回の講義開始前に提出してください。（2時間）	
11	倫理的課題	【事前】尊厳死と安楽死の定義を調べてください（2時間） 【事後】現在の日本の医療における尊厳死が医療費抑制の文脈から語られる現状について、あなたの考えを書いてください。A4用紙1枚程度にまとめ、次回の講義開始前に提出してください。（2時間）	
12	保健医療領域における専門職	【事前】あなたは医療ソーシャルワーカーとして、どのような仕事をしたいと考えていますか？ 今あなたが想定している職務内容の理想を書き出してみましよう（2時間） 【事後】日本の病院では、「医療ソーシャルワーカー」は構造的に医療にかかわるソーシャルワークの実践が困難な状況におかれているとすれば、何が問題であるのかを論じてください。A4用紙1枚程度にまとめ、次回の講義開始前に提出してください。（2時間）	
13	保健医療領域における連携・協働	【事前】保健医療領域における専門職にはどのようなものがあるのか、列挙してみよう（2時間） 【事後】保健医療領域における専門職の連携はどのように可能かを考えてみよう（2時間）	
14	保健医療領域における社会福祉士の役割	【事前】院内連携・地域医療連携（病診連携、病病連携）について調べておこう（2時間） 【事後】地域包括ケアシステムにおける連携とはどのようなものかを調べておこう（2時間）	
15	保健医療領域における支援の実際（多職種連携を含む）	【事前】医療ソーシャルワーカーの業務指針について調べてください（2時間） 【事後】終末期ケアおよび認知症ケアにおける支援のありかたについて、調べてまとめてください（2時間）	

基本情報

科目名	福祉法学
時間割コード	0223900901
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	野崎 和義
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
野崎 和義	

詳細情報

授業の目的・到達目標	以下の各点について理解する。 相談援助活動と法、 相談援助活動と成年後見制度、 成年後見制度の実際、 社会的排除や虐待などの権利侵害、認知症などで日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際。
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：指定された演習問題あるいはレポート課題に取り組むこと(各回120分)。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『福祉法学』2013年、ミネルヴァ書房。 野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房(過年度版でも可)。
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと(2時間)</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題(随時)について調べ、作成・提出する(2時間)。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	相談援助活動と法との関わり(1):日本国憲法の基本原理、民法等の理解		
2	相談援助活動と法との関わり(2):行政法の理解、福祉関連法の理解		
3	成年後見制度(1):制度の概要(法定後見と任意後見、制限行為能力)		
4	成年後見制度(2):法定後見の各類型と申立て手続き		
5	成年後見制度(3):任意後見とその利用手続き		
6	成年後見制度(4):成年後見人の職務と権限、その課題(医療同意権等)		
7	成年後見制度利用支援事業:事業の概要、対象者、制度の根拠		
8	日常生活自立支援事業(1):事業の概要(専門員、生活支援員の役割)		
9	日常生活自立支援事業(2):成年後見制度との連携		
10	権利擁護に関わる組織と団体:家庭裁判所、市町村、社会福祉協議会等の役割		
11	権利擁護に関わる専門職:弁護士、司法書士、社会福祉士等の活動の実際		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	成年後見活動の実際：消費者被害を受けた者への対応、障害児・者への支援等		
13	権利擁護活動の実際（1）：被虐待児・者への対応、高齢者虐待への対応等		
14	権利擁護活動の実際（2）：非行少年への対応、ホームレスへの対応等		
15	障害者と法：障害者虐待防止法、障害者差別解消法		

基本情報

科目名	更生保護制度
時間割コード	0223901001
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	野崎 和義
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
野崎 和義	

詳細情報

授業の目的・到達目標	相談援助活動において必要となる更生保護制度について理解する。 更生保護を中心に、刑事司法・少年司法分野で活動する組織、団体及び専門職について理解する。 。刑事司法・少年司法分野の他機関等との連携の在り方について理解する。
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：指定された演習問題あるいはレポート課題に取り組むこと(各回120分)。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。 ・外部講師の講義日も変更になることがある。
評価方法	定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『更生保護と刑事法』2016年、ミネルヴァ書房。 野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房(過年度版でも可)。
参考文献	各回の講義の際に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
事前・事後学修について	事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと(2時間) 事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題(随時)について調べ、作成・提出する(2時間)。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	社会福祉士と更生保護(更生保護の意義、法的位置づけ)		
2	満期釈放と仮釈放		
3	刑の全部執行猶予		
4	保護観察		
5	更生保護活動の実際(刑務所に配置された社会福祉士の活動)(外部講師〔予定〕)		
6	更生緊急保護、生活環境の調整		
7	更生保護施設、民間協力者(BBS、更生保護女性会、協力雇用主等)		
8	裁判所・検察庁・矯正施設、福祉事務所との関わり、児童相談所との連携		
9	更生保護活動の実際(保護観察官、保護司の活動)(外部講師〔予定〕)		
10	医療観察法に基づく処遇制度の創設(社会復帰調整官の役割)、生活環境の調査		
11	生活環境の調整、地域社会における処遇(精神保健観察等)、関係機関との連携		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	医療観察制度の課題（措置入院・指定通院医療における精神保健福祉士の役割）		
13	更生保護活動の実際（社会復帰調整官の活動）（外部講師〔予定〕）		
14	資格制限と社会復帰、恩赦、犯罪被害者等への施策		
15	更生保護の今後の展望と課題（含：刑の一部執行猶予、社会貢献活動）		

基本情報

科目名	精神保健福祉論
時間割コード	0223901201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	平川 泰士
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1 精神保健福祉の歴史と理念、発達プロセスを過去の制度施策・歴史的事実を通して解釈できるようになる。</p> <p>2 精神障害者の相談援助活動と法(精神保健福祉法)との関わりについてその根拠を説明できるようになる。</p> <p>3 精神障害者の支援に関連する制度及び福祉サービスの知識と支援内容について説明できるようになる。</p>
履修上の注意事項	<p>本科目は精神保健福祉士国家試験における指定科目です。事前にテキストに目を通し配布されたプリント内容をテキストで確認する、基礎的な用語を確認する、指定された課題に取り組むなど予習し、理解できなかった点を確認し復習を行ってください(60分程度)。講義では学生間での報告・積極的な協議・話し合いを通じた学習をします。</p>
評価方法	<p>講義中の課題・レポート・参加状況(30%)、期末試験成績(70%)をもとに評価を行う。再試験は実施しない。</p>
テキスト	<p>新精神保健福祉士養成講座 『精神保健福祉に関する制度とサービス』中央法規</p>
参考文献	<p>『精神保健医療福祉白書』精神保健医療福祉白書編集委員会編,中央法規</p>
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	精神障害者の相談援助活動と精神保健福祉に関する制度とサービス		
2	精神保健福祉法の成立までの経緯と意義、その後の変化 精神病者監護法～精神保健法まで		
3	精神保健福祉法の成立までの経緯と意義、その後の変化 精神保健法～精神保健福祉法まで		
4	精神保健福祉法の成立までの経緯と意義、その後の変化 精神保健福祉法～総合支援法まで		
5	精神保健福祉法の概要 法の目的、対象、医療及び保護、保健及び福祉		
6	精神保健福祉法の概要 精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割(入院制度を中心に)		
7	精神保健福祉法の概要 精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割(各種サービス)		
8	精神保健福祉法の概要 最近の動向		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス 障害者基本法と精神障害者施策のかかわり		
10	精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス 障害者総合支援法における精神障害者福祉サービス		
11	精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス 精神障害者を対象とした福祉施策・事業		
12	精神障害者に関連する社会保障制度の概要 精神障害者と社会保障制度		
13	精神障害者に関連する社会保障制度の概要 医療保険制度		
14	精神障害者に関連する社会保障制度の概要 介護保険制度		
15	精神障害者に関連する社会保障制度の概要 経済的支援に関する制度		

基本情報

科目名	精神保健福祉論
時間割コード	0223901301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	平川 泰士
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 精神障害者の支援において係わる施設、団体、関係機関等について説明できるようになる。 2 更生保護制度と医療観察法について説明できるようになる。 3 社会資源の調整・開発に係わる社会調査の概要と活用について基礎的な知識を備える。
履修上の注意事項	本科目は精神保健福祉士国家試験における指定科目です。事前にテキストに目を通し配布されたプリント内容を テキストで確認する、基礎的な用語を確認する、指定された課題に取り組むなど予習し、理解できなかった点を 確認し復習を行ってください(60分程度)。講義では学生間での報告・積極的な協議・話し合いを通じた学習をします。
評価方法	講義中の課題・レポート・参加状況(30%)、期末試験成績(70%)をもとに評価を行う。再試験は実施しない。
テキスト	新精神保健福祉士養成講座 『精神保健福祉に関する制度とサービス』中央法規
参考文献	『精神保健医療福祉白書』精神保健医療福祉白書編集委員会編,中央法規
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	相談援助にかかわる組織、団体、関係機関 行政組織と民間組織		
2	相談援助にかかわる組織、団体、関係機関 福祉サービス提供施設・機関の役割		
3	相談援助にかかわる組織、団体、関係機関 インフォーマルな社会資源の役割		
4	相談援助に係わる組織、団体、関係機関 専門職や地域住民の役割と実際		
5	更生保護制度の概要と精神保健福祉との関係 刑事司法と更生保護		
6	更生保護制度の概要と精神保健福祉との関係 保護観察所と更生保護の担い手		
7	更生保護制度の概要と精神保健福祉との関係 司法・医療・福祉の連携の必要性和実際		
8	医療観察法の概要と実際 医療観察法の意義と内容		
9	医療観察法の概要と実際 医療観察法の審判と精神保健参与員の役割		
10	医療観察法の概要と実際 入院医療		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	医療観察法の概要と実際 地域処遇		
12	医療観察法の概要と実際 社会復帰調整官の役割と実際		
13	社会資源の調整・開発にかかわる社会調査 意義・目的・対象・倫理		
14	社会資源の調整・開発にかかわる社会調査 量的調査法と質的調査法		
15	社会資源の調整・開発にかかわる社会調査 ICTの活用・実践例		

基本情報

科目名	精神保健福祉論
時間割コード	0223901401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	平川 泰士
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1 精神障害者の生活支援の意義と特徴について説明できるようになる。</p> <p>2 精神障害者の居住支援に関する制度・施策と相談援助活動について基礎的知識を備える。</p> <p>3 職業リハビリテーションの概念および精神障害者の就労支援に関する制度・施策と相談援助活動について基礎的知識を備える。</p> <p>4 行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動について説明できるようになる。</p>
履修上の注意事項	<p>本科目は精神保健福祉士国家試験における指定科目です。事前にテキストに目を通し配布されたプリント内容をテキストで確認する、基礎的な用語を確認する、指定された課題に取り組むなど予習し、理解できなかった点を確認し復習を行ってください(60分程度)。講義では学生間での報告・積極的な協議・話し合いを通じた学習をします。</p>
評価方法	<p>講義中の課題・レポート・参加状況(30%)、期末試験成績(70%)をもとに評価を行う。再試験は実施しない。</p>
テキスト	<p>新・精神保健福祉士養成講座 『精神障害者の生活支援システム』中央法規</p>
参考文献	<p>『精神保健医療福祉白書』精神保健医療福祉白書編集委員会編,中央法規</p>
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	精神障害者の概念 障害の概念・ICFによる障害の概念		
2	精神障害者の概念 障害者基本法・精神保健福祉法における定義、精神障害者の特性		
3	精神障害者の生活の実際 精神障害者と家族の現状		
4	精神障害者の生活の実際 精神障害者と地域社会		
5	精神障害者の生活の実際 海外における生活支援モデルの動向		
6	精神障害者の生活と人権 精神障害者の生活支援の理念と概念		
7	精神障害者の生活と人権 地域生活における精神障害者の人権		
8	精神障害者の地域生活支援システム 社会参加のための地域生活支援システム、相談援助		
9	精神障害者の地域生活支援システム 雇用・就業以外の就労、余暇活動		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	精神障害者の地域生活支援システム ソーシャルサポートネットワーク、クライシスケアシステム		
11	精神障害者の居住支援 居住支援制度の歴史的展開と現在の動き		
12	精神障害者の居住支援 居住支援における精神保健福祉士や専門職の役割		
13	精神障害者の雇用・就業支援 雇用・就業制度の概要、歴史的展開		
14	精神障害者の雇用・就業支援 雇用・就業・福祉的就労と専門職		
15	行政における相談援助		

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223901903
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
増田 公香

詳細情報

授業の目的・到達目標	相談援助の知識と技術に係るほかの科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができることをめざす。総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげること。個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする演習形態により実施する。
履修上の注意事項	小集団による話し合いやグループワークを行うので、積極的に参加することを求める。本演習では、社会福祉士、精神保健福祉士の国家資格の取得を前提とし、専門職として就労することを目標にする学生が望ましい。また、指定された課題について、あらかじめ調べ準備を整え、不明な箇所については自身で調べ直す予習復習を求める。
評価方法	授業態度・発表の内容・技能習得状況が50%、予習復習による自主的学習態度・状況が10%、課題の内容・提出状況・学期末時の課題が40%による総合評価とする。
テキスト	授業内で提示する。
参考文献	随時指示する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223901908
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会福祉士・精神保健福祉士に求められる具体的な援助場面を想定した実技指導を通して、相談援助に係る知識や技術を実践的に習得することができる。 相談援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶことで、相談援助を概念化、理論化し、体系立てて捉えることができる。 相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を把握することができる。
履修上の注意事項	社会福祉士国家試験受験資格希望者は、必ず2年次1学期から履修すること。 グループでの話し合いでは、進んで発言することが望まれる。授業の前には配布されている資料を熟読しておくこと。授業後は専門用語の確認と授業内容を振り返っておくこと。
評価方法	授業態度、積極的姿勢から20% 課題レポートの提出&内容から30% 試験から50%
テキスト	『ソーシャルワーク基本用語辞典』 2013年刊 川島書店
参考文献	必要に応じて配布、もしくは指示する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	シラバスの説明、アイスブレイキング(自己紹介を含む)		
2	相談援助の知識と技術に係る他科目との関連性についての理解、個別指導と集団指導の意義と方法		
3	他者理解と自己覚知の意義と方法の理解、加えて技術を取得		
4	基本的コミュニケーション技術の実技指導 コミュニケーションの種類		
5	基本的コミュニケーション技術の実技指導 小集団の性質		
6	基本的コミュニケーション技術の実技指導 対人コミュニケーションの性質		
7	基本的コミュニケーション技術の実技指導 チームアプローチ		
8	基本的な面接技術について実技指導と習得 面接の過程(記録の技術)		
9	基本的な面接技術について実技指導と習得 インテーク(情報の収集・整理・伝達の技術)		
10	基本的な面接技術について実技指導と習得 アセスメント(課題の発見・分析・解決の技術)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	基本的な面接技術について実技指導と習得 プランニング		
12	基本的な面接技術について実技指導と習得 支援の実施とモニタリング		
13	基本的な面接技術について実技指導と習得 効果の測定		
14	基本的な面接技術について実技指導と習得 終結とアフターケア		
15	インテークからアフターケアまでの援助過程の振り返りと要諦の整理		

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223901909
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
田島 望	

詳細情報

授業の目的・到達目標	相談援助に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶ。具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレイング)やグループワークを中心とする演習形態にて実施し、必要な技術等について具体的にイメージできる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義と実習をつなぐ重要な科目であることを理解して取り組んでください。 ・次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 ・演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)。 ・演習形態での授業のため、各回のグループワークやロールプレイ等への主体的な参加(発言)を求めます ・毎回の講義を積み上げていきますので、出席は必須と考えてください。
評価方法	演習の参加態度と授業内の課題への取り組み(40%)、課題レポート(30%)、学期末総合課題(30%)により評価します。
テキスト	テキストは使用しません。必要な資料等は講義内にて、適宜紹介・配布します。
参考文献	講義内にて、適宜紹介します
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	シラバスの説明・アイスブレイキング。	講義内容をよく確認し、ソーシャルワーク論等のテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)。	
2	相談援助の知識と技術に係る他科目との関連性の理解。個別指導及び集団指導の意義、方法の理解。	講義内容をよく確認し、ソーシャルワーク論等のテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	グループダイナミクスを活用した他者理解と自己理解（自己覚知）	講義内容をよく確認し、ソーシャルワーク論等のテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）．演習後は内容についての復習を行い、理解できていないグループワークに関する専門用語等を調べておくこと（120分）．	
4	基本的なコミュニケーション技術の実技指導 コミュニケーションの種類	講義内容をよく確認し、ソーシャルワーク論等のテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）．演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと．また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）．	
5	基本的なコミュニケーション技術の実技指導 小集団の性質	講義内容をよく確認し、ソーシャルワーク論等のテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）．演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと．また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）．	
6	基本的なコミュニケーション技術の実技指導 対人コミュニケーションの性質	講義内容をよく確認し、ソーシャルワーク論等のテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）．演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと．また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）．	
7	基本的なコミュニケーション技術の実技指導 チームアプローチ	講義内容をよく確認し、ソーシャルワーク論等のテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）．演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと．また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）．	
8	基本的な面接技術について実技指導を通して習得 面接の過程（記録の技術）	講義内容をよく確認し、ソーシャルワーク論等のテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）．演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと．また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）．	
9	基本的な面接技術について実技指導を通して習得 インテーク（情報の収集・整理・伝達の技術）	講義内容をよく確認し、ソーシャルワークの過程についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）．演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと．また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）．	
10	基本的な面接技術について実技指導を通して習得 アセスメント（課題の発見・分析等の技術）	講義内容をよく確認し、ソーシャルワークの過程についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）．演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと．また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）．	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	基本的な面接技術について実技指導を通して習得 プランニング	講義内容をよく確認し、ソーシャルワークの過程についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）。	
12	基本的な面接技術について実技指導を通して習得 支援の実施とモニタリング	講義内容をよく確認し、ソーシャルワークの過程についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）。	
13	基本的な面接技術について実技指導を通して習得 効果測定	講義内容をよく確認し、ソーシャルワークの過程についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）。	
14	基本的な面接技術について実技指導を通して習得 終結とアフターケア	講義内容をよく確認し、ソーシャルワークの過程についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）。	
15	ふり返りとまとめ	ここまでの演習内容の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また自身のコミュニケーションについて自己覚知を進めること（120分）。	

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902001
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会福祉士・精神保健福祉士に求められる具体的な援助場面を想定した実技指導を通して、相談援助に係る知識や技術を実践的に習得することができる。 相談援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶことで、相談援助を概念化、理論化し、体系立てて捉えることができる。 相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を把握することができる。
履修上の注意事項	社会福祉士の相談援助場面を想定したグループによる学習が中心となるので積極的な姿勢で授業に参加すること。授業の前には配布されている資料を熟読しておくこと。授業後は専門用語の確認と授業内容を振り返っておくこと。
評価方法	授業態度、積極的姿勢から20% 課題レポートの提出&内容から30% 試験から50%
テキスト	『ソーシャルワーク基本用語辞典』 2013年刊 川島書店
参考文献	必要に応じて配布、もしくは指示する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	アイスブレイキング、授業についてのオリエンテーション、事例研究の意義を理解する		
2	面接のプロセス理解とその重要性について考察を深める		
3	重複(身体・知的)障害(社会的排除を含む) 事例の理解		
4	重複(身体・知的)障害(社会的排除を含む) 相談援助場面及び過程の理解		
5	重複(身体・知的)障害(社会的排除を含む) 実技指導(ロールプレイ、モデリング)		
6	子ども(虐待を含む) 事例の理解		
7	子ども(虐待を含む) 相談援助場面及び過程の理解		
8	子ども(虐待を含む) 実技指導(ロールプレイ、モデリング)		
9	精神(発達)障害(社会的排除を含む) 事例の理解		
10	精神(発達)障害(社会的排除を含む) 相談援助場面及び過程の理解		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	精神（発達）障害（社会的排除を含む） 実技指導（ロールプレイ、モデリング）		
12	高齢者（虐待を含む） 事例の理解		
13	高齢者（虐待を含む） 相談援助場面及び過程の理解		
14	高齢者（虐待を含む） 実技指導（ロールプレイ、モデリング）		
15	相談援助場面及び過程の振り返りを通して、 アセスメントからプランニングまでの 面接過程の再確認		

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902003
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	相談援助に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶ。具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレーン)やグループワークを中心とする演習形態にて実施し、必要な力量を身につけることができる。
履修上の注意事項	・相談援助演習 を修得済であることを前提とする。演習 での学びを踏まえて取り組んでください。 ・次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 ・演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)。 ・演習形態での授業のため、各回のグループワークやロールプレイ等への主体的な参加(発言)を求める。 ・毎回の講義を積み上げていくため、出席は必須と考えてください。
評価方法	演習の参加態度と授業内の課題への取り組み(40%)、課題レポート(30%)、学期末総合課題(30%)により評価します。
テキスト	講義内にて、適宜紹介・配布します
参考文献	講義内にて、適宜紹介します
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	シラバスの説明。相談援助演習の意義、方法の理解。(演習 のふり返りを含む)	演習 をふり返るとともに、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 ・演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)。	
2	ソーシャルワークの過程(インターク・アセスメント・プランニング等)の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	身体障がい（社会的排除を含む）の事例の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
4	身体障がい（社会的排除を含む）の相談援助場面及び過程の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
5	身体障がい（社会的排除を含む）の実技指導（ロールプレイ・モデリング）	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
6	知的障がい（社会的排除を含む）の事例の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
7	知的障がい（社会的排除を含む）の相談援助場面及び過程の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
8	知的障がい（社会的排除を含む）の実技指導（ロールプレイ・モデリング）	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
9	精神障がい（社会的排除を含む）の事例の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
10	精神障がい（社会的排除を含む）の相談援助場面及び過程の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
11	精神障がい（社会的排除を含む）の実技指導（ロールプレイ・モデリング）	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	
12	高齢者（虐待を含む）の事例の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	高齢者（虐待を含む）の相談援助場面及び過程の理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）． 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）．	
14	高齢者（虐待を含む）の実技指導（ロールプレイ・モデリング）	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（120分）． 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）．	
15	ふり返りとまとめ	これまでの演習内容をふり返り復習を行っておくこと（120分）． 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと．また今後の演習における自身の課題を整理すること（120分）．	

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902004
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
増田 公香	

詳細情報

授業の目的・到達目標	相談援助の知識と技術に係るほかの科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができることをめざす。総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的にとりあげること。個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする演習形態により実施する。
履修上の注意事項	小集団による話し合いやグループワークを行うので、積極的に参加することを求める。本演習では、社会福祉士、精神保健福祉士の国家資格の取得を前提とし、専門職として就労することを目標にする学生が望ましい。また、指定された課題について、あらかじめ調べ準備を整え、不明な箇所については自身で調べ直す予習復習を求める。
評価方法	授業態度・発表の内容・技能習得状況が50%、予習復習による自主的学習態度・状況が10%、課題の内容・提出状況・学期末時の課題が40%による総合評価とする。
テキスト	講義時に紹介する
参考文献	講義時に紹介する
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902102
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	隈 直子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
隈 直子

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、具体的な援助場面を想定した実技指導やグループワーク等を通して実践的に習得することができる。 総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶことで、相談援助を専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てることができる。 相談援助の知識と技術に係るほかの科目との関連性を把握できる。
履修上の注意事項	相談援助場面を想定したグループによる学習が中心となるので、積極的な姿勢で授業に参加することを求めます。 授業前には、次回授業の内容を確認し、資料や講義科目のテキスト等を読んでおくこと。わからない用語等があれば、下調べをしておく。授業に関連する文献や新聞、ニュースに目を通す。(120分) 授業後は、授業や話し合い等をふり返し、授業内容を整理する。わからない用語等があれば、講義科目のテキスト等を読み、確認する。(120分)
評価方法	授業態度・発表の内容・技能習得状況が50%、課題レポートおよび学期末時の課題が50%とします。
テキスト	なし
参考文献	授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	児童(虐待を含む)に関する事例の理解と実技指導		
2	児童(虐待を含む)に関する相談援助場面および相談援助過程の理解		
3	児童(虐待を含む)に関するアセスメントからプランニングまでの理解と実技		
4	ひとり親家庭・家庭内暴力(DV)に関する事例の理解と実技指導		
5	ひとり親家庭・家庭内暴力(DV)に関する相談援助場面および過程の理解		
6	ひとり親家庭・家庭内暴力(DV)に関するアセスメントからプランニングまでの理解と実技		
7	低所得者に関する事例の理解と実技指導		
8	低所得者に関する相談援助場面および過程の理解		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	低所得者に関するアセスメントからプランニングまでの理解と実技		
10	ホームレス・ニートに関する事例の理解と実技指導		
11	ホームレス・ニートに関する相談援助場面と過程の理解		
12	ホームレス・ニートに関するアセスメントからプランニングまでの理解と実技		
13	更生保護に関する事例の理解と相談援助場面および過程を想定した実技指導		
14	危機状態（権利擁護活動を含む）事例の理解と相談援助場面および過程を想定した実技指導		
15	振り返りとまとめ（面接からプランニングに至る過程の理解）		

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902107
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
増田 公香

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>社会福祉士・精神保健福祉士に求められる具体的な援助場面を想定した実技指導を通して、相談援助に係る知識や技術を実践的に習得することができる。</p> <p>相談援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶことで、相談援助を概念化、理論化し、体系立てて捉えることができる。</p> <p>相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を把握することができる。</p>
履修上の注意事項	<p>社会福祉士の相談援助場面を想定したグループによる学習が中心となるので、積極的な姿勢で授業に参加すること。授業の前には配布されている資料を熟読しておくこと。授業後は専門用語の確認と授業内容を振り返っておくこと。</p>
評価方法	<p>授業態度、積極的姿勢から20%</p> <p>課題レポートの提出&内容から30%</p> <p>試験から50%</p>
テキスト	『ソーシャルワーク基本用語辞典』 2013年刊 川島書店
参考文献	必要に応じて配布、もしくは指示する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	シラバスの説明、児童(虐待・貧困を含む) 事例の理解と実技指導		
2	児童(虐待・貧困を含む) 相談援助場面及び過程の理解		
3	児童(虐待・貧困を含む) アセスメントからプランニングまでの理解と実技		
4	ひとり親家庭・家庭内暴力(D.V) 事例の理解と実技指導		
5	ひとり親家庭・家庭内暴力(D.V) 相談援助場面及び過程の理解		
6	ひとり親家庭・家庭内暴力(D.V) アセスメントからプランニングまでの理解と実技		
7	低所得者 事例の理解とアセスメント		
8	低所得者 相談援助場面及び過程の理解		
9	低所得者 チームアプローチを活用したプランニング		
10	ホームレス・ニート 事例の理解とアセスメント		
11	ホームレス・ニート 相談援助場面及び過程の理解		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	ホームレス・ニート 社会資源の活用・調整・開発についての理解		
13	事例の理解と相談援助場面及び過程を想定した実技指導 更生保護		
14	事例の理解と相談援助場面及び過程を想定した実技指導 危機状態（権利擁護活動を含む）		
15	振り返りとまとめ（面接場面の理解、プランニングに至るまでの過程の理解）		

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902109
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶ。具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）やグループワークを中心とする演習形態にて実施し、必要な力量を獲得することができる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助演習 を修得済であることを前提とする。 ・演習形態の授業であるため、各回のグループワークやロールプレイ等への主体的な参加（発言）を求めます。 ・次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと（60分）。 ・演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（60分）。 ・講義を積み上げて、ねらいの達成、実習の充実を目指すため、出席は必須と考えてください。
評価方法	演習の参加態度と授業内の課題への取り組み（40%）、課題レポート（30%）、学期末総合課題（30%）により評価します。
テキスト	テキストは使用しません。必要な資料等は講義内にて、適宜紹介・配布します。
参考文献	講義内にて、適宜紹介します
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 児童（虐待を含む）	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと（120分）。	
2	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 児童（虐待を含む）	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
3	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 児童(虐待を含む)	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと(120分)。	
4	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ひとり親家庭・家庭内暴力(DV)	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと(120分)。	
5	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ひとり親家庭・家庭内暴力(DV)	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと(120分)。	
6	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ひとり親家庭・家庭内暴力(DV)	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと(120分)。	
7	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 低所得者	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと(120分)。	
8	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 低所得者	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと(120分)。	
9	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 低所得者	講義内容をよく確認し、高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと。また実践における自身の課題を見出すこと(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ホームレス・ニート	講義内容をよく確認し，高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）． 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと．また実践における自身の課題を見出すこと（120分）．	
11	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ホームレス・ニート	講義内容をよく確認し，高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）． 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと．また実践における自身の課題を見出すこと（120分）．	
12	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 ホームレス・ニート	講義内容をよく確認し，高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）． 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと．また実践における自身の課題を見出すこと（120分）．	
13	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 更生保護	講義内容をよく確認し，高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）． 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと．また実践における自身の課題を見出すこと（120分）．	
14	事例の理解と相談援助過程及び場面を想定した実技指導 危機状態（権利擁護活動を含む）	講義内容をよく確認し，高齢者福祉論や児童副論等についてのテキスト等を読み直し講義科目の復習を行っておくこと（120分）． 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと．また実践における自身の課題を見出すこと（120分）．	
15	ふり返りとまとめ	ここまでの演習内容の復習を行っておくこと（120分）． 演習後は今後の演習実習に向けた自身の課題を整理しておくこと（120分）．	

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902202
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	相談援助に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶ。具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレイング等)やグループワークを中心とする演習形態にて実施し、必要な力量を獲得・実施することができる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助演習・・・を修得済であることを前提とする。 ・演習形態の授業であるため、各回のグループワークやロールプレイ等への主体的な参加(発言)を求めます。 ・次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと(120分)。 ・演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)。 ・講義を積みあげて、「ねらい」の達成、実習の充実を目指すため、出席は必須と考えてください。
評価方法	演習の参加態度と講義内の課題への取り組み(40%)、課題レポート(30%)、学期末総合課題(30%)により評価します。
テキスト	講義内にて、適宜紹介・配布します
参考文献	講義内にて、適宜紹介します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	コミュニティワーク及びコミュニティソーシャルワークの理解	これまでの演習内容をふり返るとともに、テキスト等を読んで講義科目の復習を行っておくこと(120分) 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)	
2	コミュニティワークの展開過程の理解(地域問題との出会い・活動の準備・組織化等)	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目(地域福祉論)の復習を行っておくこと(120分) 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと(120分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
3	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例を理解し，地域アセスメントの実技指導	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
4	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例を理解し，地域住民に対するニーズ把握の実技指導	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
5	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から，地域住民に対するアウトリーチを理解	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
6	地域住民に対するアウトリーチの実技指導	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
7	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から，地域福祉（活動）計画の理解	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
8	地域福祉（活動）計画の実技指導	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
9	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から，ネットワーキングを理解	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
10	ネットワーキングの実技指導	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
11	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から，社会資源の活用・調整・開発を理解	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
12	社会資源の活用・調整・開発の実技指導	次回の講義内容をよく確認し，テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い，分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から、サービス評価を理解	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
14	サービス評価の実技指導	次回の講義内容をよく確認し、テキスト等を読んで講義科目（地域福祉論）の復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと（120分）	
15	ふり返りとまとめ	演習内容をふり返りの復習を行っておくこと（120分） 演習後は内容についての復習を行い、分からなかった専門用語等を調べておくこと、また実習に向けた自身の課題を整理しておくこと（120分）	

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902203
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	隈 直子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
隈 直子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、具体的な援助場面を想定した実技指導やグループワーク等を通して実践的に習得することができる。 総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶことで、相談援助を概念化し理論化し体系立てることができる。 相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を把握できる。
履修上の注意事項	・グループによる学習が中心となるので、積極的な姿勢で授業に参加することと、これまで学んできた相談援助演習・・・を活かして授業に取り組むことを求めます。 ・授業前には、次回授業で取り上げる内容について資料や関連する講義科目のテキスト等を読んでおく。わからない事項があれば、下調べをしておく。(120分) ・授業後には、授業内容をふり返り、分からなかった用語等があれば、講義科目のテキスト等を読み直し、確認する(120分)。
評価方法	授業態度・発表の内容・技能習得状況(50%)、課題レポート・学期末時の課題(50%)により評価します。
テキスト	なし
参考文献	授業内で紹介します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	コミュニティワーク及びコミュニティソーシャルワークの理解		
2	コミュニティソーシャルワークの展開過程の理解(地域との出会い・活動準備・活動主体の組織化等)		
3	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例の理解と実技指導 地域アセスメント		
4	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例の理解と実技指導 地域住民に対するニーズ把握		
5	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から地域住民に対するアウトリーチの理解		
6	地域住民に対するアウトリーチの実技指導		
7	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から地域福祉(活動)計画の理解		
8	地域福祉(活動)計画の実技指導		
9	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例からネットワーキングの理解		
10	ネットワーキングの実技指導		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から社会資源の活用・調整・開発の理解		
12	社会資源の活用・調整・開発の実技指導		
13	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例からサービス評価の理解		
14	サービス評価の実技指導		
15	全体のふり返し、まとめ		

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902208
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
増田 公香

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会福祉士・精神保健福祉士に求められる具体的な援助場面を想定した実技指導を通して、相談援助に係る知識や技術を実践的に習得することができる。 相談援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶことで、相談援助を概念化、理論化し、体系立てて捉えることができる。 相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を把握することができる。
履修上の注意事項	グループによる学習が中心となるので、積極的な姿勢で授業に参加すること。 これまで学んできた相談援助演習・・・を活かしつつ、関連する領域の科目も視野に入れて事例等に取り組むこと。授業の前には配布されている資料を熟読しておくこと。授業後は専門用語の確認と授業内容を振り返っておくこと。
評価方法	授業態度、積極的姿勢から20% 課題レポートの提出&内容から30% 試験から50%
テキスト	『ソーシャルワーク基本用語辞典』 2013年刊 川島書店
参考文献	必要に応じて配布、もしくは指示する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	コミュニティワーク及びコミュニティソーシャルワークの理解		
2	コミュニティワークの展開過程の理解(地域問題との出会い・活動の準備・組織化等)		
3	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例の理解、地域アセスメントの実技指導		
4	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例の理解、地域住民に対するニーズ把握の実技指導		
5	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から、地域住民に対するアウトリーチの理解		
6	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例の振り返りから、CSWの役割理解		
7	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から、地域福祉(活動)計画の理解		
8	地域福祉(活動)計画の実技指導、地域福祉の基盤整備と活動主体の組織化の理解		
9	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から、ネットワーキングの理解		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	地域福祉の基盤整備と活動主体の組織化、ネットワーキングの学びの振り返りからCSWの役割理解		
11	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から、社会資源の活用・調整・開発の理解		
12	社会資源の活用・調整・開発に関する事例から地域福祉の理解の深化		
13	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例から、サービス評価の理解		
14	サービス評価の実技指導、地域福祉の基盤整備と開発について理解の深化		
15	コミュニティソーシャルワーク、コミュニティワークの振り返り、体系の理解		

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902301
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
田島 望	

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を理解できる。 2. 社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について実践的に習得できる。 3. 専門的援助技術として概念化し、理論化して体系立てていくことができる。
履修上の注意事項	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。 実習内容の整理をしておくこと(60分)。 演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。 履修の前提として、相談援助演習 ~ , 相談援助実習指導 ・ 及び相談援助実習を終えていること。
評価方法	講義中のレポート提出及びレポート内容の評価(30%) 個別および集団での発表に際して、発表内容やプレゼンテーションの評価(70%) 、 合計で評価する。
テキスト	テキストは使用しません。必要な資料等は講義内にて適宜、案内・配布します。
参考文献	講義内にて適宜案内します。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	演習内容を説明し、個別指導や集団指導(スーパービジョン)の意義について理解させる。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。 実習内容の整理をしておくこと(60分)。 演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
2	実習で体験した事例をまとめ、その体験を客観化する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。 実習内容の整理をしておくこと(60分)。 演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
3	実習体験(障害者自立支援を含む)について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。 実習内容の整理をしておくこと(60分)。 演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
4	実習体験(児童(虐待を含む))について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
5	実習体験(家庭内暴力(D.V))について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
6	実習体験(低所得者・ホームレス)について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
7	実習体験(高齢者(虐待を含む))について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
8	実習体験(更生保護)へのスーパービジョンから、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
9	実習体験(地域福祉の基盤整備と開発)について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
10	実習体験事例を通して、相談援助の概念化や一般化、体系化を図る。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
11	実習体験事例から、相談援助に必要な知識と技術を習得する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
12	実習体験事例(実践報告を含む)を報告し、教員からの実技指導も含めてスーパービジョンを受ける。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
13	教員からのスーパービジョンをもとに、利用者の理解や自己覚知について洞察へと導く。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	各事例に共通するソーシャルワークの機能と専門性についてまとめ、発表させて理解させる。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論（児童、障害、高齢等の分野）の再学習をしておくこと（60分）．実習内容の整理をしておくこと（60分）． 演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと（120分）．	
15	ソーシャルワークの専門性に関連する価値、知識、技術について理解、統合させる。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論（児童、障害、高齢等の分野）の再学習をしておくこと（60分）．実習内容の整理をしておくこと（60分）． 演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理するとともに自身の実践に向けた課題についても整理しておくこと（120分）．	

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902303
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
増田 公香

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>社会福祉士・精神保健福祉士に求められる具体的な援助場面を想定した実技指導を通して、相談援助に係る知識や技術を実践的に習得することができる。</p> <p>相談援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助事例を体系的に学ぶことで、相談援助を概念化、理論化し、体系立てて捉えることができる。</p> <p>相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を把握することができる。</p>
履修上の注意事項	<p>原則として「相談援助実習」の単位修得済の者のみが履修可能。</p> <p>社会福祉士の相談援助場面を想定した授業形態になるため、教員から発言やロールプレイ等を求められることが多くなる。主体的、積極的に授業へ臨むこと。授業の前には配布されている資料を熟読しておくこと。授業後は専門用語の確認と授業内容を振り返っておくこと。毎回の出席は必須である。</p>
評価方法	積極的な態度20%、レポート提出30%、レポートの内容50%
テキスト	指定しない、必要に応じて資料を配布する
参考文献	特になし
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	シラバスの説明・スーパービジョンの意義について理解する		
2	相談援助に係る知識と技術について個別体験(実習体験を含む)の確認作業		
3	相談援助に係る知識と技術について個別体験(実習体験を含む)の概念化・一般化の理解		
4	低所得者の事例の報告とスーパービジョンから相談援助の知識と技術を実践的に習得する		
5	高齢者分野の事例の報告とスーパービジョンから相談援助の知識と技術を実践的に習得する		
6	障害者分野の事例の報告とスーパービジョンから相談援助の知識と技術を実践的に習得する		
7	子ども分野の事例の報告とスーパービジョンから相談援助の知識と技術を実践的に習得する		
8	地域包括分野の事例の報告とスーパービジョンから相談援助の知識と技術を実践的に習得する		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	病院分野の事例の報告とスーパービジョンから相談援助の知識と技術を実践的に習得する		
10	社協分野の事例の報告とスーパービジョンから相談援助の知識と技術を実践的に習得する		
11	各実習場面の理解とスーパービジョンから相談援助の概念化・一般化の理解の深化を図る		
12	各実習場面の理解とスーパービジョンから相談援助に求められる知識と技術の理解と応用		
13	各実習場面の理解とスーパービジョンから利用者理解とSW自身の自己覚知について省察する		
14	各実習場面の理解とスーパービジョンを基にソーシャルワーカーに共通する専門性の理解の深化		
15	ソーシャルワークの専門性とワーカーの価値、倫理、技術、知識についてまとめて発表する		

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902304
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	隈 直子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
隈 直子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助の知識と技術にかかるほかの科目との関連性を理解できる。 ・社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助にかかる知識と技術について実践的に習得する。 ・専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる。
履修上の注意事項	<p>履修にあたっては、相談援助実習指導 ・ および相談援助実習を終えていること。</p> <p>授業前に、次回授業で取り上げる内容について文献や資料を集め、報告等の準備を行って授業に臨む。次回授業で取り扱う内容に関して実習での体験があれば、実習記録等を読み返しておく。(120分)</p> <p>授業後は、授業やディスカッションをふり返り、内容を整理する。わからない用語等があれば、講義科目のテキスト等で読み返す。(120分)</p>
評価方法	課題の提出物(50%)、演習での発表内容(50%)により評価する。
テキスト	特になし。授業内で適宜資料を配布する。
参考文献	授業内で適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、個別指導・集団指導(スーパービジョン)の意義について理解する。		
2	実習で体験した事例をまとめ、体験を客観的に理解する。		
3	実習体験事例を通して、相談援助の概念化や一般化、体系化を図る。		
4	実習体験(障害者自立支援を含む)について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。		
5	実習体験(児童(虐待を含む))について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。		
6	実習体験(家庭内暴力)について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。		
7	実習体験(低所得者・ホームレス)について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。		
8	実習体験(高齢者(虐待を含む))について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	更生保護の事例を理解し、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。		
10	実習体験（地域福祉の基盤整備と開発）について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。		
11	社会的排除の事例を理解し、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。		
12	実習体験事例を通して、相談援助の必要な知識と技術を習得する。		
13	スーパービジョンを基に、利用者理解について洞察する。		
14	実習体験を活かして、ソーシャルワークの専門性や機能について発表し、理解を深める		
15	ソーシャルワークの専門性に関する価値・知識・技術について理解し、今後の学習課題を検討する。		

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902302
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 3, 金 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
田島 望	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を理解できる。</p> <p>2. 社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について実践的に習得できる。</p> <p>3. 専門的援助技術として概念化し、理論化して体系立てていくことができる。</p>
履修上の注意事項	<p>演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。</p> <p>実習内容の整理をしておくこと(60分)。</p> <p>演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。</p> <p>履修の前提として、相談援助演習 ~ , 相談援助実習指導 ・ 及び相談援助実習を終えていること。</p>
評価方法	<p>講義中のレポート提出及びレポート内容の評価(30%)</p> <p>個別および集団での発表に際して、発表内容やプレゼンテーションの評価(70%)</p> <p>、 合計で評価する。</p>
テキスト	テキストは使用しません。必要な資料等は講義内にて適宜、案内・配布します。
参考文献	講義内にて適宜案内します。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	演習内容を説明し、個別指導や集団指導(スーパービジョン)の意義について理解させる。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。 演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
2	実習で体験した事例をまとめ、その体験を客観化する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。 演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
3	実習体験(障害者自立支援を含む)について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。 演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
4	実習体験(児童(虐待を含む))について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
5	実習体験(家庭内暴力(D.V))について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
6	実習体験(低所得者・ホームレス)について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
7	実習体験(高齢者(虐待を含む))について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
8	実習体験(更生保護)へのスーパービジョンから、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
9	実習体験(地域福祉の基盤整備と開発)について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
10	実習体験事例を通して、相談援助の概念化や一般化、体系化を図る。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
11	実習体験事例から、相談援助に必要な知識と技術を習得する。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
12	実習体験事例(実践報告を含む)を報告し、教員からの実技指導も含めてスーパービジョンを受ける。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	
13	教員からのスーパービジョンをもとに、利用者の理解や自己覚知について洞察へと導く。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)の再学習をしておくこと(60分)。実習内容の整理をしておくこと(60分)。演習後は、体験上学んだ内容をまとめて整理しておくこと(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	各事例に共通するソーシャルワークの機能と専門性についてまとめ、発表させて理解させる。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論（児童、障害、高齢等の分野）の再学習をしておくこと（60分）．実習内容の整理をしておくこと（60分）． 演習後は、体験上學んだ内容をまとめて整理しておくこと（120分）．	
15	ソーシャルワークの専門性に関連する価値、知識、技術について理解、統合させる。	演習の基となるソーシャルワーク論や福祉各論（児童、障害、高齢等の分野）の再学習をしておくこと（60分）．実習内容の整理をしておくこと（60分）． 演習後は、体験上學んだ内容をまとめて整理するとともに自身の実践に向けた課題についても整理しておくこと（120分）．	

基本情報

科目名	相談援助演習
時間割コード	0223902306
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
増田 公香

詳細情報

授業の目的・到達目標	相談援助にかかわるほかの科目との関連性を視野に入れながら、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助にかかわる知識と技術を実践的に習得し、専門的援助として概念化し理論化して体系立てていくことができる能力を養う。
履修上の注意事項	事前に、次回取り上げる内容について資料を集め、報告等の準備を十分に行って授業に臨む(60分)。 授業後はテキストや資料を読み直し、内容を整理する(60分)。 履修にあたっては、相談援助実習指導・および相談援助実習を終えていること。
評価方法	課題の提出物(50%)、演習での発表内容(50%)により評価する。
テキスト	特になし。授業内に適宜資料を配布する。
参考文献	授業内で適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	演習内容を説明し、個別指導や集団指導(スーパービジョン)の意義を理解する。		
2	実習で体験した事例をまとめ、体験を客観的に理解する。		
3	実習体験事例を通して、相談援助の概念化や一般化、体系化を図る。		
4	実習体験(障害者自立支援を含む)について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。		
5	実習体験(児童(虐待を含む))について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。		
6	実習体験(家庭内暴力)について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。		
7	実習体験(低所得者・ホームレス)について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。		
8	実習体験(高齢者(虐待を含む))について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。		
9	更生保護の事例を理解し、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。		
10	実習体験(地域福祉の基盤整備と開発)について、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	社会的排除の事例を理解し、相談援助の知識と技術を実践的に習得する。		
12	実習体験事例を通して、相談援助に必要な知識と技術を習得する。		
13	スーパービジョンをもとに、利用者理解について洞察する。		
14	実習体験を活かして、ソーシャルワークの専門性や機能について発表し、理解を深める。		
15	ソーシャルワークの専門性に関する価値・知識・技術について理解し、今後の学習課題を検討する。		

基本情報

科目名	相談援助実習
時間割コード	0223902401
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得できる。</p> <p>2. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>3. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>・相談援助実習の履修にあたっては、先修科目を満たしておくことが最低条件であるが、相談援助実習指導 および相談援助実習指導 での指導内容、レポート等における実習先の事前学習内容を十分復習して履修すること。</p> <p>・実習は原則一か所の実習先で23日間、180時間以上の実習となり、3年次2～3月、あるいは4年次8～9月に配属する。実習前の体調管理には十分留意するとともに、積極的な予習を怠らないこと。</p>
評価方法	180時間(一日8時間・23日)以上の実習時間、実習日誌、実習終了レポートの内容(30%)および実習先の実習評価表等(70%)の合計で評価する。
テキスト	『談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>健康診断等の方法により、学生が良好な健康状態にあることを確認したうえで配属実習を行わせる。</p> <p>実習指導教員は随時、実習先を訪問し、実習内容及び指導体制、実習中のリスク管理等を実習先と十分協議し、確認しあう。</p> <p>巡回指導や帰学指導等を通して、以下のア～クについて学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。</p> <p>実習計画は、実習生・実習指導教員・実習指導者の三者で協議して作成する。</p> <p>ア.利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成を指導する。</p> <p>イ.利用者が必要とするサービスや支援の把握、及び支援計画の作成を指導する。</p> <p>ウ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成を指導する。</p> <p>エ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護および支援(エンパワメントを含む)とその評価方法を指導する。</p> <p>オ.多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際を理解させる。</p> <p>カ.社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任を理解するように指導する。</p> <p>キ.施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解するよう指導する。</p> <p>ク.当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることの役割確認を含意したアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関して理解するよう指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習
時間割コード	0223902413
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	福崎 千鶴
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
福崎 千鶴	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得できる。</p> <p>2. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>3. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>・相談援助実習の履修にあたっては、先修科目を満たしておくことが最低条件であるが、相談援助実習指導 および相談援助実習指導 での指導内容、レポート等における実習先の事前学習内容を十分復習して履修すること。</p> <p>・実習は原則一か所の実習先で23日間、180時間以上の実習となり、3年次2～3月、あるいは4年次8～9月に配属する。実習前の体調管理には十分留意するとともに、積極的な予習を怠らないこと。</p>
評価方法	180時間(一日8時間・23日)以上の実習時間、実習日誌、実習終了レポートの内容(30%)および実習先の実習評価表等(70%)の合計で評価する。
テキスト	『談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>健康診断等の方法により、学生が良好な健康状態にあることを確認したうえで配属実習を行わせる。 実習指導教員は随時、実習先を訪問し、実習内容及び指導体制、実習中のリスク管理等を実習先と十分協議し、確認しあう。 巡回指導や帰学指導等を通して、以下のア～クについて学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。</p> <p>実習計画は、実習生・実習指導教員・実習指導者の三者で協議して作成する。</p> <p>ア.利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成を指導する。 イ.利用者や必要とするサービスや支援の把握、及び支援計画の作成を指導する。 ウ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成を指導する。 エ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護および支援(エンパワメントを含む)とその評価方法を指導する。 オ.多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際を理解させる。 カ.社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任を理解するように指導する。 キ.施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解するよう指導する。 ク.当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることの役割確認を含意したアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関して理解するよう指導する。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習
時間割コード	0223902403
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得できる。</p> <p>2. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>3. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>・相談援助実習の履修にあたっては、先修科目を満たしておくことが最低条件であるが、相談援助実習指導 および相談援助実習指導 での指導内容、レポート等における実習先の事前学習内容を十分復習して履修すること。</p> <p>・実習は原則一か所の実習先で23日間、180時間以上の実習となり、3年次2～3月、あるいは4年次8～9月に配属する。実習前の体調管理には十分留意するとともに、積極的な予習を怠らないこと。</p>
評価方法	180時間(一日8時間・23日)以上の実習時間、実習日誌、実習終了レポートの内容(30%)および実習先の実習評価表等(70%)の合計で評価する。
テキスト	テキスト 『談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>健康診断等の方法により、学生が良好な健康状態にあることを確認したうえで配属実習を行わせる。</p> <p>実習指導教員は随時、実習先を訪問し、実習内容及び指導体制、実習中のリスク管理等を実習先と十分協議し、確認しあう。</p> <p>巡回指導や帰学指導等を通して、以下のア～クについて学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。</p> <p>実習計画は、実習生・実習指導教員・実習指導者の三者で協議して作成する。</p> <p>ア.利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成を指導する。</p> <p>イ.利用者や必要とするサービスや支援の把握、及び支援計画の作成を指導する。</p> <p>ウ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成を指導する。</p> <p>エ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護および支援(エンパワメントを含む)とその評価方法を指導する。</p> <p>オ.多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際を理解させる。</p> <p>カ.社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任を理解するように指導する。</p> <p>キ.施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解するよう指導する。</p> <p>ク.当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であること役割確認を含意したアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関して理解するよう指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習
時間割コード	0223902404
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	隈 直子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
隈 直子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得できる。</p> <p>2. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>3. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>・相談援助実習の履修にあたっては、先修科目を満たしておくことが最低条件であるが、相談援助実習指導 および相談援助実習指導 での指導内容、レポート等における実習先の事前学習内容を十分復習して履修すること。</p> <p>・実習は原則一か所の実習先で23日間、180時間以上の実習となり、3年次2～3月、あるいは4年次8～9月に配属する。実習前の体調管理には十分留意するとともに、積極的な予習を怠らないこと。</p>
評価方法	180時間(一日8時間・23日)以上の実習時間、実習日誌、実習終了レポートの内容(30%)および実習先の実習評価表等(70%)の合計で評価する。
テキスト	『談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>健康診断等の方法により、学生が良好な健康状態にあることを確認したうえで配属実習を行わせる。</p> <p>実習指導教員は随時、実習先を訪問し、実習内容及び指導体制、実習中のリスク管理等を実習先と十分協議し、確認しあう。</p> <p>巡回指導や帰学指導等を通して、以下のア～クについて学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。</p> <p>実習計画は、実習生・実習指導教員・実習指導者の三者で協議して作成する。</p> <p>ア.利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成を指導する。</p> <p>イ.利用者とその需要の把握及び支援計画の作成を指導する。</p> <p>ウ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成を指導する。</p> <p>エ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護および支援(エンパワメントを含む)とその評価方法を指導する。</p> <p>オ.多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際を理解させる。</p> <p>カ.社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任を理解するように導く。</p> <p>キ.施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解するよう指導する。</p> <p>ク.当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることへの働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関して理解するよう指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習
時間割コード	0223902408
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得できる。</p> <p>2. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>3. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>・相談援助実習の履修にあたっては、先修科目を満たしておくことが最低条件であるが、相談援助実習指導 および相談援助実習指導 での指導内容、レポート等における実習先の事前学習内容を十分復習して履修すること。</p> <p>・実習は原則一か所の実習先で23日間、180時間以上の実習となり、3年次2～3月、あるいは4年次8～9月に配属する。実習前の体調管理には十分留意するとともに、積極的な予習を怠らないこと。</p>
評価方法	180時間(一日8時間・23日)以上の実習時間、実習日誌、実習終了レポートの内容(30%)および実習先の実習評価表等(70%)の合計で評価する。
テキスト	『談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>健康診断等の方法により、学生が良好な健康状態にあることを確認したうえで配属実習を行わせる。</p> <p>実習指導教員は随時、実習先を訪問し、実習内容及び指導体制、実習中のリスク管理等を実習先と十分協議し、確認しあう。</p> <p>巡回指導や帰学指導等を通して、以下のア～クについて学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。</p> <p>実習計画は、実習生・実習指導教員・実習指導者の三者で協議して作成する。</p> <p>ア.利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成を指導する。</p> <p>イ.利用者が必要とするサービスや支援の把握、及び支援計画の作成を指導する。</p> <p>ウ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成を指導する。</p> <p>エ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護および支援(エンパワメントを含む)とその評価方法を指導する。</p> <p>オ.多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際を理解させる。</p> <p>カ.社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任を理解するように指導する。</p> <p>キ.施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解するよう指導する。</p> <p>ク.当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることの役割確認を含意したアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関して理解するよう指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習
時間割コード	0223902413
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	福崎 千鶴
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
福崎 千鶴	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得できる。</p> <p>2. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>3. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>・相談援助実習の履修にあたっては、先修科目を満たしておくことが最低条件であるが、相談援助実習指導 および相談援助実習指導 での指導内容、レポート等における実習先の事前学習内容を十分復習して履修すること。</p> <p>・実習は原則一か所の実習先で23日間、180時間以上の実習となり、3年次2～3月、あるいは4年次8～9月に配属する。実習前の体調管理には十分留意するとともに、積極的な予習を怠らないこと。</p>
評価方法	180時間(一日8時間・23日)以上の実習時間、実習日誌、実習終了レポートの内容(30%)および実習先の実習評価表等(70%)の合計で評価する。
テキスト	『談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>健康診断等の方法により、学生が良好な健康状態にあることを確認したうえで配属実習を行わせる。 実習指導教員は随時、実習先を訪問し、実習内容及び指導体制、実習中のリスク管理等を実習先と十分協議し、確認しあう。 巡回指導や帰学指導等を通して、以下のア～クについて学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。</p> <p>実習計画は、実習生・実習指導教員・実習指導者の三者で協議して作成する。</p> <p>ア.利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成を指導する。 イ.利用者や必要とするサービスや支援の把握、及び支援計画の作成を指導する。 ウ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成を指導する。 エ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護および支援(エンパワメントを含む)とその評価方法を指導する。 オ.多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際を理解させる。 カ.社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任を理解するように指導する。 キ.施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解するよう指導する。 ク.当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることの役割確認を含意したアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関して理解するよう指導する。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習
時間割コード	0223902402
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	3
主担当教員	福崎 千鶴
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
福崎 千鶴

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得できる。</p> <p>2. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>3. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>・相談援助実習の履修にあたっては、先修科目を満たしておくことが最低条件であるが、相談援助実習指導 および相談援助実習指導 での指導内容、レポート等における実習先の事前学習内容を十分復習して履修すること。</p> <p>・実習は原則一か所の実習先で23日間、180時間以上の実習となり、3年次2～3月、あるいは4年次8～9月に配属する。実習前の体調管理には十分留意するとともに、積極的な予習を怠らないこと。</p>
評価方法	180時間(一日8時間・23日)以上の実習時間、実習日誌、実習終了レポートの内容(30%)および実習先の実習評価表等(70%)の合計で評価する。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>健康診断等の方法により、学生が良好な健康状態にあることを確認したうえで配属実習を行わせる。</p> <p>実習指導教員は随時、実習先を訪問し、実習内容及び指導体制、実習中のリスク管理等を実習先と十分協議し、確認しあう。</p> <p>巡回指導や帰学指導等を通して、以下のア～クについて学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。</p> <p>実習計画は、実習生・実習指導教員・実習指導者の三者で協議して作成する。</p> <p>ア.利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成を指導する。</p> <p>イ.利用者が必要とするサービスや支援の把握、及び支援計画の作成を指導する。</p> <p>ウ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成を指導する。</p> <p>エ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護および支援(エンパワメントを含む)とその評価方法を指導する。</p> <p>オ.多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際を理解させる。</p> <p>カ.社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任を理解するように指導する。</p> <p>キ.施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解するよう指導する。</p> <p>ク.当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることの役割確認を含意したアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関して理解するよう指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習
時間割コード	0223902405
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	3
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得できる。</p> <p>2. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>3. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>・相談援助実習の履修にあたっては、先修科目を満たしておくことが最低条件であるが、相談援助実習指導 および相談援助実習指導 での指導内容、レポート等における実習先の事前学習内容を十分復習して履修すること。</p> <p>・実習は原則一か所の実習先で23日間、180時間以上の実習となり、3年次2～3月、あるいは4年次8～9月に配属する。実習前の体調管理には十分留意するとともに、積極的な予習を怠らないこと。</p>
評価方法	180時間(一日8時間・23日)以上の実習時間、実習日誌、実習終了レポートの内容(30%)および実習先の実習評価表等(70%)の合計で評価する。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>健康診断等の方法により、学生が良好な健康状態にあることを確認したうえで配属実習を行わせる。</p> <p>実習指導教員は随時、実習先を訪問し、実習内容及び指導体制、実習中のリスク管理等を実習先と十分協議し、確認しあう。</p> <p>巡回指導や帰学指導等を通して、以下のア～クについて学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。</p> <p>実習計画は、実習生・実習指導教員・実習指導者の三者で協議して作成する。</p> <p>ア.利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成を指導する。</p> <p>イ.利用者が必要とするサービスや支援の把握、及び支援計画の作成を指導する。</p> <p>ウ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成を指導する。</p> <p>エ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護および支援(エンパワメントを含む)とその評価方法を指導する。</p> <p>オ.多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際を理解させる。</p> <p>カ.社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任を理解するように指導する。</p> <p>キ.施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解するよう指導する。</p> <p>ク.当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることの役割確認を含意したアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関して理解するよう指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習
時間割コード	0223902406
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	3
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得できる。</p> <p>2. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>3. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>・相談援助実習の履修にあたっては、先修科目を満たしておくことが最低条件であるが、相談援助実習指導 および相談援助実習指導 での指導内容、レポート等における実習先の事前学習内容を十分復習して履修すること。</p> <p>・実習は原則一か所の実習先で23日間、180時間以上の実習となり、3年次2～3月、あるいは4年次8～9月に配属する。実習前の体調管理には十分留意するとともに、積極的な予習を怠らないこと。</p>
評価方法	180時間(一日8時間・23日)以上の実習時間、実習日誌、実習終了レポートの内容(30%)および実習先の実習評価表等(70%)の合計で評価する。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>健康診断等の方法により、学生が良好な健康状態にあることを確認したうえで配属実習を行わせる。</p> <p>実習指導教員は随時、実習先を訪問し、実習内容及び指導体制、実習中のリスク管理等を実習先と十分協議し、確認しあう。</p> <p>巡回指導や帰学指導等を通して、以下のア～クについて学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。</p> <p>実習計画は、実習生・実習指導教員・実習指導者の三者で協議して作成する。</p> <p>ア.利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成を指導する。</p> <p>イ.利用者が必要とするサービスや支援の把握、及び支援計画の作成を指導する。</p> <p>ウ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成を指導する。</p> <p>エ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護および支援(エンパワメントを含む)とその評価方法を指導する。</p> <p>オ.多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際を理解させる。</p> <p>カ.社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任を理解するように指導する。</p> <p>キ.施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解するよう指導する。</p> <p>ク.当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることの役割確認を含意したアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関して理解するよう指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習
時間割コード	0223902407
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	3
主担当教員	隈 直子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
隈 直子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得できる。</p> <p>2. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>3. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>・相談援助実習の履修にあたっては、先修科目を満たしておくことが最低条件であるが、相談援助実習指導 および相談援助実習指導 での指導内容、レポート等における実習先の事前学習内容を十分復習して履修すること。</p> <p>・実習は原則一か所の実習先で23日間、180時間以上の実習となり、3年次2～3月、あるいは4年次8～9月に配属する。実習前の体調管理には十分留意するとともに、積極的な予習を怠らないこと。</p>
評価方法	180時間(一日8時間・23日)以上の実習時間、実習日誌、実習終了レポートの内容(30%)および実習先の実習評価表等(70%)の合計で評価する。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>健康診断等の方法により、学生が良好な健康状態にあることを確認したうえで配属実習を行わせる。</p> <p>実習指導教員は随時、実習先を訪問し、実習内容及び指導体制、実習中のリスク管理等を実習先と十分協議し、確認しあう。</p> <p>巡回指導や帰学指導等を通して、以下のア～クについて学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。</p> <p>実習計画は、実習生・実習指導教員・実習指導者の三者で協議して作成する。</p> <p>ア.利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成を指導する。</p> <p>イ.利用者と必要とするサービスや支援の把握、及び支援計画の作成を指導する。</p> <p>ウ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成を指導する。</p> <p>エ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護および支援(エンパワメントを含む)とその評価方法を指導する。</p> <p>オ.多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際を理解させる。</p> <p>カ.社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任を理解するように指導する。</p> <p>キ.施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解するよう指導する。</p> <p>ク.当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることの役割確認を含意したアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関して理解するよう指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習
時間割コード	0223902409
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	3
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を体得できる。</p> <p>2. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>3. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解できる。</p>
履修上の注意事項	<p>・相談援助実習の履修にあたっては、先修科目を満たしておくことが最低条件であるが、相談援助実習指導 および相談援助実習指導 での指導内容、レポート等における実習先の事前学習内容を十分復習して履修すること。</p> <p>・実習は原則一か所の実習先で23日間、180時間以上の実習となり、3年次2～3月、あるいは4年次8～9月に配属する。実習前の体調管理には十分留意するとともに、積極的な予習を怠らないこと。</p>
評価方法	180時間(一日8時間・23日)以上の実習時間、実習日誌、実習終了レポートの内容(30%)および実習先の実習評価表等(70%)の合計で評価する。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>健康診断等の方法により、学生が良好な健康状態にあることを確認したうえで配属実習を行わせる。</p> <p>実習指導教員は随時、実習先を訪問し、実習内容及び指導体制、実習中のリスク管理等を実習先と十分協議し、確認しあう。</p> <p>巡回指導や帰学指導等を通して、以下のア～クについて学生及び実習指導者との連絡調整を密に行い、学生の実習状況についての把握とともに実習中の個別指導を十分に行う。</p> <p>実習計画は、実習生・実習指導教員・実習指導者の三者で協議して作成する。</p> <p>ア.利用者やその関係者、施設・事業者・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成を指導する。</p> <p>イ.利用者が必要とするサービスや支援の把握、及び支援計画の作成を指導する。</p> <p>ウ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)との援助関係の形成を指導する。</p> <p>エ.利用者やその関係者(家族・親族・友人等)への権利擁護および支援(エンパワメントを含む)とその評価方法を指導する。</p> <p>オ.多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実際を理解させる。</p> <p>カ.社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任を理解するように指導する。</p> <p>キ.施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際を理解するよう指導する。</p> <p>ク.当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体等であることの役割確認を含意したアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関して理解するよう指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902501
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	福崎 千鶴
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
福崎 千鶴

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談援助実習の意義について理解できる。 2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。 3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。 4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。</p> <p>したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論（児童、障害、高齢等の分野）等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、課題レポートなどにも積極的に取り組み、実習の目的や意義をはじめ、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房（最新版）
参考文献	随時、授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	実習指導マニュアルに基づき、実習関連科目や今後の指導スケジュールを確認し、理解する。		
2	実習の意義や目的、方法、留意点について理解する。		
3	福祉専門職に求められる資質と価値・倫理等の説明、見学実習の注意事項、事前学習内容の理解。		
4	障害者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
5	児童福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
6	高齢者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	実習先の資料やレポート課題の学習を通して、各相談援助実践の場を理解する。		
8	地域福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
9	保健医療分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
10	希望実習先の課題レポート作成を通して、その歴史や事業概要、サービス機能を理解する。		
11	希望実習先の課題レポート作成を通して、サービス利用の手続きや利用者を理解する。		
12	希望実習先の課題レポートを基に、実習に対する姿勢や準備について説明することができる。		
13	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
14	ソーシャルワーク報告会に参加し、実習先や事前学習の必要性を理解する。		
15	希望する実習先の理解。実習に向けて夏季休暇中の課題についての指導を基にレポートを作成する。		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902502
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。</p> <p>したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、課題レポートなどにも積極的に取り組み、実習の目的や意義をはじめ、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	実習指導マニュアルに基づき、実習関連科目や今後の指導スケジュールを確認し、理解する。		
2	実習の意義や目的、方法、留意点について理解する。		
3	福祉専門職に求められる資質と価値・倫理等の説明、見学実習の注意事項、事前学習内容の理解。		
4	障害者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
5	児童福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
6	高齢者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
7	実習先の資料やレポート課題の学習を通して、各相談援助実践の場を理解する。		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	地域福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
9	保健医療分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
10	希望実習先の課題レポート作成を通して、その歴史や事業概要、サービス機能を理解する。		
11	希望実習先の課題レポート作成を通して、サービス利用の手続きや利用者を理解する。		
12	希望実習先の課題レポートを基に、実習に対する姿勢や準備について説明することができる。		
13	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
14	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
15	希望する実習先の理解。実習に向けて夏季休暇中の課題についての指導を基にレポートを作成する。		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902506
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。</p> <p>したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、課題レポートなどにも積極的に取り組み、実習の目的や意義をはじめ、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	実習指導マニュアルに基づき、実習関連科目や今後の指導スケジュールを確認し、理解する。		
2	実習の意義や目的、方法、留意点について理解する。		
3	福祉専門職に求められる資質と価値・倫理等の説明、見学実習の注意事項、事前学習内容の理解。		
4	障害者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
5	児童福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
6	高齢者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
7	実習先の資料やレポート課題の学習を通して、各相談援助実践の場を理解する。		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	地域福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
9	保健医療分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
10	希望実習先の課題レポート作成を通して、その歴史や事業概要、サービス機能を理解する。		
11	希望実習先の課題レポート作成を通して、サービス利用の手続きや利用者を理解する。		
12	希望実習先の課題レポートを基に、実習に対する姿勢や準備について説明することができる。		
13	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
14	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
15	希望する実習先の理解。実習に向けて夏季休暇中の課題についての指導を基にレポートを作成する。		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902508
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。</p> <p>したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、課題レポートなどにも積極的に取り組み、実習の目的や意義をはじめ、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)
参考文献	随時、授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	実習指導マニュアルに基づき、実習関連科目や今後の指導スケジュールを確認し、理解する。		
2	実習の意義や目的、方法、留意点について理解する。		
3	福祉専門職に求められる資質と価値・倫理等の説明、見学実習の注意事項、事前学習内容の理解。		
4	障害者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
5	児童福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
6	高齢者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
7	実習先の資料やレポート課題の学習を通して、各相談援助実践の場を理解する。		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	地域福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
9	保健医療分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
10	希望実習先の課題レポート作成を通して、その歴史や事業概要、サービス機能を理解する。		
11	希望実習先の課題レポート作成を通して、サービス利用の手続きや利用者を理解する。		
12	希望実習先の課題レポートを基に、実習に対する姿勢や準備について説明することができる。		
13	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
14	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
15	希望する実習先の理解。実習に向けて夏季休暇中の課題についての指導を基にレポートを作成する。		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902510
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	隈 直子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
隈 直子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談援助実習の意義について理解できる。 2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。 3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。 4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。本授業では、相談援助の実践能力が涵養できるよう積極的に取り組むこと。 ・ 授業前には、次回授業で取り上げる内容に応じ、ソーシャルワーク論や福祉各論（児童、障害、高齢等の分野）等の講義科目のテキストを読み直す。（120分） ・ 授業後には、資料を読み直し、授業内容に関する文献や新聞等を調べ、内容を整理する。わからない事項があれば、テキスト等で確認する。（120分）
評価方法	指導に対する積極的応答と関与(30%)および課題レポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房（最新版）
参考文献	随時、授業時に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	実習指導マニュアルに基づき、実習関連科目や今後の指導スケジュールを確認し、理解する。		
2	実習の意義や目的、方法、留意点について理解する。		
3	福祉専門職に求められる資質と価値・倫理等の説明、見学実習の注意事項、事前学習内容の理解。		
4	障害者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
5	児童福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
6	高齢者福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句や制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	実習先の資料やレポート課題の学習を通して、各相談援助実践の場を理解する。		
8	地域福祉分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
9	保健医療分野の指導者からの講話を元に、その実践活動の実際と課題を理解する。		
10	希望実習先の課題レポート作成を通して、その歴史や事業概要、サービス機能を理解する。		
11	希望実習先の課題レポート作成を通して、サービス利用の手続きや利用者を理解する。		
12	希望実習先の課題レポートを基に、実習に対する姿勢や準備について説明することができる。		
13	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
14	既実習者のソーシャルワーク報告会に参加し、ジェネリックソーシャルワークについて理解する。		
15	希望する実習先の理解。実習に向けて夏季休暇中の課題についての指導を基にレポートを作成する。		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2, 木 3
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	福崎 千鶴
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
福崎 千鶴	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、実習先への事前訪問やボランティア活動等を通して理解を深め、事前学習にもさらに取り組み、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	<p>指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。レポートの内容については講義内で補足説明をしていく。</p>
テキスト	<p>『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)</p> <p>注) 相談援助実習指導 において購入済み</p>
参考文献	<p>随時、授業内で紹介する。</p>
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること。また重要な語句と制度は覚えることを求める。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
2	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
3	見学実習(サービスや利用者の理解)		
4	見学実習(サービスや利用者の理解)		
5	見学実習(サービスや利用者の理解)		
6	課題レポートの確認と事前学習指導		
7	実習先の理解(法的根拠、利用手続き等)		
8	実習先の理解(配置基準、主な業務内容等)		
9	アセスメント、支援プラン作成指導		
10	実習計画書作成(目的や意義、方法の指導)		
11	実習計画書(案)作成指導		
12	実習先への事前訪問指導		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること。また重要な語句と制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	実習記録の方法や内容の記載指導		
14	個人情報保護や守秘義務の指導		
15	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
16	感染症および予防方法の理解		
17	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
18	実習課題の整理、三者協議事項指導		
19	三者協議時の実習内容・計画等の指導		
20	実習計画の再検討の指導		
21	実習中の連絡方法や必要書類等の指導		
22	巡回指導や実習中の諸注意事項の指導		
23	個別スーパービジョンにて実習の振り返り		
24	記録類を参考にした個別スーパービジョン		
25	総括レポート作成の指導		
26	総括レポート作成の指導と評価指導		
27	実習報告会の発表指導		
28	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
29	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
30	ジェネリックソーシャルワーク検討の指導		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902602
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2, 木 3
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	田島 望
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
田島 望

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、実習先への事前訪問やボランティア活動等を通して理解を深め、事前学習にもさらに取り組み、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。レポートの内容については講義内で補足説明をしていく。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版) 注) 相談援助実習指導 において購入済み
参考文献	随時、授業内で紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	課題レポートの確認と事前学習指導		
2	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
3	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
4	見学実習(サービスや利用者の理解)		
5	見学実習(サービスや利用者の理解)		
6	見学実習振り返り(学習課題の指導)		
7	実習先の理解(法的根拠、利用手続き等)		
8	実習先の理解(配置基準、主な業務内容等)		
9	アセスメント、支援プラン作成指導		
10	実習計画書作成(目的や意義、方法の指導)		
11	実習計画書(案)の策定指導		
12	実習先への事前訪問指導		
13	実習記録の方法や内容の記載指導		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	個人情報保護や守秘義務の指導		
15	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
16	感染症および予防方法の理解		
17	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
18	実習課題の整理、三者協議事項指導		
19	三者協議時の実習内容・計画等の指導		
20	実習計画の再検討の指導		
21	実習中の連絡方法や必要書類等の指導		
22	巡回指導や実習中の諸注意事項の指導		
23	個別スーパービジョンにて実習の振り返り		
24	記録類を参考にした個別スーパービジョン		
25	総括レポート作成の指導		
26	総括レポート作成の指導と評価指導		
27	実習報告会の発表指導		
28	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
29	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
30	ジェネリックソーシャルワーク検討の指導		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902603
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2, 木 3
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、実習先への事前訪問やボランティア活動等を通して理解を深め、事前学習にもさらに取り組み、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	<p>指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。レポートの内容については講義内で補足説明をしていく。</p>
テキスト	<p>『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)</p> <p>注) 相談援助実習指導 において購入済み</p>
参考文献	<p>随時、授業内で紹介する。</p>
実務経験のある教員による授業	<p>有</p>
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること。また重要な語句と制度は覚えることを求める。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
2	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
3	見学実習(サービスや利用者の理解)		
4	見学実習(サービスや利用者の理解)		
5	見学実習振り返り(学習課題の指導)		
6	課題レポートの確認と事前学習指導		
7	実習先の理解(法的根拠、利用手続き等)		
8	実習先の理解(配置基準、主な業務内容等)		
9	アセスメント、支援プラン作成指導		
10	実習計画書作成(目的や意義、方法の指導)		
11	実習計画書(案)の策定指導		
12	実習先への事前訪問指導		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること。また重要な語句と制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	実習記録の方法や内容の記載指導		
14	個人情報保護や守秘義務の指導		
15	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
16	感染症および予防方法の理解		
17	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
18	実習課題の整理、三者協議事項指導		
19	三者協議時の実習内容・計画等の指導		
20	実習計画の再検討の指導		
21	実習中の連絡方法や必要書類等の指導		
22	巡回指導や実習中の諸注意事項の指導		
23	個別スーパービジョンにて実習の振り返り		
24	記録類を参考にした個別スーパービジョン		
25	総括レポート作成の指導		
26	総括レポート作成の指導と評価指導		
27	実習報告会の発表指導		
28	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
29	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
30	ジェネリックソーシャルワーク検討の指導		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902604
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2, 木 3
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	隈 直子
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
隈 直子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談援助実習の意義について理解できる。 2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。 3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。 4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。また、実習先への事前訪問やボランティア活動等を通して理解を深め、相談援助の実践能力が涵養できるように積極的に取り組むこと。 ・授業前には、次回授業で取り上げる内容について、ソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等を読み直す。わからない事項があれば下調べをし、発表の準備をする。(120分) ・授業後には、資料等を読み直し、授業内容を整理する。講義科目のテキスト等を読み返し、知識の定着を図る。(120分)
評価方法	指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。レポートの内容については講義内で補足説明をしていく。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版) 注) 相談援助実習指導 において購入済み
参考文献	随時、授業内で紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	課題レポートの確認と事前学習指導		
2	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
3	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
4	見学実習(サービスや利用者の理解)		
5	見学実習(サービスや利用者の理解)		
6	見学実習振り返り(学習課題の指導)		
7	実習先の理解(法的根拠、利用手続き等)		
8	実習先の理解(配置基準、主な業務内容等)		
9	アセスメント、支援プラン作成指導		
10	実習計画書作成(目的や意義、方法の指導)		
11	実習計画書(案)の策定指導		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	実習先への事前訪問指導		
13	実習記録の方法や内容の記載指導		
14	個人情報保護や守秘義務の指導		
15	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
16	感染症および予防方法の理解		
17	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
18	実習課題の整理、三者協議事項指導		
19	三者協議時の実習内容・計画等の指導		
20	実習計画の再検討の指導		
21	実習中の連絡方法や必要書類等の指導		
22	巡回指導や実習中の諸注意事項の指導		
23	個別スーパービジョンにて実習の振り返り		
24	記録類を参考にした個別スーパービジョン		
25	総括レポート作成の指導		
26	総括レポート作成の指導と評価指導		
27	実習報告会の発表指導		
28	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
29	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
30	ジェネリックソーシャルワーク検討の指導		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902605
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2, 木 3
開講区分	第1学期
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
村本 浄司	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、実習先への事前訪問やボランティア活動等を通して理解を深め、事前学習にもさらに取り組み、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	<p>指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。レポートの内容については講義内で補足説明をしていく。</p>
テキスト	<p>『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)</p> <p>注) 相談援助実習指導 において購入済み</p>
参考文献	<p>随時、授業内で紹介する。</p>
実務経験のある教員による授業	<p>無</p>
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること。また重要な語句と制度は覚えることを求める。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
2	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
3	見学実習(サービスや利用者の理解)		
4	見学実習(サービスや利用者の理解)		
5	見学実習振り返り(学習課題の指導)		
6	課題レポートの確認と事前学習指導		
7	実習先の理解(法的根拠、利用手続き等)		
8	実習先の理解(配置基準、主な業務内容等)		
9	アセスメント、支援プラン作成指導		
10	実習計画書作成(目的や意義、方法の指導)		
11	実習計画書(案)の策定指導		
12	実習先への事前訪問指導		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること。また重要な語句と制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	実習記録の方法や内容の記載指導		
14	個人情報保護や守秘義務の指導		
15	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
16	感染症および予防方法の理解		
17	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
18	実習課題の整理、三者協議事項指導		
19	三者協議時の実習内容・計画等の指導		
20	実習計画の再検討の指導		
21	実習中の連絡方法や必要書類等の指導		
22	巡回指導や実習中の諸注意事項の指導		
23	個別スーパービジョンにて実習の振り返り		
24	記録類を参考にした個別スーパービジョン		
25	総括レポート作成の指導		
26	総括レポート作成の指導と評価指導		
27	実習報告会の発表指導		
28	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
29	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
30	ジェネリックソーシャルワーク検討の指導		

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902606
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	3
主担当教員	福崎 千鶴
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名
福崎 千鶴

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談援助実習の意義について理解できる。 2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。 3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。 4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、実習先への事前訪問やボランティア活動等を通して理解を深め、事前学習にもさらに取り組み、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。レポートの内容については講義内で補足説明をしていく。
テキスト	『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版) 注) 相談援助実習指導 において購入済み
参考文献	随時、授業内で紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句と制度は覚えることを求める。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	相談援助実習指導
時間割コード	0223902608
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	4.0
学年	3
主担当教員	橋本 眞奈美
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第1群)

担当教員情報

教員名	
橋本 眞奈美	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 相談援助実習の意義について理解できる。</p> <p>2. 個別指導並びに集団指導を受けて、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得できる。</p> <p>3. 社会福祉士に求められる資質、技能、倫理、自己の学習課題等、総合的に対応できる能力を修得できる。</p> <p>4. 具体的な体験や援助活動を、専門援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養できる。</p>
履修上の注意事項	<p>相談援助実習は、これまでに講義や演習で学んできたことを基盤に総力で体験しながら学ぶものである。したがって、実習指導においてもソーシャルワーク論や福祉各論(児童、障害、高齢等の分野)等の再学習をしておくこと。</p> <p>また、実習先への事前訪問やボランティア活動等を通して理解を深め、事前学習にもさらに取り組み、相談援助の実践能力が涵養できるように予習を行うこと。</p>
評価方法	<p>指導に対する積極的応答と関与(30%)およびレポート提出とその内容(70%)の合計で評価する。レポートの内容については講義内で補足説明をしていく。</p>
テキスト	<p>『相談援助実習ハンドブック』関西福祉科学大学社会福祉実習教育モデル研究会編 ミネルヴァ書房(最新版)</p> <p>注) 相談援助実習指導 において購入済み</p>
参考文献	<p>随時、授業内で紹介する。</p>
実務経験のある教員による授業	<p>無</p>
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
<p>毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句と制度は覚えることを求める。</p>	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	課題レポートの確認と事前学習指導		
2	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
3	見学実習準備(事前学習の確認、指導)		
4	見学実習(サービスや利用者の理解)		
5	見学実習(サービスや利用者の理解)		
6	見学実習振り返り(学習課題の指導)		
7	実習先の理解(法的根拠、利用手続き等)		
8	実習先の理解(配置基準、主な業務内容等)		
9	アセスメント、支援プラン作成指導		
10	実習計画書作成(目的や意義、方法の指導)		
11	実習計画書(案)の策定指導		
12	実習先への事前訪問指導		

授業計画

毎回の講義内で理解が不十分である専門用語や各種制度について、該当するテキストや用語辞典を用いて必ず確認すること、また重要な語句と制度は覚えることを求める。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	実習記録の方法や内容の記載指導		
14	個人情報保護や守秘義務の指導		
15	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
16	感染症および予防方法の理解		
17	実習計画書(案)に基づいたレポート作成指導		
18	実習課題の整理、三者協議事項指導		
19	三者協議時の実習内容・計画等の指導		
20	実習計画の再検討の指導		
21	実習中の連絡方法や必要書類等の指導		
22	巡回指導や実習中の諸注意事項の指導		
23	個別スーパービジョンにて実習の振り返り		
24	記録類を参考にした個別スーパービジョン		
25	総括レポート作成の指導		
26	総括レポート作成の指導と評価指導		
27	実習報告会の発表指導		
28	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
29	実習報告会での発表と相互研鑽指導		
30	ジェネリックソーシャルワーク検討の指導		

基本情報

科目名	精神保健福祉援助技術総論
時間割コード	0224002801
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	平川 泰士
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士が行う相談援助の対象、業務内容、相談援助の概要について理解する。 ・精神障害者の相談援助に係る専門職の概念と範囲、役割について理解する。 ・精神障害者の相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。 ・精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について理解する。
履修上の注意事項	<p>本科目は精神保健福祉士国家試験受験資格に必要な科目である。講義とあわせ、学生間の発表、グループワークなどの共同作業を行うので、積極的に参加することを求めます。また、指定された課題などについて、あらかじめ調べ準備を整え、不明な箇所については自身で調べ直す予習復習や課題(30~60分程度)を求める。</p>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義時の指定の課題・提出物・参加状況(30%)、試験(70%)にて評価する。 ・再試験は実施しない。
テキスト	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会『精神保健福祉士養成セミナー精神保健福祉相談援助の基盤[基礎][専門]』、へるす出版
参考文献	講義時適時指定する
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神保健福祉士が行う相談援助活動の概要 2. 精神保健福祉領域(保健、医療、福祉等)における援助の対象についての理解 3. 精神保健福祉士が行う相談援助の基本的考え方(対象、目的、倫理、価値、意義、内容、原則) 4. 相談援助に係わる医療機関における専門職(精神科病院、精神科診療所等)の概念と範囲 5. 相談援助に係わる福祉行政・関連行政機関等(保健所等)における専門職の概念と範囲 6. 相談援助に係わる司法領域(保護観察所の社会復帰調整官等)における専門職の概念と範囲 7. 相談援助に係わる就労支援領域(労働行政機関等の障害者職業カウンセラー、職場適応援助者等)における専門職の概念と範囲 8. 相談援助に係わる民間の福祉施設・組織(福祉サービス等)における専門職の概念と範囲 9. 相談援助に係わるにおける専門職の概念と範囲 10. 精神障害者の相談援助における権利擁護の意義と範囲 11. 精神障害者の自己決定、意思決定能力と法的問題 12. 精神障害者の人権擁護、権利擁護システムにおける精神保健福祉士の役割 13. 精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助の意義と内容 14. 精神保健福祉活動における多職種連携(チームアプローチ、アウトリーチ)の意義と内容 15. 本講義の振り返りとまとめ

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	精神科リハビリテーション学
時間割コード	0224001701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	平川 泰士
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名	
平川 泰士	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 精神科リハビリテーションの概念と構成について理解する。</p> <p>2. 精神科リハビリテーションの歴史、プロセス、体系について理解する。</p> <p>3. 精神科リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割と方法を理解する。</p>
履修上の注意事項	<p>「精神保健福祉士」国家試験受験科目である。各回の講義テーマについて事前にテキストに目を通し配布されたプリント内容をテキストで確認する、基礎的な用語を確認する、指定された課題に取り組むなど予習し、理解できなかつた点を確認し復習をおこなうこと(毎回60分程度)。課題を元にした、学生間での積極的な協議・話し合いを通じた学習を行う。</p>
評価方法	<p>期末試験70%、授業時に指定した課題・提出物・協議への参加状況30%によって評価を行う。再試験を実施しない。</p>
テキスト	<p>「日本精神保健福祉士養成校協会」編、「精神保健福祉の理論と相談援助の展開」(「新・精神保健福祉士養成講座4」)、中央法規出版株式会社</p>
参考文献	<p>講義時に、指示する。</p>
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	リハビリテーションの概念 障害の構造論		
3	精神保健医療福祉領域の支援対象者		
4	精神科リハビリテーションの理念、基本原則		
5	精神科リハビリテーションのアプローチ		
6	精神科リハビリテーションのプロセス		
7	精神障害者支援の実践モデル		
8	わが国の精神科保健福祉の歴史とパラダイムシフト		
9	わが国の地域精神保健福祉活動の歴史と経過		
10	専門技法について(社会生活技能訓練)		
11	専門技法について(家族教育と家族支援)		
12	専門技法について(エビデンスに基づく実践:EBP)		
13	作業療法,レクリエーション療法など		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	地域活動支援と精神保健福祉士の役割		
15	諸外国の精神医療保健福祉		

基本情報

科目名	精神科リハビリテーション学
時間割コード	0224001801
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	平川 泰士
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	精神科リハビリテーションの概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解できる。精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術及び活用について理解できる。地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワークの実際について理解できる。
履修上の注意事項	「精神保健福祉士」国家試験受験科目である。各回の講義テーマについて事前にテキストに目を通し配布されたプリント内容をテキストで確認する、基礎的な用語を確認する、指定された課題に取り組むなど予習し、理解できなかった点を確認し復習をおこなうこと(毎回60分程度)。課題を元にした、学生間での積極的な協議・話し合いを通じた学習を行う。
評価方法	1.理解度確認による試験評価(70%) 講義時指定の課題・レポート・協議への参加状況(30%)による評価を行う。 2.再試験を実施しない。
テキスト	日本精神保健福祉士養成校教会編『新・精神保健福祉士養成講座4 精神保健福祉の理論と相談援助の展開』中央法規
参考文献	随時、講義時に指示する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	医療機関における精神科リハビリテーションの展開(精神専門療法・家族教育プログラム)		
2	医療機関における精神科リハビリテーションの展開(精神科デイケア・SST)		
3	医療機関における精神科リハビリテーションの展開(医療機関のアウトリーチ)		
4	医療機関における精神科リハビリテーションの展開(チーム医療・多職種連携と協働)		
5	精神障害者支援の実践モデル(意味と内容)		
6	精神障害者支援の実践モデル(治療モデル・生活モデル)		
7	精神障害者支援の実践モデル(ストレングスモデルの理論的背景)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	精神障害者支援の実践モデル（ストレンギングモデルをベースとしたアセスメント）		
9	相談援助の過程及び対象との援助関係（概論・ケース発見、インテーク、アセスメント）		
10	相談援助の過程及び対象との援助関係（プランニング・モニタリング）		
11	相談援助の過程及び対象との援助関係（エバリュエーション・終結、アフターケア）		
12	相談援助活動のための面接技術（面接の種類と原則）		
13	相談援助活動のための面接技術（面接技法）		
14	スーパービジョンとコンサルテーション（スーパービジョン）		
15	スーパービジョンとコンサルテーション（コンサルテーション）		

基本情報

科目名	精神保健福祉援助技術各論
時間割コード	0224001901
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3, 火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
増田 公香

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 精神障害者を対象とした相談援助技術(個別援助、集団援助の過程と、相談援助に係る関連援助や精神障害者と家族の調整及び家族支援を含む)の展開について説明できるようになる。 2 精神障害者の地域移行支援及び医療機関と地域の連携に関する基本的考え方と支援体制の実際について基礎的知識を備える。
履修上の注意事項	1 必ず講義ノートを作成すること。また、配布するプリントをファイル化し毎回持参することが必要である(配布資料は何回か使用する可能性がある)。 2 授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと。 3 授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること。
評価方法	1 試験(期末レポート)による評価(70%) 2 授業中のレスポンスやミニレポート(30%)
テキスト	日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座 5 精神保健福祉の理論と相談援助の展開(第2版)』中央法規
参考文献	C・A・ラップ, R・J・ゴスチャ著, 田中英樹監訳『ストレングスマodel 精神障害者のためのケースマネジメント 第3版』金剛出版
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	相談援助活動の展開 内容と方法		
2	相談援助活動の展開 個別支援の実際と事例分析		
3	相談援助活動の展開 集団を活用した支援の実際と事例分析		
4	家族調整支援の実際 精神障害者と家族の関係		
5	家族調整支援の実際 家族支援の方法		
6	地域移行の対象支援体制		
7	地域移行における精神保健福祉士の役割と多職種連携		
8	地域移行・地域定着支援の取り組み		
9	地域移行にかかわる機関と組織		
10	事例による地域移行支援の検討		
11	地域を基盤にした相談援助の主体と対象 精神障害者を取り巻く社会的状況		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	地域を基盤にした相談援助の主体と対象 地域相談援助の主体		
13	地域を基盤にした相談援助の主体と対象 地域相談援助の対象		
14	地域を基盤にした相談援助の主体と対象 地域相談援助の体制		
15	地域を基盤にした相談援助の主体と対象 事例による地域を基盤とした相談援助 活動の検討		

基本情報

科目名	精神保健福祉援助技術各論
時間割コード	0224002001
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	増田 公香
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第2群)

担当教員情報

教員名
増田 公香

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワーク(地域相談援助に係る組織、団体、関係機関及び専門職との連携についての理解を含む)の実際について基礎的知識を備える。 2 地域生活を支援する保健・医療・福祉等の包括的な支援(地域精神保健福祉活動)の意義と展開について説明できるようにする。
履修上の注意事項	1 必ず講義ノートを作成すること。また、配布するプリントをファイル化し毎回持参することが必要である(配布資料は何回か使用する可能性がある)。 2 授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと。 3 授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること。
評価方法	1 試験(期末レポート)による評価(70%) 2 授業中のレスポンスやミニレポート(30%)
テキスト	日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座 5 精神保健福祉の理論と相談援助の展開(第2版)』中央法規
参考文献	C・A・ラップ,R・J・ゴスチャ著,田中英樹監訳『ストレングスモデル 精神障害者のためのケースマネジメント 第2版』金剛出版
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方 地域ネットワーク		
2	地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方 アウトリーチ		
3	地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方 生活支援事業と訪問援助		
4	地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方 セルフヘルプグループ・家族会		
5	地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方 精神保健福祉ボランティアの育成と活用		
6	精神障害者のケアマネジメント ケアマネジメントの原則		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	精神障害者のケアマネジメント ケアマネジメントの意義と方法		
8	精神障害者のケアマネジメント ケアマネジメントの展開過程		
9	精神障害者のケアマネジメント チームケアとチームワーク		
10	精神障害者のケアマネジメント 事例による精神障害者ケアマネジメントの検討		
11	地域を基盤にした支援とネットワーキング その概念と基本的性格		
12	地域を基盤にした支援とネットワーキング 地域アセスメント・BSC・SWOT分析		
13	地域を基盤にした支援とネットワーキング 地域を基盤にした支援の具体的展開		
14	地域を基盤にした支援とネットワーキング 事例による地域を基盤にした支援の検討		
15	地域生活を支援する包括的支援の意義と展開		

基本情報

科目名	介護技術
時間割コード	0224100601
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	瀬川 綾
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
瀬川 綾

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護に必要な基本的知識・技術を正しく理解し、実施できるようになる 2. 介護を必要とする人々の身体的・心理的状况に配慮し、自立を支援できるようになる 3. 生活支援技術(介護技術)におけるICFの意義と枠組みを理解できるようになる 4. 安全で安楽な基本的介護技術を展開できるようになる
履修上の注意事項	<p>授業で使用する物品は忘れずに持参すること。 授業計画は多少前後することがある。</p>
評価方法	筆記試験：80% 発表、積極的な授業態度：20%
テキスト	資料を配布します。
参考文献	適宜、講義の中で紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	准看護師として通所リハビリテーション、病院勤務経験 社会福祉士(医療ソーシャルワーカー)として病院勤務経験 現在、地域密着型通所介護にて機能訓練指導員として勤務

授業計画

授業計画
毎回の事前学習はその講義の内容についてテキストを熟読し、わからない語句等を調べておく(2時間) 毎回の事後学修は講義でわからない箇所を整理しておく、そして教科書等で自分で調べておく(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	介護技術を学ぶにあつたての生活支援の理解		
2	介護技術を展開するためのICFの概念の理解とアセスメント方法論		
3	介護における基本的なコミュニケーション技術・記録と報告		
4	自立に向けた居住環境の整備・福祉用具の活用		
5	移動・移乗の介護技術		
6	移動・移乗の介護技術		
7	身じたくの介護技術		
8	衣服の着脱の介護技術		
9	食事の介護技術		
10	入浴・清潔保持の介護技術		
11	排泄の介護技術		
12	睡眠の介護技術・安楽と安寧の技法・終末期の介護		
13	認知症の介護		
14	介護技術を現場で提供する時に必要な「介護過程の展開」の考え方		
15	介護過程の展開の実際(事例検討)		

基本情報

科目名	就労支援サービス論
時間割コード	0224100701
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	平川 泰士
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(第3群)

担当教員情報

教員名
橋本 眞奈美、平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会福祉領域の専門職、実践者に求められる「就労支援サービス」について理解する。相談支援、就労支援に関する基本的な枠組みとともに、実践的な活動の概略についても理解する。
履修上の注意事項	社会福祉士国家試験科目「就労支援サービス」に対応する。テキストを利用した事前学習、配布された資料を利用した受講後の学習が求められる。また講義内で知り得た専門用語について復習する。
評価方法	試験80%、レポート等の提出物10%、受講態度10%
テキスト	「就労支援サービス」 社会福祉士シリーズ18 弘文堂
参考文献	その都度、指示する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション (橋本、平川)		
2	「働く」意味、社会の仕組み (平川)		
3	職業の分類、働き方の変化 (平川)		
4	「働く」ことにおける現状 (平川)		
5	「働く」ことに関する法律 (平川)		
6	障害者の雇用・就業(労)の現状 (平川)		
7	障害者の雇用支援、就業(労)支援の仕組み (平川)		
8	中間のまとめ (平川)		
9	職業リハビリテーションの体系 (橋本)		
10	障害者以外に向けた就労支援サービス(生活困窮者等) (橋本)		
11	障害者以外に向けた就労支援サービス(母子世帯、高齢者等) (橋本)		
12	特別支援教育と職業的移行 (橋本)		
13	就労移行支援、就労継続支援 (橋本)		
14	雇用・就業(労)支援施策の動き (橋本)		
15	新たな動向とまとめ (橋本)		

基本情報

科目名	保健社会論
時間割コード	0224200201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目(実践強化科)

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 我が国の国民衛生の歴史及び現状について説明することができる。 2 衛生の主要指標について理解し、現在課題となっている保健・医療問題を解説することができる。
履修上の注意事項	1 ペアによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。 2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加40%、課題提出20%、期末試験40%で評価する。 再試験は実施しない。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回、資料(学習プリント)を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>前半は、国民衛生の歴史と現状という課題で、国民衛生の歴史や進歩を中心に学習する。後半は、現在の医療経済や国民衛生に関する統計を基にした現状と課題について学習する。授業の形態としては、課題を基にしたディスカッションを随所に取り入れ、自分の考えを持つことを目標とする。</p> <p>なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	保健社会論とは		
2	病気と医療の関係		
3	医療保障の歴史と目的		
4	保健医療論 保健・医療・福祉の資源		
5	保健医療論 地域保健・地域医療		
6	保健医療論 社会保障制度と医療経済		
7	保健医療論 国際保健		
8	産業保健 労働衛生対策		
9	産業保健 産業性疾病		
10	産業保健 産業中毒		
11	環境保健 環境と適応		
12	環境保健 地球環境の変化と健康影響		
13	環境保健 環境汚染の評価と対策		
14	環境保健 環境緯線の発生要因と現状(公害のエピソードを含む)		
15	現代医療の課題		

基本情報

科目名	社会調査演習 / 実習
時間割コード	0224201201
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	竹中 健
科目区分	専門科目 社会福祉学科専門科目 (実践強化科)

担当教員情報

教員名	
竹中 健	

詳細情報

授業の目的・到達目標	明確な調査目的を定め、社会福祉に貢献する知見を見出すための調査を実践する。「なにが問題なのか」を明確にし、仮説を立て、それを明らかにするためには「なにを聞けばよいのか」を事前に詰めたうえで調査に出る。聞き取ったデータから仮説を検証する。同時に新たな問題を発見し、整理し、記述する手法を学ぶ。
履修上の注意事項	調査はチーム活動になるので必ず出席する。分担して作業を進めることになる。自分の役割を明確にして協力的態度で授業に臨むこと。また、調査実習に関わる項目について事前および事後学習に努めること。実習に出る前の準備として、質問項目の整理、実習後のレポート作成の準備として、データの整理等には、数時間程度の作業が予想される。
評価方法	授業中の態度、グループワークへの積極性を評価し、実習の成果物としてのレポート提出を求める。実習中の態度姿勢50%、レポート50%とする。
テキスト	とくに使用しない。
参考文献	必要に応じて授業中に指示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション	【事前】あなたが卒業研究論文等で調べてみたい対象は何かを考えておいてください (2時間) 【事後】あなたが実施したい研究テーマをA4用紙1枚にまとめてください (2時間)	
2	社会調査の概要	【事前】あなたが調べてみたい対象はどのようなものかを考えておいてください (2時間) 【事後】あなたが調べたい対象はどのようなものかをA4用紙1枚にまとめてください (2時間)	
3	調査テーマの検討・文献探索の手法	【事前】あなたのテーマについて、どのような先行研究があるのかを調べておいてください (2時間) 【事後】あなたのテーマについて、先行研究をひとつ読んでみましょう。(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	調査テーマの確定	【事前】あなたが実施しようとしている研究のテーマについて、先行研究から引き継ぐ部分を示してください（2時間） 【事後】あなたが実施しようとしている研究のテーマについて、先行研究との違いを示してください（2時間）	
5	リサーチデザインの検討（1）	【事前】リサーチデザインとは何かを調べておいてください（2時間） 【事後】あなたが実施しようとしている研究テーマについて、リサーチデザインを作ろう（2時間）	
6	リサーチデザインの検討（2）	【事前】リサーチデザインのなかで問題となることをまとめておいてください（2時間） 【事後】示された問題への解決を考えてください（2時間）	
7	調査対象の検討	【事前】調査対象者への具体的なアクセス方法を考えてみよう（2時間） 【事後】調査対象者への倫理的配慮を明示してください（2時間）	
8	調査対象との交渉	【事前】調査対象者への協力お願いの文面を作成してお持ちください（2時間） 【事後】コメントを受けて修正し、郵送してください（2時間）	
9	予備調査	【事前】予備調査計画を立ててください（2時間） 【事後】予備調査を実施してください（2時間）	
10	実地調査（1）	【事前】予備調査の結果をまとめてください（2時間） 【事後】予備調査から判明した方法上の問題、実施上の問題をまとめてください（2時間）	
11	実地調査（2）	【事前】新たな調査方法、指針を明確にしてください（2時間） 【事後】コメントを受けて修正してください（2時間）	
12	データの整理（1）	【事前】調査データを文章化してください（2時間） 【事後】調査データを文章化してください（2時間）	
13	データの整理（2）	【事前】コメントを受けて調査データをまとめてください（2時間） 【事後】コメントを受けて調査データをまとめてください（2時間）	
14	報告書作成準備（1）	【事前】データを分析してください（2時間） 【事後】コメントを受けて、分析を完成させてください（2時間）	
15	報告書作成準備（2）	【事前】調査報告書の原稿を書き上げてください（2時間） 【事後】コメントを受けて、報告書を完成させてください（2時間）	

基本情報

科目名	道徳教育論
時間割コード	0229002801
開講所属	看護福祉学部社会福祉学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>この授業では、学校教育において道徳教育をおこなううえでの基本的な知識や考え方を学び、その意義と限界についての理解を深め、道徳教育を実践するための基礎的な力を養うことを目指すとともに、道徳教育のあり方を批判的にとらえ、反省的に実践していく力を涵養することを目指します。</p> <p>そのために、この授業では、以下のことを目標とします。</p> <p>(1) 道徳教育をささえる、道徳・倫理の基礎的なことについて理解し説明することができる。</p> <p>(2) 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画などを理解し説明することができる。</p> <p>(3) 教材研究や学習指導案の作成および授業の計画を立て、実施することができる。</p>
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	<p>授業後の小レポート（30%）および学期末レポート（70%）の総合成績で評価する。</p> <p>基礎的なことへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答の妥当性、論理性におうじて評価します。</p> <p>なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。</p>
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 授業全体の概要をしめす。		
2	現代日本における道徳教育をめぐる動向		
3	道徳・倫理とはなにか？		
4	近代日本における道徳教育の歴史		
5	戦後日本における道徳教育の歴史		
6	道徳性の発達		
7	近代家族としつけ・道徳		
8	道徳教育と各教科、総合的な学習の時間、特別活動などのかかわり		
9	モラルジレンマなどの読み物資料を活用した授業		
10	構成的グループエンカウンター・ソーシャルスキルトレーニングなどの児童・生徒の活動にもとづく授業		
11	道徳科における評価の諸問題		
12	道徳教育の指導計画と指導案の作成		
13	模擬授業とそのふりかえり（1）		

授業計画

予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	模擬授業とそのふりかえり（2）		
15	授業のまとめと現代における道德教育の課題		